

一ノ二 電六三
 松本 春吉 古物商 野田町西
 一ノ四ノ一 電三〇
 松島 外 米穀雜貨商 野田
 町大通二ノ九 電一三六
 水野 重二 印刷業 野田町大
 通五ノ二 電二四一
 宮内 友市 製材業 野田町濱
 五ノ六 電五六
 宮内 喜助 製材業 野田町濱
 三ノ二 電一三八
 宮 良三 梅月堂 菓子製造
 業 野田町濱一ノ三〇 電一五九
 宮島 千ヨ 旅館 野田町濱一
 ノ五五 電五一
 村木昌一郎 荷馬車業 野田町
 西一ノ三ノ五 電一六六
 武藤 源七 珍々堂 菓子商
 野田町濱一ノ六〇 電二四
 望月爲之助 自轉車店 野田町
 大通四ノ二 電二二五
 森川丈太郎 野田町濱一ノ七〇
 電二二一
 森山 安次 海産商 野田町濱
 一ノ一 電長一一
 森竹 岩吉 旅館 野田町東一
 ノ二ノ二〇 電三四
 山下 キセ 福の家 料理店
 野田町東一ノ二ノ五 電一〇一
 山上 利 看板業 野田町濱
 二ノ六七 電二二
 山口 浦吉 蠟力業 野田町西
 一ノ一九 電二一五
 山崎助三郎 旅館 野田町濱一
 ノ三 電一〇
 矢本助太郎 自動車業 野田町
 西一ノ四ノ二 電一
 安田 要吉 カフエー 野田町
 東一ノ二ノ三 電四一
 柳原 要吉 吳服太物商 野田
 町大通一ノ一〇 電二二〇
 横谷市與門 小林亭 料理店
 野田町濱一ノ三一 電一〇三
 和田 義一 海産業 野田町濱
 三ノ五八 電二四八
 渡邊吉太郎 蒲鉾製造業 野田
 町大通四ノ二二 電二三四
 渡邊辰太郎 金物商 野田町濱
 二ノ一八 電四
 青柳 勘治 仲買業 留多加町
 新町北二 電一六四
 伊藤千代女 伊藤商店 家具度
 量衡商 留多加町本町左三 電
 五七
 岩城 力雄 岩城獸醫院 留多
 加町本町左三 電二五
 稻澤米三郎 稻澤菓子店 留多
 加町本町左三八 電三二
 魚住 春治 魚住鐵工場 留多
 加町本町右三〇 電三八
 遠藤小一郎 遠藤木材商 留多
 加町本町右外地 電一八
 遠藤 善治 遠藤寫眞館 留多
 加町本町北二 電二二四
 榎本 達藏 留多加町中町一
 電三〇
 大久保正治 大久保醫院 留多
 加町中町北二 電三〇
 小川 捨吉 小川旅館 留多加
 町中町一九 電二一六
 近江 境 近江菓子店 留多
 加町本町右七 電二五六
 近江榮之助 近江雜貨店 留多
 加町本町左四 電一〇
 甲斐 直一 請負業 留多加町
 本町右三九 電六五
 金子貞五郎 金子小間物店 留
 多加町本町左七六 電一〇五
 柏 政三郎 柏吳服店 留多加
 町本町左六九 電四一
 柏原なつゑ 建築請負 家具製
 造 留多加町中町一八 電六八
 狩野 吉藏 狩野魚菜店 留多
 加町本町左三〇 電三三
 柿倉宇三郎 柿倉雜貨店 留多
 加町本町右二四 電六一
 北 政治 北菓子店 留多加
 町大町六四 電二五一
 小林 十助 小林果實店 留多
 加町本町左七一 電一九
 小鹿多四藏 小鹿自動車部 留
 多加町通町一五 電二一八
 後藤 陸彌 後藤魚菜店 留多

加町本町左二 電二二七
 佐久間武雄 佐久間魚菜店 留
 多加町本町左一九 電一三五
 佐藤乙之助 護謄靴商 留多加
 町本町左二四 電二二二
 櫻井 梯二 留多加町川口町濱
 一三 電二二七
 下野 留吉 精肉商 養蠶業
 留多加町大町一〇 電三九
 杉山彌三八 古物商 留多加町
 本町左一八 電二二五
 田中藤右衛門 製粉業 留多加
 町本町右一八 電二〇
 瀧波由太郎 並物度量衡商 留
 多加町本町左二 電二二四
 塚原金次郎 塚原自轉車店 留
 多加町本町左四 電一六〇
 辻本 富造 飲食店 留多加町
 本町右一九 電五八
 中野 吉平 請負業 留多加町
 大町一九 電一〇七
 中野 齊治 中野雜貨店 留多
 加町川口町元町二二 電一三七
 名兒耶代吉 水販賣業 留多加
 町中町三〇 電一六五
 長瀬 軍司 雜貨商 留多加町
 西留多加北二 電二一〇
 根守 捨藏 根守齒科醫院 留
 多加町本町左七一 電三七
 原澤 泰 原澤齒科醫院 留
 多加町中町北二三ノ三 電二二三
 濱谷 ハツ 濱谷旅館 留多加
 町大町一七 電二一
 廣田 幸雄 廣田旅館 貨物自
 動車 留多加町本町右一九 電一
 三六
 二塚 又助 雜貨商 留多加町
 西留多加北一 電一三一
 船山次右衛門 吳服雜貨商 留
 多加町本町右四 電一一一
 船水 喜作 船水魚菜店 留多
 加町本町左三一 電三一
 前田 彌祐 前田並物店 留多
 加町本町左七三 電四七
 辨見 義信 豆腐製造業 留多
 加町本町右二五 電四〇
 三鴻 鶴吉 自動車業 留多加
 町若松北一 電一三一
 宮坂經三郎 宮坂菓子店 留多
 加町本町左七三 電四八
 宮根 守義 宮根印刷所 留多
 加町本町右一七 電二一
 宮根千代吉 宮根雜貨店 留多
 加町本町右一四ノ六 電一〇三
 村尾貞四郎 村尾吳服店 留多
 加町本町左四 電四五
 本山賢次郎 本山魚菜店 留多
 加町中町一七 電三一
 山中 晴治 古物商 留多加町
 本町右一七 電五九
 山田初太郎 新聞取次 家具商
 留多加町本町左七七 電一九
 安井 政吉 安井雜貨店 留多
 加町中町一六 電一五九

棒太關係各種團體

棒太應評議員

小川 正儀 會長
 小林 長彦 副會長
 高橋彌太郎 會員
 等力 了 會員
 四日 榮造 會員
 小林 隆平 會員
 吉岡 傳作 會員
 草原 雅光 會員
 藤岡榮三郎 會員
 田中藤右衛門 會員
 鈴木 幸多 會員
 扇田 彦助 會員
 吉川 平八 會員
 奥野長四郎 會員
 佐渡才之進 會員

菱沼 駒吉 會員
 江端 正藏 會員
 本間 直吉 會員
 市毛子之助 會員
 根本 直吉 會員
 山口榮太郎 會員
 魚谷榮次郎 會員
 穴田龍太郎 會員
 佐々木清助 會員
 高村 純平 會員
 小田 正作 會員
 橫田 秀次 會員
 鶴見才三郎 會員
 遠藤 彦悅 會員
 成松久次郎 會員
 曾根浦三郎 會員
 折戸 惣市 會員
 保田 藤作 會員
 大野 順末 會員
 大橋德太郎 會員
 杉村 富作 會員
 秋山 五郎 會員

豊原商工會議所

棒太豊原市

小林 降平 會頭 大通南一丁目 電二二四
 杉本 孝作 副會頭 大通南六丁目(會)電三二二 北二線東八番地(自)電三二四一
 木村 政勝 常議員 西一條南三丁目(會)電二二二(自)二四五四
 小田島未藏 常議員 大通南一丁目 電一七四〇
 出口 乙吉 常議員 大通南三丁目 電三六一・三〇一〇
 岡本 實 常議員 西一條南四丁目 電二四六五・三〇五〇
 井坂 林平 常議員 東一條南一二丁目(自)電二六二二 西一條南三丁目(店)電三三三三
 荒谷又與門 常議員 東一條南一二丁目 電二二二七

仙崎覺次郎 常議員 西五條南二丁目 電三〇四六
 駒村 健三 常議員 東一條南一二丁目 電二六七一
 内山四男也 理事 西一條北三丁目 電二八二四
 飯田 實 顧問 北海道拓殖銀行支店長 東一條南四丁目 電一〇四八(自)
 沖島 謙三 顧問 棒太百目新開社顧問 東三條南四丁目
 太田 鎮雄 顧問 棒太百目新開社社長 南三條南四丁目
 四日 榮造 顧問 豊原市會議長 西四條北二丁目 電二〇六七
 高橋彌太郎 顧問 豊原市長 東七條南五丁目 電二〇六八
 梅澤 源吉 顧問 王子棒太分社理事 北一條東八 電三一四一
 伊藤芳治郎 議員 旅館業 大

通北二丁目 電三六一・三二六
 二・三・六三
 安藤正之助 議員 時計商 西
 一條南四丁目 電三〇六
 杉本 孝作 議員 電氣業 大
 通南六丁目(會)電三二二 西
 二線東八番地(自)電三一四一
 木村 政勝 議員 魚菜卸賣市
 場 西一條南三丁目 電二四五四
 藤田松太郎 議員 毛皮 オツ
 トセイ製鞋部 北一條西一番地
 電二六五二
 仙崎覺次郎 議員 製材業 西
 五條南二丁目 電三〇四六
 石井 貞次 議員 米穀雜貨商
 大通南一〇丁目 電一九一四
 樋口 忠吉 議員 印刷業 東
 一條南四丁目 電二五三三
 齋藤 芳郎 議員 魚菜商 大
 南通二丁目 電二〇四一
 土肥榮四郎 議員 陶器商 大
 通南五丁目 電二二〇九
 石田長次郎 議員 旅館業 西
 一條南四丁目 電二四四九
 山吹 孝三 議員 洋器商 西
 一條南四丁目 電二四四九
 浦邊 一次 議員 酒類含有飲
 料製造 東一條南五丁目 電二六
 四一
 井坂 林平 議員 運送業 西
 一條南三丁目(店)電三三三三
 東一條南二丁目(自電)二六二
 荒谷又與門 議員 不動産買賣
 仲介業 東一條南二丁目 電二
 一三七
 關 捨六 議員 機械器具商
 大通南九丁目 電二六六一
 黑山善太郎 議員 古物問屋
 西三條南二丁目 電二六一〇
 齋藤 泰吉 議員 米穀雜貨商
 東五條南九丁目 電三三一
 北村 良一 議員 米穀商 大
 通南二丁目 電二〇七・三〇一
 五
 小林 隆平 議員 酒造業 米
 穀雜貨 大通南二丁目 電二一
 四
 早瀬 淺一 議員 洋服商 西
 一條南三丁目 電三〇三〇
 山中 金治 議員 吳服商 東
 一條南五丁目 電一九一八
 稻垣 利光 議員 洋品雜貨業
 一條南五丁目 電二八三五
 中村 憲策 議員 米穀雜貨商
 西一條南四丁目 電三〇二三
 駒村 健三 議員 電氣器具文
 房具商 東一條南二丁目 電二
 六七
 大野 須末 會頭 大野商事合
 名會社代表社員 榮町中通
 越川 良造 副會頭 樺太運輸
 株式會社重役 榮町南通
 小原 正義 理事 本町大通四
 丁目
 田邊庄次郎 常議員 榮町大通
 堂前 外吉 常議員 谷町
 鹽田 源次 常議員 旭町一條
 通一
 白岩 龜二 常議員 本町東二
 條南六
 佐々木勝造 常議員 本町東一
 條北三
 杉原 清助 常議員 榮町大通
 谷村 彌作 常議員 榮町大通
 梶 榮太郎 常議員 楠添町南
 一條

大泊商工會議所

大泊町八八

大橋 改 常議員 旭町一條
 通一
 茶谷 兼三 議員 榮町大通
 松本 芳男 議員 楠添町大通
 清藤 郁三 議員 旭町三條通
 二
 早川權兵衛 議員 榮町東一條
 二
 宮澤 惣吉 議員 榮町大通
 竹林陽太郎 議員 本町東一條
 南一
 坂本 勇吉 議員 榮町本通二
 清水 豊松 議員 船見町西一
 條
 木口 寅松 議員 楠添町大通
 水内 梅吉 議員 榮町大通
 横山 仁平 議員 榮町南通
 神代 勝利 議員 船見町東一
 條
 川西 壯吉 議員 本町東一條
 南五
 濱本 盛六 議員 大畑
 横山 常作 議員 榮町大通
 内田 國光 議員 榮町大通

眞岡商工會議所

眞岡町五五七

川村小一郎 議員 大畑
 榎森三之助 議員 榮町大通
 吉田 基 議員 濱通
 吉川 平八 顧問 本町大通南
 六
 植村 永稔 顧問 王子製紙大
 泊一長長 社宅
 扇田 彦助 顧問 株式會社森
 田商會 榮町濱通
 大橋徳太郎 會頭 眞岡町
 島田久四郎 副會頭 眞岡町
 平本 時助 理事 眞岡町
 江端 駒吉 常議員 眞岡町
 木谷留次郎 常議員 眞岡町
 合田 亮三 常議員 眞岡町
 西川 泰吉 常議員 眞岡町
 高森 末吉 常議員 眞岡町
 茶木竹太郎 常議員 眞岡町
 藤森 朗澄 常議員 眞岡町
 中村安太郎 議員 眞岡町
 川村 梅吉 議員 眞岡町
 近藤 貞造 議員 眞岡町
 土永 久松 議員 眞岡町
 村井 寅吉 議員 眞岡町
 田中 重盛 議員 眞岡町
 新保久一郎 議員 眞岡町
 三原 良一 議員 眞岡町
 井上 豊太 議員 眞岡町
 石井 善見 議員 眞岡町
 張間 三郎 議員 眞岡町
 池田 信吉 議員 眞岡町
 佐藤 信吉 議員 眞岡町
 板谷菊太郎 議員 眞岡町
 小田 義三 議員 眞岡町
 三井 評道 議員 眞岡町
 辻 清太郎 議員 眞岡町
 市町清太郎 議員 眞岡町
 梶原 學 議員 眞岡町
 吉江友之進 議員 眞岡町
 小濱 嘉七 議員 眞岡町
 波多野高行 議員 眞岡町
 村岡 貞三 顧問 眞岡町
 辻 清太郎 顧問 眞岡町
 三井 藤太郎 顧問 眞岡町
 石井 四郎 顧問 眞岡町
 秋山 五郎 會頭 榮町二丁目
 稻原 秀行 副會頭 初音町一
 丁目
 柳田小三郎 理事 千歲町四丁
 目
 細坪 久一 常議員 初音町二
 丁目
 百目木智讓 常議員 榮町二丁
 目
 渡邊 福市 常議員 壽町三丁
 目
 武田新太郎 常議員 炭礦社宅
 大鋸 友信 常議員 濱町北二
 丁目
 藤塚 永吉 常議員 初音町三
 丁目

知取商工會議所

知取町三五五

瑞助右衛門 常議員 榮町北一
 目 八木 芳信 議員 榮町北二丁
 目 一戸 要吉 議員 濱町二丁目
 大錦 友吉 議員 濱町北二丁
 川島 三平 議員 初音町一丁
 大懸順之助 議員 初音町二丁
 大熊己亥次郎 議員 榮町一丁
 目 內藤 泰一 議員 千歲町二丁
 目 村川與三郎 議員 初音町一丁
 加藤 源三 議員 初音町一丁
 小島幸一郎 議員 榮町三丁目
 樋口 一夫 議員 初音町二丁
 目 福井 善七 議員 初音町二丁
 池 千代吉 議員 初音町二丁
 目 尾形 彦太 議員 榮町北二丁
 目 結城 潤生 議員 濱町北二丁
 目 谷戸 隆重 議員 榮町北二丁
 目 深澤 久作 議員 本町三丁目
 目 尾張 吉治 顧問 萬代町北一丁
 目 水永 毅 顧問 王子社宅
 大島小謹吾 顧問 王子社宅
 近藤 次郎 顧問 千歲町三丁目

惠須取商工會議所

榑太 豐須取町南濱町二之二三
 電話 豐須取三〇二・七四六
 榑太 會頭 本町四丁目
 電二三四
 杉村 富作 副會頭 南濱町三
 目 電六二八・二二三
 古田 己酉 常議員 本町二丁
 目 電三三五
 田口 善一 常議員 南濱町三
 目 電三
 大泉長太郎 常議員 南濱町二
 目 電七七七
 小笠原隆平 常議員 北濱町四
 目 電三三一
 梅内 正雄 常議員 本町三丁
 目 電四六三
 石井 宗隆 常議員 本町三丁
 目 電一四四
 高村 純平 常議員 南濱町二
 目 電三五五
 燒田喜一郎 常議員 本町四丁目
 目 電一四〇・五八

三宅貞太郎 顧問 南濱町二
 目 電一九
 長澤 漸 顧問 惠須取一
 目 電九・一〇
 山口 六榮 顧問 南濱町二丁
 目 電一六
 池田 彌吉 顧問 本町四丁目
 電一〇五・八
 今村 俊 顧問 大平炭山
 電一五六・二五六
 久保田武男 理事 濱町南二
 目 電四一
 小川 三良 相談所主事 濱町
 二丁二
 窪田午三郎 議員 字大平 電
 大平一五
 中城 茂 議員 南濱町五丁
 目 電三四
 佐野熊太郎 議員 南濱町一丁
 目 電一九
 島田 德松 議員 本町四丁目
 電三六〇
 白石 石藏 議員 南濱町二丁
 目 電三九

阿部 佐助 議員 北濱町五丁
 目 電四九九
 佐野 惠策 議員 本町四丁目
 電二〇
 東田 朝吉 議員 武士町 電
 一五七
 金澤正一郎 議員 南濱町七丁
 目 電四〇五
 澤田 眞造 議員 本町四丁目
 電四三九
 波 德三郎 議員 惠須取一ノ
 一 電一三三
 八鐵 義三 議員 惠須取一ノ
 一 電三二二
 石川喜一郎 議員 本町四丁目
 電一一一
 太田市太郎 議員 本町三丁目
 電五五五
 吉田市太郎 議員 本町四丁目
 電六七
 榑原藏三郎 議員 本町二丁目
 電六一
 熊谷 匡一 議員 本町三丁目
 電三六一

數香商工會議所

阿部 寅七 議員 中島町 電
 三七
 糸井 勝則 會頭 數香町
 山下 嘉藏 副會頭 數香町
 松見 勇男 理事 數香町
 謙田 正三 常議員 數香町
 片山小彌太 常議員 數香町
 大杉 繁德 常議員 數香町
 池田 正三 常議員 數香町
 佐野 藤助 常議員 數香町
 中村佐一郎 常議員 數香町
 高橋譽太郎 常議員 數香町
 荒谷 市郎 議員 數香町
 內田 勝丸 議員 數香町
 岩下 高治 議員 數香町
 荒谷永次郎 議員 數香町
 老谷 留松 議員 數香町
 武居 晴雄 議員 數香町
 宮原 禮藏 議員 數香町

榑太辯護士會

榑太 豐原市榑太地方裁判所構内
 榑太辯護士會館
 電話 豐原一九二八番
 若泉小太郎 會長 豐原市東一
 條南四丁目 電一七五八
 菅沼寛太郎 副會長 眞岡町高
 濱町三 電三五四

産業組合長

高橋彌太郎 豐原實業懇和會
 信用組合 (設立大正四年十二月一
 十八日)
 山本 善吉 追分信用組合 販
 賣組合 購買組合 利用組合 (設

立大正八年十月十四日
寺崎 眞作 大谷信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立大正九年八月三日)
黒畑徳太郎 並川信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
大正十年五月二日)
忠 政之丞 豊原購買組合 利
用組合 (設立大正十年十二月二
日)
三好 政雄 白鷺信用組合
(設立大正十三年三月十八日)
島山伊三太 相濱信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立大正十五年七月十九日)
工藤久五郎 豊原農商購買組合
販賣組合 (設立昭和五年四月四
日)
金高 勘六 豊北養孤信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和五年四月十七日)
山本 省吾 落合町信用組合
(設立昭和五年六月二十日)
細入益太郎 柏濱信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和六年八月二日)
長谷川 横之介 豊原養孤販賣組
合 購買組合 利用組合 (設立昭
和八年十月二十日)
的場岩太郎 清川力行會信用組
合 販賣組合 購買組合 利用組
合 (設立昭和九年六月二十三日)
今堀 正雄 本川上信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和九年八月十日)
岡 養藏 内瀬信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十年十二月十六日)
田村惣次郎 落合養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和十
一年十二月二十三日)
熊谷 堅藏 大泊信用組合 利
用組合 (設立大正十年五月二十五
日)
安羅五右衛門 船見町養孤信用
組合 販賣組合 購買組合 利用
組合 (設立昭和三年十一月三十
日)
佐藤敬治郎 菅岸信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和四年六月五日)
堂前 外吉 大泊養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和八
年五月八日)
岡林 只八 南邊吉丹信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和八年八月十七日)
吉川 平八 大泊養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和十
年三月三十日)
齋藤 信平 上喜美内信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和十年五月十五日)
山田久次郎 瀬岩信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十年八月十四日)
瀬川吉太郎 濠瀨信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十一年一月二十一日)
原田 五郎 赤岩信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十一年五月二十六日)
木村 安平 下喜美内信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和十二年十二月七日)
鈴木桂次郎 留多加養孤信用組
合 (設立大正五年六月十五日)
鈴木 幸多 三郷信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立大正七年十一月二十九日)
松原 長松 雨龍信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和二年八月二十一日)
天野 筆作 豊榮信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和四年十月二十二日)
松本佐太郎 三郷製糖購買組合
販賣組合 利用組合 (設立昭和八
年四月六日)
戸塚金次郎 留多加養孤購買組
合 販賣組合 利用組合 (設立昭
和八年九月十六日)
山本 勝一 大豊信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十一年四月十三日)
有本 榮 小原信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合

立大正八年十月十四日
畑 忠次郎 本斗信用組合 利
用組合 (設立大正十一年三月十八
日)
三浦 義男 十和田農信用組
合 購買組合 販賣組合 利用組
合 (設立昭和四年六月十一日)
館 宗義 本斗購買組合 販
賣組合 (設立昭和六年八月十九
日)
武田 多助 内幌村信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和六年八月二十九日)
塚本喜太郎 本斗郡木炭販賣組
合 購買組合 (設立昭和九年七月
二十六日)
葛岡 丑吾 海馬村農信信用組
合 販賣組合 購買組合 利用組
合 (設立昭和九年十一月二十四
日)
吉田榮太郎 本古丹信用組合
販賣組合 購買組合 (設立大正六
年二月十六日)
佐藤 卯吉 野田信用組合 (設
立大正七年四月二十日)
(設立昭和五年六月二十日)
細入益太郎 柏濱信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和六年八月二日)
長谷川 横之介 豊原養孤販賣組
合 購買組合 利用組合 (設立昭
和八年十月二十日)
的場岩太郎 清川力行會信用組
合 販賣組合 購買組合 利用組
合 (設立昭和九年六月二十三日)
今堀 正雄 本川上信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和九年八月十日)
岡 養藏 内瀬信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十年十二月十六日)
田村惣次郎 落合養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和十
一年十二月二十三日)
熊谷 堅藏 大泊信用組合 利
用組合 (設立大正十年五月二十五
日)
安羅五右衛門 船見町養孤信用
組合 販賣組合 購買組合 利用
組合 (設立昭和三年十一月三十
日)
村田 乙吉 登富津信用組合
利用組合 (設立大正十二年十二
月四日)
吉田 源藏 雫地村信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和二年二月二十六日)
堀川 弘政 小能登呂信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和三年六月二十六日)
藤森 朗澄 眞岡町信用組合
(設立昭和四年三月二十二日)
和泉 萬槌 瑞穂信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和七年十一月七日)
堀川 弘政 小能登呂養孤販賣
組合 購買組合 利用組合 (設立
昭和八年五月三十一日)
水越庄三郎 豊養孤信用組合
販賣組合 購買組合 利用組合
(設立昭和八年十月二十六日)
塗師岡松太郎 眞岡養孤販賣組
合 購買組合 利用組合 (設立昭
和十年一月十日)
三輪 榮正 一殿信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十年五月十七日)
藤野喜四郎 逢坂信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和十一年十二月五日)
坂垣外次郎 泊居町信用組合
(設立大正六年一月六日)
佃 佐市 久春内興進社信用
組合 利用組合 (設立大正七年一
月九日)
赤塚 健吉 牛毛共榮社信用組
合 販賣組合 購買組合 利用組
合 (設立大正七年四月二十三日)
穴田龍太郎 名寄信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立大正七年十月九日)
川崎 吉松 泊居同榮社信用組
合 販賣組合 購買組合 利用組
合 (設立昭和八年十月十六日)
長崎平三郎 小田洲共榮社信用
組合 販賣組合 購買組合 利用
組合 (設立昭和十年五月十五日)
加賀谷彦三 泊居養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和十
年七月四日)
宮内 忠良 久春内興進販賣組
合 購買組合 (設立昭和十一年九
月二十六日)
池田 彌吉 惠須取町信用組合
利用組合 (設立大正十二年五月十
八日)
橋本孝之助 名好信用組合 販
賣組合 購買組合 利用組合 (設
立昭和六年七月十日)
三好貞太郎 鶴城共榮社信用組
合 購買組合 販賣組合 利用組
合 (設立昭和九年一月十三日)
小田 正作 惠須取町興農信用
組合 購買組合 販賣組合 利用
組合 (設立昭和九年六月二十一
日)
遠藤啓次郎 鶴城養孤販賣組合
購買組合 利用組合 (設立昭和十
年五月三日)
池田 彌吉 惠須取養孤販賣組
合 購買組合 利用組合 (設立昭
和十年一月十日)

和十二年二月十七日)

中里 寅吉 元泊信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立大正十二年二月二十四日)

高平 春雄 自治記念購買信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立大正十二年六月十五日)

辻 博雄 知取町信用組合 (設立大正十二年七月二十六日)

山田 準造 櫻保信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和九年二月六日)

丸山 進 知取益池販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和九年五月十日)

坂本 作次郎 馬群澤興農信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和十年五月十日)

三宅 貞太郎 知取直産販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和十二年五月十五日)

高橋伊勢松 元泊村興農販賣組合 購買組合 利用組合

秋野 豊治 敷香信用組合 (設立大正十四年二月十四日)

和田 藤太郎 内路信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和五年八月十二日)

川端 操 敷香信農信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和九年六月二十七日)

赤松 正一 新岡信用組合 販賣組合 購買組合 利用組合 (設立昭和九年六月二十七日)

千葉 常雄 上敷香信用組合 (設立昭和十一年七月二十日)

柏木 藤吉 氣田信用組合 (設立昭和十一年九月二十九日)

阿知波佐次 副組合長 豐原副組合長

寺崎 治作 副組合長 泊岸組合長

沼澤久之助 理事 豐原書記長

栗田 定一 幹事 豐原組合顧問

大橋 秀次 幹事 豐原組合顧問

四日 榮造 幹事 常議員

高田 安巳 幹事 常議員

黒田 喜一 幹事 評議員

木口 寅松 幹事 大泊組合顧問

吉田 基 幹事 幹事

白岩 龜二 幹事 幹事

高杉淺次郎 幹事 幹事

中野 吉平 幹事 留多加組合顧問

中井淺之助 幹事 副組合長

田中 伍郎 幹事 本斗組合顧問

濱桐 太郎 幹事 副組合長

大家三郎平 幹事 內堀組合顧問

長澤 通 幹事 副組合長

阿部 寅七 幹事 眞岡組合顧問

畑山喜一郎 幹事 副組合長

辻 清太郎 幹事 幹事

佐渡才之進 幹事 野田組合顧問

菅沼藤三郎 幹事 幹事

佐藤 義一 幹事 泊岸副組合顧問

衛藤 文雄 幹事 幹事

森 一保 幹事 幹事

増澤 長作 幹事 幹事

大泉長太郎 幹事 惠須取組合顧問

澤田 眞造 幹事 副組合長

大内秀太郎 幹事 會計

本間 彌吉 幹事 幹事

佐野 惠策 幹事 幹事

杉本 徳藏 幹事 評議員

川嶋哲太郎 幹事 塔路組合顧問

山口三之介 幹事 副組合長

長崎 春松 幹事 名好組合顧問

榊太請負業組合聯合會

榊太 實 會長 豐原組合顧問

遠藤 實 副會長 大泊組合顧問

佐々木勝造 副會長 大泊組合顧問

豊原請負業組合

大橋 秀次 顧問

栗田 定一 顧問

遠藤 實 組合長

阿知波佐次 副組合長

四日 榮造 常議員

高田 安巳 常議員

武田 好一 常議員

杉山 和輔 常議員

佐々木三之介 常議員

庄内 貞雄 評議員

小川 喜久 評議員

藤井 信一 評議員

山口 與作 評議員

黒田 喜一 評議員

衣川 安雄 評議員

森 有信 評議員

中井戸芳太郎 評議員

沼澤久之助 書記長

石島 孝 豊原市西一南七

電五五四 入川福太郎 豊原市小沼香外

板垣 忠雄 豊原市東一南九

長谷川源藏 豊原市西二南一

電五二二 小川 喜久 豊原市大通南八

電三〇〇 井出 義雄 豊原市東一南八

電一七二二 阿知波佐次 豊原市西四南一

電一九〇五・二六〇三 森山 久吉 豊原市大通北七

電七四六 大野 秋藏 豊原市唐松

大橋 秀次 豊原市西四南三

電二〇八・二二三・二七三〇 栗田 定一 豊原市西三南一

電三二三 波邊市太郎 豊原市大通南一〇

電三二五五 佐々木時造 豊原市大通南一

電三三五 菅野 勇 豊原市東一南六

電三三六

日本土木建築業組合聯合會

豊原市

遠藤 實 幹事

阿知波佐次 幹事

佐竹喜一郎 幹事

金川 親治 幹事

片山小彌太 幹事 敷香組合顧問

田森 理一 幹事 副組合長

横田 秀松 幹事

鎌田 正三 幹事

渡邊 福一 幹事 知取組合顧問

植田 誠一 幹事 副組合長

鈴木源太郎 幹事 元泊組合顧問

相内寅次郎 幹事 評議員

平澤 弘美 幹事 落合組合顧問

青木源太郎 幹事 副組合長

三浦 常松 幹事

福永 源吾 幹事 川上組合顧問

久保田彦太郎 幹事

日本土木建築業組合聯合會 榊太支部

豊原市

遠藤 實 支部長

沼澤久之助 理事

佐々木勝造 評議員

中野 吉平 評議員

大家三郎平 評議員

田中 伍郎 評議員

阿部 寅七 評議員

佐渡才之進 評議員

寺崎 治作 評議員

大泉長太郎 評議員

川嶋哲太郎 評議員

長崎 春松 評議員

片山小彌太 評議員

渡邊 福市 評議員

鈴木源太郎 評議員

平澤 弘美 評議員

福永 源吾 評議員

河野 由松 豐原市小沼
 金澤 未藏 豐原市北二線東一
 電二四〇五
 四日 榮造 豐原市西三北一
 電二〇六七
 吉田 彦吉 豐原市西四南一
 電五三五五
 高橋台五郎 豐原市唐松
 高田 安巳 豐原市東三南一三
 電二五二一
 武田 好一 豐原市西四南一
 電三三四四
 竹内 由松 豐原市東八南三
 杉山 和輔 豐原市西一南一〇
 電三五五四
 中井戸芳太郎 豐原市小沼 電
 小沼八
 中山 善武 豐原市大通南三
 電二〇二一
 成田 なみ 豐原市大通南七
 電一七五二

村上泰次郎 豐原市東五南九
 電二六三
 植村新太郎 豐原市小沼
 牛田紳二郎 豐原市西四北二
 電二九四
 國枝 寅吉 豐原市西一南六
 電六三三五
 黒田 喜一 豐原市東一南三
 山田 八郎 豐原市西六南一
 柳本徳次郎 豐原市西五南一〇
 電五二一五
 山口 與作 豐原市東一南五
 電四六〇
 八重樫重三郎 豐原市東一南三
 藤原重次郎 豐原市北一線東一
 藤井 信一 豐原市西一南九
 電二〇三二
 藤田松太郎 豐原市北一線西一
 電六五二
 藤野喜四郎 豐原市東六南八
 電二〇四七

衣川 安雄 豐原市西一北一
 電一八五八
 遠藤 實 豐原市東三南三
 電〇三二・二〇三六・二〇三一
 手束 昇 豐原市西一南一〇
 出口 乙吉 豐原市大通南三
 電三六一・三〇一〇
 淺野物産株式会社 豐原市東
 七南九
 赤田健三郎 豐原市東一南七
 電二八一
 佐久間徳治 豐原市大通南三
 電三三九
 坂本 佐一 豐原市西四南一
 電二八七三
 佐々木三之介 豐原市西五北一
 電二七〇六
 里村 昂地 豐原市西五南一
 電三二七
 齋藤 幸吉 豐原市西一北一
 電四三三一
 坂本傳次郎 豐原市大通南九

電二七四七
 北村徳太郎 豐原市東三南四
 電五五〇
 渡邊芳之助 豐原市東一北一
 電三五六
 金高 勘六 豐原市小沼
 三浦 長八 豐原市西一南一
 白井 組 豐原市東五南九
 電五一九・二五五九
 庄内 貞雄 豐原市西一南五
 電四四六・二六三七
 米 勝 豐原市西一南九
 平塚 直助 豐原市西一南一〇
 電五四〇
 森田 清進 豐原市西一南九
 電一九六五
 森 有信 豐原市東一南一
 電一八八四
 仙崎覺次郎 豐原市西五南一
 電二〇四六
 末松 豊美 豐原市西一南一〇
 電六一八
 菅井傳兵衛 豐原市東一南三
 電三三三一

三六

渡邊 亮策 豐原市北二線東一
 四 電二五八七
 寺井 國松 豐原市西三南一
 渡邊彦太郎 豐原市東一南五
 池田淺次郎 豐原市南一線東一
 三 電一〇二〇
 金高孫太郎 豐原市小沼 電一
 田口市十郎 豐原市南四線東一
 電二〇六

大泊請負業組合
 佐々木勝造 組台長
 木口 寅松 副組台長
 白岩 龜二 幹事
 高杉淺次郎 幹事
 吉田 基 幹事
 堂前 外吉 幹事
 竹林陽太郎 幹事
 濱本 盛六 幹事
 小野垣繁治 幹事

角 榮作 幹事
 今堀作太郎 幹事
 上野 三郎 幹事
 森田 商會 會計
 鈴木榮三郎 書記長

佐々木勝造 大泊町本町東一
 北三 電二〇六・七七四
 木口 寅松 大泊町榎原町大通
 電三八九
 佐藤幸三郎 大泊町榎原町南一
 條三 電三八〇
 清水 竹雄 大泊町榎原町大通
 九ノ一 電二二四
 森勢 永作 大泊町船見町東四
 條通 電七四〇
 鈴木熊次郎 大泊町本町東一
 南一 電七九
 相馬松太郎 大泊町本町西一北
 一 電八八九
 飛鳥 組 大泊町瀧町 電九
 四五
 菊谷 組 大泊町清水町香外

地 電八一八
 角 榮作 大泊町榎原町大通
 五丁目 電一九八
 高杉淺次郎 大泊町本町東一
 南一 電七六五
 濱本 盛六 大泊町大畑 電五
 七
 成田英三郎 大泊町船見町東三
 條 電二一〇
 平山 定助 大泊町古牧町三〇
 八樫 豊吉 大泊町本町東三
 南一 電六八八
 吉田 基 大泊町通町四ノ二
 五 電九三八
 笹井 安一 大泊町榮町南仲通
 一九 電二六四
 宮澤友治郎 大泊町榮町大通一
 四 電一〇七
 竹林陽太郎 大泊町本町東一
 南一 電九三二
 堂前 外吉 大泊町谷町 電一
 五四
 阿部 藤吾 大泊町清水谷町東

一南三 電八一六
 今堀作太郎 大泊町船見町西通
 一ノ七 電一〇〇四
 森田 商會 大泊町榮町通一
 〇 電一八
 佐藤 長治 大泊町船見町通
 一一 電八〇一
 川崎嘉一郎 大泊町王子南七五
 電八〇
 江良 利助 大泊町船見町東三
 條
 仁平 常松 遠瀬村遠瀬字茂志
 利
 長野 又吉 大泊町本町東一
 北一
 白岩 龜二 大泊町本町西一
 南五 電六三四
 本多松次郎 千歲村字長藤中
 里一九
 館山 源一 長瀬村字長藤
 平山孫四郎 長瀬村字長藤
 福本甚太郎 遠瀬村字遠瀬一四
 六

畑中 幸吉 長濱村長濱
 小野垣繁治 大泊町楠溪町南一
 條五 電二三四
 池田惣太郎 大泊町船見町東一條
 三八 電五三一
 樺太コンクリート 大泊町楠
 工業合資會社
 深町通一ノ一 電二三
 中井金太郎 大泊町本町大通南
 五 電二〇二二
 宮下銈太郎 長濱郡知床外知床
 皆別無番地
 夷藤 十松 大泊町船見町本通
 二ノ八
 守岡 三郎 大泊町船見町東一
 條三 電九八六
 上野 三郎 大泊町本町西一條
 五 電二六二
 森勢字八郎 大泊町船見町東四
 條四九
 扇田 彦助 大泊町榮町通
 森田會内
 遠藤 轡雄 知床村字彌瀨五三
 上荷 敬一 知床村字彌瀨五三
 伊達 瀧夫 知床村字皆別
 吉岡 芳二 知床村彌瀨
 武田 留吉 遠瀨村遠瀨
 留多加請負業組合
 中野 吉平 組合長
 中井淺之助 副組合長
 遠藤小一郎 幹事
 榎本 達藏 幹事
 柏原 清二 幹事
 中野 吉平 留多加町大通二九
 電一〇七
 中井淺之助 留多加町三郷村多
 爾内濱 電一〇
 遠藤小一郎 留多加町香地外
 電二八
 島田 讓 留多加町川口字元
 町八電二三
 渡邊 一郎 西留多加町東町
 電三五
 前田 由藏 西留多加町大豊六
 榎本 達藏 西留多加町中町一
 一 電二三〇
 廣田 幸雄 西留多加町本町右
 一九
 柏原 清二 西留多加町中町一
 八 電六八
 甲斐 直一 西留多加町本町右
 三九
 山岡仁三郎 西留多加町能登呂
 村字知志谷
 白幡 鶴吉 内幌村東一條一
 電五七
 大家三郎平 内幌村東一條一
 電五九
 山崎兵次郎 内幌村水主字越内
 成田 元義 内幌村東一條四
 西木 喜平 内幌村上内幌澤大
 通四
 野村 喜一 内幌村上内幌澤一
 一〇
 石戸谷混雜 内幌村大通五丁目
 泊谷 善治 内幌村東一條五丁
 目
 大橋 善次 下内幌澤九ノ二六
 山田 正見 下内幌澤一四
 長澤 通 下内幌澤一七
 工藤 定吉 内幌村東一條三ノ
 六
 小野田富治 内幌村
 吉田 與三 内幌村
 工藤 源藏 内幌村
 志田勘太夫 内幌村

本斗請負業組合

田中 伍郎 組合長
 濱桐 太郎 副組合長
 高橋 基繼 幹事
 長雄 博 幹事
 宇野金三郎 幹事
 遠藤壽計一 本斗町大通一 電
 六二
 田中 伍郎 本斗町山通一 電
 四七
 濱桐 太郎 本斗町吐混保澤
 宇野金三郎 本斗町中通一 電
 一三三
 小林友次郎 本斗町南濱通一
 阪田榮次郎 本斗町南濱通二
 高橋 基繼 本斗町大通九 電
 一五四
 若山 成 本斗町西濱通一
 電四四
 古川 重素 本斗町通六 電
 一三八
 葛西勝三郎 本斗町山通三 電
 一六八
 長雄 博 本斗町南濱通一
 電七八
 阿部 幸吉 本斗町通濱通九
 眞岡請負業組合
 阿部 寅七 組合長
 畑山喜一郎 副組合長
 可知五一郎 會計
 茂木 熊藏 幹事
 藤野喜四郎 幹事
 雨宮 武雄 幹事
 佐藤 寅雄 幹事
 竹内 太七 幹事
 工藤綱五郎 幹事
 篠田 善藏 幹事
 久保田光次郎 幹事
 辻 清太郎 幹事
 氏家 利夫 幹事

内幌請負業組合

大家三郎平 組合長
 長澤 通 副組合長
 成田 元義 會計幹事
 泊屋 善義 幹事
 大橋 善次 幹事
 山崎兵次郎 幹事
 本庄谷榮藏 眞岡町本町六 電
 一四六
 藤田 嘉平 眞岡町高濱町區畫
 外地 電五二
 木谷留次郎 眞岡町本町一 電
 七〇
 片野 八郎 眞岡町本町七 電
 五一〇
 竹内 太七 眞岡町本町六 電
 七四三
 津田 勇吉 眞岡町北濱町七
 電五〇
 阿部 寅吉 眞岡町南濱町一
 電五一
 茂木 熊藏 眞岡町山手町一
 石川 春好 眞岡町高濱町一
 電七四〇
 雨宮 武夫 眞岡町高濱町三
 電七三八
 坊 周造 眞岡町旭町三一
 逆瀬川孫次郎 眞岡町南濱町三
 電五六六
 淺野富右衛門 眞岡町山手町五
 電七二〇
 辻 清太郎 眞岡町南濱町二
 電六八
 可知五一郎 眞岡町永濱町二
 電七八
 大橋徳太郎 眞岡町本町一 電
 四五
 畑山喜一郎 眞岡町本町六 電
 一五
 太田辰之助 眞岡町高濱町
 松本 政男 眞岡町高濱町
 片岡金四郎 眞岡町永濱町一
 電五六四
 栗原 源藏 眞岡町北濱町四
 電四〇〇
 工藤 柁吉 眞岡町本町八 電
 六〇五
 工藤綱五郎 眞岡町水濱町四
 佐藤 寅雄 眞岡町山下町一
 電八三七
 篠田 善藏 眞岡町榮町六 電
 六一
 井本熊次郎 眞岡町山手町五
 三

電一〇三

伏見 高堅 眞岡町石濱町三
佐藤 幸雄 眞岡町廣地村字廣地

高橋 勇男 眞岡町廣地村字廣地
地 電二七

旗手 兼一 眞岡町南濱町八
電六五二

氏家 利夫 眞岡町關泊村青外
地 電三一

藤野喜四郎 眞岡町清水村逢坂
電一

加藤 鐵治 眞岡町清水村逢坂
電一九

大竹 忠作 眞岡町榮町三
電七三六

寺門 忠一 眞岡町清水村一
久保田光治郎 眞岡町南濱町

五 電二二六
田井 貢 眞岡町關泊村院泊

澤七

野田請負業組合

佐渡才之進 組合長

東川 彦三 副組合長

菅沼藤三郎 幹事

宮内 喜助 幹事

眞崎 千吉 幹事

竹内 美登 幹事

長谷川又次郎 野田町 電三二

堀口 金松 登富津

中野 平吉 野田町 電一〇七

宮内 喜助 野田町 電二三八

東川 彦三 野田町

眞崎 千吉 野田町

山口 浦吉 野田町

竹内 美登 小野登呂

黒岩 清次 小野登呂

菅沼藤三郎 野田町 電一〇五

佐藤才之進 野田町 電二六五

濱本 吉藏 野田町

山崎彌三郎 野田町

龜田 萬吉 野田町 電一〇一
高橋由太郎 登富津

泊居請負業組合

寺崎 治作 組合長

佐藤 義一 副組合長

衛藤 文雄 副組合長

本間 幸吉 會計

森 一保 幹事

小林 祐安 幹事

保知 清吉 幹事

河野 善次 幹事

佐野佐太郎 幹事

北 樺 組 幹事

玉水萬次郎 幹事

増澤 長作 幹事

古村啓太郎 幹事

山本 英一 囑託書記

森 一保 泊居町高松町五
電三一

寺崎 治作 泊居町松ヶ枝町一

三

電二七・三四〇
武田佐一郎 泊居町千歲町五
電一七一

佐野佐太郎 泊居町入船町九
電一七

菊地 留七 泊居町松ヶ枝町二

小林 祐安 泊居町相生町一
電三四二

福 範 經 泊居町南本町四
電六一

澤田 未吉 泊居町入船町二
電六一

古村啓太郎 泊居町相生町一
電二五六

高山 正雄 泊居町入船町五
電一四七

津谷辰五郎 泊居町早下町五
電一四八

衛藤 文雄 泊居町宇比良 電
一六九 三二〇

佐藤 傳吉 泊居町南本町八

永沼章太郎 泊居町松ヶ枝町五
電二六一

鄭 千 壽 泊居町梅ヶ枝町八

名本梅次郎 泊居町南本町八

加賀谷彦三 泊居町丸友ノ澤
電三三九

仲山苗太郎 泊居町江部船調
森元久次郎 泊居町北泊帆 電
三五九

大津 高藏 泊居町相生町一
電六

本間 幸吉 泊居町千歲町四
電三五

櫻井作太郎 泊居町大字村門

川崎 吉松 泊居町大字追手

榎本富太郎 泊居町大字區榮

杉浦幸太郎 名好村名好一三九

河野 善次 名好村名好一四〇

石塚 勝治 名好村大榮

丹波 章治 名好村名寄五七

新妻富次郎 久春内郡久春内村
大通三 電四

天滿次三郎 久春内郡久春内村
大通五 電四五

玉水萬次郎 久春内郡久春内村
大通三 電三

保知 清吉 久春内郡久春内村
大通三 電三〇

柳瀬 秋市 久春内郡久春内村
寶澤三三

佐藤 義一 濱村珍内知志 電
一九

千葉 平吉 三濱村仲町六

榎 喜作 三濱村本町二 電
四一

佐々木清助 三濱村本町二 電
四三

玉井 定吉 三濱村仲町五 電
五七

佐々木芝朗 三濱村仲町五 電
一〇

北 樺 組 三濱村本町二 電
二二 二六

石黒 武義 三濱村山手町一
電六七

高橋 久松 三濱村旭町八

入川福太郎 三濱村下大川

金 千壽 三濱村本町一

船木 晋吉 三濱村本町一

寺島 健 三濱村珍内辰鏡

増澤 長作 三濱村留久志二六

野呂眞十郎 三濱村留久志一〇

渡邊 三治 三濱村小田州一

齋藤藤太郎 三濱村小田州一

矢戸健次郎 三濱村幸濱惠比須

三益 喜藏 三濱村小田州

佐藤 征夫 三濱村珍内

西田梅太郎 三濱村珍内仲町三

大泉長太郎 組合長

澤田 眞造 副組合長

大内秀太郎 會計

本間 彌吉 幹事

佐野 惠策 幹事

杉本 徳藏 評議員

阿部 寅七 評議員

今野 久藏 評議員

金子 鐵藏 評議員

大泉長太郎 組合長

澤田 眞造 副組合長

大内秀太郎 會計

本間 彌吉 幹事

佐野 惠策 幹事

杉本 徳藏 評議員

阿部 寅七 評議員

今野 久藏 評議員

金子 鐵藏 評議員

川崎吉三郎 評議員

廣井伊豆久 評議員

丸 豐富 評議員

井上 作藏 評議員

矢島 信也 評議員

石田 寅藏 評議員

大泉長太郎 惠須取町南濱町二
本店七七 工場七〇三

大内秀太郎 惠須取町南濱町五
電 四三四

廣井伊豆太 惠須取町南一條一
電三三五

石井 友衛 惠須取町南濱町一
電三三七

菅野吉三郎 惠須取町南濱町六
電一六三

杉本 徳藏 惠須取町南濱町四
電二二七

菅野 友利 惠須取町本通一

本間 彌吉 惠須取町惠須取一
電五

小池録太郎 惠須取町大平香外

内海 由松 塔路町
 伊野金三郎 塔路町
 秦 玄誠 塔路町三義地區
 森川 益三 塔路村塔路濱
 阿部 良三 塔路町西恩洞
 金子 鐵藏 塔路町塔路濱
 小笠原隆平 塔路町塔路濱
 大内秀三郎 塔路町鐘紡地區
 金高 勘六 塔路町泉町
 依田 忠雄 塔路町本町六丁目
 薄衣 良藏 塔路町日ノ出町三丁目
 坂本 佐一 塔路町鐘紡地區
 照井 運助 塔路町千結西橋用
 小池鐵太郎 塔路町白鳥澤
 宮本康太郎 塔路町千結
 竹田 米吉 塔路町濱塔路
 吉嶺 正志 濱路町西恩洞
 朴 道 成 濱路町西恩洞
 深谷 建司 濱路町絲音
 沼倉傳三郎 濱路町末廣町三

小池録太郎 濱路町白鳥澤
名好請負業組合
 長崎 春松 組合長
 太田 宮藏 副組合長
 大塚 啓吾 幹事兼會計
 大山 唯應 幹事
 三上 二郎 幹事
 佐竹喜一郎 幹事
 小田部 或 幹事
 金川 親治 幹事
 元木與三郎 幹事
 林 清一 幹事
 照井 運助 評議員
 阿部 國雄 評議員
 伊原 末治 評議員
 山本金之助 評議員
 西川 嘉吉 評議員
 大橋 善治 評議員
 笠井 進三 評議員

千村 鶴鶴 常任理事
 長崎 春松 名好郡名好村大字
 名好北二ノ二 電六七
 三上 二郎 同北四ノ三 電一
 六
 佐竹喜一郎 同北小澤香外地
 阿部 國彦 同
 西川 嘉吉 同北一ノ二 電一五
 一五
 伊原 未治 同名好香外地
 元木與三郎 同西欄丹五七
 電一八
 林 一郎 同安別電安別
 電八
 松本 正 同知内香外地
 小原喜代治 同安別字明石
 山下金之助 同西欄丹六八
 電二
 八木橋友作 同沃内香外地
 電四
 金川 親治 同同電三
 照井 運助 同同電八

北平卯之助 同西欄丹香外地
 唐澤 恒 同同電一
 成田 源治 同沃内七 電一七
 七
 川又 敬 同北四條
 大塚 啓吾 同北三ノ二
 小田 部或 同北一ノ三 電一五
 五四五
 太田 宮藏 同名好香外地
 電三九
 大山 唯應 同北一ノ三
 笠井 進三 同豐畑香外地
 山本松太郎 同沃内香外地
 電二三
 竹内 留七 同北三條三ノ五
 小川 徳市 同西欄丹香外地
 電二二 二四 二五
 藤原 長市 同本通丁目
 大原 好美 同本通官行折伐事務所
 近藤 才一 同西欄丹香外地
 八重樫重三郎 同北小澤香外

地
 庄内 定雄 同同
 山本安太郎 同西欄丹
 武田 好一 同同
 木村喜三郎 同名好村
 大橋 善治 同小澤
 遠藤 實 同同
 山口三之助 同同
 宇野金三郎 同同
 白岩 龜治 同同
 若林 清一 同同
 龜岡 茂 同同
 川本一太郎 同同
 桐山 茂 同同
 小田嶋三郎 同同
 石田 寅藏 同北小澤香外地
 辻 清吉 同同
 川嶋哲太郎 同同
 高橋藤一郎 同同
 磯島 靖一 同同
 高井 繁徳 同北小澤
 山形 正利 同同

丸豊 富 同諸津
 遠藤茂三郎 同西欄丹
 高橋 笹市 同沃内
 山邊 長榮 同同
敷香請負業組合
 片山小彌太 組合長
 田森 理一 副組合長
 遠藤 福夫 副組合長
 糸井 良七 幹事
 村上彦四郎 幹事
 土田彦太郎 幹事
 水野 新作 評議員
 渡邊 組 評議員
 鎌田 正三 評議員
 山中 商會 評議員
 土田虎太郎 評議員
 大村合資會社 評議員
 小林 七朗 書記長
 片山小彌太 敷香町千草通一
 電八

田森 理一 敷香町本通北一
 電三四
 村上彦四郎 敷香町山手通南二
 電三三二
 横田 秀松 敷香町山手通南一
 電三一
 糸井 良七 敷香町宮通北一
 電二一
 中島才太郎 敷香町東一北六
 電四三四
 藤戸榮次郎 敷香町東一北四
 電四四〇
 平井 萬榮 敷香町河岸通北三
 電三五
 黒澤 清吉 敷香町宮通南一
 電三八
 柏木 藤吉 同氣中北四 電六
 山中 商會 同同電四五
 三
 鈴木留十郎 同小松通南一
 電四六三
 長谷部敬一 敷香町千草通北二

電五八
 木村 仁吉 敷香町東一北一
 電五一一
 土田虎太郎 敷香町本通南七
 電一三四
 水野 新作 敷香町本通北二
 電六六一
 林 勘十郎 敷香町小松通北二
 電四二二
 大川小次郎 敷香町千草通南一
 川淵 要松 敷香町東一南一
 電五二三
 鎌田 正三 敷香町宮通北一
 電一一
 高谷 義夫 敷香町東多來加
 電五五四
 海陸運輸株式會社 敷香町河
 岸通南一 電五七
 森田 清進 敷香町東一北一
 電五三八
 大村合資會社 敷香町東多來加

電三八

川村 德壽 敷香町千草通南三
電五三六

富崎 雄 敷香町東一北六
電一三六

渡邊 彦太郎 敷香町東一北一
電一〇四

橋本 傳吾 敷香町内川
電一〇四

村上 鶴仙 敷香町
電一〇四

木村 繁 上敷香
電一〇四

土屋 巳三男 内川
電一〇四

武井 民雄 敷香町内川 電一
七

北 樺 組 敷香町西多來加
電二二二

奥谷 孝一 敷香町新聞基
電五五

山邊 永造 敷香町新聞基
電五五

大野 善太郎 敷香町新聞基 電一
〇

橋本 組 敷香町小松通西一
電一〇四

電四五六

栗山 順太郎 敷香町宮通南三
電二三七

相内 金三郎 敷香町宮通北三
電五五七

水島 與太郎 敷香町宮通北一
電六五九

中卯 商會 敷香町宮通北二
電一〇〇

大澤 淺太郎 敷香町敷香區劃外
電一〇〇

清水 兼吉 敷香町千草通南一
電一五四

秋葉 庄四郎 敷香町大通北三
電六八

遠藤 福夫 敷香町北一區劃外
電三五五

畑中 昇 敷香町東一北四
電七三七

佐藤 富藏 敷香町宮通南二一
電六四七

高山 清吉 敷香町東一北四
電六六六

宮本 良造 敷香町東一北四
電六六六

電五六八

大山 唯應 敷香町東一北六
電五九

島田 實 敷香町東一北六
電二三

宇野 甚作 敷香町西一北三
電二三

田中 一郎 敷香町西一北六
電二三

淺野 辰之助 敷香町泊
電二三

森本 角右工門 岸敷香町大通北
六 電二三

氏家 幸四郎 敷香町内路末唐町
電三三

野崎 丑松 敷香町本町
電一四

佐藤 忠次郎 敷香町本町
電一四

高梨 芳太郎 敷香町寶町 電一
五

稻荷 勝十郎 敷香町幸町 電五
一

新岡 彌五郎 敷香町本町 電一
四

新谷 倉治 敷香町本町 電一
四

阿部 金三郎 敷香町本町 電五
四

電九

武居 重幸 敷香町本町 電六
九

竹内 實 敷江郡淺瀨
電六

保田 藤松 敷江郡西野頃 電
一〇

佐藤 安太郎 敷江郡小泊
電一〇

森川 爲太郎 敷江郡佐連
電一〇

吉川 彌三松 敷江郡西野頃 電
六

能登 外次郎 敷香町東一北二
電三三六

田中 組 上敷香
電三三六

廣野 組 敷香數
電三三六

多東 組 敷香數
電三三六

中根 組 敷香數
電三三六

遠藤 組 敷香數
電三三六

淺倉 由太郎 敷香町西一ノ北六
電六六〇

松崎 榮 敷香西一ノ北六
電五四一

伊藤 新五郎 内川
電五四一

藤井 組 床佐
增田 商事 山越

知取請負業組合

渡吳 福市 組合長

笠問 義之助 副組合長

植田 誠一 幹事

金子 熊治 幹事

八木 芳信 幹事

馬場 宇之吉 幹事

泉 與作 幹事

瀧下 重雄 幹事

植田 誠一 知取町旭町北一
電三四八

渡邊 福市 知取町萬代町三
電四七 一五二 三四〇

金市 熊治 知取町壽町一 電
一〇九

笠問 義之助 知取町常盤町三
電四

八木 芳信 知取町本町北一
電四一八

渡邊 彦太郎 知取町萬代町三
電四七 一五二 三四〇

泉 與作 知取町壽町一 電
六九

中里 廣 知取町本町北一
電二二二

小崎 與八 知取町榮町一 電
三〇七

馬場 宇之吉 知取町壽町一 電
一四四

瀧下 重雄 知取町富士町川北
電六八 三六〇

窪田 繁太郎 知取町榮町三 電
一三三

女池 安之助 知取町常盤町一
電二六三

木村 理三郎 知取町本町一ノ一
電二六三

衣川 安雄 知取町東柵
電二六三

今井 兵太郎 知取町字北邊古丹
電二六三

中島 才太郎 知取町字北邊古丹
電二六三

元泊請負業組合

鈴木 源太郎 組合長

小林 磯松 副組合長

相内 寅次郎 評議員

三瓶 正信 評議員兼書記

三瓶 正信 元泊村字榮村 電
二二一

小株 磯松 元泊村新濱 電一
二一

小田 島三郎 元泊村元泊 電一
一四

相内 寅次郎 元泊村字橋保濱
電一四

藤田 源造 元泊村字橋保濱
電一四

鹽谷 弘政 元泊村橋保濱
電一四

有松 鐵三 元泊村字橋保
電一四

鈴木 源太郎 元泊村字馬群
電一四

齋藤 一男 元泊字榮町 電一
七

落合請負業組合

平澤 弘美 組合長

青木 吉太郎 副組合長

三浦 常松 副組合長

渡邊 一郎 幹事

菅野 一 幹事

佐野 常正 幹事

鈴木 一 幹事

本谷 彌太郎 幹事

渡邊 彦太郎 落合町旭町賣外地
電六七 三二五

遠藤 實 落合町本通賣外地
電二二四

平澤 弘美 落合町本通賣外地
電一四

本谷 彌太郎 落合町本通 電三
五七

石井 幸衛 落合町本通賣外地
電四六

青木 吉太郎 落合村南四一 榮
電四一

藤 繁吉 落合村南四一 榮
電二一 電六五

駒木 根竹治 落合村南四一 榮
電二一 電六五

完

電一四〇

割石 新一 榮濱落台西通南町
八六 電二五五
飯田義一郎 榮濱南一六東一
電三一
川原 庄松 榮濱村字柏濱
遠藤 吉藏 榮濱村東西一 電
榮濱六五
佐藤 修平 榮濱白糠村字白浦
門脇 泰治 白浦榮濱村字柏濱
電榮濱一六
舟山秀太郎 落台町大字美保
吉岡 實道 落台町山通一九
電二二三
八木 芳信 落台町字川北
鈴木 一 落台町本通り 電
三三〇
金山 久助 落台町山通り七八
電三四九
金 徳 庸 落台町中通 電一
〇七

豐榮 運輸

落台町山通り 電
一五一
渡邊 一郎 落台町旭町香外地
電一三三三三三五
堂前 外吉 落台町本通り四
電一五
三浦 常松 落台町西通南九〇
電二二三
沼端 庄一 落台町西通五四
電二二八
吉岡山三郎 落台町西通一四
電四八
佐藤與右工門 落台町大通 電
三三一
佐野 常正 落台町南一六東一
一電一五六
右關 安一 落台町山通二三
電三一
米澤久次郎 落台町山通 電五
二
天滿次三郎 落台町本通 電四
〇四

石井 友衛

落台町大通 電五
九
安部 利七 落台町西通 電一
〇三
寺門 忠一 落台町山通
中井淺之助 落台町大通 電五
八
衣川 安雄 榮濱村小田寒
國枝 寅吉 白糠村眞鏡
河野 善次 落台町大通 電六
二
八重樫豊吉 榮濱村白鳥嶺
大鋸 友吉 榮濱村 電三七

川上請負業組合

本間爲太郎 用上炭山市街地
久保田彦太郎 川上炭山市街地
辻 鶴藏 川上炭山市街地
鈴木彦太郎 川上炭山市街地
馬場土五郎 川上炭山市街地
遠 藤 組 川上炭山市街地
榊太鑛業會顧問
小河 正儀 榊太鑛長官 豐原
市東五條南六丁目
北村 得三 榊太鑛產部長兼
內務部長 豐原市東五條南四丁目
甲官舎第十二號
中山 春男 榊太鑛交通部長
豐原市東三條南七丁目甲官舎第五
七號
白井八州男 榊太鑛警部長
豐原市東五條南五丁目甲官舎第九
號
可野 信一 榊太鑛石油會社
取締役 豐原市大通北二丁目
渡部 孝一 理事 泊居郡名寄
村大字鷹澤字大鑛業所

荒谷又與門

常任理事 豐原市
東一條南二丁目
今村 俊 理事 名好郡惠須
取町大字大平字大平鑛業所
馬屋原敬吾 理事 榊太鑛殖産
部事務所
加藤要一郎 常任理事 豐原市
川上村大字三井字川上炭山川上鑛
業所
川崎 勝 理事 榊太鑛殖産
部事務所
榊原 三藏 理事 名好郡惠須
取町大字大平字大平鑛業所
城 文司 理事 名好郡塔路
町大字塔路塔路鑛業所
高木 國彦 理事 元泊郡元泊
村大字鷹原字鷹原鑛業所
戸田 薫一 常任理事 豐原市
大字鷹原字北二丁目榊太鑛業株式會
社
三原 二郎 常任理事 本斗郡
内院村大字内院字下内院内院鑛業
所

草野 雅光

監事 豐原郡川上
村大字三井字川上炭山川上鑛業
所
小林 敏夫 監事 豐原市大字
豐原字北二丁目榊太鑛業株式會社
成相 淑 監事 本斗郡内院
村大字内院字下内院内院鑛業所
岩間 伸時 評議員 名好郡塔
路町大字塔路塔路鑛業所
伊藤 憲吉 評議員 榮濱郡白
糠村大字白浦字干成町白浦炭鑛
稻尾 熊吉 評議員 野田郡野
田町大字久良志字鷲巢炭鑛
海内 要道 評議員 名好郡名
好村大字名好字豐畑豐畑炭鑛
木村 良一 評議員 榊太鑛殖
産部事務所
倉橋 甚一 評議員 名好郡惠
須取町大字大平字大平鑛業所
栗山 一郎 評議員 名好郡惠
須取町大字大平字大平鑛業所
桑原 貞造 評議員 名好郡塔
路町大字塔路字白鳥嶺白鳥嶺鑛業
所

島崎 高

評議員 名好郡名
好村大字西福丹西福丹鑛業所
高取 琢一 評議員 名好郡名
好村大字安別字明石安別炭鑛
高木 顯達 評議員 名好郡塔
路町大字塔路上塔路炭鑛
高橋權五郎 評議員 本斗郡内
院村大字氣主字牛荷澤日石榊太鑛
掘工場
田中 剛一 評議員 本斗郡内
院村大字内院字下内院内院鑛業
所
田副 正之 評議員 名好郡惠
須取町大字惠須取字天內惠須取鑛
業所
田中不二雄 評議員 名好郡塔
路町大字塔路塔路鑛業所
長 万治 評議員 榮濱郡落
合町大字川北内瀧炭鑛
辻塚儀十郎 評議員 數寄郡泊
岸村大字泊岸日鐵鑛業株式會社泊
岸炭鑛

富田 徳雄

評議員 名好郡塔
路町大字鷹澤字白鳥嶺白鳥嶺鑛業
所
蜂須賀芳太郎 評議員 榊太鑛
殖産部事務所
濱島 計郎 評議員 數寄郡内
院村大字内院三井内院炭鑛
伴野 敬義 評議員 豐原郡川
上村大字三井字川上炭山川上鑛業
所
芳賀惣五郎 評議員 名好郡名
好村大字名好字豐畑名好鑛業所
藤江久右衛門 評議員 久春内
郡三濱村大字珍内字珍内鑛業
所
船村 實 評議員 元泊郡知
取町大字知取字富士町知取鑛業所
保利 啓吉 評議員 泊居郡名
好村大字鷹澤字大鑛大鑛業所
向 達 評議員 本斗郡内
院村大字内院字下内院内院鑛業
所
山田 克人 評議員 榊太鑛殖
産部事務所

山口 靜夫 評議員 元泊郡知事

取町大字知取字宮土町知取鑛業所

日本石油株式會社樺太試掘鑛場

山下鑛業株式會社南珍內鑛業所

橫田 秀次 評議員 名好郡塔路町大字塔路塔路鑛業所

樺太鐵業株式會社 太平鑛業所

西樺太鑛業株式會社千緒鑛業所

代表者 西川正之助

坂本 淳 書記 豐原市東二條北二丁目樺太鑛業會

樺太探炭鑛業株式會社上塔路鑛業所

增田鑛業株式會社增田名好鑛業所

贊助會員 佐々木時造 東京市芝區高輪南町五三

千葉 圭一 養成所書記 豐原市東二條北二丁目樺太鑛業會

樺太人造石油株式會社內淵鑛業所

諸津鑛業株式會社諸津無煙炭鑛

代表者 須藤 光俊

市東二條北二丁目樺太鑛業會

樺太炭業株式會社鶴巢炭鑛

三井鑛山株式會社川上鑛業所

代表者 加藤 安二郎

石原海運産業株式會社美田鑛業所

代表者 藤江久右衛門

三井鑛山株式會社西柵丹鑛業所

代表者 加藤 安二郎

惠須取炭鑛株式會社惠須取鑛業所

代表者 田副 正之

三井鑛山株式會社三井內川出張所

代表者 濱島 計郎

小田洲炭鑛株式會社小田洲炭鑛

代表者 八木橋末太郎

三菱石炭油化工業株式會社內幌鑛業所

代表者 三原 一郎

樺太鑛業株式會社知取鑛業所

代表者 高木 國彦

南樺太炭鑛株式會社塔路鑛業所

代表者 後藤 大郎

樺太鑛業株式會社大榮鑛業所

代表者 山口 靜夫

南樺太炭鑛株式會社白浦炭鑛

代表者 伊藤 康吉

石原海運産業株式會社美田鑛業所

代表者 藤江久右衛門

三井鑛山株式會社西柵丹鑛業所

代表者 加藤 安二郎

惠須取炭鑛株式會社惠須取鑛業所

代表者 田副 正之

三井鑛山株式會社三井內川出張所

代表者 濱島 計郎

小田洲炭鑛株式會社小田洲炭鑛

代表者 八木橋末太郎

三井鑛山株式會社西柵丹鑛業所

代表者 加藤 安二郎

樺太鑛業株式會社知取鑛業所

代表者 高木 國彦

南樺太炭鑛株式會社塔路鑛業所

代表者 後藤 大郎

樺太鑛業株式會社大榮鑛業所

代表者 山口 靜夫

南樺太炭鑛株式會社白浦炭鑛

代表者 伊藤 康吉

贊助會員

正會員

樺太廳殖産部鑛務課

豐原市東四條南五 電話豐原三一二番

五十嵐清一 及川 洋 大須賀寅次郎 小田德太郎 川崎 勝 川原 孝喜 菅原 忠雄 木村 良一 北原 勇 久保 昌夫 熊崎 岑一

渡部 潔

樺太廳內

小川 盛

深田 清

美田鑛業所

一ノ瀬 誠

石飛 春次

石田 佐吉

越膳 良吉

居石 常和

小田 善六

金子 榮

川元 喜義

川端 惠三

倉田健之助

角銅 繁藏

小林總一郎

小林駒次郎

佐々木 貫

茂久 肇

諏訪政之助

田中 可

檜崎 勳一

西田 正夫

西原 虎作

樋口 通久

藤田 由夫

山本惣太郎

山村 久

渡邊 義雄

和田 春男

上杉 久

越後 力雄

久保田金五郎

後藤幸次郎

小林 休次

小山 榮

菅原 林一

田副 正之

田村松三郎

高橋 與吉

筒井重太郎

鶴卷 三郎

南部 仁吉

野津 鎮意

藤田新三郎

前田 祥三

山田 信一

山内平治郎

渡邊 清藏

小岩井 隆 佐藤 哲平 佐藤 眞一 島崎 豊一 神保 恵 鈴木 七郎 高橋 二郎 田邊 正一 出戸 榮 中島 三郎 西川 覺 蜂須賀芳太郎 平岡 一 藤澤健之助 馬屋原敬吾 滿野 辰男 山田 克人 山岸九十九 江幡 安 吉田富美雄

石原産業海運株式會社 長濱郡知床村大字外知床未開地 電話美田三番

惠須取炭鑛株式會社 名好郡惠須取町大字惠須取字天內 電話惠須取三三番

赤間和藤治 伊坂 重 泉澤 健三

小田洲炭礦株式會社

小田洲炭礦

久春内郡三濱村大字小田洲字小田洲
電話小田洲一番

新井 勇
稻垣 重治
泉 一郎
井上 勝雄
越後谷留吉
岡野 誠
大槻 俊雄
小山田多喜司
川村 鐵治
加川彌十郎
狩野 一正
御所野吉次
佐藤定五郎
菅原喜太郎
鈴木 正
菅 良藏

鈴木 藤藏
高橋 仁吉
平 文雄
中田 勝利
永橋 和長
橋本 善藏
奏 秀美
福田 徳治
藤島 廣吉
細田 豊
前田左太郎
村上 義郎
森竹 義雄
山下 芳雄
和野 軍治

櫻保鑛業株式會社

櫻保鑛業所

元泊郡元泊村大字櫻保字櫻保

電話北條保電話取掛所呼出

有賀 益雄

井 厚記
泉 徳治
稻原 清助
工藤正太郎
齊木 廣澄
酒井兼太郎
高木 國彦
高橋養三郎
平山 明
松坂 市太
茂木 壽一

樺太鑛業株式會社

本社 豊原市大字豊原北二線 電話豊原三一四一番

知取鑛業所 元泊郡知取町大字知取字富士町 電話知取一四番

大榮鑛業所 泊居郡名寄村大字鷹澤字大榮 電話大榮一番

大平鑛業所 名郡好真須取町大字大平字大平 電話須取一五

電話須取一五

本 社
小林 敏夫
戸田 薫一

白鳥澤鑛業所

六番甲 名好郡塔路町大字塔路字白鳥澤 電話塔路二四番

知取鑛業所

安東 重男
上島 俊彦
遠藤 信雄
岡田 靖
加藤 金次
条川 雅夫
小林聖之助
佐藤 長助
菅原 勝也
武田新太郎
田中 哲
寺崎直次郎
永田 實
畠山兵太郎

船村 實

本間幸太郎
牧野 利章
松井 利男
三田安次郎
村上 菊雄
山口 静夫
山崎 清
岩淵勝太郎
横尾 恒也
吉田 直志

大榮鑛業所

柏木 茂一
北澤 武夫
小林 時雄
高橋 曉
中川 八郎
保利 啓吉
三浦作次郎
武藤 富治
山川 隆成

大平鑛業所

安東 實
今村 俊
石郷岡 孝
石黒 銀松
石原 茂
大友 交兒
小野寺豊男
柳原 三藏
工藤 禮三
倉橋 甚一
小林 民雄
小口 春司
齋藤 利助
齋藤 彦一
鈴木 秀藏
仲村 卓
原田喜一郎
吉元 直助
和田 喜藏
渡部 正雄

白鳥澤鑛業所

小笠原辰藏
大島 惣作
黒江喜四郎
桑原 貞造
田中 芳治
竹生 房吉
富田 徳雄
古谷 敏夫
三輪 藤也
望月 友治
渡部 孝一
渡邊 勝次

樺太炭鑛業株式會社

上塔路鑛業所

名好郡塔路町大字塔路字南一線八番地 電話塔路三四番

伊藤 一
井上 晋治

遠藤儀一郎

尾關梅太郎
小石彌三郎
佐々木富之助
高木 顯達
武山 良次
拓植金太郎
高木 正義
豊原 源一
長嶺明太郎
深澤 三男
牧野喜代司
林野 順一
湊 虎五郎
森 英雄
山際 義元

樺太人造石油株式會社

本社 豊原市大字豊原字大通南六丁目十七番地 電話豊原二三五九番

内浦鑛業所 愛濱郡岩谷町大字 川北
電話落合四〇六番

長 萬治
高田助太郎

樺太炭業株式會社

鶴巢鑛業所 野田郡野田町大字 久良志
電話追手一番
久春内郡三濱村大字 珍内
電話珍内四八番

鶴巢鑛業所

阿良 光良
右近 太郎
江口 強
緒方 勉
河井 善一
今野 勇
小泉 耕一
佐藤一二男
佐々木祐次

柴田 燾一
作山 宗美
田中 文治
高橋 三郎
德光憲一郎
前田 幸靖
森田 直久
宮本 芳雄
岩森 民三

珍内鑛業所

井上 一郎
茨木 正喜
池田 俊成
池田留衛門
大熊 芳雄
久保田邦一
久原 虎男
小西 金一
佐々木 茂
敷浪 敏

菅原 正人
鈴木 生藏
竹田 正七
高橋 政治
高橋 次郎
高橋 精一
土肥 清重
中村 義人
長澤 邦治
長澤 廣吉
新村安太郎
野々市 清
引場 誠
福島 政男
藤江久右衛門
本間儀一郎
牧 祐春
安原 彰一
吉岡 太七

木原商船鑛業株式會社

木原立岩鑛業所
名好郡名好村大字安別
字立岩 電話立岩電信
電話取扱所呼出

安別鑛業所

石川 守次
遠藤 昌
高野 忍
白井 幸雄
大島 三郎
近江谷喜八郎
小原榮二郎
柴田 吉造
清水 良雄
白坂 時治
杉山 富一
高取 琢一
立塚 輝司
棚橋 市郎

大成炭業株式會社

本 社
名好郡須取町本
町通一七 電
話須取三四五番
名好郡名好村大字
安別
電話沃内七番

本 社

江藤 作善
井上 一義
小野 隆
太田庸太郎
大岩文次郎
片平眞次郎
北村 寅藏
小山 義久
佐藤 良助
下間 一記
竹ヶ原清吉
高橋 義雄
平島留太郎

豐烟鑛業社

名好郡名好村大字名好
字豐烟
電話名好三四番

西口 東
蜂屋富四郎
深谷 峻
松岡 清
美馬 官市
村上 鶴吉
今井 誠一
内田 眞一
岡野 好純
岡田 利雄
加藤 要道
海内 安雄
川部 安雄
龜田茂三郎
齋藤 仙松
澁田 國鎮
杉本 信夫

日鑛鑛業株式會社

日鑛鑛業株式會社
數寄郡泊岸村大字泊岸
電話泊岸一六番

樺太鑛業所

武内 正辰
西岡 榮一
乳井 馨
西村 四郎
波多野虎雄
長谷川竹藏
畑山 源次
堀越 一郎
松本 武男
三上 正衛
森山 定雄
伊藤 正一
江藤 兵吉
小畑 末雄
大里 寬
鈴木 玉治
辻塚儀十郎
南川 賢三

高屋 謙治
苦米地忠夫
友清 栞市
中村 源吉
中島賢司郎
中野 照之
西根 留治
藤井 倉教
藤本 敏夫
藤谷 一郎
古山 谷
細野 五郎
丸山 義雄
安野 雄輔
山本 孝吉
矢野 武雄
八嶋慶太郎
山道平八郎
岩城 守一

山本 昇

增田鑛業株式會社

增田名好鑛業所

名好郡名好村大字名好
字豐畑
電話名好二番

阿部 時政
坂垣 七郎
飯田 孫一
井澤 惟四郎
加藤 直藏
柿崎 庸三
木次谷 直次
久米 健治
黑金 文治郎
佐藤 竹士
櫻井 綠太郎
積 己之八
高野 秀正
高田 才次郎
高野 謙一

田中 喜悅

多々野 純一

遠山 昇一

南部 紀久治

芳賀 惣五郎

橋本 武雄

長谷川 義雄

藤井 熊藏

福田 富美男

福井 壽治

前田 末藏

三國 春治

三浦 松衛

三國 安治

守谷 清一郎

米田 清

古澤 久雄

字內川 電話內川一番

西欄丹鑛業所 名好郡名好村大字

字西欄丹

三井大泊埠頭事務所 大泊町榮

町南道通一三三 電話大泊

三五六番

川上鑛業所

東 敏
今井 鴻一郎
伊東 茂
岩村 清俊
井遠 邦次
稻葉 光次
宇佐 直記
梅野 武
上田 滋
江見 彌平次
大野 恭次郎
加藤 要一郎
加藤 勇
金山 三郎
北河 豊

栗

萱野 日出男

草野 雅光

小槽 山義記

佐藤 賢藏

澤木 八十一

神庭 米市

菅原 長

鈴木 源治郎

高橋 熊太郎

高橋 林太郎

谷川 常太郎

谷口 賢太郎

富山 治

萩原 千城

伴野 敬義

濱田 巖

原井 正吾

花田 繁保

原田 朴右衛門

畑山 忠

平野 羊次
平川 親次
古田 主稅
松尾 達夫
三品 吉郎
三本松 六郎
本山 昂
山口 和三郎

三井川上鑛業所
內川出張所

會津 傳三
跡部 新三郎
石橋 伊之助
大島 重男
太田 清
小野 寺三夫
加藤 清司
久保 義雄
佐伯 猶次
鈴木 透

鈴木 三郎
南條 利政
名達 進二郎
沼端 榮二郎
濱島 計郎
平山 孝之
細井 善一
松尾 峻

西欄丹鑛業所

東 秀夫
大澤 一夫
小宮 節雄
小西 正一
小西 芳政
幸田 庚三
白山 彌太郎
島崎 嗣
田中 袈裟一
高杉 精一
水野 省三

山下 繁
横山 昇
渡邊 幸輔

三井大泊埠頭事務所

北條 時範

三菱石炭油化学工業株式會社

內幌業所

本斗郡內幌村大字內幌
電話內幌四六番

有吉 重勝
伊藤 文次
井上 清八
井上 安之助
井崎 榮治
宇佐 見吉彌
內田 三郎
尾崎 榮一
奥田 清生
大城 勝正
大橋 悅郎
大山 忠次郎

尾崎 角太郎
勝木 茂
歸山 次正
金光 勝助
鐘本 二郎
清政 武夫
岸田 永計
北島 保
百濟 惣太郎
小島 芳藏
後藤 五郎
今野 晃
佐藤 章
佐藤 寅太郎
佐保 秋夫
齋藤 義博
酒井 益良
重富 三束
標葉 猛
椎野 軍紀
鈴木 芳五郎

兎

鈴木 榮治
田中 初太郎
田中 剛一
田部 井喜作
高野 昌明
高森 清助
塚原 幸市
椿谷 久一郎
友近 勝利
豐島 誠一
奈良岡 吉男
中西 彌壽平
中村 一良
成相 三淑
鳴海 淳
西田 正
根岸 菊男
根本 彦一
野澤 五郎
林 喜芳

古田 正和
帆足 光久
松永 晃彦
三浦 時華
三原 二郎
向 達
武藤 省吾
山之内 公夫
山本 利治
横尾 益藏
吉井 績
波部 重雄

南樺太炭礦鐵道株式會社

塔路礦業所

名好郡塔路町字塔路
電話塔路一番

阿部 正吉
阿部 徳治
阿部 富雄
荒田 松巳

荒貝 萬年
有村 弘爾
青藤 計三
池田 重三
池原 久次郎
石戸 谷久夫
市川 信一
一ノ瀬 泰吉
一ノ瀬 秋夫
稻岡 清一郎
稻葉 國儀
市村 傳美
岩間 伸時
梅崎 文二
牛久保 幾年
浦田 宏
遠藤 春清
越中 信賢
越後 司
小田 知之
奥村 宏

大谷 巖
大川 俊夫
大野 良夫
岡 俊一
加藤 晴男
叶野 末治
叶野 金太郎
片岡 健一
勝島 榮藏
勝島 正己
木戸 伴
木村 繁太郎
喜多村 人士
北村 與市
北村 茂
京谷 兼松
工藤 岩藏
工藤 毅
久保田 喜代一
倉橋 襄

熊澤 大五郎
倉持 實
倉地 孝男
黒須 文雄
小平 誠
小後 彬
小林 久助
小路 幸穂
小柳 正之
小澤 敬彦
越川 勝司
後藤 義夫
古賀 清六
今野 昇
今野 伊三夫
佐藤 申三
佐藤 邦雄
佐川 了
佐久間 三郎
佐々木 與四郎
佐々木 甚右工門

佐野 莊一
神 之夫
酒井 榮五
酒井 公敏
齋藤 幸吉
櫻井 重勝
櫻庭 嘉夫
櫻田 俊雄
崎前 金平
品川 基彦
柴田 眞
柴田 桂吉
白岩 思齋
城 幸太郎
助工 辰男
鈴木 秀男
鈴木 勝吉
鈴木 不二雄
末廣 敏正
菅谷 彰
菅原 實

角谷 正
關川 益三郎
關 亨
染森 重利
相馬 孝一
田中 壽一
田中 和一
田中 操
田中 正喜
田中 稔
田中 不二男
田中 正信
田中 盛藏
田代 寅太
田村 彰三
高橋 仁吉
高桑 富治
高坂 文吾
高村 三郎

高田 哲三郎
高木 豊
高山 幸二
高井 良七
高道 義美
高瀬 武男
竹谷 猛久
寶田 温
力石 辰三
土井 恒男
傳 徳治
手代木 棋貫
中島 次郎
中野 恭平
内藤 直正
内藤 敏夫
中谷 清太郎
永井 達郎
中林 長次郎
西村 正明
野浪 泰男
能田 正治

烟 修一
烟 松藏
烟澤恭之助
橋本定次郎
長谷川三郎
原田 補登
原田 德
原田 敬守
林 昌一
平賀 泰正
平井 潔
深澤 禮二
福原 一男
福田 次助
藏本 國吉
藤本 公通
畑見 尚雄
古澤 清孝
帆足 弘
星野 慶治

星野千代一
星 武雄
眞鍋 政義
松野 信次
松井 榮
松山 福三
松田 敬一
松尾 祥一
松村泰太郎
前川健太郎
三浦 末松
三浦 定雄
三木 一
宮澤 良助
宮腰良一郎
宮地 正人
南 善次
村井 孝作
室谷 英雄
森岡 正之
森 宗一郎

森田 吉彌
森田 正彦
山田 正隆
山下 隆
山本 次男
山縣 高
山田 貢
山本 二郎
山内 恕
安永 稻生
湯之惠賢三
横田 秀次
米坂 民三
吉山 英雄
和田 政吉
若杉 眞藏
若林 孝司
綿野 伊作

荒谷榮二郎
秋田谷房治
伊藤 憲吉
石森 愛吉
石原國太郎
井上勝次郎
大河内重留
鎌田 銀藏
木村 正行
木村 幸作
五島 政雄
佐孝新太郎
佐藤榮四郎
齊藤 廣治
齋藤 順太
柴田 鶴治
杉本 勝喜
鶴卷 三郎
戸島 留吉

電話白浦八番

南樺太炭業株式會社
白浦鑛業所

桑濱郡白樺村大字白浦

鳥居 金吾
根本 仙吉
根本十二男
秀城 市郎
平川信太郎
平岡 頼雄
藤田 德三
保木 光衛
松原 忠吉
山岸茂次郎
山岸 清二
山口宗五郎
山口 孫市

阿部 信夫
赤井 吉次
赤井 繁男
尾崎 壽平
小田島省吾

諸津無煙炭礦

名好郡名好村大字名好
字諸津 電話諸津三番

貴田 慶一
菊田 義保
木村 寅吉
越谷 宗美
小林 定三
笹島 太郎
鳥作 豊司
柴垣 市郎
鈴木 利男
菅原 熊治
須藤 光俊
種市 教作
高橋 爲義
谷口 清
角 盛雄
藤原勇次郎
福本平八郎
村上憲一郎
山川 熊吉
山本健太郎

山際 競
岩崎金之助
横山 正共
渡部 儀一

山下鑛業株式會社
南珍内炭礦

久春内郡三濱村大字珍
内 電話珍内一〇三番

田中 直
中原 良助
西川正之助
松崎治七郎

西樺太鑛業株式會社
千緒鑛業所

名好郡名好村大字千緒

蒲田 熊次

其の他

荒谷又與門 豊原市東一條南十
一丁目
黒澤 守 豊原市師範學校

藤田勝次郎 豊原市東一條南四
丁目尾形鑛業所

准會員

厚見 利作 三井鑛山株式會社
蔭山 良一 安川電氣製作所
入縣市黒崎町
加藤増太郎 東京市杉並區市田
町一ノ八一
川口 吉藏 西樺太鑛業株式會
社 東京市
久慈 光三 利根ボーリング
東京市目黒區下目黒一ノ九八
坂倉 勝彦 三菱鑛業技術部
東京市芝區三田豊岡町四三
城谷 龍三 三菱鑛業株式會社
高島鑛業所 長崎縣西彼杵郡高島
村東
清野 信雄 利根ボーリング
東京市目黒區下目黒一ノ九八
高橋 謙一 瀧根技術局第一部
企畫課 新京市
廣田 竹治 札幌市南五條西十
三

五丁目

別廣 弘次

松本信太郎

三根 時雄

峰尾 昱緒

神戶市神戶區明石町四七

森 堅吉

ヤ株式會社

一ノ三 高千穂ビル

森岡 達郎

矢島 專介

新瀨縣長岡市盛土町

吉鹿 勝之

東京市麹町區丸ノ内三ノ二一併一三號

三子 眞馬青島人

協會 々 員

大 泊

大 泊

堂前 外吉

竹林陽太郎

中井淺之助

森田 商店

衣川 安雄

國枝 寅吉

遠藤小一郎

八重櫻豊吉

寺門 忠一

大野 秋藏

唐松 勝保

正雄

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

大泊町本町東三條

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

吉岡 傳作

三浦 常松

佐藤與右衛門

阿部 利七

金山 久助

堂前 外吉

沼端 庄一

中井淺之助

石井 友衛

佐野 常正

渡邊彦太郎

青木吉太郎

植田 誠一

金子 熊治

笠間義之助

知 取

衣川 安雄

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

鈴木源太郎

泉 與作

馬場宇之吉

中里 廣

小崎 與八

相内寅次郎

渡邊彦太郎

氏家幸四郎

井上 進

鹽谷 弘政

衣川 安雄

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

天滿次三郎

佐藤 義一

河野 善次

古村啓太郎

井上 作藏

澤田 眞造

三上喜一郎

佐野 雄丸

佐野 惠策

船木忠之助

惠須取 運輸株式會社

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

豐原市大字唐松字

豐原市東一條南一丁目

豐原市西一條北一丁目

豐原市西一條南六丁目

留多加町番外地

大泊町本町東三條

眞岡郡清水村字一丁目

久春内郡久春内村

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

久春内郡三濱村字

町字人泊

川又 敬 惠須取町惠須取字
古津 幸一 惠須取町大字大平
字大平番外地
長徳龜太郎 惠須取町字南濱町

樺太水産組合代議員

金澤音之助
樺太共同漁業
坂上與三松
高杉 商店
白井 爽風
吉田 源藏
武澤 常治
鈴木太代治
幸村惣太郎
安羅五右衛門
忠谷 平安
金澤 一郎
日本 油脂

漁業組合

烟木 勇 井田金之助 福原 章司 赤木 重市 新開漁業組合長
林兼 商店 酒井駒五郎 同 理事 佐藤 仙藏 同 理事
大鋸 友吉 高橋 兵吉 同 理事 花田久五郎 同 理事
宮城 漁業 園 政吉 數香漁業組合長 中西 寅吉 同 理事
田代 吉藏 梶引 八郎 同 理事 柳田源一郎 同 理事
中宮 龜吉 吉田 隆吉 同 理事 尾張 吉治 知取漁業組合長
小松小右衛門 同 理事 中村初太郎 同 理事 細坪 久一 同 理事
關川 彌三 同 理事 小松小右衛門 同 理事 小見 忍 同 理事
島山 芳三 同 理事 關川 彌三 同 理事 內田寅次郎 同 理事
小神田芳太郎 同 理事 眞島 寅市 同 理事 八木 與作 元泊漁業組合長
泰地 榮 同 理事 眞島 寅市 同 理事 荒木秋次郎 同 理事
島山 米治 同 理事 島山 米治 同 理事 吉田 熊藏 同 理事
島山政太郎 同 理事 大野善太郎 泊岸漁業組合長 長堀 柳市 同 理事
大野善太郎 同 理事 熊谷 謙作 同 理事 角谷 甚助 梶谷漁業組合長
熊谷 謙作 同 理事 住吉 定雄 同 理事 千田龜五郎 同 理事
住吉 定雄 同 理事 高田 正孝 同 理事 竹田千之丞 同 理事
高田 正孝 同 理事 大谷 武則 同 理事 富山 巖 同 理事

太田 徳松 同 理事 川向 市松 外知床漁業組合長 佐々木石松 同 理事 木浪爲次郎 同 理事
佐藤 修平 白糠漁業組合長 横山 利一 同 理事 川上士右衛門 遠海漁業組合長 齋藤 留吉 同 理事
柳屋 武雄 同 理事 佐々木定之進 同 理事 大家長四郎 同 理事 田中豐太郎 同 理事
成田 末吉 同 理事 川崎証五郎 同 理事 菅谷 一 同 理事 長尾竹五郎 同 理事
杵淵 竹藏 同 理事 横山要太郎 同 理事 大宮 辰藏 同 理事 佐藤 與六 同 理事
平沼富五郎 同 理事 天野 起山 札塔漁業組合長 松田 政二 長濱漁業組合長 龜田七三郎 同 理事
池野寅次郎 愛濱漁業組合長 渡邊彦次郎 同 理事 濱野美濃里 同 理事 須田 正雄 大泊南漁業組合長
井上 茂 同 理事 熊谷八太郎 同 理事 白取 石松 同 理事 鈴木 梅吉 同 理事
竹内松次郎 同 理事 吉川金太郎 同 理事 島西 權吉 同 理事 小田島直松 同 理事 富田彦次郎 同 理事
平塚小太郎 同 理事 鳥西 權吉 同 理事 根本 直吉 知床漁業組合長 白取重次郎 同 理事 梶 榮太郎 大泊西漁業組合長
傳法 傳藏 同 理事 根本 直吉 長谷川瀧二 同 理事 大淵幸五郎 同 理事 工藤 卯吉 同 理事
田中喜三郎 福濱漁業組合長 長谷川瀧二 同 理事 白取平八郎 同 理事 川尻 敬助 同 理事
本間 慶一 同 理事 熊谷彌三郎 同 理事 今 由松 同 理事 阿部 盛 同 理事
宇野多郎吉 同 理事 增井啓治郎 同 理事 澤田喜衛吉 同 理事 馬淵吉五郎 同 理事
加藤 喜市 同 理事 高木千代吉 同 理事 大坂松太郎 同 理事 中島 米藏 同 理事
小林 新一 同 理事 鈴木 直吉 同 理事 磯部 芳藏 禮文漁業組合長 松平十太郎 同 理事
岩根 龜吉 同 理事 田畑 富藏 同 理事 磯部 芳藏 禮文漁業組合長 志摩松次郎 同 理事
伊原勤次郎 同 理事 船橋專之丞 同 理事 磯部 芳藏 禮文漁業組合長 志摩松次郎 同 理事
松谷佐二郎 同 理事 船橋專之丞 同 理事 磯部 芳藏 禮文漁業組合長 志摩松次郎 同 理事
小泉 喜一 同 理事 船橋專之丞 同 理事 磯部 芳藏 禮文漁業組合長 志摩松次郎 同 理事

平野美代吉	同 理事	佐藤石太郎	同 監事	小坂 佐七	同 監事	萩野豊次郎	本斗町漁業組
高田清次郎	同 監事	小林 榮吉	同 監事	今井市三郎	内幌漁業組	倉長	
山田 要一	同 監事	山岡鎌太郎	同 監事	政本定次郎	同 理事	高頼恒次郎	同 理事
生井澤 進	留多加漁業組	鳥田 新三	海馬漁業組	齋藤 又一	同 理事	市町 要作	同 理事
大板 友衛	同 理事	山崎 彌作	同 理事	山根勘太郎	同 理事	紺野 重義	同 監事
佐藤 菊治	同 理事	畑中重太郎	同 理事	池田 金吉	同 理事	堀井幸之助	同 監事
西島 與助	同 監事	島田 定一	同 監事	政本 仁吉	同 監事	阿部吉兵衛	本斗町阿幸漁業組
片岡民次郎	同 監事	高橋 龍藏	同 監事	柳谷柳太郎	同 監事	倉長	
片山 貞	西郷漁業組	辻森 駒吉	好仁漁業組	笠井千代藏	本斗南漁業組	佐藤 山藏	同 理事
河合 榮作	同 理事	庄内利兵衛	同 理事	池田 岩藏	同 理事	波間三郎兵衛	同 理事
羽柴 忠作	同 理事	濱谷森之助	同 理事	佐藤助次郎	同 理事	井上清次郎	同 監事
木村 清作	同 理事	北瀬 與三	同 理事	長尾 博	同 監事	石垣彌三太郎	同 監事
森 喜太郎	同 監事	成田保太郎	同 理事	木寺 清作	同 監事	竹本淺次郎	真岡町漁業組
屋口 信義	同 監事	小山 政吉	同 監事	土門爲次郎	本斗漁業組	小野瀨壽信	同 理事
江口 貞助	能登呂漁業組	太田石太郎	同 監事	島本太佐次郎	同 理事	平井竹次郎	同 理事
松原 長松	同 理事	羽根田秋身	同 監事	川島二五郎	同 理事	大角芳太郎	同 監事
菅生 文輔	同 理事	鍋木與三松	好仁南漁業組	永井綱太郎	同 理事	河内 久治	同 監事
伊藤仁三郎	同 理事	白田常太郎	同 理事	蓬萊谷 清	同 理事	本間 正藏	廣地漁業組
池田夏太郎	同 理事	石川八重吉	同 理事	加藤 直	同 監事	茂野 經吉	同 理事
		江幡福一郎	同 監事	齋藤榮次郎	同 監事	中野万太郎	同 理事
				松本 竹藏	同 監事	高田 松治	同 監事

幸村惣次郎	同 監事	天滿次三郎	久春内漁業組	阿部 政治	同 理事	奥 秀次郎	常任委員
山口榮太郎	關泊町漁業組	小林 吉藏	同 理事	佐々木作次郎	同 監事	商店業務取締役	
佐々木藤太郎	同 理事	波間篤次郎	同 理事	赤津哲之亮	同 監事	山野井 洋	常任委員
加藤 直藏	同 理事	西田幸次郎	同 理事	金子佐久藏	名好漁業組	京通信部長	
工藤 豊吉	同 監事	赤塚 健吉	同 理事	田代喜代松	同 理事		
小林榮五郎	同 監事	池田 由藏	同 監事	千葉 勝治	同 監事		
山根 正之	野田漁業組	扇谷 直松	同 監事	三川 之衛	同 監事		
佐藤 年雄	同 理事	林中 清吉	同 監事				
小吹清四郎	同 監事	石原 修一	三濱漁業組				
阿彦 源藏	同 監事	伊勢谷金助	同 理事				
高橋直之助	泊居漁業組	能登仙太郎	同 監事				
折戸長次郎	同 理事	館石三太郎	鶴城漁業組				
大谷 兼吉	同 理事	能代賢太郎	同 理事				
高木 又雄	同 理事	工藤 東作	同 理事				
荒木 福藏	同 理事	石井權次郎	同 理事				
古澤 幸作	同 監事	赤坂 石松	同 理事				
紺井喜久治	同 監事	酒井理三郎	同 監事				
守内 豊吉	名寄漁業組	花澤 種吉	同 監事				
竹田二三吉	同 理事	高橋武五郎	同 監事				
栗谷 富藏	同 理事	松本 甚作	真須取漁業組				
廣橋 金藏	同 監事	録田 甚作	同 理事				
山中 豊吉	同 監事						

東 樺 會

事務所 東京市豊町區内幸町
東邦ビル 國際日本
協會内

電話銀座六二八二番

【目的】東京在住の樺太を郷土とし
北方第一根據地としての樺太の
發展紹介連絡を目的とする、樺
太大泊中學第一回卒業生を基點
とする青年團體にして、昭和十
五年一月十日東京十薬俱樂部に
於て發會式を舉ぐ

下出 繁男 常任委員 南洋拓
殖會社人地課長

奥 秀次郎 常任委員 佐々木
商店業務取締役
山野井 洋 常任委員 樺日東
京通信部長

特輯 樺太在任者與信錄

了の部

安部 文雄 樺太廳立豊原中學校教諭 明治三十五年九月一日福岡縣に生る 大正十四年第八臨時教員養成所卒業 大正四年大分縣立中津中學校教諭に任命され昭和六年四月樺太廳中學校教諭として豊原中學校に勤務を命ぜられて今日に至る 同七年四月生徒監會監を命ぜられる 豊原市樺太廳官舎

十一日生 大正十四年三月新潟縣立高田中學校卒業 大正十五年三月新潟縣立高田師範學校本科第一部卒業 昭和三年一月第一回明治神宮スキー大會耐久競走に優勝 昭和四年一月第七回全日本スキー選手權大會耐久競走に優勝 昭和六年一月第九回全日本スキー選手權大會耐久競走に優勝 昭和六年十一月第四回冬期オリムピック日本代表として渡米 昭和九年四月全日本スキー聯盟技術員を委せられる 昭和八年十一月新潟より樺太に渡島 同年樺太スキー聯盟理事兼豊原スキー聯盟理事を委せられる 樺太豊原郡豊原市大字豊原字東五條南八丁目

業後家事に従ひ大正十四年令兄の後を繼ぎ今日に至る 豊原魚菜卸賣市場取締役 米穀商組合幹事 豊原市大通南四丁目十四番地 荒谷又與門 明治十六年五月一日石川縣に生る 北海道小樽市に於て雜穀問屋經營 大正十四年六月渡島 大野商會社豊原支店長となり昭和六年九月退店 金融及代理業を營み今日に至る 樺太炭礦株式會社取締役 合資會社大信商會代表社員 豊原商工會議所議員 昭和十年十一月第十九區長就任 豊原市字南四條東三番地ノ一 相澤六左衛門 元治元年七月九日宮城縣に生る 明治三十九年五月渡島 農業に従事今日に至る 組長 評議員 各種委員等重任現に農事實行組台長 昭和九年一月第二十一區長就任 豊原市大字軍川三十七番地

安藤 正 醫師 明治十三年一月一日宮城縣に生る 明治三十七年長崎醫學卒業 昭和六年十一月渡島 現任所に於て開業 豊原市大通南五丁目九番地

秋山 五郎 商工會議所會頭 明治十四年一月七日福岡縣に生る 明治四十年より本籍地に於て酒造業を經營(全道一) 大正十五年三月知取町に轉住酒造業を營み今日に至る 昭和二年三月知取町評議員 同四年九月町會議員當選就任 同五年七月知取商工會議所議員當選 同時副會頭就任 同七年六月會頭就任 同九年四月改選により議員當選常議員 年産一千五百石 現在 在郷軍人會知取町分會會長 知取軍友會會長 知取町旭町二丁目

二十番地

秋田安太郎 齒科醫師 明治十四年四月三十日北海道に生る 大正十三年七月渡樺 樺太醫學醫院に勤務 大正十四年二月二十日齒科醫師免許を受け同月知取村濱町二丁目に開業今日に至る 知取町濱町二丁目十二番地

青木安次郎

明治十年九月二十三日岐阜縣に生る 明治四十四年北海道北見に入道 大正十二年迄小學校長奉職 昭和二年渡樺 三年より六年迄小學校訓導長校長の職にあり 同六年退職後數香に住居商業に従事現今に至る 區長代理 統計調査員 昭和十年十月町會議員當選 昭和八年八月納稅組合を主催設立する等村治公共に盡

青木平章

樺太廳通部通信課勤務 樺太廳技師 明治二十七年十一月十三日山形縣に生る 選信官養成所卒業 明治四十四年より仙臺通信管理局管内 北部通信局管内に多年勤務せり 昭和五年樺太廳通信技師に任じて選信課に勤務す 同十一年樺太廳通信技師となり十二年に現職に就けり豊原市東七條南八丁目官舎

阿部宗一

大泊支廳長 明治二十三年秋田縣に生る 縣立秋田中學校卒業 秋田縣警部 警部高等警察課長より樺太廳警部 本斗警察署長 知取警察署長 數香警察署長 眞岡警察署長を歴任 警視 大泊警察署長に昇進 豊原警察署長 警察部保安課長 惠須取警察署長等歴任し昭和十五年現職に就く 豊原市樺太長官舎 阿知波政吉 樺太廳大泊女學校教諭 明治三十一年十月二十四日愛知縣に生る 廣島高師卒業 大正十五年四月岡山縣天宮中學校教諭に任じて同縣西大寺高女教諭を経て昭和七年三月樺太廳大泊高女教諭に轉任今日に至る 昭和五年高

等官に任官

大泊町大字大泊字本町東一條北二丁目一九番地 阿部峯三郎 樺鐵專賣造材請負人 明治二十八年二月十日新潟縣に生る 大正十三年渡樺 樺太廳森林主事奉命 本斗支廳 昭和二年技手奉命 眞岡支廳 眞岡林務署に十ヶ年勤務 昭和七年三月辭職 内幌村に轉住して現在に至る 傍ら孤山羊等を飼育す 本斗郡内幌村大字内幌字東一條

相内金次郎

明治二十六年三月三日青森縣に生る 大正十一年渡樺 造林業に従ひ同十四年樺太工業株式會社專賣造材請負人となり追年及久春内に於て事業經營 製紙會社合併と共に新王子山林部專屬となり 昭和九年七月數香に轉じ東海岸散工事業地に於て營業今日に至る 數香郡數香町大字數香字宮通北三丁目十二番地

相内寅次郎

明治二十三年十一月十日青森縣に生る 大正十五年五月渡樺 樺保にて造材業を營む 傍ら買材、製材、土木建築請負業を兼ぬ 亦昭和七年來王子製紙知取山林出張所專賣造材請負人と

淺見鐵藏

明治三十九年十月十五日群馬縣に生る 大正十四年

名好村移住

造材製材業に従ひ今日に至る 名好郡名好村北四條三丁目十番地 淺見良太郎 造材業 明治十一年四月二十一日群馬縣に生る 明治四十五年渡樺 大泊町に於て造材事業に携り大正七年王子製紙會社專賣造材請負人大倉吉作の店員となり 大倉組現職主任として赴任昭和七年獨立して王子山林 專賣請負人となる 名好郡名好村大字名好北四條三丁目十番地

秋葉市之助

造材業 吐所劇場主 明治十一年八月九日宮城縣に生る 大正九年渡樺内幌村に居住 造材に従ひ同十一年劇場吐所を建設經營 昭和十一年十月同五丁目に劇場を新築移轉 本市街に於ける唯一の娛樂場として今日に至る 本斗郡内幌村大字内幌字東一條二丁目十八番地

新井菊太郎

名寄尋常高等小學校校長 明治三十一年一月三日石川縣に生る 石川縣師範學校卒業後 大正六年三月石川縣外角尋常高等學校訓導に初任 昭和三年三月樺太廳へ出向泊岸尋常小學校勤務 昭和七年四月札幌尋常小學校校長を命ぜられ 昭和十年三月名寄校長に轉任同年五月高等官待遇となつて今日に至る 泊岸郡名寄村 荒岡弓之助 本斗町會議員 明治十七年七月七日徳島縣に生る 大正三年渡樺 現住所にて料理屋「吉の家」開業 昭和三年町評議員任命 同四年町議 年十三再選 本斗町中通四丁目一番地 有吉市郎 醫師 明治十六年十一月二十日東京市に生る 愛知醫專卒業 明治四十三年より京都に五年北海道に十五年開業後樺太に開業現今に及ぶ 泊岸市泊岸町大字泊岸字尾上町四丁目一番地

伊藤英吉

大泊町長 明治十四年四月十二日に岩手縣に生る 大正十三年八月任樺太廳警部豊原署長に補せらる 昭和四年四月高等課長を命ぜられ同年十月知取所長に就職 同七年任樺太廳警部保安課長を命ぜらる 同七年樺太廳支廳長に任官 本斗支廳長に補せらる 同十三年十二月泊岸支廳長に轉じ同十二年八月樺太廳警視に任官 大泊警察署長に補せられて後退官して現職に就く 大泊町公舎

伊藤榮治

北濱郵政局長 明治二十一年一月十三日北海道に生る 明治三十八年三月私立小樽英和學校本科卒業 大正元年十月 明治四十五年五月

天滿次三郎

樺太協同漁業株式會社取締役 村會議員 信用組合理事 明治二十一年十一月十四日石川縣に生る 明治三十八年八月二日渡樺 眞岡に於て酒造業經營 同四十年現住所轉住 漁業 酒造 牧畜 造材 養蠶 運輸各業を營む 久春内郡久春内村大字久春内

より嚴父愛太郎氏局長として開局
されたる真岡北濱郵便局通信事務
員を命ぜらる 昭和二年三月任樟
本特定郵便局長(真岡北濱局)
脊て遠藤米七氏 沖島謙三氏等と
共に豊眞運輪株式會社を設立重役
として豊眞間の旅客運輸 郵便物
運送に奉仕的活動をせり 真岡町
北濱町三ノ一二

伊藤幸之助 樟太廳大泊中學校
教諭 舍監
明治二十九年三月三日山形縣に生
る 元旅順工科學堂探礦冶金科卒
業

大正十一年四月福岡縣立福岡工業
學校教諭に任ぜられ昭和二年四月
大泊中學校教諭に轉任 同九年八
月高等官に叙せられ今日に至る
大泊町本町東條北七丁目十六

伊藤 竹松 豊原車庫所主任
道書記
明治三十四年三月十九日福島縣に
生る

大正七年三月藤手貞吉を拜命累進
して昭和八年十月十六日樟太廳鐵
道書記に任官 昭和十年四月野田
驛長に補せられ 同十一年一月豊
原郵便物主任 同十二月豊原車庫

所主任に補されて今日に及ぶ 豊
原市西四條南四丁目邊道官舎
伊藤 信之 樟太電氣株式會社
會計主任
明治三十四年四月二十四日岐阜縣
に生る 大垣商業卒業
大正八年三月王子製紙株式會社人
社 昭和三年十一月樟電へ轉勤現
在に至る
豊原市北一條東八番地樟電社宅
伊藤 安 樟太廳中央試驗場
畜産部兼水産部勤務技師
明治三十六年四月二十七日栃木縣
に生る 北海道帝大農學部卒業
大正十五年北海道農務技師として奉
職 昭和四年樟太廳中央試驗場技
手として樟太廳へ轉出畜産部に勤
務となる 昭和十四年技師に進み
今日に至る

伊藤 義藏 俳人 王子社員
明治三十一年七月一日生 若松中
學修業 専修大學經濟學部第一部
中途退學
大正十三年渡樟 富士製紙落合工
場に入社合同により王子社員とし
て今日に至る 氏は凍魚と號し俳
誌「氷下魚」を主宰し俳人として

有名なり自然現象の特異性を遺憾
なく表現する必要上樟太北海道に
適應せる歳事記の必要は一般句作
者の痛感するところにして氏はこ
の要式を満たす可く小樽市在住の
藤雪氏と共力して特殊歳事記を選
定出版同好者の指針として好評を
博す 令夫人雪女も優れたる俳人
として知られ「氷下魚」編輯同人
として活躍す凍魚氏の存在は實に
樟太俳壇の誇りとするとところなり
落合町王子社宅
伊藤芳次郎 豊原商工會議所議
員 豊原旅館組合長
明治三十五年九月二十八日秋田縣
に生る
大正九年三月十九日渡樟 樟太第
一の旅館花屋本店を經營して今日
に至る
豊原市大通二丁目十四番地
伊與田章一 樟太廳豊原郵便局
長
明治十八年四月二十日北海道に生
る
明治四十二年より樟太廳郵便電信
局通信事務員として豊原 真岡に
奉職 同十四年書記となり真岡郵

便局に勤務爾後廣地 元真岡 關
泊 野田 真岡 大泊各局長歴勤
昭和六年通信課勤務となり昭和八
年事務官に任官す 同十三年現職
に就く
豊原市樟太廳通信官舎
伊與田爲資 廣地郵便局長
明治十五年三月二十日北 道に生
る
明治四十三年十一月一日裁判所書
記登用試験に合格 同十一月一日
任裁判所書記(補ウラジミロフカ
區長) 大正九年六月四日任樟太廳
指定郵便局長(廣地)となり今日
に至る
樟太真岡郡廣地村
伊丹 力助 明治十六年八月六
日山形縣に生る
山形縣師範學校卒業後郷里に奉職
日本體育會體操學校高等本科卒業
東京醫學校修業
陸軍衛生部勤務 奈良縣 栃木縣
神奈川縣 山形縣各縣に於て中等
學校教諭として奉職(十七年面)
昭和五年一月渡樟現任所に於て公
務拜命開業し現在に至る
真岡郡關泊村大字羽母野字羽母野

石井 敬次 樟太廳視學
明治二十六年三月三日生る 小樽
中學卒 小樽高商中退
北海道に於て道内各小學校訓導を
勤め 大正十四年八月樟太廳へ出
向 豊原第一小學校勤務を命ぜら
れ 大泊船見小學校長 元納 油
房各支廳視學を勤め 昭和十年三
月樟太廳學務課視學となり現在に
至る

豊原市樟太廳官舎
石井佐賀恵 樟太廳内務部警務
課長
明治二十六年一月十七日岡山縣に
生る 大正九年東京高工建築科卒
業
大正九年通信技手となり昭和四年
樟太廳技師に任官 内務部土木課
勤務となつて渡樟す 同十一年現
職に就く
豊原市樟太廳官舎

石井 四郎 樟太廳中央試驗場
水産部長
明治二十六年七月二十日秋田縣に
生る 東北大水産科卒業
夙に北大 島根縣廳に奉職し昭和
十一年中央試驗場水産部長兼水産
部第一科長兼第四科長となり今日

に至る
豊原郡豊北村小沼官舎
石井 友衛 王子專賣造材購買
業
明治三十六年六月三十日に福島縣
に生る
大正三年渡樟 造材業に従事 大
正十四年樟太工業株式會社山林部
專賣購買人となり 昭和八年王子
製紙に合併により王子專賣となる
大正十三年豊原取所に轉任爾來患
須取山林部事業地に於て造材購買
を繼續今日に至る
昭和八年豊原兼營 貨物自動車運
輸營業も兼營す
名好郡豊原取町南濱町一ノ十七
石井 宗隆 豊原取町商工會議所
議員
明治三十五年九月二十六日北海道
に生る
大正元年渡樟 本斗及真岡の石井
商店を経て大正十三年現任所に石
井並物店を開店經營今日に至る
昭和二年より消防組第一部長拜命
同八年辭任 同十年八月副組頭に
就任す
名好郡豊原取町三ノ一

石井 宗男 本斗町會議員
本斗信用組合副組合長 株式會社
本斗郵船組社長 明治十六年十一
月三日札幌市に生る
檢定により小學校教員の免許狀を
受け北海道管下に於て教職を奉じ
明治三十九年渡樟 軍政署勤務
明治四十一年本斗小學校長として
赴任十ヶ年奉職 大正七年勇退し
て現任所に並物店を開業今日に至
る 町村制施行前住民會副會長に
推され就任二年間在任 爾來評議
員に就任現在に至る
本斗町大通二丁目十一番地
石井 善見 真岡商工會議所議
員 吳服商
明治三十一年三月一日北海道に生
る
明治三十九年父母と共に真岡町に
轉住 大泊中學校卒業後現任所に
於て吳服商經營今日に至る
樟太真岡郡真岡町大字真岡字北濱
町一ノ七

石井 幸衛 明治三十六年十二
月一日北海道に生る
大泊中學校卒業
昭和十年十一月先代の事業を繼承

し現在に至る 事業落合運送社
王子專賣仁井組 旅館落合館 川
上右辰販賣等 落合青年團團長
落合町本町一六番地
石井 清一 本斗町分會長
明治三十五年九月八日真岡市に生
る
明治四十二年父母に伴はれ渡樟
本斗町に於て酒造業經營 大正十
四年嚴父死去後其後を襲ぎ大正十
五年歩兵第二十六聯隊に一年志願
入營 同十一年除隊後同四十年三
月三十一日陸軍歩兵少尉任官 昭
和四年酒造業を廢し伊豆下田に於
て大魚網經營失敗に歸したるも爾
來漁業に轉向 昭和七年來本斗町
字麻内及字濱南兩地に漁場經營
昭和十一年四月一日陸軍歩兵中尉
に昇進 昭和二年以來町の公職に
就き 評議員 町會議員に重任
分會役員を十五年間勤職 昭和九
年三月分會長に就任 石井漁業會
社代表社員
本斗郡本斗町大字本斗

石井拾次郎 明治三十五年一月
十八日富山縣に生る 郷里に於て
商業經營 昭和二年五月渡樟 現
任所に於て岳父經營の百貨商店を

一六五

壽現に至る 昭和九年十月
公設消防第五部頭拜命
本斗郡本斗町大字阿幸字麻内一五番地

石川初之助 木原商店敷香事業所主任
明治二十一年四月福岡縣に生る

明治四十一年渡道 四十四年木材業に携り大正九年渡樺 大正十三年木原商店に入社各地事業所主任を経て昭和九年九月敷香事業所主任として今日に至る

敷香郡敷香町宮通り北三丁目 石井 琢 敷香第三小學校校長
明治二十九年三月十九日廣島縣に生る 廣島縣師範第一部卒 (大正五年三月)

昭和三年四月樺太廳へ出向 知取第二小學校長 昭和六年四月内川小學校校長 昭和十年十月敷香第三小學校長に轉じて今日に及ぶ

石内助太郎 西樺丹郵政局長
明治二十八年七月一日北海道に生る
明治四十四年六月十三日臨時通信事務員を拜命 大正六年八月通信事務員を命せられ眞田郵便局勤務 昭和九年十月一日任樺太廳特定郵

便局長(西樺丹局)現在に至る
石川 敏捷 眞岡廳長
明治三十三年六月十一日北海道に生る

大正二年父母と共に渡樺 大正四年六月樺太廳鐵道豐原驛助役拜命 同十三年三月澤澤長 新場 川上 炭山 大泊港驛貨物主任を経て落合驛長 同十年九月現職に就く 樺太眞岡町鐵道官舎

石黒善太郎 留久志尋常高等小學校校長
明治三十一年三月三十一日に富山縣に生る 富山師範學校本科第一部卒業

大正七年三月富山縣高野尋常小學校訓導に任ぜられ大正十三年四月樺太廳へ出向 豊原第一尋常高等小學校勤務 同十五年三月大澤尋常小學校校長を命ぜられ昭和六年三月留久志校長に轉任 昭和十一年三月三十一日高等官待遇となつて今日に至る

久春内郡三濱村大字留久志 石黒 清吉 温泉旅館雜叙園主
明治十八年五月 十三日に青森縣に生る 青森縣以前中學校卒業

後明治四十三年札幌鐵道局に奉職 青森連絡船に乘務兼進して事務長となり後樺泊連絡に轉任 宗谷丸事務長 昭和十一年休職 敷香町に轉任 現任に高等温泉旅館雜叙園を經營今日に至る 敷香宿屋組合副組合長

石 常勝 南名好郵政局長
明治十八年一月六日北海道に生る 明治三十五年十二月一日通信助手を命ず 明治四十年三月十一日樺太民政務事務嘱託 大正十年六月五日任樺太廳特定郵政局長(南名好)他に養蠶業を営む 好仁村々會議員 好仁村消防頭にも就任せしことあり

石塚 源助 明治二十九年五月十五日北海道に生る
明治四十二年渡樺富内村に居住漁業を営み 昭和九年來底曳網を經營前途有望なり 本村漁業更生策の先驅者として努力しつつあり 大正三年消防手拜命爾來小頭となり 昭和九年七月滿二十年勤績により今村長官より表彰 昭和五年二月帝國水難救濟會富内救難所組長拜命 昭和二年六月人命救助の

一六

功により表彰
富内郡富内村大字恩瀨 石淵 良一 樺太廳鐵道事務所運輸係長 鐵道書記
明治二十七年一月三日富山縣に生る 縣立富山中學卒業
大正二年九月十三日鐵道院雇を拜命 大正十年四月八日樺太廳鐵道事務所雇を拜命 同十三年樺太廳鐵道書記に任ぜられ爾來各驛長歴任 昭和十二年四月鐵道事務所運輸係長を命ぜられて今日に至る

豊原市西一條七丁目鐵道官舎 石 徳次郎 明治二十六年八月三日生
大正十二年渡樺 關泊村役場に奉職 同十五年惠須取町役場に轉任 庶務課長に昇進 昭和十年五月退職爾來保險代理店を經營今日に至る

惠須取町本町四ノ二四 江藤正太郎 珍内漁業組合長
明治六年五月二十一日富山縣に生る
明治二十三年郷里より北海道に渡り漁業を営む 同四十一年渡樺 眞岡に於て商業 漁業製造業を兼

營 同四十三年崩壊に轉じ大正七年現任所に居住所に居住場所を有し津網漁業 沖合漁業を行ふ村會議員 珍内漁業組合長 泊居支離管内水産組合副組合長 久春内郡三濱村珍内仲町

江端 駒吉 明治二十三年二月十日石川縣に生る
明治四十年五月渡樺 明治四十一年十二月眞岡町宮本勸助商店に入店 大正十二年同店支配人となり 大正十四年十一月同店の營業一切を繼承し 酒造業銘酒(金天狗 天狗標)發賣元年産千八百石乃至二千石)經營今日に至る 昭和六年四月會議所議員當選副會頭就任 昭和二年二月評議員を命ぜられ 同四年九月第一次町會議員當選 同八年九月改選により當選重任 議長當選就任 同日會議所副會頭 辭任 昭和九年樺太酒務株式會社を創立社長就任 昭和十一年八月二十三日拓殖功勞者として樺太廳長官より表彰 同年十一月觀菊御宴に御石の光榮に浴す 樺太郵船株式會社社長 眞岡自動車株式會社社長 樺太相互無盡株式會社社長 眞岡土地建物株式會社事務取

締役 眞岡信用組合理事 眞岡町北濱町二ノ一 江良 潔 野田町長
明治三十三年七月二十四日北海道に生る
大正十五年三月二十日樺太廳巡查を拜命 昭和六年五月樺太廳警部補 知取 敷香署司法主任を経て 野田町警察署長を命ぜられ昭和十三年現職に就く

池田 いし 明治二十年六月三十日北海道に生る
大正三年渡樺 同女は元官吏夫人たりしも夫君天折後三女を養育する爲大泊にありて下宿業及刺子野家藝妓取締をなし天晴女丈夫として一般より感心さる 昭和二年現任所に於て割金五を開店豊都第一流旗亭として繁榮を續く 豊原市西一條四一

池田誓喜知 樺太人造石油株式會社庶務課長
明治二十四年六月七日北海道に生る
明治四十三年四月渡樺 眞岡支廳勤務 大正八年十二月樺太廳鐵道事務所書記に轉任 同十二年七月同所經理係長を拜命 昭和八年六

月鶴城出張所長に轉任 同九年十二月勇退と共に豊原町收入役就任 同十五年樺太人造石油株式會社創立に際して入社す

池田 次郎 名好村々會議員
明治四十四年一月一日小樽市に生る 大正十年北樺亞海に渡り商業に従事 同十四年惠須取前に轉じ 昭和七年現任所に轉じ商業經營 昭和十一年八月村會議員に當選す 名好村名好村澤内

池田龜太郎 明治九年十一月滋賀縣に生る
明治四十四年渡樺 爾來現任所に於て酒造業を営み今日に至る 銘酒樽翁造元 造石數年五百石乃至六百石 昭和八年全島酒樽油品評會入賞(優等賞) 酒造業組合幹事 大泊無盡株式會社取締役 大泊町樺泊南一條四丁目十七番地

池田三四郎 明治十九年三月二十一日山形縣に生る
明治四十四年渡樺 關泊村に居住 大正二年四月現任地に居住大正二年四月現任地に轉じ漁業並雜貨商經營今日に至る 白糠衛生第九區長 區長大正十四年より昭和十年

迄滿十ヶ年 消防八ヶ年間小頭より部頭に昇進 昭和十年辭任 榮濱郡白樺村大字眞輪字眞輪濱 池田 彌吉 惠須 自動車會社專務 惠須取魚菜市場株式會社社長 惠須取信用組合長 樺太評議會會員 惠須取商會 會議所顧問 明治十四年四月十一日滋賀縣に生る
明治三十四年八月渡道 小樽市入舟町に於て茶紙卸商經營 同三十六年五月小樽市に於て池田合名會社組織 大正六年五月大坂市西區信濃橋通一丁目に於て和洋紙卸商 大正十年五月北樺太亞海へ渡航後雜貨魚菜商を經營軍隊御用人 大正十四年五月惠須取現任所に轉任雜貨商經營 昭和六年來清酒釀造兼營 昭和八年養狐場兼營 惠須取町本町四丁目二十六番地 池野寅次郎 榮濱村長
明治六年八月五日豊岡縣に生る 渡樺前は北海道警視として札幌 小樽 室蘭各署長歴任後事務官に任ぜられ宗谷其他支廳長を歴任す 昭和六年三月樺太廳に轉じ同年八月榮濱村長に就任今日に至る 樺太榮濱村字和瀨

一七

年十一月泊居町に轉任酒造業を営む。農産開通と共に公認運送店其他海産肥料、荒物米穀問屋、王子製紙會社專賣陸送部サツポロビール特約店等を兼ね、又會ては區長、市議員、公設消防組組長に就任。現在町會議員、泊居信用組合長、泊居郡小賣人組合長等の職にあり。樺太泊居町大字山下町一ノ十六、板井 秀夫、樺太廳殖産部林務課勤務樺太廳技師。

頭辭任 常議員經濟部副部長 知取町初音町一ノ六 五十嵐徳一 大泊高等女學校教諭 明治二十四年福島縣に生る 東北帝大工學專門部卒業 大正十一年十月福島縣警城中學校教諭に任ぜられ、同十四年一月現任に轉じて今日に至る。樺太大泊町本町大通北五丁目十九番地 五十嵐 勇 王子製紙樺太分社山林部警出張所長 日本人納ベール株式會社山林係長 明治二十六年八月山形縣に生る 東大林學部卒業 鳳に王子製紙會社に入社、現任に在る。樺太敷香町日本人納ベール會社住宅 一柳 慎 明治三年兵庫縣に生る 明治三十八年渡島 爾來農牧業を營み今日に至る 農協は農業及牧畜に於ては現在在る六十個、牛二十頭を飼育す 落合町大字白川

一柳 直一 豐原市會議員 明治二十六年三月十五日大阪市に生る 早稻田大學中退 大正十一年樺太日新新聞記者として入社、同十四年末退社、同十五年一月知取に轉任、市權日新新聞を創立、昭和七年以來豐原に居る。樺太中央新聞を創刊したることもあり、現在東樺日新社長兼豐原支社長たり、氏は子爵家の出にして母は久世通章伯爵の令姉なり 豐原市西四條南一ノ一五 一戸 要吉 明治五年四月四日青森縣に生る 明治三十九年渡樺 ウラジミロツカ(豐原)に於て醸造業經營、同十一年土木建築業兼營業、大正十三年八月知取町に轉任、雜貨商を經營今日に至る 豐原町評議員、消防組頭等に重任し各表彰状並銀盃を贈らる、大正十五年知取町評議員に選任せられ、昭和二年辭職、現在町會議員議長代理、商工會、町議員として町公共に盡しつゝあり、知取信用組合理事、知取魚市場株式會社社長 知取町濱町一ノ一九

稻垣 敏夫 泊居町長 明治十二年九月十五日福島縣に生る 明治四十年北海道廳屬 明治四十二年樺太廳屬 大正二年真岡支廳庶務係長、大正五年より同九年迄數香支廳長歷任、其の後海軍省の屬託に依り、北樺太油田試掘事業の監督に従事、文北辰會の北樺太オハノ石油工場長として勤務、昭和七年農務取町長に就任、後轉じて現職に至る 泊居町公會 稻原 秀行 知取商工會事務所頭 明治二十二年一月十三日富山縣に生る 高岡商業學校卒業 一年志願入營、陸軍工兵少尉に任ぜられ正八位に叙さる、大正十一年北樺太探險占領當時、亞港に渡航、雜貨經營、同十四年撤兵と共に知取に引揚げ米穀雜貨商經營今日に至る、帝國在郷軍人會元泊居聯合分會會長、西工會、町議員、町會議を経て會頭に就任、知取信用組合理事、趣味、關琴、元泊居知取町初音町一ノ一〇 家崎文之助 明治十二年十月十

五日三重縣に生る 明治三十九年來任農業を經營し近年養蠶業を兼營す、村評議員及各種委員に選任し現に財政委員の職に在り 豐原郡北村大字小沼字小沼 泉 與作 王子製紙會社專賣部造材購買員 明治二十二年五月七日富山縣に生る 入道にして郷里より北海道に渡り造材に従事、大正十二年渡樺、西海岸にて造材に従事、大正十五年より富士製紙知取山林專賣部造材購買をなし三社台同後引續き王子新開事業區にて營業をなす 元泊居知取町濱町二ノ一三 泉山 幸吉 醫博 泉山病院院長 明治二十八年一月二十七日青森縣に生る 大正六年第二高等學校卒業 大正十年東北帝國大學醫學部學士試驗合格、同年七月任東北帝國大學助手、昭和二年一月東北帝國大學講師、昭和二年六月醫學博士の學位受領、同年七月日本赤十字社宮城支部病院副院長就任、昭和五年六月渡樺豐生病院就職、昭和八年

年現在の所に泉山病院を開設す 豐原市大通南四丁目一番地 岩井 康 落合町會議員王子社員 明治十五年五月五日茨城縣に生る 郵船會社に入年間勤務せる後、大正十年日化時代入社、爾來富士王子社員として引續き今日に至る 昭和四年以來、會議員 榮濱郡落合町王子社宅 井尾 辰治 旅館「旭館」主 明治三十七年四月十七日小樽市に生る 先代かん氏により大正初頃より經營せられたる旭館を大正十三年製業のため渡樺、爾來本斗に於ける一流旅館として今日に至る 本斗町大通四ノ八 井上勝治郎 白樺村々會議員 明治十七年三月十九日香川縣に生る 明治四十三年三月樺太廳泊居探炭試驗所勤務、同四十五年六月病氣の爲退職、退島北海道夕張炭礦、美唄炭礦技手を経て大正十五年五月樺太工業株式會社技手として泊居礦に赴任、同十一年一月大榮炭礦技師補を命ぜられ、同十三年三月退

職、同年四月より昭和三年六月迄泊居町に於て土木建築購買員を經營、同三年八月東日浦炭礦副礦長として赴任、同五年三月辭職、同六年九月日浦炭礦第二礦長を命ぜらる、同八年九月村會議員當選就任 樺太白樺村大字白浦 井上 作藏 明治四十二年七月一日富山縣に生る 大正十年渡樺、樺太工業株式會社眞岡工場山林部購買員として眞岡に居住造材業に従事、昭和七年恩須取同社工場山林派出所々屬として恩、取川流域に於て事業をなし、昭和八年王子に合併後引續き同社專賣購買員として今日に至る 恩須取町本通一七丁目一七番地 井上 茂 漁業組合事務理事 明治三十三年九月七日岐阜縣に生る 大正十五年四月渡樺、豐原市に居住、昭和二年榮濱に轉任、榮濱信用組合同漁業組合書記として勤務、昭和六年信用組合解散により漁業組合事務となり、昭和十年十一月同組合事務理事に就任今日に至る 樺太榮濱郡榮濱村大字榮濱字濱七

香地 進 王子製紙專賣造材購買員 明治三十三年五月二十日宮城縣に生る 明治四十五年渡樺、少年時代より造材事業に携り、昭和三年獨り造材業經營、王子製紙株式會社專賣として現在に至る、一方養蠶上數香農場を兼營す 敷香郡泊岸村大字新開新榮通一七番地 井上 進 醫學博士 樺太廳大泊醫院醫官 明治三十年一月、日兵庫縣に生る 大阪醫大卒業 昭和七年三月學位を受く、同八年八月現職に就く 大泊町本町西一條南四丁目 井上恒太郎 井上病院院長 明治二十七年十一月二十五日山形縣に生る 大正七年五月愛知醫學專門學校卒業 大正十二年一月より昭和四年三月迄靜岡縣に開業す、昭和四年六月より昭和八年十月迄東京帝國大學醫學部に於て研究し論文「邦人胎兒乳核發生の組織學的的研究」に上

り同年十二月八日付醫學博士の學位を受く。昭和十一年十一月より現在成に於て内小兒科、産婦人科を開業す。

本斗郡本斗町中道一ノ四

井上萬壽夫 大泊郵便局長

明治十九年一月二十四日高知縣に生る。

大正元年十一月十一日任郵務貯金局書記補。大正十五年五月二十日任樺太廳郵便局通信書記。昭和九年十月任大泊郵便局長。

大泊町本町西一條六丁目官舎

井上 一 藥劑師

明治十三年八月八日茨城縣に生る。明治藥專卒業。

大正四年六月渡樺。大泊町に於て開業今日に至る。

樺太大泊町榮町東一條通一丁目八

井坂 林平 豊原市々會議員

明治二十年十一月十日茨城縣に生る。

明治四十五年札幌監獄樺太分監監看守として渡樺。大正四年退職。樺太運輸株式會社に入社。爾來豊原支店長に進み。昭和二年合同運送株式會社豊原支店營業主任。同四

年取締役に選任。豊原支店長。同五年辭職。同七年海陸運送業經營今日に至る。昭和八年九月町會議員當選。同十三年にも當選。各種委員兼任。昭和十年五月豊原商工會議成員。

豊原市南四條東三番ノ五六

井田 良三 齒科醫 町會議員

明治二十三年九月二十七日山形縣に生る。明治四十二年東京齒科醫學校卒業。

大正二年九月渡樺。眞岡町泊居町にて齒科醫を開業。同十一年豊原市夕刊新聞社理事に就任。同十二年大泊毎日新聞社の創設發起人として其の經營に當り昭和十一年十月大北新聞社に併合之を廢刊す。

大泊町會議員其他各種公職に在りて。本町發展の爲盡瘁する所尠からず。

樺太大泊町本町西一條南三丁目一番地

井出 光宅 北海道拓殖銀行豊原支店長

明治二十六年七月一日奈良縣に生る。東京帝國大學農學部農政科卒業。大正九年北海道拓殖銀行に入行

年取締役に選任。豊原支店長。同五年辭職。同七年海陸運送業經營今日に至る。昭和八年九月町會議員當選。同十三年にも當選。各種委員兼任。昭和十年五月豊原商工會議成員。

昭和十一年四月渡島。現在同行豊原支店長。

豊原市東三條南四丁目

井手 瑞穂 樺太廳元泊支店長

明治三十三年一月二十五日生る。日大法科卒業。

夙に拓務局として拓務局管理員第一課に勤務し同地方課管理員行政課司計課に各勤務し昭和十三年樺太廳事務官。交通部土木課勤務となり渡島す。長官官房企劃課長より昭和十五年現職に至る。

元泊郡元泊村官舎

井本熊次郎 眞岡町會議員

明治十四年六月五日に奈良縣に生る。

明治四十一年來前住地たる大泊市より夏期間毎年渡樺し眞岡町にて海産商を営む。大正元年蘭泊村羽母輝に定住し農業及び海産商を営み今日に至る。昭和八年九月眞岡町會議員に當選す。昭和十年爾來議長代理として今日に至る。

樺太眞岡郡眞岡町山手町五ノ一九

遠藤 彦悦 知取町會議員

知取運送社取締役。知取魚菜市場監査役。

明治二十五年十一月二十七日岩手縣に生る。

大正元年十月渡樺。同一年樺太廳巡查拜命。同十年警部補任官。海馬島。眞岡。野田各署。同十三年講習所。同十四年刑事課。昭和元年警部昇進。同二年豊原警署署長。同四年五月退官。合資會社豊原同社支配人。勸業無償會社知取支店長として赴任。同七年三月退社。爾來知取町に居住す。

知取町千歲町三ノ九

ウの部

宇野金三郎 本斗海陸運輸株式會社取締役。消防組頭。信用組合理事。本斗管内製材組合長。樺太農機株式會社取締役。

明治二十四年三月六日茨城縣に生る。

大正元年渡樺。蘭泊村樺太木材合資會社製材工場に勤。同九年獨立して本斗町轉任現在の宇野製材所を開設製材。販賣並購買業を経営して今日に至る。

本斗郡本斗町中道一ノ五

上野 三郎 増田合名會社大泊出張所長

元泊郡知取町常盤町北二丁目一平番地

魚谷条次郎 倉庫業 酒造業

泊居修組監事

昭和十二年十一月三日富山縣に生る。

明治四十年郷里より渡樺。眞岡町にて米穀海産運漁業を営む。大正三年十月泊居町に轉任倉庫業。酒造業商店等を經營。部落總代。町會長。消防組頭等就任。大正十一年四月泊居町議會議員を命ぜられ議長拜命。昭和四年以來町議に當選主任。昭和七年一月泊居商工會頭に選任さる。

泊居郡泊居町北本町一ノ一四

薄木虎二郎 樺太廳内務部地方課長

明治二十三年三月二十四日山形縣に生る。大正三年三月臺灣總督府國語學校小學校師範部卒業。大正三年臺灣小學校訓導として島内各地に奉職す。同十三年轉職す。同十四年高文合格。十五年樺太廳屬拜命。大泊支廳庶務係長。樺太廳議事事務官。長官官房文書課長。元泊支廳長。數香支廳長。豊原高等女學校校長。樺太廳視學官。數香

等女學校校長 樺太廳視學官 數香

業を營み今日に至る。

豊原市東一條南五丁目神社通

植田 誠一 知取町會議員 商工會議所議員 王子專造材請負業

明治十七年五月一日靜岡縣に生る。

大正七年八月富士製紙株式會社入社山付手山林派出勤務。同十一年退社。同十四年渡樺。知取町に住し富士製紙會社山林部專屬請負業を營み今日に至る。

豊原市東一條南五丁目官舎二二六ノ二

上田 光曦 樺太廳師範學校校長

明治十九年十二月二十一日大分縣に生る。東京高師博物科卒業。

明治四十四年四月鹿兒島縣立第一高等女學校教諭に任じ。同縣立女子師範學校。大分縣立師範學校各教諭。愛媛縣視學。同縣立宇和島高等女學校校長。同大州中學校長等に歴任。昭和二年一月樺太廳眞岡中學校長に轉任。同年四月豊原中學校長に轉任。昭和十五年師範學校創設されたに付校長として赴任す。

豊原市樺太廳官舎

上野 正之 東條小學校校長

明治二十五年十二月二十三日大分縣に生る。大分師範學校卒業。

大正三年三月大分縣朝來尋常高等小學校訓導に初任。大正十四年五月休職。同十五年三月熊毛尋常高等小學校訓導に復職。昭和五年三

月取締役に選任。豊原支店長。同五年辭職。同七年海陸運送業經營今日に至る。昭和八年九月町會議員當選。同十三年にも當選。各種委員兼任。昭和十年五月豊原商工會議成員。

豊原市南四條東三番ノ五六

井田 良三 齒科醫 町會議員

明治二十三年九月二十七日山形縣に生る。明治四十二年東京齒科醫學校卒業。

大正二年九月渡樺。眞岡町泊居町にて齒科醫を開業。同十一年豊原市夕刊新聞社理事に就任。同十二年大泊毎日新聞社の創設發起人として其の經營に當り昭和十一年十月大北新聞社に併合之を廢刊す。

大泊町會議員其他各種公職に在りて。本町發展の爲盡瘁する所尠からず。

樺太大泊町本町西一條南三丁目一番地

井出 光宅 北海道拓殖銀行豊原支店長

明治二十六年七月一日奈良縣に生る。東京帝國大學農學部農政科卒業。大正九年北海道拓殖銀行に入行

年取締役に選任。豊原支店長。同五年辭職。同七年海陸運送業經營今日に至る。昭和八年九月町會議員當選。同十三年にも當選。各種委員兼任。昭和十年五月豊原商工會議成員。

豊原市東三條南四丁目

井手 瑞穂 樺太廳元泊支店長

明治三十三年一月二十五日生る。日大法科卒業。

夙に拓務局として拓務局管理員第一課に勤務し同地方課管理員行政課司計課に各勤務し昭和十三年樺太廳事務官。交通部土木課勤務となり渡島す。長官官房企劃課長より昭和十五年現職に至る。

元泊郡元泊村官舎

井本熊次郎 眞岡町會議員

明治十四年六月五日に奈良縣に生る。

支廳長 豐榮支廳長内務部學務課長を兼任して昭和十五年現職に至る

豊原市樺太廳官舎
碓氷 誠 樺太廳殖産部殖民課勤務樺太廳技師

明治二十三年五月十一日長野縣に生る 東北帝大農科土木工學科卒業

大正四年北海道炭礦汽船株式會社技手として勤務し同十三年樺太廳技手を拜命殖産部殖民課に勤務す同十四年技師に昇進して今日に至る 官制改正に依り殖産部殖民課勤務となる
豊原市樺太廳官舎

碓氷 清 醫師

明治二十八年五月八日長野縣に生る 金澤醫學卒業

卒業後半々年母校内科に見學其の後日本赤十字社秋田支部病院 長野縣下 訪共立病院に奉職し昭和五年八月渡樺 泊居病院内科に勤務し昭和七年同地に開業 昭和九年豊原現住地に轉居 内科小兒科花柳病科を以て開業し今日に至る
豊原市東一條南六ノ一八
内田平三郎 樺太廳殖産部林業

課勤務樺太廳技師

明治二十四年五月十八日埼玉縣に生る 東北帝大林學科卒業

大正三年山林技手に任官して農商務省に奉職すること多年 昭和一年樺太廳森林作業所技手となつて渡樺せり 農林部林業課に勤務すること多年にして技師に進む 官制改正に依り農林部付殖産部となる

豊原市樺太廳官舎
内館藤太郎 漁業 消防組頭

關泊村會議員 關泊火防組合長
明治二十三年十二月三日北海道に生る

郷里に於て漁業經營 大正七年渡樺 現任所に於て漁業經營 大正十年來鰯肝油製造に着手 不斷の研究により優秀なる製品を市場に供給するに至り 本島水産業に一新生面を拓いた功勞者
眞岡町關泊村大字關泊
内海 誠藏 中里尋常小學校校長

明治三十三年一月十日青森縣に生る 青森師範學校第一部卒業
大正九年青森縣大津尋常小學校訓導拜命 昭和三年八月樺太廳へ出向 知取第一尋常高等小學校勤務

昭和六年十二月迄札幌尋常小學校長 同十一年四月中里小學校長に轉任今日に至る
大泊郡千歲村大字貞家字中里小學校公舎

馬屋原敬吾 樺太廳殖産部林業課兼課勤務樺太廳技師

明治三十七年六月大阪府に生る 昭和二年京都帝大工學部卒業 昭和三年京都帝大工學部に助手として勤務し翌年樺太廳技師として赴任す同五年樺太廳技師内務部課勤務となる 同十年樺太廳技師となつて今日に至る
豊原市樺太廳官舎

海内 要道 豐原炭礦長

明治三十五年十二月二十二日富山縣に生る 東京帝大工學部卒業 滿洲國ヘルピンに於て炭礦事業經營 昭和十二年五月豐原炭礦事業着手に際し聘せられて渡島同礦長として目下樺太廳にあり
名好郡名好村大字名好
裏田 作 海産商

明治二十九年十一月二十日富山縣に生る
郷里に於て海産商を經營 毎年北海道利尻に出張し居たるも昭和五

一七

年樺太に移住大泊町に於て海産商を營み昭和七年十一月本斗町に轉住海産加工業を經營 事業部と共に發展す
本斗町濱通三ノ一〇

梅澤 源吉 王子製紙株式會社 樺太分社山林部理事 樺太電氣株式會社監査役 樺太鑛業株式會社監査役

明治十八年三月六日栃木縣に生る 盛岡高等農林學校卒業 樺太廳に奉職後明治四十四年王子製紙會社に入社大泊工場山林部勤務兼進して現職に就く
豊原市王子工場社宅

瓜田 友衛 樺太廳豊原中學校長

明治十九年四月十五日青森縣に生る 廣島高等師範學校卒業
明治四十年卒業と同時に鹿兒島縣立第一中學校に赴任 同年七月青森中學校教諭 同七年青森高等女學校教諭 昭和六年四月公立大泊高等女學校並教育科教授轉任 同年六月樺太廳大泊中學校校長兼教諭に補され同十五年現職に轉す
豊原市樺太廳官舎

氏家 政治 豊原市々會議員

明治十九年九月十日宮城縣に生る 明治四十年渡樺 現任所に於て精肉商を營み今日に至る 明治四十二年以來消防手となり小頭 部頭を経て昭和六年三月組頭となる 昭和四年九月町會議員當選就任 同八年九月及十二年再選せらる 各種委員兼任
豊原市西一條南四丁目一番地

オ、アの部

小河 正儀 樺太廳長官

明治二十七年十一月一日山口縣に生る 大正七年東京帝大法科卒業 大正七年和歌山縣廳に任せられ同年十月高等文行政科試験合格内務省關西縣警視 關東廳事務官兼關東廳參事官 關東廳長官官房文書課長 同内務省事務官 朝鮮總督府秘書官兼參事官 同憲兵官事務官 殖産局農務課長 拓務書記官 拓務省第一課長 拓務省管理局長 第一課長兼朝鮮部第一課長 大臣官房會計課長兼臺灣總督府勸任事務官兼大臣官房會計課長 青森縣知事 三重縣知事を歴任して昭和十五年四月九日樺太廳長官に就

任して今日に及ぶ

小川 盛 樺太廳内務部調查課兼殖産部課勤務樺太廳技師

明治三十二年二月十一日北海道に生る 東北帝大機械工學科卒業 大正十三年北海道帝大に奉職して昭和四年に至り樺太廳職託として渡樺 直ちに技手に任官 土木課保安課 營繕課 鐵務課等庶務に就けり
豊原市樺太廳官舎

小川 正連 富内村々會議員

明治三十年六月二十二日北海道に生る
高等小學校卒業して自動車運輸業に従事明治四十三年渡樺 下喜美内にて農場を經營す 公設富内消防組第七部小頭を経て部頭に就任 富内土木學務委員 村會議員の職にあり
富内郡富内村大字春美内字下春美内北三十二番地
小熊 作藏 樺太電氣株式會社 知取營業所主任
明治二十二年三月五日新潟縣に生る 直江津商業卒業

大正五年日本化學紙料株式會社入社渡樺 落合工場勤務 同十一年合併により富士製紙社員 同十三年五月知取工場勤務 昭和五年現職に就任

知取町萬代町三ノ三
小倉末次郎 知取町會議員
明治二十三年三月二十一日青森縣に生る
明治四十年來樺太眞岡町に夏期間漁業の爲出張大正二年定住し漁業に従事し大正十四年現任所に移住 雜貨商經營現在に及ぶ 昭和八年十一月より同十一年三月迄區長 同年九月町會議員當選同十五年再選 昭和二年公設消防組第四部頭就任

知取町北邊古丹市街地
小澤 賢梧 内幌郵便局長
明治十七年一月五日山梨縣に生る 郷里にて郵便局に奉職し明治四十年三月樺太民政署事務を屬託され渡島 同年四月樺太廳始政と同時に樺太廳に奉職し岡野便局に勤務す 大正七年十一月現在の内幌局長に任命せらる
本斗郡内幌村大字内幌大通二ノ二

小野寺銀一 樺太廳殖産部殖民課長

明治三十三年七月十三日宮城縣に生る 明治四十二年宮城縣立佐沼中學校卒業す
大正六年眞岡支廳より本斗出張所拓殖部林務課 豊原支廳 樺太廳 關泊支廳 留多加支廳殖産係長 豊原支廳殖産係長 豊榮支廳殖産係長 泊居支廳殖産係長 出張所長 惠須取支廳長を歴任して昭和十五年現職に就く
豊原市樺太廳官舎

小田 正作 惠須取元町郵便局長

明治十年四月二十九日山梨縣に生る 山梨縣西八代郡私立櫻陽學舎卒業
明治三十二年松本稅務管理局稅務署員を命ぜらる 大正八年渡樺 樺太工業株式會社 取山林出張所主任として來町 昭和四年五月現職に就く 現町會議員 信用組合理事
惠 取町元町一番地
小田 桐繁逸 醫師 名好村々會議員
明治三十一年八月十一日青森縣に生る

一七

として町發展の爲盡力せられ、本町草創の當初より實業會長、部
務總代、町民會長、消防組頭、大
泊聯合分會會長等の要職を経て大正
十一年四月自治制の施行を見るや
推され初代名譽町長に就職し
以來名譽町長たること三回、町元
老として町政の樞機執掌し現に町
會議長、商工會議所頭たる外實
業方面に於ては大野商事合名會社
代表社員、其他島内關係會社の
重役たり、昭和三年十一月從六位
に叙せられ同四年十月紺綬章を
賜ふ。

大泊町愛町中通二、二十五番地
大橋清三郎 豊原東五條郵便局
長

明治十二年六月一日栃木縣に生る
明治三十八年七月七日東京高等商
業學校卒業

大正十一年五月二十七日長野縣小
諸商業學校教諭に任ず、昭和六年
十二月十一日任權太廳特定郵便局
長
(豊原東五條)

大橋徳太郎 眞岡商工會議所會
頭
明治十九年六月五日滋賀縣に生る

大正六年三月渡權現任所に於て米
製肥料雜貨商經營、權太拓殖商事
株式會社副社長、權太製藥株式會
社取締役、大正十年以來町議會議選
重任、昭和五年辭職す、昭和二年
以來商工會議所會頭としてその職
にある、昭和十二年權太廳評議會
議員に任命さる
眞岡郡眞岡町本町二ノ六
大原 三郎 權太廳眞岡中學校
教諭
明治二十六年四月八日長崎縣に生
る、縣立島原中學校卒業
檢定により中等教員權太廳科教員の
免許状を受く、長崎縣立島原中學校
校務主任校教諭、昭和三年四月權
太廳眞岡中學校教諭として出向今
日に至る
眞岡町高嶺町番外地
大卷喜三郎 明治十四年一月十
一日飯草縣に生る
大正五年渡權、豊原大泊に居住同
八年秋敷香村に來住、料理店松ノ
家を開業今日に至る、公設消防組
員として永く勤勞し(小頭)組員
の訓練、機械器具の充實等に力を
盡し數香消防組をして今日あらし
めたる功勞者なり、辭任後は消防

後援會副會長として引續き消防の
充實に盡し消防の恩人として信望
高し、料理店組合幹事、林野火防
組合會計(審議員)、訓組會長を経
て昭和十一年組合長に推され就任
敷香町千草通南一丁目十八番地
大森三之助 權太廳豐原支廳長
明治二十四年四月十二日茨城縣に
生る、縣立大田中學校卒業
大正三年渡臺し臺中廳巡查を拜命
同八年警視廳巡查に轉じ同九年稅
務署關水戸稅務署勤務、松原、千
葉各稅務署、庶務課長、庶務、折務
課大臣官房會計課、同司計課を各
勤務して昭和十二年權太廳事務に
任官す、交通部土木課勤務より元
泊支廳長を経て現職に就く
豊原市權太廳官舎
大村 健彦 王子社員 明治十
六年一月二日靜岡縣に生る、明治
三十年富士製紙會社富士工場入社
同三十九年鋼路工場勤務、爾來江
別工場、富士第三、江戸川工場等
を経て大正十五年知取工場勤務と
なる、昭和七年製紙會社合併により
王子社員となり今日に至る
知取町王子社宅

大村 茂 知取第三尋常小學
校長
明治二十四年八月一日山形縣に生
る、米澤中學校卒業、山形師範第二
部卒業
大正四年三月山形縣東陽尋常高等
小學校訓導に初任、大正十五年四
月權太廳へ出向、船見尋常小學校
勤務、昭和八年雨龍尋常高等小學
校長に轉任、同九年高等官を以て
待遇さる、同十年四月知取第三校
長に轉任今日に至る
元泊郡知取町
大山 幸藏 大山肉店主
明治二十六年十月十三日新潟縣に
生る
大正八年渡權、同十年現任所に於
て精肉商開業、毎日發展を見、豊原市
一流商店として盛業、昭和九年來
精肉商組合役員勤務、十二年一月
改選に當り後進に讓る
豊原市大通南四丁目九番地
大山軍之助 權太廳眞岡高等女
學校教諭
明治三十七年六月五日岩手縣に生
る、第一臨時教員養成所卒業
大正十五年三月科田縣立能代中學
校教諭に任じ昭和三年四月權太廳

山公立中學校教諭に任ぜられ同十
五年六月權太廳豊原中學校囑託と
して渡權、同年十月同校教諭に任
ぜられ今日に至る
豊原市東六條南五丁目官舎甲五號
岡田 千里 權太銀行眞岡支店
長
明治二十八年一月五日大阪市に生
る、同志社工學經濟科卒業
大正六年權太銀行勤務、昭和六年
同行眞岡支店長に就任今日に至る
權太眞岡町本町一丁目
岡野 慈 岡の家經營者
明治二十四年一月七日豊原縣に生
る
明治三十八年に渡權せる嚴父啓嗣
氏の事業地たる大泊に同四十年に
居住す、家業たる岡ノ家經營の衝
に當り大正九年相續してその當主
たり、右旗亭の外大正十年來大泊
川流域に牧場を經營して成績大い
に振つてゐる
大泊郡大泊町本町南三ノ一
岡野 貞夫 大泊本町郵便局長
明治三十三年一月一日佐賀縣に生
る、日大法科同文學部社會科卒業
大泊大北新報社役員たりし事あり

豊原高等女教諭に轉じ後現職に移つ
て今日に至る
眞岡町高女校公舎
大家三郎平 明治十年二月七日
石川縣に生る
大正十三年渡權、内幌村に於て木
工場經營傍賃業を營み今日に至
る
本斗郡内幌村大字内幌東一條丁
目十番地

岡田 虎次 陸軍歩兵少尉
明治二十四年一月一日兵庫縣に生
る、兵庫縣立甲種農學校卒業、京
都市私立平安中學校卒業
帝國在郷軍人會豊原町分會評議員
豊原町青年團相談役、同義勇消防
隊長等の公職に推され昭和三年以
來日華生命保險會社代理店、内外
火災保險會社代理店を營み今日に
至る、昭和九年二月第十回區長就
任
豊原市東三條南九丁目十一番地

岡田 宣一 權太廳豊原中學校
教諭
明治二十七年十二月六日徳島縣に
生る、徳島縣師範學校卒業
檢定により生理及衛生の中等教員
免許状を受く、大正十四年朝鮮郡

大正六年三月渡權現任所に於て米
製肥料雜貨商經營、權太拓殖商事
株式會社副社長、權太製藥株式會
社取締役、大正十年以來町議會議選
重任、昭和五年辭職す、昭和二年
以來商工會議所會頭としてその職
にある、昭和十二年權太廳評議會
議員に任命さる
眞岡郡眞岡町本町二ノ六
大原 三郎 權太廳眞岡中學校
教諭
明治二十六年四月八日長崎縣に生
る、縣立島原中學校卒業
檢定により中等教員權太廳科教員の
免許状を受く、長崎縣立島原中學校
校務主任校教諭、昭和三年四月權
太廳眞岡中學校教諭として出向今
日に至る
眞岡町高嶺町番外地
大卷喜三郎 明治十四年一月十
一日飯草縣に生る
大正五年渡權、豊原大泊に居住同
八年秋敷香村に來住、料理店松ノ
家を開業今日に至る、公設消防組
員として永く勤勞し(小頭)組員
の訓練、機械器具の充實等に力を
盡し數香消防組をして今日あらし
めたる功勞者なり、辭任後は消防

後援會副會長として引續き消防の
充實に盡し消防の恩人として信望
高し、料理店組合幹事、林野火防
組合會計(審議員)、訓組會長を経
て昭和十一年組合長に推され就任
敷香町千草通南一丁目十八番地
大森三之助 權太廳豐原支廳長
明治二十四年四月十二日茨城縣に
生る、縣立大田中學校卒業
大正三年渡臺し臺中廳巡查を拜命
同八年警視廳巡查に轉じ同九年稅
務署關水戸稅務署勤務、松原、千
葉各稅務署、庶務課長、庶務、折務
課大臣官房會計課、同司計課を各
勤務して昭和十二年權太廳事務に
任官す、交通部土木課勤務より元
泊支廳長を経て現職に就く
豊原市權太廳官舎
大村 健彦 王子社員 明治十
六年一月二日靜岡縣に生る、明治
三十年富士製紙會社富士工場入社
同三十九年鋼路工場勤務、爾來江
別工場、富士第三、江戸川工場等
を経て大正十五年知取工場勤務と
なる、昭和七年製紙會社合併により
王子社員となり今日に至る
知取町王子社宅

と共に常務取締役就任して今日
に至る
大泊町
岡山英次郎 牧畜經營、泊町町
會議員
明治八年一月十七日秋田縣に生る
明治十九年五月露濱サワリン島
コルサツコーフ港日本領事雇員拜
命して露濱習得し明治三十一年七
月江部宮島惣入漁場外、西海岸一帯
の漁場へ露濱通話を囑託されて活
躍し、同三十八年一月日露戰爭勃
發同五月領事引揚と同時に御眞影
を奉護して東京に引揚ぐ、明治三
十八年九月渡權西海岸エベケレン
部落總代となり大正三年二月二十
一日部落總代辭任、明治四十一年
現任所に於て牧畜經營昭和四年以來
町議に選任さる
泊町郡泊町西ヶ原十四番地
岡山 忠夫 スキー選手
大正二年七月四日泊町に生る
泊居小學校卒業後同校附屬工業補
習學校卒業して家業に従事す、昭
和十一年世界オリムピック大會に
權太が生んた唯一の代表選手とし
て出動した

泊居郡泊居町西ヶ原十四番地
奥井 茂 商工會議所議員
菓子商組合相談役

明治二十八年六月十五日札幌市に
生る
大正十三年渡樺知取町に於て菓子
商經營今日に至る 知取名物帆立
羊羹を製造發賣し有名なり
知取町千歳町三丁目十七番地

奥野長四郎 本斗商工會々頭
本斗無礙會社々長 本斗海陸運輸
株式會社取締役

明治二十年石川縣に生る
明治四十四年渡樺真岡町に居住
大正二年本斗町に轉住清酒醸造業
を經營今日に至る 町村制施行と
共に町會議員に就任曾て商工會々
頭に推されて二年間在任後辭任せ
るも昭和十一年再選されて今日に
至る

本斗町中通四丁目
奥平 義行 樺太廳交通部土木
課勤務樺太廳技師

明治三十年十二月二十六日北海道
に生る 大正八年東北土木工學
科卒業
大正八年に盛岡電氣工業株式會社

尾形 石吉 明治五年十月二十
八日北海道に生る

入日北海道に生る
永年鐵道に奉職し退職後農業を營
む 現に區長及興農會支部長の職
にあり
豊原郡豊北村大字本川上字奥川上
番外地

尾崎 與作 樺太廳學務課屬
明治三十四年五月十七日北海道に
生る
大正五年十月十日朝里村役場書記
補を命ず 大正七年六月二十五日
札幌地方裁判所所屬員を命ず 大正
八年十月二十八日樺太廳臨時職員
を命ぜられ大正十一年十二月二十
七日歸に任官今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾崎 貞夫 上遠古丹尋常小學
校長
明治二十五年四月二十日鳥取縣に
生る 札幌師範學校尋常小學校本
科正教員養成講習會修了
明治四十二年五月鳥取縣中私郡尋
常高等小學校代用教員を拜命 大
正元年十月北海道晚生内尋常小學
校訓導に任ぜられ大正十年九月退
職渡島 樺太公立小學校尋常科訓
導に任ぜられ泊居尋常高等小學校

尾野 菊義 樺太廳真岡高等女
學校教諭
明治三十七年十月十五日愛媛縣に

折戸 惣市 敷香信用組合専務
理事
明治三十三年十一月二十日福井縣
に生る
北海道尋常高等卒業後大正三年家族
と共に渡樺泊居町に於て漁業に従
事 昭和三年十一月敷香町に轉住
昭和六年十月敷香信用組合職員と
同時に理事に就任 同九年五月専
務理事に就任 昭和八年九月敷香
町會議員當選就任各種町委員兼任
敷香町山手通南一ノ七

力 の 部
加藤覺右衛門 明治三十一年七
月十三日宮城縣に生る
大正六年宮城縣高砂小學校代用教
員を振出し同縣各校に歴任し大正
十四年三月樺太公立小學校訓導と
して真岡第一校より野田轉じ昭和
六年逢坂校長 昭和八年富樫校長
同十年小沼校長となつて今日に至
る
樺太廳原郡豊北村大字小沼

加藤悌吉郎 樺電本斗營業所主
任 明治十一年十一月二十八日出
形縣に生る

尾山 長作 本斗水産補習學校
長
明治三十一年一月二十四日富山縣
に生る 富山縣水産講習所卒業
同所卒業後同所助手として勤務し
鳥取縣産業技師 同縣高等農務諮
實業補習學校助教諭 福岡縣下公
民學校助教諭歴任 昭和四年五月
渡樺本斗水産補習學校教員職託同
時に公立樺太小學校代用教員拜命
本斗小學校勤務 同八年九月樺太
公立實業補習學校教諭に任ぜられ
本斗水産補習學校長に就任して今
日に及ぶ
本斗町中通一ノ十八

緒方 至 敷香警察署長
明治二十二年二月二十日熊本縣に

生る 京都高等工業卒業
昭和八年檢定により高等教員圖畫
科免許狀を受く 大正十五年四月
朝鮮公立羅南中學校教諭に任ぜら
れ昭和十一年三月退官 同年五月岡
山縣勝山中學校教諭心得 同校教
諭 同縣和氣高等女學校教諭を歴
任 昭和九年五月樺太廳真岡高等
女學校教諭に轉じ今日に至る
真岡町旭町五八番地

生る 大正二年熊本縣巡查拜命 大正三
四年戦役に出征す除隊後熊本縣郡
吏員を勤め大正十五年熊本縣屬に
任官し學務部課長 内務部地方
課 若松市役所等に奉職 昭和四
年樺太廳警部補として渡島警察部
警務課保安課 豊原警察署長 泊
居支廳鶴城出張所等歴勤 昭和十
三年警視に昇進して惠須取警察署
長に補せられ後豊原警察署長を經
て現職に就く
樺太廳敷香町官舎

萩野豊次郎 遠節林野火防組合
長 遠節漁業組合長 本斗郡水産
會代議員
明治三十五年五月十三日富山縣に
生る
大正九年より同十三年迄京都市專
賣局に奉職 同十四年渡樺本斗町
にて海産商を營む 昭和七年現任
所に轉住漁業並製造加工業經營今
日に至る
本斗町大字遠節字良音間一ノ番地

落合 宇七 名好村長
明治十四年五月二十七日靜岡縣に
生る

明治三十七八年戦役に參加後明治
四十二年靜岡縣小笠郡書記 大正
七年渡樺豊原支廳に奉職 正八年
豊原町民會副會長となり其後同町
助役 落合町、知取町各助役 白
磯村長 惠須取町助役を歴任して
現在に至る
名好郡名好村公舎

尾張 吉治 知取町長
明治十一年三月二十三日秋田縣に
生る 北海道師範學校卒業
明治四十一年真岡小學校長として
渡樺その後豊原小學校長 豊原高
等女學校書記兼教諭 泊居支廳庶
務係長 大泊支廳庶務係長 敷香
支廳長等歴任し昭和四年退官後大
泊町助役 同十一年三月知取町助
役を經て現在に至る
元泊郡知取町公舎

及川 洋 樺太廳殖産部課務
課勤務樺太廳技師
明治四十一年八月二十一日青森縣
に生る 北海道帝大工學部卒業
昭和十一年樺太廳技師に任官課務
課に勤務す 同十四年技師に進み
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾澤清太郎 樺太廳殖産部林務
課長
明治二十九年三月五日岩手縣に生
る 大正二年樺太廳通信士養生所
卒業
大正二年通信事務員として大泊郵
便局に勤務し大正六年樺太廳巡查
を拜命す 大正九年樺太廳警部補
に進み大正十一年樺太廳警部とな
る 大正十一年辯護士試験に合格
同十三年警察部保安課長兼樺太廳
屬 警察部高等警察課長兼保安課
長 昭和二年警視に進み警察部警
務課長となる 爾來元泊支廳長、
敷香支廳長、大泊支廳長、豊原支
廳長、農林部林務課長を歴任して
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾野 菊義 樺太廳真岡高等女
學校教諭
明治三十七年十月十五日愛媛縣に

折戸 惣市 敷香信用組合専務
理事
明治三十三年十一月二十日福井縣
に生る
北海道尋常高等卒業後大正三年家族
と共に渡樺泊居町に於て漁業に従
事 昭和三年十一月敷香町に轉住
昭和六年十月敷香信用組合職員と
同時に理事に就任 同九年五月専
務理事に就任 昭和八年九月敷香
町會議員當選就任各種町委員兼任
敷香町山手通南一ノ七

力 の 部
加藤覺右衛門 明治三十一年七
月十三日宮城縣に生る
大正六年宮城縣高砂小學校代用教
員を振出し同縣各校に歴任し大正
十四年三月樺太公立小學校訓導と
して真岡第一校より野田轉じ昭和
六年逢坂校長 昭和八年富樫校長
同十年小沼校長となつて今日に至
る
樺太廳原郡豊北村大字小沼

加藤悌吉郎 樺電本斗營業所主
任 明治十一年十一月二十八日出
形縣に生る

尾山 長作 本斗水産補習學校
長
明治三十一年一月二十四日富山縣
に生る 富山縣水産講習所卒業
同所卒業後同所助手として勤務し
鳥取縣産業技師 同縣高等農務諮
實業補習學校助教諭 福岡縣下公
民學校助教諭歴任 昭和四年五月
渡樺本斗水産補習學校教員職託同
時に公立樺太小學校代用教員拜命
本斗小學校勤務 同八年九月樺太
公立實業補習學校教諭に任ぜられ
本斗水産補習學校長に就任して今
日に及ぶ
本斗町中通一ノ十八

緒方 至 敷香警察署長
明治二十二年二月二十日熊本縣に

生る 京都高等工業卒業
昭和八年檢定により高等教員圖畫
科免許狀を受く 大正十五年四月
朝鮮公立羅南中學校教諭に任ぜら
れ昭和十一年三月退官 同年五月岡
山縣勝山中學校教諭心得 同校教
諭 同縣和氣高等女學校教諭を歴
任 昭和九年五月樺太廳真岡高等
女學校教諭に轉じ今日に至る
真岡町旭町五八番地

萩野豊次郎 遠節林野火防組合
長 遠節漁業組合長 本斗郡水産
會代議員
明治三十五年五月十三日富山縣に
生る
大正九年より同十三年迄京都市專
賣局に奉職 同十四年渡樺本斗町
にて海産商を營む 昭和七年現任
所に轉住漁業並製造加工業經營今
日に至る
本斗町大字遠節字良音間一ノ番地

落合 宇七 名好村長
明治十四年五月二十七日靜岡縣に
生る

明治三十七八年戦役に參加後明治
四十二年靜岡縣小笠郡書記 大正
七年渡樺豊原支廳に奉職 正八年
豊原町民會副會長となり其後同町
助役 落合町、知取町各助役 白
磯村長 惠須取町助役を歴任して
現在に至る
名好郡名好村公舎

尾張 吉治 知取町長
明治十一年三月二十三日秋田縣に
生る 北海道師範學校卒業
明治四十一年真岡小學校長として
渡樺その後豊原小學校長 豊原高
等女學校書記兼教諭 泊居支廳庶
務係長 大泊支廳庶務係長 敷香
支廳長等歴任し昭和四年退官後大
泊町助役 同十一年三月知取町助
役を經て現在に至る
元泊郡知取町公舎

及川 洋 樺太廳殖産部課務
課勤務樺太廳技師
明治四十一年八月二十一日青森縣
に生る 北海道帝大工學部卒業
昭和十一年樺太廳技師に任官課務
課に勤務す 同十四年技師に進み
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾澤清太郎 樺太廳殖産部林務
課長
明治二十九年三月五日岩手縣に生
る 大正二年樺太廳通信士養生所
卒業
大正二年通信事務員として大泊郵
便局に勤務し大正六年樺太廳巡查
を拜命す 大正九年樺太廳警部補
に進み大正十一年樺太廳警部とな
る 大正十一年辯護士試験に合格
同十三年警察部保安課長兼樺太廳
屬 警察部高等警察課長兼保安課
長 昭和二年警視に進み警察部警
務課長となる 爾來元泊支廳長、
敷香支廳長、大泊支廳長、豊原支
廳長、農林部林務課長を歴任して
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾野 菊義 樺太廳真岡高等女
學校教諭
明治三十七年十月十五日愛媛縣に

折戸 惣市 敷香信用組合専務
理事
明治三十三年十一月二十日福井縣
に生る
北海道尋常高等卒業後大正三年家族
と共に渡樺泊居町に於て漁業に従
事 昭和三年十一月敷香町に轉住
昭和六年十月敷香信用組合職員と
同時に理事に就任 同九年五月専
務理事に就任 昭和八年九月敷香
町會議員當選就任各種町委員兼任
敷香町山手通南一ノ七

力 の 部
加藤覺右衛門 明治三十一年七
月十三日宮城縣に生る
大正六年宮城縣高砂小學校代用教
員を振出し同縣各校に歴任し大正
十四年三月樺太公立小學校訓導と
して真岡第一校より野田轉じ昭和
六年逢坂校長 昭和八年富樫校長
同十年小沼校長となつて今日に至
る
樺太廳原郡豊北村大字小沼

加藤悌吉郎 樺電本斗營業所主
任 明治十一年十一月二十八日出
形縣に生る

尾山 長作 本斗水産補習學校
長
明治三十一年一月二十四日富山縣
に生る 富山縣水産講習所卒業
同所卒業後同所助手として勤務し
鳥取縣産業技師 同縣高等農務諮
實業補習學校助教諭 福岡縣下公
民學校助教諭歴任 昭和四年五月
渡樺本斗水産補習學校教員職託同
時に公立樺太小學校代用教員拜命
本斗小學校勤務 同八年九月樺太
公立實業補習學校教諭に任ぜられ
本斗水産補習學校長に就任して今
日に及ぶ
本斗町中通一ノ十八

緒方 至 敷香警察署長
明治二十二年二月二十日熊本縣に

生る 京都高等工業卒業
昭和八年檢定により高等教員圖畫
科免許狀を受く 大正十五年四月
朝鮮公立羅南中學校教諭に任ぜら
れ昭和十一年三月退官 同年五月岡
山縣勝山中學校教諭心得 同校教
諭 同縣和氣高等女學校教諭を歴
任 昭和九年五月樺太廳真岡高等
女學校教諭に轉じ今日に至る
真岡町旭町五八番地

萩野豊次郎 遠節林野火防組合
長 遠節漁業組合長 本斗郡水産
會代議員
明治三十五年五月十三日富山縣に
生る
大正九年より同十三年迄京都市專
賣局に奉職 同十四年渡樺本斗町
にて海産商を營む 昭和七年現任
所に轉住漁業並製造加工業經營今
日に至る
本斗町大字遠節字良音間一ノ番地

落合 宇七 名好村長
明治十四年五月二十七日靜岡縣に
生る

明治三十七八年戦役に參加後明治
四十二年靜岡縣小笠郡書記 大正
七年渡樺豊原支廳に奉職 正八年
豊原町民會副會長となり其後同町
助役 落合町、知取町各助役 白
磯村長 惠須取町助役を歴任して
現在に至る
名好郡名好村公舎

尾張 吉治 知取町長
明治十一年三月二十三日秋田縣に
生る 北海道師範學校卒業
明治四十一年真岡小學校長として
渡樺その後豊原小學校長 豊原高
等女學校書記兼教諭 泊居支廳庶
務係長 大泊支廳庶務係長 敷香
支廳長等歴任し昭和四年退官後大
泊町助役 同十一年三月知取町助
役を經て現在に至る
元泊郡知取町公舎

及川 洋 樺太廳殖産部課務
課勤務樺太廳技師
明治四十一年八月二十一日青森縣
に生る 北海道帝大工學部卒業
昭和十一年樺太廳技師に任官課務
課に勤務す 同十四年技師に進み
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾澤清太郎 樺太廳殖産部林務
課長
明治二十九年三月五日岩手縣に生
る 大正二年樺太廳通信士養生所
卒業
大正二年通信事務員として大泊郵
便局に勤務し大正六年樺太廳巡查
を拜命す 大正九年樺太廳警部補
に進み大正十一年樺太廳警部とな
る 大正十一年辯護士試験に合格
同十三年警察部保安課長兼樺太廳
屬 警察部高等警察課長兼保安課
長 昭和二年警視に進み警察部警
務課長となる 爾來元泊支廳長、
敷香支廳長、大泊支廳長、豊原支
廳長、農林部林務課長を歴任して
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾野 菊義 樺太廳真岡高等女
學校教諭
明治三十七年十月十五日愛媛縣に

折戸 惣市 敷香信用組合専務
理事
明治三十三年十一月二十日福井縣
に生る
北海道尋常高等卒業後大正三年家族
と共に渡樺泊居町に於て漁業に従
事 昭和三年十一月敷香町に轉住
昭和六年十月敷香信用組合職員と
同時に理事に就任 同九年五月専
務理事に就任 昭和八年九月敷香
町會議員當選就任各種町委員兼任
敷香町山手通南一ノ七

力 の 部
加藤覺右衛門 明治三十一年七
月十三日宮城縣に生る
大正六年宮城縣高砂小學校代用教
員を振出し同縣各校に歴任し大正
十四年三月樺太公立小學校訓導と
して真岡第一校より野田轉じ昭和
六年逢坂校長 昭和八年富樫校長
同十年小沼校長となつて今日に至
る
樺太廳原郡豊北村大字小沼

加藤悌吉郎 樺電本斗營業所主
任 明治十一年十一月二十八日出
形縣に生る

尾山 長作 本斗水産補習學校
長
明治三十一年一月二十四日富山縣
に生る 富山縣水産講習所卒業
同所卒業後同所助手として勤務し
鳥取縣産業技師 同縣高等農務諮
實業補習學校助教諭 福岡縣下公
民學校助教諭歴任 昭和四年五月
渡樺本斗水産補習學校教員職託同
時に公立樺太小學校代用教員拜命
本斗小學校勤務 同八年九月樺太
公立實業補習學校教諭に任ぜられ
本斗水産補習學校長に就任して今
日に及ぶ
本斗町中通一ノ十八

緒方 至 敷香警察署長
明治二十二年二月二十日熊本縣に

生る 京都高等工業卒業
昭和八年檢定により高等教員圖畫
科免許狀を受く 大正十五年四月
朝鮮公立羅南中學校教諭に任ぜら
れ昭和十一年三月退官 同年五月岡
山縣勝山中學校教諭心得 同校教
諭 同縣和氣高等女學校教諭を歴
任 昭和九年五月樺太廳真岡高等
女學校教諭に轉じ今日に至る
真岡町旭町五八番地

萩野豊次郎 遠節林野火防組合
長 遠節漁業組合長 本斗郡水産
會代議員
明治三十五年五月十三日富山縣に
生る
大正九年より同十三年迄京都市專
賣局に奉職 同十四年渡樺本斗町
にて海産商を營む 昭和七年現任
所に轉住漁業並製造加工業經營今
日に至る
本斗町大字遠節字良音間一ノ番地

落合 宇七 名好村長
明治十四年五月二十七日靜岡縣に
生る

明治三十七八年戦役に參加後明治
四十二年靜岡縣小笠郡書記 大正
七年渡樺豊原支廳に奉職 正八年
豊原町民會副會長となり其後同町
助役 落合町、知取町各助役 白
磯村長 惠須取町助役を歴任して
現在に至る
名好郡名好村公舎

尾張 吉治 知取町長
明治十一年三月二十三日秋田縣に
生る 北海道師範學校卒業
明治四十一年真岡小學校長として
渡樺その後豊原小學校長 豊原高
等女學校書記兼教諭 泊居支廳庶
務係長 大泊支廳庶務係長 敷香
支廳長等歴任し昭和四年退官後大
泊町助役 同十一年三月知取町助
役を經て現在に至る
元泊郡知取町公舎

及川 洋 樺太廳殖産部課務
課勤務樺太廳技師
明治四十一年八月二十一日青森縣
に生る 北海道帝大工學部卒業
昭和十一年樺太廳技師に任官課務
課に勤務す 同十四年技師に進み
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

尾澤清太郎 樺太廳殖産部林務
課長
明治二十九年三月五日岩手縣に生
る 大正二年樺太廳通信士養生所
卒業
大正二年通信事務員として大泊郵
便局に勤務し大正六年樺太廳巡查
を拜命す 大正九年樺太廳警部補
に進み大正十一年樺太廳警部とな
る 大正十一年辯護士試験に合格
同十三年警察部保安課長兼樺太廳
屬 警察部高等警察課長兼保安課
長 昭和二年警視に進み警察部警
務課長となる 爾來元泊支廳長、
敷香支廳長、大泊支廳長、豊原支
廳長、農林部林務課長を歴任して
今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎

檢定試験により小學校教員の免許
状を受け郷里に於て小學校教員奉
職 明治四十年渡樺太廳立第三
小學校(現真岡第一校)勤務 大
正四年大泊小學校勤務 大正七年
四月本斗校長として轉任 同十年
三月依願免 本斗電氣株式會社に
入社 昭和三年七月電氣會社合併
により同社員となり本斗營業所主
任として今日に至る 町會議員
本斗郡本斗町大字本斗字山通三丁
目三十番地

加藤喜三郎 元知取商工會議所
理事 明治二十一年三月十九日宮
城縣に生る

北海道廳立農事講習所卒業後中央
大學政經專門部二年修了
北海道本別村 帶廣町 新得村各
書記 札幌市北海道農産工業所營
業主任 大正八年八月渡樺豊原町
樺太日日新聞記者同九年退社
豊原町に於て商店經營せるも同年
九月樺太に再入社 昭和六年大
泊支社長となり昭和八年四月一日
退社 内地にて病氣療養中
知取町千歲町四丁目八番地

加藤 櫻 明治四十年九月一
十日愛媛縣に生る 昭和三年三月
東洋大學理學部東洋文學科卒業
昭和三年四月樺太廳大泊中學校獨
託 同七月樺太廳中學校教諭に任
ぜられ大泊中學校勤務を命ぜられ
今日に至る
大泊町字初音町富士官舎
加藤 廣造 明治三十一年一月
十日北海道に生る 大正十四年三
月第九臨時教員養成所卒業
同年同月北海道余市市立中學校教諭に
任ぜられ昭和十一年八月樺太廳中
學校教諭に任ぜらる(大泊中學校
勤務)
大泊町本町大通北七丁目十一番地
加藤 寛藏 醫師 樺太醫師會
長
明治十九年三月八日山形縣に生る
大正五年四月北海道小樽區醫務局
大正九年五月退職 同年渡樺して
樺太廳技師拜命同年八月より現
任所に開業 昭和八年八月以降樺
太醫師會長に就任今日に至る
豊原市東一條南五丁目一十七番地
加藤 直藏 關泊漁業協同組合
理事

明治十六年八月十九日秋田縣に生
る
明治四十五年渡樺現任所に於て漁
業經營 昭和七年臨時就任 昭和
四年以來村議會議事主任
關泊村富内岸九番地
加藤庄右衛門 消防部頭
明治十九年十二月二日福井縣に生
る
明治四十三年來農業に従事消防部
頭の職にあり 村評議員 衛生組
合役員等に歴任 小泊消防組合の
親にして移民農耕地開をなす等農
業發展のため盡力す
豊原市樺太廳官舎
加藤 陸郎 樺太廳稅務課兼財
務課事務官
明治三十一年三月一日茨城縣に生
る 水戸中學校卒業
夙に小學校訓導として茨城縣に奉
職し稅務署屬 内務屬 復興局屬
拓務屬を歴任して昭和十四年樺太
廳事務官に就任す
豊原市樺太廳官舎
加藤 謙一 醫學博士 樺太廳
内務部學務課勤務樺太廳技師
明治三十三年七月十三日秋田縣に

生る 京大醫學部卒業
昭和七年まで大醫院に研究し同八
年學位を受く 同九年樺太廳真岡
醫務を屬す 翌年樺太廳醫院醫
官に任ぜられ同十四年樺太廳技師
となり現在に及ぶ
豊原市樺太廳官舎
加島 龜藏 樺太廳泊田支廳長
明治二十四年二月十六日山形縣に
生る 山形師範卒業
大正元年より山形縣下各小學校に
奉職し大正四年渡樺す 大泊小學
校訓導より樺太廳屬となり内務部
地方課に勤務す 内務部土木課
真岡支廳庶務係長 内務部學務課
大泊支廳留多加出張所長を歴勤し
て昭和十四年現職に至る
豊原市樺太廳官舎
貝塚 良雄 樺太廳内務部警備
課兼警察部警防課勤務樺太廳技師
明治三十三年一月二十一日神奈川
縣に生る
縣立工業學校建築科卒業
十正七年神奈川縣廳に奉職昭和四
年樺太廳技師として出向を命ぜら
れ内務部警備課に勤務す 同十四
年樺太廳技師に進み現在に至る
豊原市樺太廳官舎

録田 耕夫 大泊郵便局通信兼
技手

明治三十四年三月二十六日生る
大正四年十二月二十五日北海道
局通信生養成所卒業 同年十一月
二十七日通信事務員を拜命 大正
八年十月十日東京鐵道日本無線電
信技士學校卒業大正三年六月四日
臨時通信事務員を命ず(樺太廳)
大正十四年四月三十日任樺太郵便
局通信書記補昭和五年六月三十日
任樺太郵便局通信書記
大泊町無線電信官舎

録田 正三 數香トラック合同
株式會社常務取締役 數香貨物運輸
株式會社專務取締役 數香無盡株式
會社專務取締役 數香信用組合
長
明治二十六年八月七日岩手縣に生
る 大倉高等修學す
大正七年五月渡樺泊田大榮炭礦に
勤務 昭和六年數香町に轉住土木
建築請負業を營む傍ら前記諸會社
に關係せり
數香町宮通北二丁目
録田すずる 山形屋旅館
明治三十一年十月三十日生る 岩
手縣立花巻高女卒業

大正六年より八年まで郷里に於て
數職にあり同年九月退職渡樺夫君
の任地たる泊田大榮炭礦に轉住
同十一月同炭礦従業員の子弟に寺
小學校教育を始め同九年四月私立
大榮小學校認可と同時に訓導兼校
長 同十年十一月公立の認可と共に
樺太廳訓導に任ぜられ同校長拜
命同十三年九月校長を解かる 昭
和五年十一月退職數香町に轉住旅
館山形屋を買収經營今日に至る
數香町宮通北二丁目
片岡録三郎 醫師
明治八年七月十日茨城縣に生る
東京醫學校卒業後東京市津草區に
於て開業し其後福島縣湯本町に開
業(八年間)昭和十年九月渡樺現
任所に開業今日に至る
豊原市東一條南五丁目一十七番地
片岡 徹 明治三十三年十月
十六日長野縣に生る
大正十年三月二十四日長野縣師範
學校本科第一部卒業 昭和五年四
月二十日渡島縣第一尋常高等小
學校に勤務今日に至る
豊原市東一條南三丁目十六番地
片谷善三郎 樺太廳内務部財務

課長
明治三十三年五月五日北海道に生
る 小樽中學校卒業
夙に眞岡支廳 同本斗出張所 内
務部地方課勤務 大泊支廳庶務係
長を勤め昭和八年内務部財務課勤
務となり同十二年稅務課勤務に轉
じ同十四年樺太廳事務官 内務部
財務課長に就任して現在に至る 豊
原市樺太廳官舎
片谷英次郎 大泊支廳留多加出
張所長
明治二十八年九月二十七日生
明治四十四年四月十一日通信事務
員を命ず(聲問郵便局) 大正四
年八月四日臨時職員を命ず(樺太
廳) 大正八年七月二十二日任樺太
廳屬昭和十五年現職に就く
留多加町
片山小彌太 明治十六年二月十
日北海道に生る
大正三年小樽市山中商會に入社大
正十年六月數香木工場建設に當り
渡樺前來同商會數香支店長として
在勤 昭和二年五月數香無盡株式
會社を創立社長として専心經營に
當る爲山中商會を辭任同五年無盡

會社を辭し土木建築請負業經營今
日に至る 現在商工會頭 町請負
業組合長 學務委員 數香開港期
成會副會長 過去に於ては數香町
の凡ゆる公職に推され一身を盡み
ず公共の爲に盡し爲に私財を散す
ること多く町開發の功勞者なり
數香町千歲通り北二丁目一番地
笠原 友平 明治二十八年六月
一日新潟縣に生る
大正三年四月渡樺現任所に於てき
そば専門店開業 味と氣骨ある營
業方針により漸次營業を來し昭
和十年カフエー開始後も主力をそ
ばに置き益々その名譽を高めてゐ
る 昭和七年推されて飲食店組合
長に就任昭和十年特種普通商組合
に分立後も引續き特種飲食店組合
長として現在に至る 公設眞岡消
防組第二部小頭 區長代理
眞岡郡眞岡町大字眞岡字榮町四丁
目九番地
笠原貞三郎 明治五年九月十五
日新潟縣に生る
明治三十九年四月渡樺眞岡町現住
所に於て旅館旭館を經營今日に至
る 部落時代より町公共の爲に盡

す所々消防組員を永く勤続大正
十二年四月樺太町村制施行せらる
りや町議議員を命ぜられて三回重
任 昭和二年十月同議長 三年三
月議長兼任 同四年六月町村制改
正により失格漸く小崗を得たるも
昭和六年二月推されて町會議員に
當選同時に議長當選同八年八月任
期満了退職 大正十三年五月公設
消防組部頭拜命同十五年副部頭拜
命 昭和九年副部頭兼任 昭和十
年四月二十三日警察部會館石の光
榮に浴す
眞岡町本町五丁目十八番地

笠松精四郎 金物師
明治二十二年一月五日北海道に生
る
明治四十年渡樺太泊佐々木金物店
に勤務後沿海州 霧岡等に遊飛し
大正十四年本斗町に並物店を經營
遂年繁榮を見ると共に其の人格識
見共に具備し町一流の紳商として
信望高し
本斗郡本斗町大字本斗字大通二丁
目十七番地
金井 虎雄 醫博
明治二十九年四月二十一日群馬縣

保惠 氣頓
敷香町本通北二丁目一番地
川越 庸樹 樺太礦産部水産
課勤務樺太廳技師
明治三十二年六月七日福岡縣に生
る 水産講習所卒業
大正十三年より愛媛縣産業技師
農林技師として奉職昭和一年樺太
廳技師になつて渡島 昭和十三
年三月樺太廳中央試験所技師兼樺
太廳技師に進み同年七月現職に就
く
豊原市樺太廳官舎
川崎 一郎 野田町収入役
明治三十三年十一月三日石川縣に
生る
大正十三年三月渡樺野田町にて商
業經營昭和二年眞岡町に轉任莫服
商經營 昭和四年十二月野田町に
歸り同七年収入役就任今日に至る
野田町總車分會長就任
野田郡野田町濱町一ノ一〇
川島 裕 樺太石炭鑛業株式
會社庶務課長
明治三十五年十一月十五日靜岡縣
に生る 縣立濱名中學校卒業
濱名市役所土木課として勤務昭
和五年一月樺太廳土木課に奉職渡

に生る
新潟醫學專門學校卒業後母校助手
として研究昭和十一年一月醫學博
士の學位を授與さる 昭和六年二
月渡樺野田町豊生病院に勤務同八
年十月王子恩一取上直醫務局長
として赴任現在に至る
惠須取町王子工場社宅
金子 利信 豊原市助役
明治二十四年一月二十九日生
十六歳のとき郷里にて准訓導とし
て小學校に勤務翌年新潟師範學校
に入學卒業後郷里にて奉職大正七
年出向樺太太泊豊原落合校に勤務
し昭和 年歸郷視學に轉じ後學務
課主任視學を経て昭和八年豊原第
一小學校長を命ぜられ管内教育會
の重鎮として名譽ありしも同十年
十一月迎へられて豊原市助役に就
任今日に至る
豊原市東 條
金高 勘六 豊北村々會議員
養狐組合長
明治二十年六月十日三重縣に生る
大正元年渡島製材業を經營す 村
評議員及各部委に兼任し現村會
議員及養狐組合長に就任す

豊原郡豊北村小沼
金高孫太郎 製材業 養狐業
明治三年五月十八日三重縣に生る
明治三十九年來住豊原の傍製材
業を經營し養狐業を兼營す 部落
總代 消防組頭 養狐組合長等に
歴任し現在公職を辭したれども徳
望高く一村の指導者なり
豊原郡豊北村小沼
河合 次郎 惠須取自動車株式
會社重役
明治二十八年六月二十八日岐阜縣
に生る
大正十一年三月二十七日樺太廳巡
査拜命 昭和六年五月任警察部補元
泊署長を命ぜらる 同十年八月任
警察部台警察署署長を経て現職に就
く
名好郡惠須取町
河野 力 明治十二年六月十
五日生
東京專門學校を學び傍ら故有松英
義氏に學ぶ 明治三十二年岡山市
に帝國殖民合資會社を創立支配人
となる同三十三年工兵第五大隊入
營 北滿事變の勳功により勳八等
に叙され白眉勳章を賜ふ 同年
十二月大阪毎日新聞社入社同三十

四年帝國殖民合資會社顧問に就任
日本移民三千名を率ひて比律賓に
渡航同政府に人夫供給業を營む
同三十九年六月米國を経て英國水
津に赴き伯ケンニー技師に師事
同四十二年五月印度及南支視察後
マニラ市に於て雜貨商經營同四十
二年四月歸朝 同年九月北海道に
渡り農業並造材業經營大正九年五
月サガレン派遣軍用商として北
樺阿港に渡る同市朝鮮銀行相談役
就任 同十四年五月撤兵と同時に
惠須取町に渡來木材を營み昭和三
年八月樺工山林部移出材取扱人に
指名さる 昭和七年六月名好村會
議員當選同九年九月再選重役
名好郡名好村
河野 由松 豊北村々會議員
明治十二年五月一日福井縣に生る
明治四十年來住豊原及建築業に従
事す 養狐は二十年經營し最古の
人なり
豊原郡豊北村小沼
河原 辰平 明治三十七年八月
六日和歌山縣に生る
大正十年新宮商行に入社小樽本庄
銅路出張所を経て昭和五年十一月
渡樺今日に至る 事業地は初岡

豊原市東 條
川西 幸八 豐原元年三月二十
三日鹿兒島縣に生る
明治三十八年九月渡樺ウラジミロ
フカ(豊原町の前身)に居住同十
二月より土木建築業並物産販賣旅
人宿經營 同三十九年四月消防組
頭 同四十二年町名改正により豊
原町消防組頭 同年豊原町總代
同年豊原町々民會長 同四十四年
二月組頭兼任 財團法人樺太慈惠
院評議員 財團法人樺太興財團
評議員 豊原商工會議所議員 競
馬會理事 豊原町評議員各種委員
等に擧げられ公共事業に盡瘁す
昭和九年四月十一日自治功勞に依
り新宿御苑勳章會館召の光榮に浴
す 消防功勞に依り表彰せらるる
こと數回 町民會長其他自治功勞
により感謝表彰せらるること數回
其他義捐及寄附行為により褒狀感
謝狀等を受くること數回に及ぶ
豊原市西一條南五ノ二〇
川守田勤治 辯護士
明治三十年一月四日岩手縣に生る
東京帝大法學部卒業

大正十四年一月眞岡區裁判所所屬
辯護士 昭和三年八月樺太地方裁
判所所屬辯護士
豊原市東 條南五丁目三十一番地
川端 操 明治三十五年一月
五日福島縣に生る
京都府立第三中學校卒業
大正十一年眞岡支廳職員となり本
斗支廳を経て同十四年樺太廳屬に
登用 大泊支廳敷香支廳元泊支廳
を歴任同十年退職同年敷香町助役
に當選今日に至る
敷香郡敷香町東一條北四丁目
川田 勘造 明治二十四年三月
二十八日生
大正六年來住豊原を經營し養狐
業を兼營す 村會議員
豊原郡豊北村大字谷字谷谷五十五
一番地
川村 昌喜 公醫
明治三十六年七月十九日生
北海道帝國大學醫學部卒業(昭和
五年)後旭川市日赤支那病院外科
勤務 同六年幹部候補生として入
營(歩兵第二十七聯隊)除隊後日
赤支那病院に復職昭和七年末小樽
市十全醫院に勤務同十年八月渡

樺現任所に開業公醫拜命今日に至
る
惠須取町本通二丁目一五番地
角野 嘉平 明治三十一年五月
三日生
大正八年三月福井縣師範學校第一
部卒業
大正八年三月大正十三年三月ま
で福井縣今吉郡味真野小學校勤務
大正十三年四月一昭和五年十一月
まで福井縣今吉郡花匠小學校勤務
昭和五年十二月豊原第一小學校勤
務 特殊研究としては唱歌舞踊あ
り(全島教育會のオーソリティー)
樺太豊原市東一條南二丁目
角野鐵太郎 齒科醫
明治四十三年三月二十三日東京市
に生る 東京高等齒科學校卒業
昭和九年實地研究昭和十年一月渡
樺豊原市に於て開業今日に至る
豊原市大通南四丁目十八番地
角谷要太郎 明治十三年八月十
九日石川縣に生る
明治三十九年渡樺大泊町に居住海
造業に従ひ同四十二年泊居町に轉
住 大正七年獨立海造業經營大
十四年九月現任所に移轉海造業

業を修め今日に至る 大平礦業所
遺子子恵有取工場に一手供給 年
遺石數千石乃至千三百石
名好郡惠有取町大字大字大通北
一丁目一番地

粕谷 哲策 樺太石炭鑛業株式
會社常務取締役 愛媛水力電氣株
式會社取締役
明治二十八年一月山形縣に生る
大正八年慶大理財科を卒業す

大正八年大同電力會社に入社調査
係長庶務課附地所課長をて愛媛水
力電氣株式會社創立に際し其の取
締役に選任さる 昭和十五年樺太
石炭鑛業株式會社設立に際し常務
取締役に選任されて樺太珍内の鑛
業所長を擔當して現地駐在重役と
して樺太の活躍を遂げつゝある
樺太豊原市(東京毛漢合區永住町
一〇〇)

葛西猛千代 富内郵便局長
明治五年二月十日青森縣に生る
明治四十年四月樺太廳巡查部長拜
命被擢同四十二年樺太廳土木事務
取扱を命ぜられる 同四十四年八
月富内局開設と共に局長就任す

アイヌ風俗習慣の研究者
富内郡富内村恩瀨
龜谷 忍 落合郵便局長
明治三十一年一月二十一日臺灣
山に生る

慶應義塾大學理財科卒業
北海道銀行入社大正十五年渡樺昭
和八年現職に就く
愛媛郡落合町中通北 二二一
龜山 龜吉 樺太廳豊原女學校
教諭
栃木縣師範學校本科第一部卒業
第一臨時教員養成所卒業 大正十
四年三月青森縣立弘前高等女學校
教諭に任じ長野縣平野高等女學校
教諭を経て 昭和八年四月樺太廳
豊原高等女學校教諭に轉じ今日に
至る

豊原市東七條南八丁目甲官舎三十
八號
上中尾興一 明治二十二年十二
月十五日福井縣に生る
福井師範卒業 大正二年渡樺現在
一ノ澤小學校長
大泊郡千歲村
上領 正士 明治四十一年一月
十一日兵庫縣に生る

昭和五年三月廣島高等師範學校卒
業同年三月秋田縣立花巻高等女學
校教諭に任ぜられる 同十一年五月
任樺太廳中學校教諭命大泊中學校
勤務
大泊町字富士通十番地
可野 信一 樺太人造石油會社
常務 明治十三年二月十六日生
明治三十九年京都帝國大學理工科
大學探礦冶金學科卒業後仙臺鑛山
監督署技手を振り出し同年十二
月には同署技師となり大泊福岡の
鑛務署に務め大正三年退官して田
中鑛業株式會社 日本鑛業株式會
社 北海道札幌開化炭礦株式會
社常務取締役兼技師長等民間會社
で活躍したが昭和 年再び官界に
返咲き樺太廳技師として鑛務課長
の席にあり 昭和十四年現社創立
と共に入社す
梶 榮太郎 大泊商工會議所常
議員
明治十年一月十七日石川縣に生る
明治三十年樺太大泊橋梁町にて酒
造業を修め今日に至る 消防組頭
教諭所長 大泊商工會議所常議員
の公職に就任す
大泊町橋梁町南 條三ノ一

柏原 一郎 明治三十九年八月
十一日富山縣に生る
昭和四年三月九日富山縣師範學校
專攻科卒業 昭和二年一月樺太廳
大泊中學校囑託となり今日に至る
大泊町谷町官舎
神庭清兵衛 樺太廳大泊高等女
學校教諭
明治二十一年十一月二十七日鳥取
縣に生る

東北帝大電氣工學科卒業
昭和三年一月鳥取縣青英中學校教
諭に任ぜられ 同四年三月退職樺
太廳大泊高等女囑託として渡島同年
五月同校教諭に任ぜられて今日に
至る
大泊町本町東一條北六丁目四番地
菅 國定 明治三十一年愛媛
縣に生る
東京高等師範學校理科第一部卒業
大正十一年三月香川縣立坂出高等
女學校教諭兼同縣師範學校教諭に
任ぜられ 大正十三年七月京都府
立官津中學校教諭 三重縣師範學
校教諭を歴任 昭和三年二月高等
官待遇同五年四月樺太廳眞岡高等
女學校教諭囑託に轉任今日に至る
眞岡町山下町三丁目十一番地

菅野 直秀 樺太廳豊原中學校
教諭
明治三十一年八月十四日宮城縣に
生る 東洋大學支那哲學東洋文學
科卒業
樺太廳大泊中學校教諭初任後豊原
中學校教諭に任ぜられて今日に至
る附籍に編入少僧部
豊原市東一條南三丁目二十四番地

キノ部
菊川 一男 菊川病院長
明治三十三年一月八日北海道に生
る 北大醫學部卒業
日本赤十字北海道支部病院内科勤
務 昭和九年八月渡樺現任所に開
業今日に至る
本斗町中通二丁目
菊田 雄藏 名好村々會議員
安別郵便局長
明治三十三年十一月二十一日群馬縣
に生る

明治三十三年十二月十五日任通信
書記補前郵便電信局在勤を命ぜ
らる 同三十八年第二師團通信技
手を命ぜられ同四十二年六月一日
任樺太指定郵便局長ガルキノウラ
スエ郵便局長を命ぜらる 大正

七年安別郵便局長拜命昭和七年以
來村議に重任當選してゐる
名好村大字安別
菊地 高志 樺太廳内務部調整
課事務官
明治三十一年三月二十四日愛媛縣
に生る 縣立八幡濱商業學校卒業
夙に愛媛縣郡書記縣技手縣廳を歴
勤し樺太廳内務財務課勤務となる
昭和十五年現職に至る
豊原市昭太廳官舎

慶應元年八月十三日福島縣に生る
明治三十九年渡樺豊原市に居住
明治四十二年元泊村内保(現在
知取町東禮文)隱居所を命ぜられ
來任知取郡總代を永く勤む 大
正十三年現任所に旅館福島屋を繼
ぎす
元泊郡元泊村大字元泊
菊地 馨 名好村長
明治十二年五月十日岩手縣に生る
明治三十三年岩手縣巡査拜命同三
十七年上閉伊郡書記拜命 明治四
十二年一月北海道廳巡査拜命同四
十三年十一月辭職町村吏となり安
別別廳橋各村に奉職大正十二年

四月北海道參事會書記拜命同十三
年 月土別町書記同十四年十一月
樺太廳北村書記 昭和三年一月同
村長拜命同四年九月千歲村長に轉
任同十年四月現職に就く
名好郡名好村本通三ノ十一
菊地 三郎 樺太中學校教諭
明治三十一年四月十日岩手縣に生
る 盛岡高等農林學校卒業
大正十一年北海道廳立小樽商業學
校教諭に任ぜられ大正十五年樺太
廳豊原中學校教諭として渡樺今日
に至る
豊原市南 線東十二番地ノ一借上
官舎甲一號
菊地 武雄 醫師 樺太廳大泊
醫院醫官
明治三十七年四月二十九日函館市
に生る 東北帝大醫學部卒業
昭和六年五月樺太廳醫院醫務囑託
同七年十月學位を受く 同年同月
樺太廳醫院醫官に任官外科を専門
す
大泊町谷町官舎
菊地 勉 樺太廳大泊中學校
教諭
明治四十年六月二十七日大阪府に

生る
東洋大學倫理學東洋文學科卒業
昭和四年三月樺太廳大泊中學校囑
託同六年五月教諭に任ぜられて今
日に及ぶ
大泊町富士官舎

木尾 清信 木尾病院長
明治十七年四月十五日鹿兒島縣に
生る 長崎醫學部卒業
明治四十三年六月まで東京市大耳
鼻咽喉科にて研究同四十二年七月
より札幌市に開業 大正十年十月
より同十三年まで北海道醫大耳鼻
咽喉科研究 昭和六年十二月渡樺
木尾病院經營今日に至る
豊原市西一條南三丁目

木田 利一 珍内尋常高等小學
校長
明治三十年七月十日福島縣に生る
福島縣師範學校卒業
卒業後引續き同縣教員に訓導及校
長として勤務 昭和 年十一月渡
樺し知取第一小學校東浦丹小學校
及豊原第一小學校に勤務昭和十一
年三月現職に就く
久春内郡三濱村杉内字本町十丁目
木谷留次郎 株式會社畑木商店

取締役 眞岡無盡株式會社取締役
眞岡倉庫株式會社監査役 商工會
議所議員

明治二十六年三月一日石川縣に生
る 名古屋市立名古屋商業卒業
明治四十四年渡樺州木商店に入り
前記會社に關係す 大正十二年來
商工會議所議員 同十四年來町議
に重任昭和二年四月より同七年四
月迄商工會議所會頭たり
眞岡町本町三丁目四番地

木下 仁松 樺太廳中央試驗場
惠須取農事試驗支所長
明治二十五年十一月福井縣に生る
北海道帝大農科卒業
夙に日本製靱青島守備軍民政部北
海道廳等に勤務し昭和六年樺太廳
技手として中央試驗場字邊泊農事
試驗場支所長 樺太拓殖學校舎監
等職勤同十二年樺太廳中央試驗場
技師に任官同十二年現職に就く
木下 房三 王子社員 知取町
々々議員

明治三十八年五月二十八日福井縣
に生る 大阪高工應用化學科卒業
大正七年三月富士製紙會社入社富
士第一工場勤務 鋼路工場を経て
大正十五年八月知取工場勤務とな
る

り今日に至る
知取町王子社宅

木村 仁吉 造船請負業
明治廿八年九月三日秋田縣に生る
大正六年渡道大正八年渡樺州豊原衣
川造船部に勤務 大正九年沿海州
に渡る大正十年歸郷同十二年造船
に従事 昭和四年敷香にて獨立同
九年人本入納バルブ會社にて造船
請負に従事現在に至る
敷香町大通り北一ノ二十六

木村 政勝 商工會議所議員
大日本料理業同業會本部理事 豊
原魚菜卸賣市場事務取締役 豊原
見善監査役 大正七年に北海道よ
り渡樺州南に於て牧場經營大正十
三年魚菜卸賣市場經營 昭和三年
料亭「川柳」經營今日に至る
豊原市西一條北一丁目

北岡 軍馬 留多加林務營業務
課長
明治三十二年三月二十日高知縣に
生る 縣立農林學校卒業
大正九年十月九日履を命ず(農務
省)同十年五月二十六日任森林
主事 昭和二年八月二十日任樺太廳
森林作業所技手 同五年一月任樺

大廳林務署技手(敷香林務署)同
十年二月本斗林務署業務係長を命
ぜられ後現職に就く
留多加町林務署官舎

北川 ハル 旅商業
慶應三年三月十五日石川縣に生る
明治四十年夫君に續き渡樺州眞岡郡
多蘭泊に於て漁業並商業を營み同
四十三年本斗町に轉任現任所に於
て旅館を經營 同四十四年夫君逝
去の後は女手を以て家業の經營
子女の教育に當り本斗町に於ける
一流旅館として著明なり
本斗郡本斗町大通三ノ五

北川 萬吉 料理店「白鶴」カ
フエー數香會館經營
明治二十年十一月二十日石川縣に
生る
大正九年北樺太保證占領當時亞港
に渡り料理店日ノ出を經營同十四
年五月撤兵と同時に知取町に引揚
げ料理店日鶴を經營今日に至る
會て町會議員料理店組合長たりし
ことあり
元泊郡知取町初音町四ノ六

北村 得三 樺太廳殖産部長
明治三十三年九月十四日長野縣に
生る

大正十三年四月東京帝大法學部卒
業
大正十四年高文行政科試驗合格す
大正十五年貴族院院議院議員 同年
樺太廳警察部財政課課長兼保安課
任
樺太廳警察部財政課課長 昭和一
年警察に昇進警察部警務課長高等
警察課長 警務課長兼警察官講習
所長 樺太廳事務官林業課長内務
部警務課長眞岡支廳長泊田支廳長
豊原支廳長豊原支廳長内務部地方
課長歷任して昭和十五年四月殖産
部長に就任して現在に至る
豊原市樺太廳官舎

北村 良一 米穀商として知ら
れたる老舖和田松次郎氏の女婿と
なり昭和八年先代の事業を繼承し
て今日に至る
豊原米穀商組合長
豊原市大通南一丁目

清藤 郁三 商工會議所議員
全島料理屋組合聯合會常務理事
大泊料理屋組合副組合長
明治十五年十月二日順館市に生る
明治三十九年五月渡樺民政署に勤
務同四十年五月退職 大泊に於て
木炭販賣業大正十二年料理店を營

久保 豊三 齒科醫師
明治二十五年七月七日青森縣に生
る 函館中學校卒業 中學卒業後
試験により齒科醫師となり大正八
年渡樺眞岡町に開業 小能登呂
知取等に於て樺太廳公醫歴任 一
且歸郷昭和四年再び渡樺現任所に
於て齒科醫開業今日に至る
惠須取町元町一番地
久保田武男 惠須取商工會議所
理事

業して今日に至る
大泊町旭町三條通二丁目一八四

岸 兼吉 元泊村々々議員
明治二十七年八月十八日青森縣に
生る
明治四十四年四月出生地にて農業
に従事大正六年渡樺大正九年日本
化學紙料會社に職として就職
大正十五年六月第八區區長就任昭和
八年以來町議に當選重任す
元泊郡元泊村大字樺保

工藤 功 内路村々々議員
明治十九年十一月三日青森縣に生
る

大正五年迄青森大森區署に奉職
大正七年北海道炭礦汽船株式會社
入社 同十二年樺太廳に奉職同十
二年退職内路村に移任代書業を始
め今日に至る
豐原郡内路村米廣町一〇ノ九

工藤健次郎 西野高等高等小學
校長
明治三十五年一月二十日青森縣に
生る
青森縣師範學校卒業後縣下に於て
教職に就き昭和四年四月樺太廳へ
出向大泊小學校勤務 昭和十二年
四月現職に轉任今日に至る
散江郡散江村大字矢向字西野高等小
學校公舎

工藤 誠 樺太廳大泊中學校
教諭
明治三十七年九月十七日靜岡縣に
生る 東洋大學專門部卒業
昭和二年三月師範學校學校囑託
同年九月同校教諭に任ぜられ昭和
四年樺太廳大泊中學校教諭に轉任
今日に至る
大泊町初音町五丁目八番地
熊谷 堅藏 明治七年十一月一
十日秋田縣に生る

明治二十年秋田縣山本郡二ツ井小
學校中等科卒業
同三十年渡樺大泊町に於てカラフ
トホテル北海道經營今日に至る
大泊町移住以來熱心に本町の發展
に盡力し部落世話係大泊町第三區
會議員 私設大泊商業會議所議員
旅館組合長 消防組頭 評議員
町會議長 大泊救難所長等の幾多
町政の樞機に參畫し現に町會議員
各種委員 大泊信用組合長たる外
樺太製藥株式會社取締役 樺太大
同編詰株式會社取締役
大泊町大字大泊字本町西一條南五
丁目一番地

九鬼左馬之助 樺太廳豊原醫院
長 樺太廳醫長
明治二十五年十月二十五日三重縣
に生る
大正十一年三月東京帝國大學醫學
部醫學科卒業
同年四月東京帝國大學醫學部副手
同十五年十一月東京市醫員昭和二
年退職 昭和三年三月より再び母
校の副手として研究に従ひ同五年
八月醫學博士の學位を授與され同
六年九月來樺太廳豊原醫院醫長 豊原
醫長任命今日に至る

詩歌文章をよくし樺太のスポーツ
界ノ向上に助成する處多い
豊原市大字東四條南七丁目官舎

久保 豊三 齒科醫師
明治二十五年七月七日青森縣に生
る 函館中學校卒業 中學卒業後
試験により齒科醫師となり大正八
年渡樺眞岡町に開業 小能登呂
知取等に於て樺太廳公醫歴任 一
且歸郷昭和四年再び渡樺現任所に
於て齒科醫開業今日に至る
惠須取町元町一番地
久保田武男 惠須取商工會議所
理事

久澤間明宣 妙光寺住職
明治九年二月二十日東京に生る
明治十五年僧籍に入り十三歳の時
得度 明治三十五年北海道に渡道
各地にて布教 手鞠國羽幌町に布
教所創立 櫻振國虹田郡東俱知安
村に布教所創立 古平郡古平町正
隆寺住職を経て渡樺妙光寺住職と
して今日に至る
本斗町南濱通二丁目

久米 四郎 増田商社社員
明治卅一年九月十日北海道に生る
小樽市に於て味噌醬油醸造業經營
昭和二年増田商社株式會社に入社

本材部勤務となり同年四月渡樺真
岡事業地駐勤 同九年現事業たる
チヨロンドに轉駐今日に至る
敷香郡敷江村大字チヨロンド事業
地

雲田光太郎 真須取町々會議員
明治九年十月二十六日兵庫縣に生
る

大正十二年渡樺野田町に於て造材
事業經營 同十四年現任所に轉住
料理店「常盤」を開す

黒石 勝 樺太廳長官官房文
書課長兼内務部時局課長
明治三十四年一月二十日高知縣に
生る 大正十五年三月東大經濟學
部卒業 大正四年十一月高文行政
科試驗合格す

昭和三年東京市事務員を振出しに
樺太廳道書記樺太廳敷香支廳
庶務係長 長官官房調査課長心得
樺太廳警務部警務部高等警察課長兼
衛生課長警務部保安課長兼衛生課
長 警務支廳長官官房企畫課長
を歴任して現職に就任す
豊原市樺太廳官舎

黒潮 達一 公醫
明治二十年十月十一日福井縣に生
る 日本醫學校卒業

横濱市中區松影町橋病院 東
京市品川區五反田病院各勤務し昭
和九年一月渡樺内路村に開業公醫
拜命す今日に至る
敷香郡内路村末廣町九ノ二
日下部 保 醫師
明治二十一年十月二十五日山形縣
に生る 新潟醫專卒業
大正十三年渡樺現任所に病院を建
築開業して今日に至る
元泊郡知取町榮町二丁目
倉岡 ユウ 豊原工場教諭

大正三年三月十七日青森縣に生る
昭和八年日本女子體育專門學校專
修科卒業昭和九年一月樺太廳豊原
高等女學校教諭同十年六月同校教
諭に任せられ今日に至る
豊原市東五條南九丁目大橋方
栗原達三郎 明治十八年十月十
六日千葉縣に生る
明治四十四年三月日本醫學校卒業
大正二年八月より同三年九月迄樺
太廳公醫拜命大正四年四月より同
九年九月迄札幌監獄醫拜命 大正
九年四月豊原第一小學校長拜命大
正三年十月一日より現在の所に栗
原病院新築今日に至る 無慾恬淡

にして氏の臨察を受けたる外物質
的援助を蒙りたる貧民救済に違あ
らず
樺太廳原市西二條南三ノ四
栗山 貞文 豊原高女教諭
明治三十四年十一月十三日新潟縣
に生る
昭和六年早稲田大學高等師範部卒
業 同年五月樺太廳高等女學校教
諭に任せられ豊原高等女學校教諭
を命ぜられ今日に至る
豊原市東五條南七丁目第一明豊寮

栗山 松一 樺太廳内務部商工
課長
明治三十四年八月二十四日兵庫縣
に生る
大正十三年京大法學部卒業 昭和
八年高文行政科試驗合格す
昭和五年北海道廳巡査部長警察部
保安課特別高等課勤務となる 同
九年北海道廳警務部に進み昭和十
三年樺太廳警務部に進み昭和十三
年樺太廳警務部保安課長兼警務
防課長同課長兼保安課長等歴任して
樺太廳事務官内務部商工課長に就
任して今日に至る
豊原市樺太廳官舎

桑原 橋翁 明治十四年六月十
四日大分縣に生る 大阪高等醫學
校卒業
明治四十一年十一月同四十五年大
阪病院に助手として勤務同四十四
五年郷里に開業 大正十四年五月
樺太廳大泊醫院眼科主任として渡
樺同十五年五月退官大泊町に開
今日に至る
大泊町本町大通北三丁目西二ノ一
草野 虎一 樺太廳鐵道事務所
長
明治三十一年四月一日福島縣に生
る 東北帝大工學部專門部卒業
大正十一年に札幌鐵道局に奉職鐵
道技師に進み退官す 昭和六年樺
太廳醫官として渡樺翌年樺太廳鐵
道技師になり車輛係長兼豊原工場
長等を経て同十三年現職に就く
豊原市樺太廳鐵道官舎

小枝 慎一 樺太廳本斗支廳長
明治三十四年一月四日山口縣に生
る 京大經濟學部卒業
昭和三年樺太廳森林主事を拜命豊
原支廳豊原林務署を勤務す 同五

年樺太廳に任官豊原林務課
豊原林務署庶務係長産産部林業課
長官官房文書課同企劃課を勤務し
昭和十四年事務官に任官 産産部
林務課官房企劃課を勤務せり昭和
十五年現職に就く
豊原市樺太廳官舎

小池伊一郎 豆腐油製造業
明治十九年一月三十日長野縣に生
る
郷里に於て醬油製造技術を習得大
正八年十一月渡樺現任所に於て豆
腐油製造業を經營し今日に至
る 昭和十年四月第十七區長就任
豊原市東六條南十二ノ二十七

小島 繁勝 阿幸尋常小學校長
明治二十一年十二月二十日青森縣
に生る 青森師範卒業
大正二年七月まで縣下小學校に奉
職同八月渡樺 私立南豊小學校に
就任 爾後天城 廣地 宗仁の各
校に歴任昭和十年四月現校長拜命
今日に至る
本斗町大字阿幸小學校公舎
小島幸一郎 雜貨商
明治二十九年八月十五日北海道に
生る
大正八年北樺太亞港に渡樺雜貨商

經營今日に至る
元泊郡知取町榮町三ノ四
小林 長彦 樺太廳内務部長
明治二十八年三月二十五日栃木縣
に生る
大正十年三月明治大學法科專門部
卒業 同年十一月高文行政科試驗
に合格す
大正十一年警視廳技手を命ぜられ
る 總監官官房文書課往復係長 警
視廳警務部總監官官房文書課係
長 警視に昇進し橋警署署長
新橋警署署長 四谷警署署長
監察官 沖繩縣警務部長 臺灣總
督府事務官 警務局保安課長 高
雄州内務部長 交通局長 警務課長
鐵道部監督課長 基隆稅關長を歴
任昭和十五年四月樺太廳内務部長
に就任 勅任官待遇となり今日に
及ぶ

小林 達郎 醫師
明治三十四年九月七日山形縣に生
る 東北帝大醫學部卒業
昭和五年九月迄日赤宮城支部病院
に勤務 渡樺後豊原市泉山病院に
勤務内科擔當す 現在大通商工會
議所隣に醫院を開業
豊原市東一條南三丁目

小林 吉藏 回漕業 村會議員
漁業組合理事 久春内信用組合專
務理事
明治十五年九月十日新潟縣に生る
明治三十八年十一月 渡樺真岡町
に漁業經營 同四十二年八月現任
所に轉住漁業に經營 大正五年回
漕業を營み今日に至る
久春内郡久春内村壽町十六番地
小橋三五郎 齒科醫
明治二十五年四月三日秋田縣に生
る
大正元年舞鶴海兵團に入團同八年
十一月滿期 京都府に於て齒科醫
學研究 大正十三年渡樺豊原醫院
に勤務 大正十四年來本斗町に轉
住齒科醫院を開業今日に至る
本斗郡本斗町大通

小濱 嘉七 眞岡町町長
明治十四年二月二十六日青森縣に
生る
明治三十四年青森縣師範學校卒業
後同縣下に於て訓導並校長 郡視
學に歴任 大正十一年十月樺太廳
へ出向視學に任せられ眞岡支廳動
務 同十一年四月樺太廳眞岡支
廳庶務係長 同十三年十月泊民支

越川 良造 明治十六年八月十
六日福井縣に生る
明治三十九年渡樺大泊町に居住海
陸運輸事業にたづさはり業界に活
躍 樺太第一流の事業家として名
實共に備はれる士なり 樺太運輸
株式會社取締役社長 本斗海陸運
輸株式會社社長 樺太合同運送株
式會社代表取締役(專務) 中央津

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

應殖産係長 同五年二月休職 同
八年十一月眞岡町助役就任後町長
になつて今日に至る
眞岡町字谷町公舎
五島 正一 明治十六年一月一
日北海道に生る
明治三十四年三月宮城縣立中學校
卒業 同年十一月兵隊第一大隊へ
入隊明治三十七年三月日露戰役に
參加 明治三十九年六月除隊 大
正二年八月樺太工業株式會社に入
社 大正十四年四月及昭和三年四
月兩回泊民町評議員となる 昭和
四年九月泊民町會議員に當選 昭
和八年昭和十一年同町々會議員再
選 昭和十一年四月一日泊民商工
會議員に當選し現に當議員
樺太泊民郡泊民町大字泊民字東原
三番地

役員式會社取締役社長 樺太製菓株式會社監査役 大泊町圖書館委員 水難救濟會名譽會員(功勞章) 大泊會議員 商工會議所副會長 所得稅調查委員 福井縣人會長

大泊町本町西一條南三ノ十 後藤 繁作 王子製紙大泊工場倉庫係主任

明治三十五年十月二十八日開關縣に生る 沼津商業學校卒業 大正九年王子製紙入社今日に及ぶ 大泊町王子社宅

後藤 弘治 明治二十二年九月十八日新潟縣に生る 大正十一年北海道を経て渡樺内幌村に居をとし雜貨商 料理店等を營み昭和八年以來令聞をして不二屋旅館を經營せしめ内幌に於ける唯一の高等旅館として現在に至る 曾て林野火防組合長 初代信用組合長等の要職に推され現在村會議員 郷軍分會長 消防組頭の重責にあり村第一流の人物 兵役陸軍歩兵小尉

本斗郡内幌村大字内幌字裏一條三丁目一番地 佐藤猪太郎 明治十五年十二月

昆 正助 樺太廳大泊醫院醫員

大正元年十一月二十四日岩手縣に生る 盛岡醫學卒業 昭和十一年六月迄同校附屬醫院に於て研究 同十二年六月十四日樺太廳大泊醫院醫員に任ぜらる 大泊町谷町官舎甲四號ノ一

サの部

佐藤 健二 拓殖銀行大泊支店支配人 明治三十二年八月二十一日愛知縣に生る 大正十二年東京帝大法學部政治科卒業 同年北海道拓殖銀行入行 昭和十一年七月同行大泊支店支配人 大泊町本町西一條南六丁目

佐藤 政雄 明治十六年三月十五日北海道に生る 昭和二年八月二十二日渡樺代書業商工會議員 前町會議員 人格圓満風采堂々たる紳士にして町民間に信望厚き人 數香郡數香町山手通一ノ一 佐藤猪太郎 明治十五年十二月

一日秋田縣に生る 秋田縣に於て就職を十五年間奉じ 後退職 秋田四十八銀行に入社勤務 大正十四年退社後 樺太廳公立小學校訓導に任ぜられ野田小學校勤務 昭和元年吉野小學校校長 昭和九年十月退職 野田町信用組合に勤務現在に至る 野田町通三丁目六三番地

佐藤 武平 内路村收入役 明治十九年十月十三日青森縣に生る 明治三十九年より大正十二年迄青森縣中津町役所に奉職 同年十月渡樺大泊町役場 大泊高等女學校に奉職 昭和八年八月内路村役場に奉職 同十一年九月同村収入役就任現在に至る 數香郡内路村

佐藤 司 樺太廳殖産部農務課長 明治二十六年五月五日岩手縣に生る 北海道帝大農學部卒業 大正十年樺太廳技手拜命拓殖部拓殖課に勤務し拓殖部殖民課勤務を命ぜらる 大正十五年樺太廳技師に進み農務課農務課長となる 官

制政正に依り殖産部農務課長となれり 豐原市樺太廳官舎

佐藤 俊男 樺太廳内務部厚生課長 樺太廳職選紹介所長 明治三十二年十一月四日山形縣に生る 東大法學部卒業 大正十三年司法官として司法省大臣官房調査課に勤務し昭和二年樺太廳職選書記として渡島支庁道南事務所に勤務す 昭和五年高文司法科合格し昭和八年樺太廳として内務部財務課沼尻支廳庶務課長を歴勤す 昭和十四年樺太廳事務官に任官し内務部財務課兼財務課に勤務し同十五年内務調査課長に進み同年八月現職に轉す 豐原市樺太廳官舎

佐藤 寅三 渡樺村長 明治三十一年十月二十五日福島縣に生る 大正十一年九月北海道釧路村に奉職爾來札幌市役所美深町役場 稚内町役場等を経て昭和二年八月樺太泊居町役場財務主任として渡樺名寄村役場 帆谷村役場を経て昭和六年八月數香町財務主任同八年

會訓會長 商工會議所議員 大泊本町東一條 佐々木駒次郎 明治二十一年十一月十一日岩手縣に生る 大正七年渡樺現任所に入地農業に従ひ今日に至る 農事實行組合創設以來組合長として農事開墾に功勞多し 現に村會議員 農農組合代議員二期間重任 野田郡小能登呂村大字下能登呂 佐々木敬一 樺太廳警察部高等警察課長 明治四十年一月十二日宮城縣に生る 日大法科卒業 大正十三年仙臺總局に勤務し昭和八年高文行政科を合格 昭和十四年樺太廳屬に任官し交通部通信課勤務 内務部地方課勤務を歴任して同十五年樺太廳警視に昇進し現職に就く 豐原市樺太廳官舎

老たり 水難救濟會三濱救難所長 村會議員 樺太廳評議會議員 久春内郡三濱村珍内 佐々木文彌 樺太廳豐原林務署長 明治三十三年四月三十日宮城縣に生る 大正十一年盛岡高等農林學校卒業 大正十一年樺太廳に奉職拓殖部林務課 農林部林業課 留多加林務署長 泊居林務署長等歴勤 昭和八年技師に進み數香林務署長を経て同十三年現職に就く 齋藤 吉郎 樺太廳豐原中學校教諭 明治三十八年四月二十五日山形縣に生る 東京高等師範學校卒業 昭和四年四月樺太廳豐原中學校教諭に任ぜられ渡樺今日に至る 豐原市東八條南八丁目

十月同町助役就任 同十年十二月内路村長にを経て現職に任ぜられ今日に至る 長濱郡渡樺村

佐藤 留吉 富内村々會議員 富内消防組頭 明治二十一年六月十二日生る 明治三十九年渡樺富内に居住最古の現住所旅館經營傍ら養狐を營む曾て造材業を營みしことあり

佐伯 猶次 三井鑛山株式會社内川出張所 明治十九年十一月十五日熊本縣に生る

大正四年六月三井鑛山株式會社に入社し朝鮮及本社並に川上炭礦等に勤務し昭和六年八月内川出張所に事務書記長として赴任今日に及ぶ 數香郡内路村字内川

佐久間 中次郎 内幌村會議員 大正五年五月渡樺内幌村に居住樺太廳公醫として昭和六年迄開業して今日に及ぶ 本斗郡内幌村大字内幌南一條二丁目ノ五

佐野 惠策 王子專屬造材請負人 明治三十一年三月二十五日山梨縣

に生る 大正十二年渡樺惠須取町樺工山林部專屬請負をなし昭和八年壬子に合併後も引續き會社專屬請負人たり 昭和七年舟手に養狐場を昭和十年貨物自動車による運輸業を經營して現在に至る 惠須取町本町四丁目四番地

佐々木 一 明治三十年六月十三日北海道に生る 大正七年十月三日渡樺豐原町高橋酒造店に入店 同十年九月一日樺太中央新聞社に入社以來樺太タイムス 樺太時事新聞 樺太日々新聞等に勤務し編輯界にある事十四年 昭和八年夏轉向して現飲食店の經營に當る 現在本斗飲食店組合長 公設本斗消防組第一頭頭 本斗商工會評議員等の職に在り 本斗郡本斗町中通三丁目三番地

佐々木 勝造 明治二十七年九月二十七日宮城縣に生る 大正九年渡樺大泊町に於て土木建築請負業を營み今日に至る 代表的工事楠後町埋立 船見町築港埋立 大豊線内惠道路 現在久春内留久志間の鐵道工事中 公職 大泊町土木請負業組合長 樺太聯合

佐々木 清助 明治十一年十一月二十日秋田縣に生る 明治四十年渡樺鶴城にて漁業 商業を營みたるも大正四年現任所に移轉商業を營む他公私幾多の事業にたづちはり名實共に同地方の元

齋藤 末吉 明治二十四年十一月八日山形縣に生る 東海岸實業界の元老齋藤三代吉氏の實弟にして明治四十年頃渡樺せらるも一時歸郷 大正十一年再度渡樺令兄三代吉氏の事業を助け主として造材に携り昭和元年より獨立

澤谷政次郎 名來加郵便局長
明治二十五年十二月二十五日北海道に生る
明治四十一年十一月二十五日通信傳習生養成所卒業(札幌)同年十一月二十七日臨時通信事務員を命ず(札幌郵便局)大正九年九月二十八日任權太廳郵便局通信書記補(真岡)昭和五年十一月一日任權太廳特定郵便局長(多來加)數香郡數香町大字

シの部

志田 傳 志田病院院長
明治三十三年十一月十九日福島縣に生る
明治四十二年九州帝大醫學部卒業大阪赤十字病院勤務 同四十四年大阪市天王子にて開業 大正六年福島縣伊達病院院長 同九年十月大泊町市立病院院長として渡權 大正十二年五月政治結社民衆俱樂部を組織し島の變遷自治制撤廢の動に猛進 五年間その幹事長として權太及大泊の自治に著しき刺戟を與へ、政治的發展に貢献したる功顯著なるものあり 大正十二年大泊町評議員に官選されたる外青年團

長に就任せることもあり
大泊町大字桑町字西一條
清水 憲二 明治三十二年一月十九日富山縣に生る
東京美術學校日本畫本科卒業 昭和三年三月北海道廳立稚内中學校教諭に任じ 昭和四年五月權太廳真岡中學校教諭として出向今日に至る
眞岡町高濱町三丁目番外地
清水 長平 明治四年四月七日滋賀縣に生る
明治三十四年渡米ソートレーキに於て鐵道會社に勤務 同四十三年歸朝 翌年春渡權本斗町にて酒造業を営み清鶴 日東等の清酒を醸造 公職にありても消防組頭 商業組合長を永續 町評議員 同議等の要職にありたるも昭和四年來その一切を辭し家業に専念せるも昭和十年病を得て以來酒造業をも廢し専ら靜養中なるも町の元老として重視せらる 尙公共事業に寄附を惜まず昭和三年本斗町に現金一萬五千圓(役場廳舎及公會堂建築費)及び敷地二戸分消防番屋敷地を寄附す
本斗町大通一丁目番地

志村泰二郎 明治三十年六月十日東京市に生る
山梨縣立工業學校本科機械科卒業 大正八年五月東京府千住町書記拜命 同十一年同町水道課庶務主任 昭和五年十月同府在原町書記下水道庶務主任拜命 昭和八年八月廣地村収入役拜命渡權同時に同村役場庶務主任兼任
眞岡郡廣地村廣地市街地
下村 正雄 明治十八年十二月十八日京都市に生る
明治四十五年渡權豐原 西灣内東海岸等に於て造材業に従事し大正十五年十月知取町に來住し現住所に雜貨店經營今日に至る 商工會議所議員
知取町本町二丁目番地
下村 利則 泊岸郵便局長
明治十六年十一月二十四日仙臺市に生る
明治三十四年六月二十六日電氣通信技術養成規則に據り電氣通信技術の修業を證す 同年八月十三日通信技術員を命ず(川渡郵便局) 同二年四月八日通信事務員を命ず(眞岡郵便局) 同七年十一月一日

任權太廳特定郵便局長(泊岸)數香郡泊岸村
島田傳之助 島田病院院長
明治三十三年十月十三日德島縣に生る 試験により資格を得
滿洲 北支 上海 南洋等巡歴昭和元年渡權數香町に於て開業 令弟は海軍大佐
數香町本通北二丁目
島田 毅一 權太廳交通郵便道課長
明治二十三年十月一日生る 日大社會科卒業
夙に北海道鐵道作業局出張所 總督府旭川出納事務所經理旭川倉庫 中部鐵道管理局經理課に勤務し鐵道院書記復與局屬より昭和三年權太廳鐵道書記として渡島し倉庫係長 大泊驛長兼大泊港驛長 運輸係長兼任權太廳として交通部鐵道課庶務係を勤務し 昭和十三年權太廳鐵道事務官 權太廳事務官に任官し交通部鐵道課長に就任せり 昔て滿洲國を視察せり 眞岡市權太廳鐵道事務官
白井八州雄 權太廳警察部長
明治三十四年八月二十六日佐賀縣

械製作所各取締役を兼ね
大泊本町西一條南五ノ四
大泊町本町西一條南五丁目四番地
白田忠三郎 明治二十八年一月八日愛媛縣に生る
大正五年來朝鮮元山にて金物商合資會社白田商店を經營 昭和六年渡權現任所にて三機商會を開設 今日に至る 營業種目汽罐車 客車 電氣機械 自動車及部分品 眞岡市東一條南五丁目

大正七年六月獨立開業酒造業 同十年十月叔父の針ヶ谷商店を引繼ぎ經營今日に至る 大正十四年三月元泊村評議員に選任せられ 昭和四年自治制施行と共に村會議員に當選 同八年九月再選せらるる就任今日に至る 元泊商業組合幹事(昭和十年より) 元泊振興會評議員 元泊信用組合理事(昭和三年監事) 元泊郡元泊村大字元泊字元泊濱一二番地
篠原 爲一 王子製紙山林部大泊出張所長
明治二十七年六月二十五日長野縣に生る 木曾山林卒業
明治四十五年王子製紙入社大正五年權太分社山林部員となつて今日に至る
大泊町王子社宅
柴村 平治 明治二十一年三月五日宮城縣に生る
大正十一年渡權留多加郡能登呂村古江に於て料理店經營 大正十四年四月知取町に轉任濱町五丁目に於て料理店角海老經營 昭和九年九月現在の場所に移轉今日に至る 昭和九年より同十年迄組合長 區

長を永年勤職
知取町初音町四丁目番地
重延 進 明治三十三年六月二十日北海道に生る
昭和二年北海道帝國大學醫學部卒業 引き続き同大學産科婦人科學教室にて研究
昭和四年六月權太廳豐原醫院産科婦人科主任として赴任 昭和五年十二月任官 昭和十一年三月退官 昭和十一年三月現任所に於いて産科婦人科専門の醫院を開業今日に至る
眞岡市東一條南四丁目十三
重富 剛策 權太廳觀測所長
明治二十年三月十五日山口縣に生る 縣立山口中學校卒業
明治四十二年中央氣象學校手 南京領事館付 父島觀測所長 愛知縣測候技師等歷任して昭和三年現職に就く 此間大泊町議に當選せしことあり
權太大泊町權太廳官舎
島山 外吉 豐榮支廳財務課長
明治二十九年一月十三日富山縣に生る
京都稅務監督局員より大正六年九月權太廳に入り職員拜命 同

に生る
昭和三年三月京都帝大法學部卒業 同年十月高文試驗合格
昭和四年七月臺灣總督府交通局長書記を振り出しとして總督府屬 同地方警視 新竹州高等警察課長 權太廳事務官 内務部學務課長 内務部地方課長 長官官房秘書課長を歷任して昭和十三年六月權太廳警察部長に就任して現在に至る 眞岡市官舎

白岩 繼二 木材業
明治二十二年十一月二十五日生 明治四十年渡權當時第一流會社たりし實業木材株式會社に入社 大正元年株式會社新宮商行に入社 旭川 野付牛 釧路等同社支店主任として歷任 昭和二年新宮商行及權太木材資料株式會社の總支配人として渡權大泊に居を下す 同五年退社獨立して木材業を営み年額數十萬圓の事業を經營す また昭和十年來土木建築請負部を開設し着々成績を揚げつゝあり 現會町議員 商工會議所常議員 大泊林野火防組合長 山火消防隊長 權太證券株式會社社長 大泊信用組合役員 權太酒造工業 權太鐵

篠崎 喜一 明治二十六年三月二十八日埼玉縣に生る
明治四十三年六月渡權元泊村に居住 叔父百貨店針ヶ谷商店に勤務

白幡 鶴吉 明治十六年三月三日山形縣に生る
明治四十年四月渡權眞岡町に居住 同年十一月北海道廳館に歸還 大正二年再渡權本斗町を経て内職村に轉住建築請負業を営み今日に至る 大正十年六月公設内職消防組小頭拜命 同十五年第一頭頭 昭和六年一月副組頭拜命現在に至る 昭和十一年六月村會議員當選就任本斗郡内職村大字觀字東一條一丁目五番地

篠崎 喜一 明治二十六年三月二十八日埼玉縣に生る
明治四十三年六月渡權元泊村に居住 叔父百貨店針ヶ谷商店に勤務

島山 外吉 豐榮支廳財務課長
明治二十九年一月十三日富山縣に生る
京都稅務監督局員より大正六年九月權太廳に入り職員拜命 同

年任樺太廳稅務吏(樺太廳主計課勤務)爾來真岡 本斗 泊野各支廳を歴任の上昭和九年七月元泊支廳財務係長拜命今日に至る
元泊村大字元泊字元泊支廳官舎首藤 一雄 樺太廳交通部土木課勤務 樺太廳技師

明治三十一年五月五日宮城縣に生る 大正十一年仙臺高工卒業
大正十一年北海道廳に奉職昭和四年樺太廳出向を命ぜらる 同十四年技師に任官して今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎
七戸 福松 麻内郵便局長
明治十五年十二月一日青森縣に生る

明治十三年五月十七日第四課臨時雇を命ず(示谷支廳)明治卅九年九月十二日臨時雇を命ず(樺太民政署マウカホ署)大正十四年九月九日任樺太廳特定郵便局長(麻内)
本斗郡本斗町字麻内

郡 義徳 上惠須取局長
明治十九年十一月十九日茨城縣に生る
大正四年三月二十五日茨城縣立水戸中學校卒業 大正七年七月廿五

日遊同官吏練習所卒業
大正七年八月二日任通信技師 大正十一年一月九日任樺太廳郵便局通信技師昭和十一年十一月二日任樺太廳特定郵便局長(下惠須取) 惠須取町上惠須取
進藤 梶三 長濱小學校長
明治三十三年十二月十日秋田縣に生る
明治四十四年秋田師範學校卒業
秋田市栗山尋常小學校訓導より京都府に出向 昭和四年三月樺太廳へ出向内幌小學校勤務 同五年同校々長より本斗校長を経て昭和十一年七月知取高等小學校校長 同十二年三月長濱小學校校長として現在に至る
大泊郡長濱村

大正十四年渡樺(大沼養殖株式會社支配人昭和二年)自昭和二年至昭和八年南樺太漁業株式會社本社勤務 自昭和二年至昭和八年本定置漁業水産組合主事 昭和八年至現在 樺太共同漁業株式會社勤務
鈴木太代治 明治三十四年二月十一日生る
大正十四年渡樺(大沼養殖株式會社支配人昭和二年)自昭和二年至昭和八年南樺太漁業株式會社本社勤務 自昭和二年至昭和八年本定置漁業水産組合主事 昭和八年至現在 樺太共同漁業株式會社勤務

明治四十四年鐵道院技師を拜命果進して鐵道技師になる 昭和二年樺太廳鐵道技師を拜命樺太廳鐵道事務所技師長 内務部土木課勤務 樺太廳鐵道事務所係線係勤務等兼任技師長 交通部鐵道課勤務等歴任して昭和十四年現職に就く
豊原市樺太廳鐵道官舎
鈴木嘉之助 樺太廳内務部稅務課長
明治二十四年九月九日三重縣に生る 名古屋鐵道管理局通信傳習生 養成所甲科全科卒業
大正四年稅務署屬に任官し上野永代橋 兩國橋 京橋 神田橋 既橋各稅務署を歴勤し前橋稅務署直稅課長 義谷稅務署直稅課長 同署長心得 神奈川稅務署直稅課長を歴任し昭和十二年樺太廳事務官内務部稅務課長に就任して今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎
須藤 光俊 明治廿八年十一月廿六日北海道に生る
札幌北海中學校卒業 早大高等師範部英語科中退
大正八年旭川商業會議所 大正十

務(數香 元泊 豊原 大泊 本斗 眞岡 泊野各水産會議員)樺太水産經濟研究所長 著書「最新孤獨奇」「樺太と漁業」「樺太水産關係大觀」
樺太大泊町本町二條南五丁目四番地
鈴木 長作 樺太寒天台資會社技師長
明治二十五年十月二十七日靜岡縣に生る
樺太開發の功勞者の一人として有名な杉浦六彌氏に隨ひて渡樺し木材業務に従事 大正二年杉浦氏により樺太の特殊産業として世界的なる樺太寒天台資會社創立せらるゝや氏の片腕としてこれが製造研究に共力し樺太特産「伊谷草」の名とともに製品の露價を世界に高めたる斯界の恩人ともいふ可き人にて現在も同工場の製造一切を擔當してゐる
大泊郡大泊町大字大泊字富士一番地
鈴木桂次郎 留多加郵便局長
明治十三年九月一日新潟縣に生る
明治四十年渡樺樺太守備隊大泊憲兵隊勤務 同年六月東京憲兵練習

一年渡島同年野田町助役就任 大正十四年七月大泊商業會議所書記長就任 引續き大泊商工會議所理事として今日に至る 外に樺太國防會議理事長(昭和六年より)又大泊町都市計劃委員に在任 各種商工組合顧問等 昭和十一年八月樺太廳始政三十周年に方り樺太廳長官より銀盃一個を贈られ樺太拓殖功勞者として表彰せらる
大泊町大字大泊字本町東一條南一丁目十番地
須藤庫之介 惠須取警察署長
明治二十九年三月三十一日茨城縣に生る
大正八年樺太廳巡查を拜命果進して警部となり警察部警務課 惠須取警察署長 豊原警察署長 數香警察署長 警察部刑事課長を歴任 昭和十四年警視に任官し警察部警部課防課長になり同十五年現職に就く
樺太惠須取町官舎
杉野 健男 樺太廳内務部物資調整課長
明治四十年六月二十七日千葉縣に生る 昭和七年京大法學部卒業し

て同九年高文行政科試験合格
昭和十一年拓務屬を振り出しに樺太廳屬本斗支廳長等歴任して殖産部殖民課長となり 昭和十四年文書課長を兼任し同十五年現職に至る
豊原市樺太廳官舎
杉本 荒次郎 明治三十四年四月二十七日北海道に生る
大正十年九月三十日私立中央工學校本科一期修業
會て大泊支廳出張所臨時雇員 富内村書記 青訓指導員 富内在郷軍人分會副長其の他に就き現在富内村收入役 在郷軍人分會役員 樺太富内郡富内村大字富内字恩洞五番地
杉本 久治 明治三十三年八月二十五日青森縣に生る
明治四十五年四月父に伴れ渡樺富内に居住 大正二年小學校卒業後家業たる漁業に従ひ 同四年父君歿後其の後を襲ぎ雜貨商を兼營今日に至る 十一年間消防にあり小頭として盡瘁す 第一區長 在郷軍人分會長(昭和十一年四月) 漁業協同組合事務理事
富内郡富内村大字恩洞字恩洞南四

所卒業同四十四年軍曹にて退職同十年十月任樺太廳特定郵便局長(留多加)氏は社會公共に盡し町の元老にて 昭和八年三月産業組合協會より縁勞功勞章を受け表彰されたる他昭和九年十一月新宿御苑に於ける觀菊會に自治功勞者として御召の光榮に浴す また同十一年八月樺太始政三十年式に當り長官より表彰を受く 樺太評議會議員 留多加町會議員 保護責任留多加積善信用組合長 樺太信販利用組合聯合會監事 樺太産業組合協會參事 樺太特定郵便局長 副會長
留多加町大町十一番地
鈴木 春二 大豊郵便局長
明治六年一月二十九日新潟縣に生る
明治二十七年四月一日新潟縣佐渡郡湯上村外三ヶ村組合役場書記
大正十二年四月十三日樺太留多加郡留多加町役場書記 昭和四年九月一日任樺太廳特定郵便局長(大豊)

明治十九年十一月十九日茨城縣に生る
大正四年三月二十五日茨城縣立水戸中學校卒業 大正七年七月廿五

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

日遊同官吏練習所卒業
大正七年八月二日任通信技師 大正十一年一月九日任樺太廳郵便局通信技師昭和十一年十一月二日任樺太廳特定郵便局長(下惠須取) 惠須取町上惠須取
進藤 梶三 長濱小學校長
明治三十三年十二月十日秋田縣に生る
明治四十四年秋田師範學校卒業
秋田市栗山尋常小學校訓導より京都府に出向 昭和四年三月樺太廳へ出向内幌小學校勤務 同五年同校々長より本斗校長を経て昭和十一年七月知取高等小學校校長 同十二年三月長濱小學校校長として現在に至る
大泊郡長濱村

大正十四年渡樺(大沼養殖株式會社支配人昭和二年)自昭和二年至昭和八年南樺太漁業株式會社本社勤務 自昭和二年至昭和八年本定置漁業水産組合主事 昭和八年至現在 樺太共同漁業株式會社勤務
鈴木太代治 明治三十四年二月十一日生る
大正十四年渡樺(大沼養殖株式會社支配人昭和二年)自昭和二年至昭和八年南樺太漁業株式會社本社勤務 自昭和二年至昭和八年本定置漁業水産組合主事 昭和八年至現在 樺太共同漁業株式會社勤務

明治四十四年鐵道院技師を拜命果進して鐵道技師になる 昭和二年樺太廳鐵道技師を拜命樺太廳鐵道事務所技師長 内務部土木課勤務 樺太廳鐵道事務所係線係勤務等兼任技師長 交通部鐵道課勤務等歴任して昭和十四年現職に就く
豊原市樺太廳鐵道官舎
鈴木嘉之助 樺太廳内務部稅務課長
明治二十四年九月九日三重縣に生る 名古屋鐵道管理局通信傳習生 養成所甲科全科卒業
大正四年稅務署屬に任官し上野永代橋 兩國橋 京橋 神田橋 既橋各稅務署を歴勤し前橋稅務署直稅課長 義谷稅務署直稅課長 同署長心得 神奈川稅務署直稅課長を歴任し昭和十二年樺太廳事務官内務部稅務課長に就任して今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎
須藤 光俊 明治廿八年十一月廿六日北海道に生る
札幌北海中學校卒業 早大高等師範部英語科中退
大正八年旭川商業會議所 大正十

務(數香 元泊 豊原 大泊 本斗 眞岡 泊野各水産會議員)樺太水産經濟研究所長 著書「最新孤獨奇」「樺太と漁業」「樺太水産關係大觀」
樺太大泊町本町二條南五丁目四番地
鈴木 長作 樺太寒天台資會社技師長
明治二十五年十月二十七日靜岡縣に生る
樺太開發の功勞者の一人として有名な杉浦六彌氏に隨ひて渡樺し木材業務に従事 大正二年杉浦氏により樺太の特殊産業として世界的なる樺太寒天台資會社創立せらるゝや氏の片腕としてこれが製造研究に共力し樺太特産「伊谷草」の名とともに製品の露價を世界に高めたる斯界の恩人ともいふ可き人にて現在も同工場の製造一切を擔當してゐる
大泊郡大泊町大字大泊字富士一番地
鈴木桂次郎 留多加郵便局長
明治十三年九月一日新潟縣に生る
明治四十年渡樺樺太守備隊大泊憲兵隊勤務 同年六月東京憲兵練習

一年渡島同年野田町助役就任 大正十四年七月大泊商業會議所書記長就任 引續き大泊商工會議所理事として今日に至る 外に樺太國防會議理事長(昭和六年より)又大泊町都市計劃委員に在任 各種商工組合顧問等 昭和十一年八月樺太廳始政三十周年に方り樺太廳長官より銀盃一個を贈られ樺太拓殖功勞者として表彰せらる
大泊町大字大泊字本町東一條南一丁目十番地
須藤庫之介 惠須取警察署長
明治二十九年三月三十一日茨城縣に生る
大正八年樺太廳巡查を拜命果進して警部となり警察部警務課 惠須取警察署長 豊原警察署長 數香警察署長 警察部刑事課長を歴任 昭和十四年警視に任官し警察部警部課防課長になり同十五年現職に就く
樺太惠須取町官舎
杉野 健男 樺太廳内務部物資調整課長
明治四十年六月二十七日千葉縣に生る 昭和七年京大法學部卒業し

て同九年高文行政科試験合格
昭和十一年拓務屬を振り出しに樺太廳屬本斗支廳長等歴任して殖産部殖民課長となり 昭和十四年文書課長を兼任し同十五年現職に至る
豊原市樺太廳官舎
杉本 荒次郎 明治三十四年四月二十七日北海道に生る
大正十年九月三十日私立中央工學校本科一期修業
會て大泊支廳出張所臨時雇員 富内村書記 青訓指導員 富内在郷軍人分會副長其の他に就き現在富内村收入役 在郷軍人分會役員 樺太富内郡富内村大字富内字恩洞五番地
杉本 久治 明治三十三年八月二十五日青森縣に生る
明治四十五年四月父に伴れ渡樺富内に居住 大正二年小學校卒業後家業たる漁業に従ひ 同四年父君歿後其の後を襲ぎ雜貨商を兼營今日に至る 十一年間消防にあり小頭として盡瘁す 第一區長 在郷軍人分會長(昭和十一年四月) 漁業協同組合事務理事
富内郡富内村大字恩洞字恩洞南四

所卒業同四十四年軍曹にて退職同十年十月任樺太廳特定郵便局長(留多加)氏は社會公共に盡し町の元老にて 昭和八年三月産業組合協會より縁勞功勞章を受け表彰されたる他昭和九年十一月新宿御苑に於ける觀菊會に自治功勞者として御召の光榮に浴す また同十一年八月樺太始政三十年式に當り長官より表彰を受く 樺太評議會議員 留多加町會議員 保護責任留多加積善信用組合長 樺太信販利用組合聯合會監事 樺太産業組合協會參事 樺太特定郵便局長 副會長
留多加町大町十一番地
鈴木 春二 大豊郵便局長
明治六年一月二十九日新潟縣に生る
明治二十七年四月一日新潟縣佐渡郡湯上村外三ヶ村組合役場書記
大正十二年四月十三日樺太留多加郡留多加町役場書記 昭和四年九月一日任樺太廳特定郵便局長(大豊)

明治十九年十一月十九日茨城縣に生る
大正四年三月二十五日茨城縣立水戸中學校卒業 大正七年七月廿五

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

明治十九年十一月二十八日千葉縣に生る
東北帝大農科大學土木工學科卒業

香地

杉本 徳藏 明治十一年十月六日三重縣に生る。郷里に於て農業經營。大正九年樺太亞細亞に渡航。土木建築請負業を營み同十三年十一月現住地に轉住。製材業並土木建築請負業を營み今日に至る。年産七千石。町土木委員。高等小學校校保護者會長。名好郡憲須取町大字憲須取字南濱町四丁目十四番地。

杉本 孝作 明治二十二年七月一日福岡縣に生る。

明治四十年三月沼津商業學校卒業。明治四十年十月王子製紙會社入社。大正九年一月大泊工場會計係長となる。大正十五年十月南樺鐵道株式會社主事職に。昭和三年六月樺太電氣株式會社理事。昭和五年四月樺太電氣株式會社取締役兼理事。現在樺太電氣株式會社。南樺鐵道株式會社常務取締役。樺太酒造工業株式會社取締役。王子製紙樺太分社總務部理事。

豊原市北一福東八番地樺電社宅。杉村 富作 憲須取商工會館。明治二十九年九月十六日福島縣に生る。 獨立兩館中學校卒業後青島山學

院商學部卒業

郷里に於て紙文房具商經營。大正十三年八月渡樺現任所に於て金物銃砲火藥商を營み今日に至る。大正十四年主唱して憲須取商工會を設立し。爾來常議員として發展に盡し副會長たること一回。會頭たること一回。同商工會の爲に盡したる功績は偉大なものである。去る九年より副會長として滿一年間重任し五月推されて再び會頭の重職に就任。大正十五年赤十字會選出。昭和四年九月町會議員に當選。爾來重任今日に至る。信用組合監事。名好郡憲須取町大字憲須取字本町四丁目十六番地。

菅原道太郎 樺太廳中央試驗場企劃部長。明治三十二年一月十八日北海道に生る。 北大農學部卒業。大正十一年樺太廳農事試驗場へ奉職。累進して技師になり農林部農務課 畜産課等を勤務して現職に就く。

末松 稔 大泊支廳留多加出張所長。明治二十八年六月二十六日福島縣に生る。

大正三年三月二十六日福岡縣立中學校修業館卒業。同九年十一月六日福岡縣屬 同十三年五月任内閣屬 同十四年四月十六日任樺太廳泊居無務係長(昭和七年四月) 昭和十年五月三十一日敷香支廳殖産係長拜命現職に就く。 大泊郡留多加町官舎

扇田 彦助 明治九年十一月一日生る。

明治卅八年七月渡樺(陸軍支屬)除隊の後同四十年森田商會に入り支配人として手腕を振ふ。傍ら町治に盡くし本島一流人物として内外に定評あり。大野順末氏と共に大泊町の元老なり。曾て消防組頭。商工會議所會頭たりしも現在には會議所顧問。大泊教育會會長に就任。事業方面に於ては樺太合同運送株式會社取締役(代表社員)たり。大泊本町西一福南區町下。

仙崎覺次郎 製材業。明治二十二年十二月二十九日石川縣に生る。

明治三十九年渡樺豊原町に於て農

業。大正十二年來製材及土木建築請負業を營み今日に至る。並川消防部頭(第六部) 豊原町會議員。豊原 工會議所議員就任今日に至る。自治功勞。山火警防等に關し表彰せらるること十數回に及ぶ。製材組合副會長として業界の信望厚い。 樺太豊原市大字豊原字西五條南一丁目二十番地。

潮尾勇治郎 雜誌樺太社々長。明治二十八年十一月二十八日山形縣に生る。

大正二年十一月渡樺同四年十一月巡査拜命真岡 本斗保安課を経て同十二年九月一日退職上京。同十三年四月再職。豊原高等課を経て昭和四年九月退職。十一月本誌編輯今日に至る。南樺鐵道株式會社々員。敷香通商株式會社々員。樺太自動車聯合會顧問。株式會社樺太機械製作所。樺太酒精工業株式會社各專務取締役。 樺太豊原市東三條南十丁目四十二番地。

關 拾六 明治二十八年二月二十七日北海道に生る。 郷里小學校卒業後東京市に於て度

軍衛製作を曾得。南滿洲鐵道株式會社。山東省鐵道管理局。西部鐵道管理局。株式會社大正製作所。樺太鋼鐵株式會社等に歴任。大正十四年樺太鋼鐵會社を賣收度。器販賣修繕營業を經營今日に至る。昭和六年五月豊原商工會議所議員就任。昭和八年九月町會議員に當選就任。各種町委員兼任。 樺太豊原市大字豊原字大通り南九丁目六番地。

田中 熊太 樺太廳内務部學務課長。明治二十九年一月十二日島取縣に生る。大正二年島取中學卒業。大正五年北海道廳屬殖民課勤務を振り出しとして會計検査院。樺太廳内務部財務課。同警察部警務課長官官房文書課長。同調査課長等歴任して現職に就く。此の間大正十四年に高文に合格せり。 豊原市廳官舎。

田中藤右衛門 明治二十五年十一月十一日福井縣に生る。 明治四十二年六月渡樺爾來各種事業にたづさはり全島的にその名を

知らる。留多加無鐵株式會社及び西灣内唯一の陸地交通機關たる自動車會社等は氏の經營による。人格識見卓越せる事業家。 留多加町大字留多加字本町右十八番地。

田中 沖 小田寒郵便局長。明治二十年一月一日福島縣に生る。明治三十九年十一月九日任通信手(高崎郵便局) 大正十四年五月二十七日 任樺太廳郵便局通信書記(豊原) 昭和七年 月十六日任樺太廳特定郵便局長(小田寒) 榮濱郡白糠村大字田寒。

田中 伍郎 明治三十二年六月十五日岩手縣に生る。 大正十一年六月渡島豊原町遠藤組勤務。昭和七年退店獨立し本斗町に於て土木建築請負業經營。昭和十年來漁業並海産物取扱業兼營今日に至る。本斗信用組合監事。本斗請負組合長。本斗商工會評議員。本斗郡本斗町大字本斗字山通一丁目十一番地。

田中 久雄 樺太廳社會教育官。明治二十七年十月一日生る。 廣島師範學校卒業。 大正四年より廣島縣下各小學校を

訓導として奉職し。同十四年樺太廳出向となり大泊小學校に勤務す。 豐原第一校長を歴職して現職に就く。 豊原市樺太廳官舎。

田邊 周二 明治十八年二月十七日石川縣に生る。

明治四十年札幌農學校農藝科卒業。明治四十年四月北海道廳第五部殖産課勤務。同年七月願に依り退官。同年八月樺太廳拓殖課勤務。明治四十二年樺太廳農事試驗所勤務。大正八年十月農事試驗所字遠泊分所長拜命。昭和六年三月依願免官。昭和六年六月憲須取町技師産業課長拜命現在に至る。 憲須取町農産業組合理事。 憲須取町管内の農産業の發展は天然の恩恵と相俟ち氏の適切な指導に負ふところに於て地方農民の絶對的信賴と服従を受けて居る。

憲須取町本町三丁目。

田邊庄次郎 建築材料供給請負。金物船具諸機械。塗料販賣等をなす。大泊第一流の商業家にして政治的にも町元老の一員たり。 會議所常議員。町會議長代理者。 なを公共事業に盡し常に各方面に多額の

寄附を惜まず。功勞章。有功章。紺綬褒賞等を有し樺太廳長官其他よりの感謝狀表彰狀等多數を受く。 大泊町大字大泊字榮町。

田村勝之助 明治十七年十月二十日福井縣に生る。

關館市にて漁場及海産商を營み明治四十年來毎年夏期のみ關泊村に出張自己所有の漁場を經營したり。大正五年一家を擧げて現任所に轉住し。金物店をも兼業同時に肝油製造にも着手盛業をみたり。 現今は漁場を他に讓渡し金物店のみを業とし樺太木材株式會社取締役。關泊無鐵株式會社取締役に就任す。曾て評議員。消防組頭(八ヶ年間勤務) 眞岡商工會議所議員たりしことあり。 現町會議員。 樺太眞岡郡關泊村大字關泊字關泊一三二。

田村惣次郎 明治二十年十二月二十九日新潟縣に生る。

昭和三年野付牛町より渡樺現任所に於て魚菜市場を經營今日に至る。 榮濱郡落合町中通一五〇。 田村 辰馬 樺太廳中央試驗場化學工業部勤務技師。 明治三十七年十二月一日熊本縣に

生る 東北帝大理學部卒業
卒業後東北帝大に助手に勤務し昭
和九年農林省に奉職 同十三年樺
太廳中央試験場技師に官任して今
日に及ぶ

田村 傳吉 大泊精肉商組合長
明治二十一年三月八日新潟縣に生
る
大正十一年渡樺 爾來現任所に雜
貨商經營 同十三年より精肉商兼
營今日に至る 昭和四年副組合長
就任 同十一年改選により組合長
に推され就任今日に至る
大泊郡大泊町大字大泊字船見町本
通二丁目一番地

田口 善一 明治三十五年十月
二日秋田縣に生る
大正五年十月渡樺(父母に伴はれ
て)小能合呂村に居住 大泊中學
卒業 日本大學經濟學部卒業
昭和六年八月現任所に轉任 米穀
商經營今日に至る 現に商工會常
議員
惠須取町南濱町三丁目一番地
田口 稔 樺太廳警務支隊長
明治三十四年八月十日愛媛縣に生
る
風に北海道に勤務し昭和四年樺

大廳 農林部殖民課勤務として
渡島市 中央試験所庶務課長 内
務部地方課勤務 長官官房文書課
長 本斗支廳長を歴任して昭和十
四年現職に就く
豊原市樺太廳官舎

田栗徳太郎 明治十一年十二月
五日佐賀縣に生る
明治四十三年渡樺敷香町に居をト
し雜貨商經營 昭和四年一月株式
會社敷香魚菜市場設立と共に社長
に就任 同九年八月辭任 昭和四
年無業會社合同成り敷香無業株式
會社設立と同時に同社長となり同
十一年八月辭任 其他諸議員 町
會議員 敷香管内漁業組合長等に
任ぜられたるも昭和十一年八月以
來一切の公私職を退き養子寛氏に
家業を譲り悠々自適す
敷香町西一條北六丁目十三番地
田近忠兵衛 馬農家
明治七年三月十四日秋田縣に生る
明治三十八年渡樺落合 豊原に於
て運搬業を營み同四十一年深雪に
於て農業經營 大正十年北樺太亞
港へ渡り養子栽培し軍部に供給
同十四年五月現任所に來任農業經
營今日に至る 馬農家として其名

高く 昭和七年八月二十三日廳政
記念日 昭和十一年八月二十三日
の二回馬農家として樺太廳長官よ
り表彰さる 閑院宮 東伏見宮大
妃兩殿下に拜謁の光榮に浴す 昭
和二年より農事實行組合長 興農
會長として昭和九年迄勤続し後嗣
子喜四郎氏に譲り現在に至る 會
て衛生組合組長 部落伍長等公事
に盡したるも現在は總てを辭し園
藝に親しむ
樺太元泊郡知取町大字北連古丹字
北連古丹 十五番地
田代 源吾 明治三十四年七月
一日北海道に生る
高等小學校學科卒業
現富内村會議員 喜美内在郷軍人
分會副長 温泉篤實にして村内の
信望厚し
樺太富内郡富内村大字喜美内字吉
岸七十三番地
田森 理一 土木建築請負業
薪材供給業
明治二十八年九月二十五日秋田縣
に生る
明治四十三年最初の渡航 漁業經
營 同四十四年敷香町に定住 爾

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

來土木建築請負業並薪材供給營業
經營 昭和四年會我浦三郎氏と提
携北斗軌道合資會社を創立 敷香
上敷香間の輕便軌道敷設に着手
同九年三井礦山株式會社に權利讓
渡後學實なる事業家として信望高
し 敷香商工會議員 請負業組合
副組合長 信用組合 養孤組合等
數多の役員に就任し秋田縣人會長
たり 公設消防組第二部頭(昭和
元年より同七年迄)
敷香郡敷香町大字敷香字本通北二
丁目十三番地
田畑司門治 樺太廳殖民部林業
課長
明治二十八年十一月二十五日長野
縣に生る 北海道帝大林學科卒業
大正十一年樺太廳技師を拜命拓殖
部林務課勤務 昭和三年樺太廳技
師に進み農林部林業課勤務となり
昭和十二年殖産部林業課長なる
豊原市樺太廳官舎

高木 正一 豊原警察支隊長
明治二十八年三月十八日熊本縣に
生る 日大法科卒業
大正七年警視廳巡查長命察視廳警
部補に進み大正十五年樺太廳警部
補として渡島國警察署 豊原警

高木 正一 豊原警察支隊長
明治二十八年三月十八日熊本縣に
生る 日大法科卒業
大正七年警視廳巡查長命察視廳警
部補に進み大正十五年樺太廳警部
補として渡島國警察署 豊原警

警察 警務課 保安課 高等警察
課を各勤務し警部に進み警務課
落合警察支隊長 樺太廳醫院書記
區醫院 豊原醫院 泊居警察署
長等歷勤して昭和十四年警視に累
進豊原警察支隊長に補せられ今日に
至る
豊原市樺太廳官舎

高田 安巳 請負業
明治二十八年十月七日福島縣に生
る
福島民報 樺太新聞 樺太日々新
聞記者 樺太時事新聞編輯長兼主
筆 樺太實業新聞社長を経て合資
會社白井組支配人として實業界に
入り今日に至る 豊原請負業組合
常議員 樺太請負業組合聯合會幹
事 豊原商工會議所議員等の公職
につき新進實業家なり
豊原市東三條南十二丁目

高梨芳太郎 明治二十四年十二
月二十五日山形縣に生る
郷里高等小學校卒業後明治四十年
渡樺大泊町に於て令兄の米穀雜貨
商店を助け 大正十二年能登呂村
泥川に於て官行研伐の指定商人と
なり活躍 同十五年内路村に移轉
高梨商事株式會社を設立製材工場

を設置 昭和二年内路電燈株式會
社を設立社長として電燈事業を經
營 昭和六年速瓦製磚工場を兼營
昭和十一年四月鈴木學氏の權利所
有たりし北樺拓殖軌道の權利を買
收し内路 内川三井炭山間の軌道
經營に付更生策を考究中 氏は資
性潤達よく前途を遠觀し一意内路
村の産業振興に努め 不況のどん
底時代に於ても村の前途有望なる
を説き村民の蒙を啓くを念願とせ
る熱意の人にして 今日村の産業
興發に曙光を見るに至りしは氏の
力に負ふ處最も多し 内路飛行協
會理事
樺太敷香郡内路村大字内路字内路
番外地

橋嘉男理 知取町助役
明治二十二年六月二十八日茨城縣
に生る 茨城縣師範學校卒業
大正十二年七月渡樺豊原第一小學
校訓導 榮濱校長 泊居校長 眞
岡第一校長を経て昭和十一年四月
知取第一學校長に轉任 昭和十三
年辭任して現職に就く
知取町幸四丁目十二番地
高橋源左衛門 明治八年二月二
十日福井縣に生る

高橋源左衛門 明治八年二月二
十日福井縣に生る

明治四十年來住造材業の傍業を
營む 部落總代 村評議員等に歷
任し現に村會議員の職に在り
豊原郡豊北村大字深雪字深雪番外
地
高橋濟次郎 惠須取林務署庶務
課長
明治二十九年三月三十一日山形縣
に生る
大正十一年八月二十三日北海道廳
森林主事特別任用試験合格 同十
一年十二月四日北海道廳產業技師
同十二年十月八日文官普通試験に
合格 同十二年十一月八日北海道
廳農林主事 昭和三年三月二十四
日任樺太廳農林主事 同五年一月
二十一日兼任樺太廳林務署副署長
同六年八月十四日兼任樺太廳林務署
副署長(留多加應務係長) 同八年四月
眞岡署庶務係長 同十二年一月惠
須取署庶務係長 官制改正に依り
庶務課長となる
惠須取町

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

奮闘努力し家運の隆盛を見 傍ら
町民會評議員となり次で町村制施
行と共に町會議員 消防組頭 信
用組合役員其他公共の要職に任じ
昭和六年衆望を荷ひ豊原町名譽職
町長に就任 爾來一意専心町政の
圓滿なる發達と町勢の向上發展に
盡すし各般の施設は驚異的躍進を
遂げ 昭和十二年七月一日多年の
懸案たる市制の實施を見る 之れ
即ち同氏の絶大なる努力の結晶に
して今や市の重鎮として一般の信
望極めて致し
樺太豊原市西一條南四丁目一番地
高村 純平 明治二十一年五月
二十八日靜岡縣に生る
大正五年六月北樺太アレキサンド
ロフスクに渡航 嚴父の經營せる
店務を補助し 大正十四年五月撤
兵と同時に惠須取町に轉任 米穀
雜貨商並に養孤場を經營今日に至
る 在住以來町公共の爲盡力する
處多く元老として重きを爲し 現
に公設消防組組頭 樺太評議
會會員 惠須取 會議員 惠須取
商工會常議員 將校團々長 信用
組合理事等の要職にあり
名好郡須取町大字須取字南濱

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

高橋彌太郎 豊原市長
明治十六年三月二十七日長野縣に
生る
明治三十九年樺太領有當時青雲志
を懷きて本島に來住し 實業界に

町丁目二番地

高山 保一 樺太廳中央試験場
産産部長
明治二十七年三月二十一日北海道
に生る 北大農學部卒業
昭和二年北大助教を辭し樺太廳
中央試験所技師として渡島す 同
十三年現職に就く
竹浪清三郎 明治二十四年十二
月七日青森縣に生る
東北帝國大學醫學部門部卒業
大正五年樺太廳醫院醫官 大
正十五年富士製紙知取醫局勤務今
日に至る
知取町字富士王子工場社宅
竹林陽太郎 王子專造材請買

明治十八年六月渡樺津産業 造材
業等を營み大正九年王子製紙會社
專造材請買人として今日に至る
温良着實にして會社の信頼厚く王
子請買人中有数の事業家として知
らる 昭和六年來養孤業をも經營
現在種狐四十個を有し年々數十枚
の優良手皮を生産す 氏はまた公
徳の念厚く公共事業には自ら進ん
で金品を寄附し感謝状表彰状等を
多數に受く

大泊本町東一南一

竹本淺次郎 眞岡漁業協同組合
長
明治廿六年五月十日北海道に生る
十三歳の時函館市に出で漁業に従
事 明治四十年現任所に漁場を經
營函館を本據として樺太に往復し
昭和二年眞岡町に轉住 専心漁場
を經營今日に至る 昭和三年より
眞岡漁業組合の役員に就任 監事
理事を経て昭和十年一月組合長に
推舉せられ就任 業者間の信望厚
し 眞岡郡水産會代議員 消防組
第四部頭 水難救濟會眞岡救難所
監事 眞岡信用組合信用評定委員
眞岡郡眞岡町第一番地

谷内 謙 樺太眞岡中學校校長
明治十七年二月一日富山縣に生る
東京高師卒業
秋田師範 下關 米澤各商業教諭
柏崎中學 豊原高女 大泊中學各
教諭 泊居 眞岡各高女校長を經
て現職に就く
眞岡町高濱町官舎
谷川 時藏 野田郵便局長
明治三十八年八月十九日北海道に
生る

大正八年三月二十一日樺太廳通信

生養成所卒業 同年四月一日通信
事務員を命ず(廣地)大正十二年
眞岡郵便局勤務 大正十五年四月
任通信書記補 昭和八年十月卅一
日任樺太廳特定郵便局長(野田)
在郷軍人分會 青年團 少年團
振興會等の理事 幹事 顧問等に
推され町のあらゆる公共團體の幹
部として力を盡しつゝあり
野田郡野田町
武井 民雄 明治二十二年十二
月十一日山梨縣に生る
山梨縣立日川中學校卒業
大正十三年渡樺權鐵入社 建設主
任技手を命ぜらる 昭和元年より
土木建築請買業を營み村會議員
消防後援會會長等の公職に就き村の
重鎮たり
數香郡内路村内川
武石 富八 明治十五年十一月
二十日福島縣に生る
明治四十年樺太守備隊員として渡
樺豊原町に駐屯 同四十二年歸還
大正七年七月渡樺權鐵に奉職
大正十一年三月退官 同年四月一
日日本斗町收入役に推薦され就任
重任して昭和四年十二月辭職後現

本籍地に於て海産物販賣業を營み
昭和二年渡樺野田町に於て海産商
同五年十月現任所に移轉 海産物
加工 製造販賣業を經營今日に至
る 昭和八年九月町會議員 商工
會常議員 各種町委員 株式會社
數香魚菜卸賣市場監査役 數香漁
業組合創立の主唱者にして功勞者
目下數香水産台名會社を創立市場
常務大松繁徳氏と共に斯業に精進
中である
數香町本通南四丁目
千葉 常雄 明治二十二年三月
十七日山形縣に生る
新潟醫學專門學校卒業
札幌市豊水病院醫局勤務 大正七
年四月札幌市に於て開業 大正十
二年九月渡樺 小能登呂村 野田
町 清水村各地に開業 昭和三年
九月上數香に移轉開業 公醫 學
校醫長 昭和五年七月衛生組合
設置と同時に上數香區長に推され
就任現在に至る 上數香信用組合
長 數香町會議員 衛生組合十六
區長 上數香小學校児童後援會長
消防後援會長
數香町大字上數香字上數香本通五
丁目一、四番地

ツの部

常世 修次 明治二十一年十一
月二十一日山形縣に生る
氏は山形縣の士族 大正四年内務
省の醫術開業試験に合格し同六年
神奈川縣に於て開業 大正九年現
任所に移り爾後引續き病院を經營
今日に至る 其の間樺太廳公醫
泊岸村醫及學校醫 村會議員 學
務委員等幾多の公職に任じ常に地
方の開發に献身的力を致す 就中
泊岸郷軍分會長として大正十二年
以來引續き在任し多年功勞の廉を
以て昭和八年功勞章を授けらる
樺太數香郡泊岸村
筒井 秀治 明治二十七年十月
三十一日山形縣に生る
日本齒科醫學專門學校卒業
同校附屬病院に一ヶ年勤務後郷里
に於て開業 昭和二年四月渡樺落
合町に開業 昭和十年一月數香町
に診療所を移轉今日に至る 現在
落合町々會議員 各種委員 前落
合第一小學校保護者會長 樺太日
齒校友會長
住所 榮濱郡落合町通九十七番

住所に於て印刷業經營 昭和十年
來煉炭の研究並に工場設備に著
手 同十一年八月商品の製造開始
市場に賣出し樺太に於ける新興産
業として將來を期待されてゐる
昭和十一年二月樺太煉炭株式會社
を組織専務取締役として製造經營
一切の衝にあり
本斗町中通二丁目十三番地
玉尾 西藏 公醫
明治十八年二月二十六日北海道に
生る
北海道留萌 興部等の病院に於て
醫務研究 札幌清治醫務所助手
三菱美野炭礦病院治療助手 昭和
九年九月渡樺本斗郡内幌村樺太炭
礦會社内幌礦業所病院勤務 同十
一年一月樺太廳醫師免許許證下附
同七月現任所公醫を命ぜられ今日
に至る
富内郡富内村大字落軌
龍野 良輔 王子落合工場事務
主任
明治二十三年九月五日生 旭川中
學校卒業
明治四十二年樺太廳醫務
大正六年退職 日本化學紙料株式
會社落合工場入社爾來勤續 昭和

地

診療所 數香町小松通南二丁目十
五番地
辻 健一 明治二十三年十二
月一日兵庫縣に生る
神戸中學中退 私立神戸精華會
簿記科卒
明治四十五年樺太龍小學校代用
教員を拜命以來大正十一年迄島内
各小學校訓導を勤め 大正十二年
能登呂村に落着き商業を營む 村
議に重任し昭和十二年樺太廳評議
員を依屬され現在に至る
樺太留多加郡能登呂村大字雨龍二
十一番地
辻 博雄 知取信用組合長
明治二十三年二月十六日山形縣に
生る
大正五年渡樺 日本化學紙料株式
會社入社知取山林出張所主任 同
十一年自治制施行と共に知取町初
代の名譽村長に任ぜらる 同十二
年退社現任所に於て知取町第一の
旅館千歲屋經營 同十三年十二月
村長辭職同時に村評議員を命ぜら
れ評議會議長就任 大正十二年七
月知取信用組合設立組合長に就任
現在に至る 大正十三年來町内北

八年四月事務主任累進今日に至る
榮濱郡落合町南十二、麻東十八王子
社宅
種田 徳彦 明治十年十二月一
十二日生
明治二十七年北海道廳立函館商
業學校卒業 同二十九年東京私立
神田中學校卒業
明治三十九年渡樺定置漁業經營引
續き今日に至る 現在大泊町會議
員各種委員の公職に在る外樺太共
同漁業株式會社取締役たり
樺太大泊郡大泊大字大泊字船見町
東一條九番地
太宰 俊夫 高等警察課課長調査
課 通譯兼樺太廳屬
明治三十三年一月一日岩手縣に生
る 大正十五年三月二十一日日露
協會學校卒業
大正十五年四月十三日露語通譯を
囑託す 昭和五年二月二十八日任
樺太廳通譯兼樺太廳屬
豊原市樺太廳官舎

千の部

千葉長兵衛 海産商 町會議員
明治十年一月十日宮城縣に生る

遠古丹に牧場を兼営す 宿屋組合

知取町千歳町二丁目一番地

日香川縣に生る

明治四十一年渡樺 同四十三年久

春内村に定住漁業に従事 大正九

年實澤に轉住農業經營 昭和七年

久春内市街に轉住今日に至る 昭

和二年久春内運輸株式會社取締役

就任現に常務として社務を掌る

昭和四年來村會議員公設消防組一

部頭 信用組合監事に就任今日に

至る また昭和九年十一月千歳炭

礦合資會社を設立しその代表社員

たり

久春内郡久春内村大字久春内字壽

町四丁目十六番地

土永 勇 明治四十年三月一

十七日石川縣に生る

石川縣小松商業學校卒業

大正十四年渡樺先代壽太郎氏の家

業たる味噌醬油製造業に従事 昭

和九年先代歿後其の後を襲ぎ今日

に至る 本斗海陸運輸株式會社監

査役 本斗無糖株式會社取締役

本斗町信用組合監事 日本生命保

險外各保險會社代理店 醬油 味

地

富田 徳雄 白鳥澤鑛業事務所

係主任

明治二十六年二月六日東京に生る

大正五年七月渡島 日本化學紙料

株式會社 富士製紙株式會社を經

て王子製紙株式會社社員 昭和十

年七月樺太鑛業株式會社大平鑛業

所勤務 昭和十五年現職

百目木智讓 明治二十一年四月

八日秋田縣に生る

明治三十八年横手町準教員養成所

卒業

明治三十九年渡樺豊原町樺太日日

新聞社に勤務 大正十四年現住所

に於て印刷業經營今日に至る 昭

和一年知取町評議員爾來引續き町

贈遺發賣元

本斗郡本斗町大字本斗字大通二丁

目十番地

土門爲次郎 明治十年十月十五

日山形縣に生る

明治三十九年五月渡樺現住所に於

て漁場經營 斯界の先導として同

業者間に重きを爲し町有力家とし

て重視さる 昭和九年來推されて

により樺太自治消義會長より金牌

受領表彰せらる

樺太豊原市大通南三丁目十一番地

トの部

塗師岡松太郎 明治十二年三月

十三日石川縣に生る

明治三十一年歩兵第七聯隊入營

同三十三年十一月歩兵伍長任官

同三十四年六月十一日清國駐屯十

一月歸還 同三十四年十一月除隊

同三十七年日露戰役に出征し戰役

中果進して歩兵曹長 凱旋除隊後

其の功により勳七等に叙せられ青

色桐葉章を授けられ功七級金鷲勳

章を下賜せらる 明治四十一年三

月稅務署屬に任せられ大正五年四

月樺太廳へ出向 大正九年十一月

退官眞岡に居住 同十三年五月町

評議員を命ぜられ昭和六年十月町

會議員當選 同八年九月改選によ

り重任今日に至る

眞岡町榮町一丁目十四番地

徳田 一勝 本斗消防組第一部

頭

明治十九年十二月十九日眞岡に生

110K

る 大正二年一月渡樺本斗町に居住運

送業經營 大正九年九月より大正

十二年十一月二十七日迄公設本斗

消防組消防手拜命 昭和三年四月

小頭 昭和八年十一月十二日第

一部頭に累進

本斗郡本斗町大字本斗字大通八丁

目七番地

等力 了 辯護士

明治十四年五月十日石川縣に生る

大正六年一月京都帝國大學法學部

卒業

爾來各所に裁判官たりしが大正十

年樺太地方裁判所判事として渡島

同十一年十月退官 豊原市にて辯

護士事務に従事す 公職として曾

つて豊原町會議長たりしが目下

同市會議員たり

豊原市東三條南三丁目

土肥榮四郎 瀬戸物洋家具製造器

商 明治四十四年十月十日北海道

に生る

明治三十八年父母に從ひて渡樺

大泊中學(第四回)卒業後家業に

つき歳父死去後當主となる 泊中

時代よりスキーヤーとして認めら

れ卒業後豊原青年團幹事として活

組合幹事

大泊町字谷町一ノ二

十の部

中井 武雄 樺太木材作業所主

任

明治卅一年九月三日北海道に生る

大正七年函館商業學校卒業後三菱

商事に入り 大正十一年十月樺太

木材株式會社に轉勤 泊岸作業所

主任として今日に至る 村會議員

消防組頭 青年團長等の公職に就

き村政に對して力能を惜まらず村

民に尊敬されて居る

數香郡泊岸村

中井戸芳太郎 明治十八年三月十

日三重縣に生る

明治三十九年來住 土木建築商賣

業及雜貨商を營み近年養蠶業を兼

營す 現村議 消防組頭

豊原郡豊北村大字小沼字小沼百二

番地

中江 時助 樺太廳大泊中學校

長 明治二十三年四月十二日岡山縣に

生る 東京高等師範學校本科卒業

大正三年三月山口縣津波中學校教

諭に任せられ 樺太縣九州學院講

師 大阪府今宮中學校 尾道高等

女學校 愛媛縣今治高等女學校

香川縣大川高等女學校各教諭に歴

任 昭和四年七月樺太廳大泊中學

校教諭に轉任 同九年五月豊原中

學校教諭に轉じ更に現職に就く

110P

明治二十七年三月二十五日福島縣に生る

福島縣師範學校本科第一部卒業
檢定により師範學校 中學校 高等女學校教員(國語、漢文)免許
狀を受く。大正五年一月福島縣立二本松實科高等女學校教諭に任じ
福島縣警城中學校 同縣立保原中學校各教諭歷任後大正十三年八月
公立大泊高等女學校教諭に轉じ
同十四年四月高等官に任ぜられ昭和
二年四月移官の爲樺太廳大泊高等
女學校に奉職す

西田幸次郎 明治二十三年九月
二十一日北海道に生る

明治四十年八月渡樺現任所に於て
漁業に従事今日に至る。現に村會
議員 牛毛林野火防組組長 泊居
水産會總代 久春内漁業組合理事
信販利組合理事 曾て青年團を
創立初代團長 部落評議員 牛毛
信販利組合長等を勤職し部落の
元老且有力者なり
樺太久春内郡久春内村大字牛毛字
牛毛十七番地
西鶴 定嘉 樺太廳豊原高等女
學校長

明治二十九年四月二十四日大分縣に生る

大分縣師範學校卒業 檢定により
地理科中等教員免許狀を受く
大正十一年三月大分縣立天洲中學
學校囑託となり愛媛縣立天洲中學
校教諭に任ぜられ 大正十四年三
月樺太廳大泊中學校教諭に轉任
昭和七年三月高等官に任ぜられ同
八年十月大泊高等女學校教諭に轉
任今日に至る
大泊町谷町官舎五號ノ一

又の部

沼 久雄 明治三十二年十二
月五日新潟縣に生る

埼玉縣大宮町に於て寫眞技術修業
昭和二年六月渡樺留多加町に居住
同三年一月上敷香に轉任寫眞館經
營 上敷香印刷所 攝球場兼營今
日に至る。昭和八年青年團長に推
され就任 同十年五月任期満了
同九年十月林野火防組組長就任
同十一年五月辭任 分會副會長
信用組合評定委員 後援會幹事
區長代理
敷香郡敷香町敷香無著地

ネの部

根守 四郎 樺太廳泊居林務署
長

明治三十四年十二月二十一日岩手
縣に生る
盛岡高等農林學校卒業
大正十五年樺太廳授手に任官内務
部林務課 裏須取林務署 大泊林
務署業務係長 元泊林務署業務係
長 元泊林務署業務課長 本斗林
務署長歴勤昭和十五年技師に進み
現職に就く

ノの部

野口 要 大泊小學校長

明治二十九年一月十五日樺太廳に
生る 樺太廳師範卒業
大正十年樺太廳師範訓練所に初任 大
正十二年八月樺太廳へ出向區支
廳視察奉命 同十三年區支廳庶
務係長となり 同十五年樺太廳地
方課勤務 昭和五年區支廳第一小學
校長を経て昭和八年豊原第三校長
に轉じ更に現職に轉任して今日に
至る
大泊町公舎

MO

野畑 庄吉 藥種商

明治二十二年一月十八日福井縣に
生る
明治四十四年渡樺現任所に居住
藥種商の免許を受けて(文房具
新聞雜誌販賣業)日用百貨商を
經營今日に至る 部落時代より評
議員に擧げらる
元泊郡元泊村 大字元泊字元泊九
七、九番地

ハの部

馬場 大州 樺太廳鐵道教習所
講師

明治二十五年一月北海道に生る
東北帝大土木工專科卒業
大正六年より北海道鐵道建設事務
所に技手 技師として奉職し昭和
十二年樺太廳囑託となつて渡島現
在に至る

馬場 三雄 大泊橋梁郵便局長

明治二十三年二月三日福井縣に生る
明治三十五年十二月二十日開國郵
便局敷設所技師を命ず(札幌郵便電
信局長)明治三十八年渡樺 明治
四十二年六月一日任樺太廳特定郵
便局長(大泊本町)昭和十年十月

一日高等官七等を以て待遇せらる
大泊郡大泊町橋梁町

馬場長五郎 明治八年十一月一
日北海道に生る

大正十三年來住農業に従事し現在
區長の職に在り
豊原郡豊原村大字小泊香外地
花井正太郎 樺電眞岡營業所主
任

明治十七年五月二十八日新潟縣に
生る

明治四十二年渡樺 樺太守備隊經
理部奉職 大正二年樺太電氣合資
會社入社 昭和三年一月樺太電氣
株式會社創立引繼の爲同社員とな
り昭和四年迄營業所長代理として
本社勤務 同六年六月眞岡營業所
主任として赴任現在に至る 眞岡
町會議員に當選就任
豊原市大字豊原字東一條南六丁目
一番地

花上 孝三 落合町會議員

明治二十年一月十日神奈川縣に生
る 神奈川縣立中學校卒業
明治四十四年渡樺樺太廳巡查長命
官 巡查部長 大正九年日本化學紙料
落合工場に入社爾來勤職今日に至

る倉庫係

落合町王子社宅

花田増次郎 明治十二年四月三
日生る

明治四十年四月渡樺本斗に居住水
産業に従ひ今日に至る 本島水産
加工業界に於ける先覺者として其
の功勞は永久に記録せらるべき人
である部落時代より評議員 町會
議員に重任 村興發の爲にも又功
勞多からず 現本斗町工會議員
本斗水産會評議員 樺太一號輸出
組合副會長
本郡本斗町

花田 康三 樺太廳泊居女學校
長兼教諭

明治二十三年五月十日靜岡縣に生
る 東京高等師範學校本科英語部
卒業
大正五年四月岐阜縣師範學校教諭
に任ぜられ廣島縣立福山中學校
岐阜縣立武義中學校 滋賀縣立彦
根中學校各教諭に歴任 大正十年
高等官を以て待遇せられ昭和二年
三月樺太廳豊原中學校教諭に轉任
同七年四月泊居高等女學校校長兼教
諭に補せられ今日に至る
泊居町

橋爪 茂美 明治三十二年四月
一日生る

嚴父は山形縣米澤市にて酒造業を
營み 明治四十年大泊に支店を設
けたるにより同四十五年四月渡樺
泊中途中退學(家事都合)後船造
事業にたづさはり 昭和六年大泊
船造台名會社を創立して大泊酒造
株式會社を買受け今日に至る 年
産額一千石餘酒一男山一の名は芳
馨な香と共に全島にたぐよ 昭
和十一年第十五回日本全國酒類鑑
油品評會に出品優等賞(全島第一
位)を受く
大泊町本町大通北三丁目西一十四
番地

橋本 忠雄 明治十九年四月一
十七日北海道に生る

明治三十七年二月二十九日通信傳
習生規則に依り規定の科目を卒業
同年三月五日臨時通信事務員を命
ず(札幌郵便局)明治四十二年十
一月一日久春内郵便局通信事務員
を命ず 大正七年七月十日任樺太
廳特定郵便局長(海馬島)
本斗郡海馬島村
長谷川又次郎 明治十七年八月三

日谷手縣に生る

明治四十三年渡樺豊原町邊組に
勤務 大正七年野田町出張所主任
となり同十一年退店獨立 王子製
紙會社專屬造材業者として今日に
至る 昭和四年自治制施行以來町
會議員 昭和十年九月より同十二
年三月迄公設野田消防組組就任
野田町字通二丁目十七番地

長谷部 昇 樺太廳中央試驗場
化學工業部勤務技師

明治四十三年七月二十八日青森縣
に生る 東北帝大理學部卒業
夙に神奈川縣に奉職し昭和十三年
樺太廳中央試驗場技師として轉出
し化學工業部に勤務し同十五年技
師に進み今日に至る

早川權兵衛 精肉商

明治十九年四月二十五日岐阜縣
に生る
北海道十勝に於て道廳の農産物檢
査員を拜命勤務 大正八年渡樺大
泊居住 同十三年より精 商を
昭和二年より仁年食堂を經營し今
日に至る 曾て大泊青年團第三分
團長 肉商組合長 飲食店組合長
に就任せることあり 現町會議員
商工會議所議員たり

昭和七年東京市郡併合に際し退職
昭和八年十一月野田町助役に就任
現職中
野田郡野田町大通一丁目

廣瀬 貞 送坂郵便局長
明治三十二年七月一日北海道に生
る 大正五年九月二十五日北海道
鐵道管理局教育所卒業
大正五年十一月十四日雇を命ず
(鐵道院) 大正九年九月二十七日
雇を命ず(樺太鐵道事務所)
昭和四年三月二十八日任樺太廳特
定郵便局長(送坂)
眞岡郡清水村大字送坂

廣瀬 國康 樺太廳中央試驗場
畜産部勤務技師
明治二十七年五月十二日神奈川縣
に生る 北海道帝大農學部卒業
大正十三年青島中學校に奉職 同
十五年北海道帝大農學部助手を兼
託さる 昭和四年樺太廳中央試驗
場技師に任官畜産部に勤務 同十
一年技師に昇進して今日に至る
引地晋四郎 小能谷呂村議
明治二十一年四月三日生
郷里に於て高等小學校卒業後明治三
十四年六月北海道に移住農業に従
事 同三十八年四月旭川區魚菜市

7の部

布川 菊雄 明治三十五年四月
十三日北海道に生る
函館師範學校卒業
北海道に於て小學校訓導 昭和四
年知取町に於て柔道教授並柔道整
復師範業今日に至る 學生時代よ
り柔道に精進し大正十年初段を免
許せられ爾來昇段して昭和九年四
段に昇進す 町會議員
知取町栗町北二丁目
深尾 太郎 樺太廳中央試驗場

水産部兼樺太廳殖産部水産課勤務
技師
明治三十七年八月十七日愛媛縣に
生る 東京帝大農學部卒業
昭和六年樺太廳技師に任官内務部
水産課勤務を命ぜられ同十四年技
師に進み現職に就
豊原郡豊北村小沼官舎
深澤 久作 明治三十六年五月
八日新潟縣に生る
大正十年五月北樺太港に渡り軍
政部に勤務 同十四年九月知取町
に來住現任所に於て雜貨商經營今
日に至る 商工會議所議員 消防
組第三部長
知取町本町三丁目一番地
福井勝一郎 眞岡林務課業務課
長
明治三十一年十一月一日北海道に
生る
大正十一年十月十三日任樺太廳森
林主事 昭和六年一月十一日兼
任樺太廳林務課技師(惠須取署勤
務) 同七年三月十日命留多加署業
務係長 同八年十月四日命數香署
業務係長 同十一年四月八日命眞
岡署業務係長 官制改正に依り課
長となる

眞岡町林務署官舎
福澤 茂 樺太廳大泊醫院
長
明治三十一年十月十七日群馬縣に
生る 大正十二年三月東京帝大醫
學部卒業
昭和二年四月樺太廳醫院醫官豊原
醫院勤務 同十一年二月十五日陞
叙高等官三等 樺太廳醫院副
院長を経て昭和十二年二月現在に
至る
大泊町字谷町官舎
福田 正夫 明治三十六年十二
月一日北海道に生る
大正十一年大泊中學校卒業
大正十四年知取町役場(當時東知
取町役場)雇員拜命 大正十年
知取町役場書記拜命 昭和五年知
取町役場庶務主任拜命 同九年知
取町役場主事拜命今日に至る
知取町大字知取字萬代一ノ二二
福富 重雄 明治二十五年四月
二十日北海道に生る
大正三年小樽高商(第一回卒業)
渡樺 令兄の大泊福富商店に勤務
同四年金澤醫學專門學校醫學部に
入學の爲離島卒業 歸島後現在の

店舗を引継ぎ今日に至る 元青年
團長 現商工會議所議員 町會議
員 大泊町養蠶師會々長
大泊町大泊町東通二丁目
福富 清重 明治十四年九月十
四日富山縣に生る

明治三十四年北海道稚内町にて業
種商免許を受け營業 同三十八年
第一回御用船にて渡樺 大泊町に
て業種商 明治四十年豊原町現在
所に支店を設け後これを本店とす
大正十一年來各種公共役員に選任
せられ町の繁榮に努力を續けて來
たか 現在は町會議員及商工會議
所議員に就任して居る 氏は社會
事業公共團體等に金品の寄附行爲
により表彰せられしこと多く帝國
在郷軍人後援會有功會員 樺太支
協會協議員 日本赤十字社特別會
員 金銭債務臨時調停委員に擧げ
られ昭和六年閑院宮殿下行啓の際
は實業功勞者として奉拜を賜つた
外 昭和八年産業組合聯合會より
功勞者として綠綬功勞章を受く
尙氏は郷土人同業者の世話をよく
し富山縣人會長 豊原種商組合
長に就いて居る
樺太豊原郡豊原市大字豊原大通り

南一ノ九
福永 毅 川上炭山郵便局長
明治九年 月 二十五日栃木縣に生
る
明治二十七年五月六日備申付(北
海道釧路外十二郡役所) 明治四十
年八月二十日任樺太廳屬 大正八
年三月十六日任樺太廳特定郵便局
長(川上)
川上村川上炭山市街地
福永 源吾 土木建築請負
明治十五年十一月十五日青森縣に
生る
明治三十四年盛岡市江南義塾卒業
後同三年小學校教員を勤め 同四
十年北海道に渡り土木建築請負を
なし昭和二年渡樺現任地に至り同
じく請負業を爲す 山火消防隊長
衛生組合副組長 自治會副組長
岩手縣人會會長等を勤め日露役に從
軍陸軍一等看護長勤七等なり
豊原郡川上村大字三井上川炭山市
街地
福永 元一 明治三十七年三月
一日廣島縣に生る
昭和四年東京醫專卒業
千葉市仁山堂病院 昭和七年八月

渡樺現任所に開業今日に至る
大泊町東二條二丁目
福山 惟吉 樺太廳豊原高等女
學校校長兼教諭
明治十七年四月二十四日熊本縣に
生る
東京高等師範學校本科博物學部卒
業後同校研究科(植物)卒業
明治四十四年四月同校助手に任じ
大正三年八月同校助教 同年九
月在官の儘中華民國政府の招聘に
より國立山東高等師範學校教習と
して二年在任 大正五年九月東
京私立早稻田中學校教員 同六年
四月北海道廳立室蘭中學校教諭
同年六月高等官待遇 同十二年三
月同名寄中學校長 昭和六年十月
樺太廳視學官として渡島 同八年
七月樺太廳豊原高等女學校校長兼教
諭に轉じ今日に至る
豊原市東七條南八丁目甲官舎三十
一號
伏見 民雄 樺太廳警察部保安
課長
明治四十二年十月二十一日香川縣
に生る 高松高商卒業
昭和十三年高文行政科試驗合格
大正九年より昭和十三年迄豐原

巡査として勤務し同十三年十二月
に拓務廳に任官し大臣官房調査課
勤務より樺太廳局長官房文書課
勤務に轉出し同十四年樺太廳警察
に任ぜられ警察部保安課長から昭
和十五年現職に就く
豊原市樺太廳官舎
藤居 祐吉 ふじや呉服店主
明治二十一年十一月二十日滋賀縣
に生る
大正六年十月本籍地より渡樺本斗
町現任所にふじや呉服店を開店今
日に至る 商工會常議員
本斗町大通り二丁目
藤上 參昔 樺太廳大泊中學校
教諭
明治三十八年四月二十五日廣島縣
に生る 國學院大學卒業
昭和三年三月樺太廳大泊中學校教
諭に任ぜられ今日に至る
大泊町本町大通三丁目十七
藤田 章哲 明治四十年十一月
七日奈良縣に生る
昭和三年三月來島 大泊町に於て
大樺太新聞社編輯長 樺太民友新
聞社主筆 樺太朝日新聞社主幹を
經て昭和十一年四月拓務工會の

陳容整備に當り囑望されて初代理事に就任爾來今日に至る

藤田 正美 樺太廳交通部鐵道課勤務樺太廳技師

藤田 淺五郎 北漁業協同組合長

明治十年五月六日茨城縣に生る

明治四十三年渡樺 爾來現任所に於て漁業に従ひ部落有力家の筆頭として重きを爲す

大正十一年 鐵道西海岸線開通と共に麻内驛前に公認運送店を兼營

本斗町漁業組合理事として永く功績多かりしも

昭和七年本斗町北漁業協同組合分離すると共に衆望を擔ひ組合長の職に就き組合員の信望高く現に町會議員 本斗郡水産會評議員

本斗郡本斗町大字阿幸字麻内三十二番地

藤田 松太郎 明治十一年三月三十日兵庫縣に生る

慶應義塾中途退學

大坂市に於て貿易業經營 大正十五年八月渡樺樺太廳御用毛皮商となり臘納獸皮拂下並販賣を營み今日に至る

昭和八年九月町會議員に當選就任 各種町委員を兼又昭和十年商工會議所議員に當選町有力者の一人として知らる

豊原市神社通り

藤田 正美 樺太廳交通部鐵道課勤務樺太廳技師

明治三十四年北海道に生る 北海道帝大土木科專門部卒業

大正十一年樺太廳道技師に任じ樺太廳鐵道事務所保線係 眞岡保線區主任 豊原保線區主任等歷任して昭和十年樺太廳鐵道技師に進み保線係長となる

同十二年現職に就く

豊原市樺太廳鐵道官舎

藤塚 永吉 明治二十六年七月十一日北海道に生る

北海道函館市玩具商藤代商店に七年間勤務 明治四十五年退店渡樺

大泊町宮文太郎商店に入店 大正九年亞港極屋商行に入店 同十二年退店獨立草服太物商經營

同十四年五月町取町に轉住草服太物商經營今日に至る

昭和六年五月會議所議員 常議員

知取町初音

藤野猪之吉 明治十九年十二月二十二日北海道に生る

大正四年來任農業に従事 村會議員及各種委員に歴任し現に區長消防部頭及農會支部長の職に在

豊原郡豊北村大字草野字草野七十五番地

藤卷茂四郎 明治十六年二月二十五日生

高等小學校卒業 大正三年八月泊居町に於て雜貨商經營 大正十一年四月 大正十四年四月の兩回泊居町評議員となる

昭和三年一月泊居町商工會頭に選任せらる

昭和六年會頭辭任後引續き常議員として重きをなす

昭和七年八月泊居町會議員に當選重任今日に至る

樺太泊居郡泊居町大字泊居字上町二丁目四番地

藤森 朗澄 明治二十一年三月一日山梨縣に生る

明治三十七年八月北海道禮文郡船泊村藤森正隆商店に入店 同三十九年八月同商店眞岡支店主任として渡樺

同四十四年禮文本店を眞岡支店に合し當主として店運を隆昌せしめ 町第一流の草服洋物店たる他本町一丁目金物店を經營す

大正十四年以來商工會會議所議員に重任 昭和四年五月眞岡信用組合長 昭和八年九月町會議員に當選何れも今日に至る

また昭和

八年九月より同十年四月迄商工會會議所會頭に就任す

昭和十一年八月拓殖功勞者として樺太廳長より表彰さる

眞岡郡眞岡町本町二丁目四十番地

藤森 正隆 明治二十五年十二月二十三日山梨縣に生る

早稻田大學商學部卒業

大正六年五月渡樺現任所に藤森吳服店を經營今日に至る

本斗町青魚菜市場取締役社長 本斗運輸株式會社取締役 商工會常議員

本斗郡本斗町大字本斗大通三丁目一番地

古川 武二郎 樺太廳長官官房秘書長

明治三十五年一月十七日福島縣に生る

中央大學法科專門部卒業 稅務署屬 拓殖局屬 拓務事務局屬 内閣屬 拓務屬 南洋廳事務官 南洋廳財務課長 樺太廳元泊支廳長 同泊居支廳長 南洋廳秘書課長 樺太廳會計課長を歴勤して長官官房秘書課長に就任して今日に及ぶ

豊原市樺太廳官舎

古屋 碧 樺太廳視學官

明治二十六年一月十日山梨縣に生る

東京高師理科學卒業

大正十三年より神奈川縣下各中學校に奉職し石川縣女子師範教諭より豊原高女教諭となつて昭和三年渡島し昭和十五年樺太廳視學官となり内務部學務課勤務となる

豊原市樺太廳官舎

木 の 部

保田 藤作 明治二十二年三月二十八日北海道に生る

昭和三年渡樺數香町に於て洋物商開業 廉賣を開き數香に於ける廉賣經營の先鞭を著け 昭和五年六月野頃市街の進展を豫測して同地に進出百貨店經營 同八年料理店「ことうき」を兼營 昭和十一年土木建築請負業をも兼ね今や名實共に野頃に於ける第一人者として重きを爲す

散江村評議員 野頃林野火防組合 野頃消防後援會共に副會長 散江村開發期成同盟會長

散江郡散江村大字矢向字西野頃

細川 庄吉 明治六年十月一日

兵庫縣に生る

生野町出内萬浦澤村總代二年間朝來郡產牛馬組合評議員三年間就任渡樺後會て上喜美内畜牛組合副組合長 農事實行組合副組合長 火防組合副組合長 納稅組合長 衛生組合役員たりしことあり

現在上喜美内小學校後援會評議員 第一火防組合長 富内村會議員 樺太富内郡富内村大字喜美内字上喜美内北百二十七番地

細坪 久一 町會議員 商工會會議所議員

明治廿八年一月六日石川縣に生る

明治四十一年渡樺大泊町大野商店に勤務 大正十三年獨立町取町濱町に雜貨商漁業經營 昭和五年現住所に移轉今日に至る

町取漁業組合長 昭和九年より町會議員 商工會會議所議員

元泊郡知取町初音町二丁目十九番地

堀川 弘政 明治二十九年八月一日高知縣に生る

大正十年八月渡樺眞岡郡羽母舞にて醫師開業 同十月公醫拜命 同十二年八月現任所に移轉開業 同

十二月公醫拜命今日に至る

現村會議員 小能谷信販利組合長 樺太產業組合協會參事

樺太野田郡小能谷呂村大字下能谷呂二十六番地

堀川 弘輝 明治二十一年二月一日高知縣に生る

大正三年四月渡樺現任所に於て農業經營現在に至る

村會議員 小能谷信販利組合監事會て部落總代

野田郡小能谷呂村大字上能谷呂字上能谷呂五九番の甲地

堀口 芳松 名好郡農局長

明治廿四年一月八日福島縣に生る

明治四十四年旭川歩兵第二十七聯隊入營 大正三年陸軍歩兵軍曹に昇任第七師團司令部勤務同九年除隊直に同八年分會長に推され就任今日に至る

名好郡名好村大字名好字北一條一丁目一番地

本間 正一 明治三十五年九月十七日北海道に生る

昭和四年北大醫學部卒業

北大脚外科教室にて研究昭和七年五月渡樺王子下場醫局(落合)勤

務 昭和十年十二月現任所に於て開業

榮濱郡榮合町山通り

マ の 部

前川 尙勇 大泊中學校教諭

附設小學校教員講習所主事

明治二十六年一月一日和歌山縣に生る

東京高等師範學校本科卒業 京都帝國大學經濟學部卒業後同大學院に於て三ヶ年間研究

昭和四年五月樺太廳大泊中學校教諭に任ぜられ同時に高等官に叙せられ今日に至る

大泊町本町大通北十丁目

正見 透 樺太製糖株式會社專務取締役

明治十九年六月石川縣に生る

明治四十五年七月東北帝國大學農科卒業

大正三年十一月北海道農會技師

同七年三月北海道廳農業技師 同九年五月歐米各國へ出張 同十一年一月任北海道廳技師(高等官六等) 同十三年十月任北海道廳小作官 昭和二年七月任樺太廳技師

同十年五月農務課長兼殖民課長 同十一年勲任官待遇 同年三月迄

副免本官 新産業として樺太農業政策上重要な樺太製糖株式會社即立に在職中より盡力し退官とも同社取締役就任

豊原市大字北豊原 間口 權治 明治二十四年十一月二十一日愛媛縣に生る

新潟縣立能生水産學校卒業 大正三年樺太廳水産課勤務同六年

大正三年樺太廳水産課勤務同六年 技手に任官 昭和七年七月任樺太

廳技師同時に退官 樺太廳の輪旋にて新たに創設せられたる保護責任

任樺太漁業組合聯合會技師及樺太共同漁業株式會社技師として入社

今日に至る 大泊町黄金井町三丁目十番地

間山万之助 樺太廳殖産部鑛務課勤務樺太廳技師

明治三十五年二月三日青森縣に生る 北海道帝大農學部卒業

大正四年樺太廳農事試驗場技手に任官爾來内務部殖産課森林作業所

農林部殖民課 農林部農務課等歴勤 昭和十五年樺太廳技師殖産部農務課勤務となる

豊原市樺太廳官舎 眞鍋 直市 内川郵務局長

明治二十七年九月愛媛縣に生る 大正八年四月十七日臨時通信事務員を命ず(小樽郵便局)大正九年

九月九日通信事務員を命ず(豊原郵便局)昭和五年十一月一日任樺太廳特定郵便局長(内川)

内路村大字内川 牧口 友吉 明治二十一年四月十日新潟縣に生る

明治三十九年秋渡樺真岡町に於て雜貨商經營 同四十二年現任所に

轉住海産商經營今日に至る 評議員時代より町會に至る迄重任現に

町會議員 消防組頭 信用組合理事 野田郡野田町大字野田字濱町三丁目一番地

牧子 幸心 醫師 明治十五年四月九日栃木縣に生る

千葉醫專卒業 千葉縣立病院に三年間勤務 北海道北見支庁に開業 傍ら北海道

薄荷製造株式會社(資本金二十萬圓)を創立し數年間順調なる發展を遂げたるも事務其他に其人を得

ず整理後昭和三年渡樺知取町に開業 手腕人望共に高かりしも同八年現任地に開業 濃厚にして徳望

あり 泊岸村大字新聞字新聞書通リ二丁目一番地 牧野 堅固 樺太廳長官官房會計課長

明治二十七年五月二十日北海道に生る 樺太廳通信傳習生養成所卒業

明治四十二年留多加郵便局通信事務員 大泊郵便局通信事務員より

樺太廳長官 豊原醫院勤務 長官官房秘書課勤務 大正十一年樺太廳に任官し長官官房秘書課兼文

書課 道事務所を歴勤昭和十三年樺太廳事務官に昇進す 長官官房秘書課長より昭和十五年内務部會計課長となる

豊原市樺太廳官舎 増澤 長作 明治十八年三月九日石川縣に生る

大正九年樺工詰買人として現任所に居住し壬子に合併後引續き造材を營むかたはら小建網漁業を経營す

樺太久春郡久春内村大字留久志増水 勤助 大泊警察局長

明治三十一年 月十二日鹿兒島縣に當選就任現在に至る 學務委員(昭和四年以來)青年訓練所後援會副會長 内務部社氏子總代を昭和四年より同九年迄勤め現在の社

殿建立に盡力せり 體育協會副會長としても管内の新道振興に努め昭和九年に辭任す 樺太廳香郡内路村大字内路字末廣町一〇ノ四

松見 勇男 明治三十三年一月十六日北海道に生る 大正七年三井物産小樽支店退社後直ちに大日本ビール札幌支店入社

同十一年退社 同十四年渡樺泊岸裏須取を経て昭和六年數香町に移住數香時報社に勤務退社後造材業に従事 同八年數香商工會理事として就任現在に至る

樺太廳香郡數香町大字數香字山手通北一ノ七 松村里左衛門 明治三十四年九月二十六日岐阜縣に生る

明治四十年來住農畜業を経營し傍造材業を營む 興農會支部長の職に在り 豊原郡豊北村大字深雪四十二番地

松本 錢郎 明治二十七年七月三十日千葉縣に生る 大正十二年東京帝國大學工學部鑛山科卒業

三井鑛山會社に採用され田川鑛業勤務 同十三年基隆炭坑に轉勤 昭和九年三井鑛山内川出張所に轉勤す 同十二年樺太鑛業會社に採用され大梁鑛業所詰となる

樺太泊岸郡名寄村大梁鑛業所社宅長 松山 正猪 元泊岸林務署庶務課長

明治三十五年一月二十一日高知縣に生る 明治四十三年八月三日(愛媛縣)伊豫教員養成所卒業

同四十五年二月二十一日高知縣吉川郡山尋常小學校校訓導主任 大正七年九月一日尋常小學校本科正教員免許 大正八年四月十六日

野田寒尋常小學校教員拜命 大正八年十月八日普通試驗合格 大正九年六月六日任樺太廳(大泊支廳林務係)同十年十一月林務課

同十一年五月森林作業所屬 同十五年六月任樺太廳(林務課)昭和五年一月林務署屬 泊岸署庶務係長 同七年三月本斗署庶務係長

同十二年一月眞岡署庶務係長を経

に生る 夙に朝鮮總督府看守 警視廳巡查を勤め昭和二年樺太廳巡查として出向を命ぜらる 同四年警部補に任ぜられ知取警察署 警察部高等警察課兼須取警察署 大泊警察署 野田警察署長等歴勤して同七年警部に進み本斗警察署長 眞岡警察署長を各勤務し十三年警視に任官して現職に就く 樺太大大泊町

松井松太郎 明治三十一年十一月十三日北海道に生る 大正十一年三月仙臺高等工業學校卒業

大正十二年一月札幌通信局電氣課勤務 昭和四年五月同局辭職 同年同月樺電入社 本社工務主任兼豊原營業所主任として現在に至る

豊原市大通北二丁目一番地 松尾 重壽 樺太廳數香高等女學校校長

明治二十年三月二十五日生 東京高等師範學校檢校修科卒業 後同校研究科並に同校專攻科修身教育部卒業

大正五年四月宮崎縣立延岡中學校

で現職に至る 豊原中樺太廳官舎 松下 與之 明治三十年二月一日石川縣に生る 大正八年渡樺真岡町所在株式會社田中商店に勤務 同十五年現任所に轉住海産、米穀、雜貨商經營漁場を兼營す 泊岸商工會議員 泊岸漁業同業會々長 泊岸信用組合理事 泊岸漁業組合監事 泊岸町北本町二丁目二番地

松野 團治 樺太廳交通部土木課勤務樺太廳技師 明治二十八年十一月十日北海道に生る 昭和三年北海道帝大工學部卒業

昭和三年北海道技手に任じ土木部に勤務すること多年 昭和十年樺太廳技師に任官して現在に至る 豊原市樺太廳官舎

松原 良吉 内路村々會議員 明治十五年四月四日鳥取縣に生る 大正十五年六月一日本籍地より渡樺内路村に於て米穀雜貨商三徳商會を経營 町村制施行以來村會議員に當選昭和八年四月火防組合長

松澤 敏男 樺太廳殖産部林業課勤務樺太廳技師 明治二十六年一月十三日長野縣に生る 縣立木曾山林學校卒業

大正四年より秋田林務署に勤め同十三年樺太廳へ轉職林務課勤務 大泊林務署庶務係長 泊岸林務署長等歴勤 昭和十二年技師に進入

教諭に任せられ佐賀縣師範學校島根師範各教諭歴任昭和三年四月樺太廳大泊中學校教諭に轉任同四年四月高等官に任官して後數香高等女校長となる 數香町公舎

松澤今朝哉 内路村々會議員 明治二十八年一月二十五日北海道に生る 大正十二年渡樺樺太廳眞岡醫院書記奉職 辭任後至内裝飾業に従ひ

昭和三年六月内路村に轉任看板代書業を経營傍文藝新聞想外文藝を刊行せしも都合により廢刊す 昭和六年十月村會議員當選 同八年九月改選に際し再當選現在に至る 昭和十一年九月富國徴兵保險株式會社社員として保険界にも活躍す 樺太廳香郡内路村大字内路字末廣町九ノ一

1112

て現職に就く
元泊郡元泊村林務署官舎
満田 登 明治四十三年九月二十日生 昭和十年三月岩手醫學專門學校卒業
同年四月金澤醫科大學鹿野御堂外科醫局入科 同年九月眞岡醫院勤務内科擔當
眞岡町字桑町五丁目

三井 幸吉 酒造業

大正二年二月二十一日豊原市に生る
大正五年九月現住所に於て先代幸吉氏が酒造業に着手 昭和四年九月病没後一代目相續をなし今日に至る 遺石数は年千五百石にのほり酒樽自慢、樽の光等は同所の醸造にかゝる優良酒にて大正十四年 昭和四年 同八年 同十一年全島酒類品評會及び同十一年の全國酒類品評會にて優等賞を受く 樺太豊原市大字豊原字大通南六ノ一〇

三井 詳道 クヤ金物店

明治二十五年十二月二十一日生る

明治三十九年渡樺藤森商店に勤務大正十一年獨立して現住所に金物商を經營現在に至る 昭和五年一月より同七年二月迄眞岡町郷重分會長 同八年十月以來眞岡支廳管内聯合分會長に推され就任今日に至る 商工會議所議員(昭和二年以來重任)
眞岡町本町二丁目六番地

三浦 儀平 氣屯郵便局長

明治十五年五月十五日岩手縣に生る
明治三十二年九月五日通信事務員を命ず(根室郵便局)大正六年七月二十八日履責を命ず(樺太廳)昭和四年九月一日任樺太廳特定郵便局長(氣屯)資性温厚にして部落の爲に盡し人望あり
數寄町大字氣屯字氣屯市街地
三浦小四郎 知取郵便局長
明治十八年五月二十日茨城縣に生る 明治四十五年三月樺太廳文官普通試驗合格
大正二年七月任樺太廳 樺太廳中學校 水産試驗場 眞岡支廳等に勤務 大正十年十月任樺太廳通信書記 遺信省 大正十四年七月任樺太廳特定郵便局長 知取郵便

局長拜命せらるる會て知取町評議員各種副委員の職に就き町治に貢献せる處多く目下凡ての公職は退き居るも町の重鎮として重きを爲す 樺太元泊郡知取町萬代町二ノ二二三浦昌三郎 白浦郵便局長
明治四十三年三月三十日札幌市に生る
昭和三年三月二十四日札幌第一中學校卒業
昭和六年四月四日任樺太廳特定郵便局長(白浦)
樺太愛濱郡白糠村大字白浦字白浦濱八番地
三浦 常松 明治二十一年十月二十二日北海道に生る
明治四十四年渡樺材業を營み昭和六年以來富士製紙會社專賣部材師として今日に至る 昭和八年來養孤を兼營す
愛濱郡落合町大字落合字西通南九十番地
三浦 義幹 樺太廳數寄林務署長
明治十四年四月十六日秋田縣に生る 東京農林學校卒業
夙に農商務省 福島縣廳 秋田縣

三浦 義幹 樺太廳數寄林務署長

局長拜命せらるる會て知取町評議員各種副委員の職に就き町治に貢献せる處多く目下凡ての公職は退き居るも町の重鎮として重きを爲す 樺太元泊郡知取町萬代町二ノ二二三浦昌三郎 白浦郵便局長
明治四十三年三月三十日札幌市に生る
昭和三年三月二十四日札幌第一中學校卒業
昭和六年四月四日任樺太廳特定郵便局長(白浦)
樺太愛濱郡白糠村大字白浦字白浦濱八番地
三浦 常松 明治二十一年十月二十二日北海道に生る
明治四十四年渡樺材業を營み昭和六年以來富士製紙會社專賣部材師として今日に至る 昭和八年來養孤を兼營す
愛濱郡落合町大字落合字西通南九十番地
三浦 義幹 樺太廳數寄林務署長
明治十四年四月十六日秋田縣に生る 東京農林學校卒業
夙に農商務省 福島縣廳 秋田縣

廳に勤め大正十五年樺太廳技手として内務部林務課に勤務す 爾後惠須取林務署署長 泊岸林務署署長 本斗林務署署長等應勤 昭和十三年技師に進み大泊林務署長を経て十五年現職に就く
三上 護衛 眞岡林務署庶務課長
明治二十四年四月二十日青森縣に生る 明治四十四年三月二十五日青森縣立弘前中興東義塾卒業
大正十年三月十一日任山林園(農林省)仙臺營林署 昭和二年七月一日任樺太廳營林作業所 昭和五年一月二十一日命數寄林務署庶務課長 同七年三月十一日大泊林務署庶務課長を命ぜられ後現職に就く
眞岡郡眞岡町官舎
三上 二郎 明治二十九年七月三十日北海道に生る
大正三年増田商事株式會社に入社 木材部勤務 北見國紋別郡内事業所詰 昭和四年十一月樺太名好事業所主任として渡樺昭和十一年十一月株式會社名好共同回漕店を買収合資會社とし其の代表社員と

三上 護衛 眞岡林務署庶務課長

廳に勤め大正十五年樺太廳技手として内務部林務課に勤務す 爾後惠須取林務署署長 泊岸林務署署長 本斗林務署署長等應勤 昭和十三年技師に進み大泊林務署長を経て十五年現職に就く
三上 護衛 眞岡林務署庶務課長
明治二十四年四月二十日青森縣に生る 明治四十四年三月二十五日青森縣立弘前中興東義塾卒業
大正十年三月十一日任山林園(農林省)仙臺營林署 昭和二年七月一日任樺太廳營林作業所 昭和五年一月二十一日命數寄林務署庶務課長 同七年三月十一日大泊林務署庶務課長を命ぜられ後現職に就く
眞岡郡眞岡町官舎
三上 二郎 明治二十九年七月三十日北海道に生る
大正三年増田商事株式會社に入社 木材部勤務 北見國紋別郡内事業所詰 昭和四年十一月樺太名好事業所主任として渡樺昭和十一年十一月株式會社名好共同回漕店を買収合資會社とし其の代表社員と

して社務を執筆してゐる 昭和十一年八月名好林野火防組合長に推され就任
名好村字北四條三丁目三番地
三上東九郎 明治二十年八月二十三日青森縣に生る
青森縣立畜産學校農科卒業
大正二年四月青森縣巡査拜命 大正六年九月依願免職 大正七年十一月社門尋常小學校教員命ぜられ 大正十三年四月依願免職 大正十三年五月泊岸町會議員當選 昭和八年九月泊岸町會議員當選
樺太泊岸郡泊岸町大字社門字南社門三番地

三上 正三 樺太廳警察部衛生課長

明治三十一年廣島縣に生る 縣立三次中學校卒業
大正九年朝鮮總督府巡査を拜命 同十二年同警部補に進み同五年警部に進む 黃海道警察部衛生課兼二浦警察署長 裁察署長を歴任 昭和十一年拓務省管理局警務課勤務 同十四年樺太廳警視に任官警察部衛生課に勤務し同年十一月課長になる
豊原市樺太廳官舎

三島 務 樺太廳中央試驗場林業部長
明治三十五年十二月十三日北海道に生る 北海道帝大農學部卒業
昭和二年樺太廳技手に任官内務部林務課 中央試驗場林業部第三科兼第一科等應勤 昭和十年中央試驗場技師任官 林業部第三科長 林業部長心得を経て現職に就く
三橋金五郎 公醫
明治十七年十二月十七日青森縣に生る
明治四十五年四月渡樺樺太廳眞岡醫院に奉職醫學研究 大正六年四月泊岸町追手市街に開業公醫を命ぜらる 同十一年七月現住所に轉住公醫拜命今日に至る 第十區長 漁業組合監事 安別林野火防組合副組合長 安別自治振興會會長 名好郡名好村大字安別字安別二十番地

三宅貞太郎 惠須取町長

明治三年十月一日生る 專修學校法律科卒業
京都府農商務局農政課農務課長 大藏省專賣事務官を経て明治四十年韓國政府に招聘せられ統監府理

事長副理事官に任せられ同時に韓國政府囑託となり商工事務 日韓併合と同時に忠清北道書記地方土木勸業主任を歴任 大正六年四月樺太廳眞岡支廳長 同十二年七月大泊支廳長 同十三年九月退官 大正十四年横 市役所主事 土木庶務課長 昭和二年九月退職 昭和七年五月知取町長に當選就職 昭和十三年現職に轉す
惠須取町官舎

三好 政雄 醫師

明治九年十一月一日茨城縣に生る 大正十二年一月渡樺白浦に於て開業公醫として今日に至る
愛濱郡白糠町大字白浦字白浦一八九
水氷 毅 王子製紙知取工場長
明治二十三年一月二十七日福井縣に生る
大正五年三月慶應義塾大學部理財科卒業
同年富士製紙會社に入り累進して同社參事知取工場事務主任となり 縱横に手腕を振ふ 王子合併後も引續き知取工場工場長代理を経て工場長となり今日に至る 富士時

代より町治に盡し町會議長として町の中心人物にして人格識見共に高く樺太廳評議會設立と共に評議員に任命さる
元泊郡知取町字高十町
水野 建次 明治二十一年八月三十日愛知縣に生る
大正十四年渡樺惠須取町にて現在の北日本汽船會社出張所の前身たる惠須回漕店を經營し町に對しても小學校の御眞影奉安所其他公共に金品を惜まず寄附をなし樺太廳其他より表彰せられしこと數回に及ぶ 昭和六年現住所に居住し回漕業、輕業、各汽船會社代理店各種保險代理店 漁業、養孤業を營み何れも盛業今日に至る 村會議員 救難所長 小學校保護者會長 産業組合理事として公務にも活躍し村の重鎮なり
樺太鶴城郡鶴城村海邊通り
水野 彪 樺太廳殖産部水産物検査所長
明治三十二年七月二十一日長野縣平戸に生る 大正十一年北大水産部專門部卒業
夙に北海道廳に奉職し昭和四年樺太廳中央試驗所技手となつて水産

水野 建次 明治二十一年八月三十日愛知縣に生る

代より町治に盡し町會議長として町の中心人物にして人格識見共に高く樺太廳評議會設立と共に評議員に任命さる
元泊郡知取町字高十町
水野 建次 明治二十一年八月三十日愛知縣に生る
大正十四年渡樺惠須取町にて現在の北日本汽船會社出張所の前身たる惠須回漕店を經營し町に對しても小學校の御眞影奉安所其他公共に金品を惜まず寄附をなし樺太廳其他より表彰せられしこと數回に及ぶ 昭和六年現住所に居住し回漕業、輕業、各汽船會社代理店各種保險代理店 漁業、養孤業を營み何れも盛業今日に至る 村會議員 救難所長 小學校保護者會長 産業組合理事として公務にも活躍し村の重鎮なり
樺太鶴城郡鶴城村海邊通り
水野 彪 樺太廳殖産部水産物検査所長
明治三十二年七月二十一日長野縣平戸に生る 大正十一年北大水産部專門部卒業
夙に北海道廳に奉職し昭和四年樺太廳中央試驗所技手となつて水産

部に勤務す 後内務部地方課に勤務し昭和十一年樺太廳中央試験所技師水産部第三科長となる同十三年現職に就く

水野 福彌 明治十七年六月七日福島縣に生る
大正五年渡島農業に従事 同七年以來雜貨商を営み今日に至る 大正十五年九月以來大澤區長に數回重任 昭和八年十月辭任せるも選れて第二十一區長就任今日に至る 豊原市大字大澤四十七番地
水戸部日出吉 明治四年九月二十九日秋田縣に生る
文官普通試験合格 北海道廳に奉職明治三十二年間に任官同四十年休職 同四十二年稅務署同四十四年一月樺太廳醫院書記に任ぜらる 大正二年三月退官後新聞記者 新聞經營をなし漁制改革の火の手をあげたは豊真鐵道期成同盟會評議員として單身自費にて上京運動をなし當局を動かしたる他全島小學校の設立、私立の二様ありしを公立制度に改正及戸籍法施行促進に運動進める等島政上野兼す可き功勞頗る多し 現町會議員 信用組合理事 秋田縣人

會顧問 樺太中央協會顧問 樺太豊原市大字北豊原字北二線東十三番地
密山 總民 陸軍少尉 密山病院院長
明治十七年一月三日富山縣に生る 密山醫學專門學校卒業
大正七年渡樺泊居町に於て開業今日に至る
泊居町衛生町二丁目十七番地 皆川 英貞 醫師
明治四十四年十月二十七日大泊町に生る
大泊中學校を経て東京醫學專門學校卒業
後同年六月現任所に醫院開業今日に至る
本斗郡内幌村大字内幌字東一條五丁目十四、十六番地
宮内 喜助 明治二十三年十月三日鹿兒島縣に生る
大正三年渡樺野田町に於て令兄と共に實業經營 大正七年現在地に製材工場を設け年製材七千石を産し今日に至る 信用組合理事 商工會常議員 郷軍分會評議員 眞岡支廳管内聯合會副會長 山火

消防隊長 野田郡野田町五丁目八番地 三丁目五番地
宮城 盛次 大泊醫師會長
明治十九年九月十六日福島縣に生る 第二高等學校東大醫科を卒業 大正五年大島病院に勤務せる後外務省關係醫として海外に渡航大正七年四月歸朝 同十月樺太廳大泊醫院醫官に任命來島同十二年七月退官大泊町にて醫院を開業 昭和三年九月研究の爲上京 醫學博士の學位を得たる論文は「食品中毒に關する實驗的研究」一諸種藥物の血管藥理 特に腦及肺臟血管作用一其他九篇にて昭和七年歸島後引續き現任所に病院を經營大泊醫師會長として今日に至る
大泊愛町西一條二丁目一十八二十九番地
宮野長太郎 明治十七年九月十日生
大正十五年六月渡樺元泊村保保に居を定め雜貨商を經營今日に至る 昭和四年九月自治制施行と共に村會議員に當選 同八年再選されて就任今日に至る 元泊振興會結成と同時に擧げられて評議員となる

元泊郡元泊村
宮原 二紀 樺太廳鐵道事務所主事兼經理係長兼空運部課長 課長 樺太廳鐵道事務所官舎樺太廳事務所
明治二十六年九月二十七日鹿兒島縣に生る
大正三年熊本稅務監督局 大藏省主計局各勤務し同十四年樺太廳屬として出向を命ぜらる 内務部財務課長官官房秘書係 鐵道事務所經理係長等歷任して同十四年現職に就く
豊原市樺太廳官舎
宮本康太郎 明治十八年生
夙に北海道空知郡金山町下の島にて富士製紙工場山林派出所の專屬造材請負人にて造材に従事 大正四年樺太工業創設と同時に泊岸工場の同社專屬として造材の渡送インクライン作業につき大正十三年同社遷移取工場建設と共に同工場山林出張所專屬として現任所に居住 王子に合併後も引續き營業を經營す 前商工會議所議員 現町會議員 惠須取町肝太

ムの部

村井 貞寛 明治二十五年七月十四日山形縣に生る
山形高等學校卒業 新潟醫科大學卒業
新潟醫科大學產婦人科助手拜命 昭和七年十一月樺太廳眞岡醫院產婦人科勤務 同十年六月現任所に開業今日に至る
眞岡町南濱町三丁目一番地
村井 正雄 樺太廳殖産部水産課長
明治三十三年一月六日東京に生る 水産講習所卒業
大正十三年より靜岡縣殖産業技手農林技手として永年勤務し昭和七年に樺太廳技手水産課勤務となつて赴任す 昭和十二年技師に進み殖産部水産課長となり今日に及ぶ
豊原市樺太廳官舎
村上 達夫 樺太廳鐵道事務所車輛係長
明治三十五年十月十日岩手縣に生る 大正十一年仙臺高工卒業す 大正十一年樺太廳鐵道技手車輛係勤務を命ぜられ同十五年車輛係

心得となる 昭和十一年樺太廳技師兼樺太廳鐵道技師に任官す 交通部鐵道課勤務 豊原工場長等歷職して現在に至る
豊原市樺太廳官舎
村松輝太郎 明治六年一月十六日長野縣に生る
明治十九年七月長野縣上水内郡幸井學校小學中等科卒業
明治三十一年滋賀縣文官普通試験各科目考試に合格明治三十一年滋賀縣屬 同年九月北海道廳を經明治四十二年九月樺太廳特定郵便局長兼局長を命ぜらる 村松數回勤め昭和十二年樺太廳に評議員制度施行せるや評議員を依頼され今日に至る
樺太廳濱村字長濱五三三村山 信一 明治三十三年十月十六日新潟縣に生る
大正七年長野縣立長野中學校卒業 大正十一年金澤醫學專門學校卒業 東京市菊池耳鼻科病院醫員 栃木縣足利町古河鐵業所附屬病院耳鼻喉科部長 札幌市北反病院耳鼻喉科部長を経て昭和八年現任所に開業 患者の信頼厚く頗る盛業を見て居る

樺太豊原市東一條五丁目
棟方久次郎 公醫
明治十九年十一月一日青森縣に生る
大正四年渡樺能登呂村字内砂にて醫院開業し公醫拜命 同十五年十二月現任地に移轉開業 公醫として今日に至る 樺丹小學校大鶴取小學校を醫務委員
元泊郡取町大字東樺丹市街地
目黒乙治郎 大泊愛町郵便局長
明治十四年一月三日福島縣に生る 明治三十八年七月日本體育會體操學校卒業
同年九月石川縣第一中學校教諭
同三十九年六月山形縣師範學校教諭 大正二年九月樺太廳中學校教諭(大泊) 大正十一年九月樺太廳特定郵便局長拜命 氏は樺太スキ界育での親とも言ふ可き人にして泊中在任當時スキーを體操準正科として指導し日本の大選手を輩出し斯道に貢献すること多大なものあり しかして斯界の歴史的にも最も古き人にして山形師範教諭

常時文部省より體育研究の爲歐米に派遣せられたる長井道明氏がスキー一壘を瑞典よりたづさへて歸朝し 秋田縣教育會に體育講習會にきたれる際新庄にて長井氏とともに初滑りをなせる記傳を有す
樺太大泊郡大泊町大字大泊字桑町大通四四
森 一保 泊居消防組顧問
明治二十六年十二月二十三日北海道に生る
氏は泊居町に於ける新進事業家として知られ同地の元老魚合桑次郎氏の女婿なり 王子製紙會社泊居工場專屬請負人として財政的にも頗る堅實味を有し性剛腹なれども人に對しては溫和にして親み易し 泊居町々議員たる他同十年六月以來同地公設消防組頭として公事に盡力し町政上にも確固たる地盤を有し泊居町の將來を擔ふ第一人者として一般より嚮望せらる
樺太泊居郡泊居町大字泊居字高砂子五ノ二四
森 定吉 醫師 樺太廳眞岡

ニの部

醫院之長

明治二十年四月二十五日福岡縣に生る。大正三年十二月東京帝大醫科大學醫學部卒業。大正十四年八月朝鮮黃海道立海州醫院之長拜命。昭和六年十月退官九州帝大醫學部に於て研究。昭和十年五月醫學博士の學位を授けらる(九州帝大)同十一年四月樺太廳眞岡醫院之長拜命。小兒科擔當眞岡町大字眞岡字山手町一丁目官舎

森尾 勇作 明治三十二年二月二十日富山縣に生る。大阪帝大醫學部卒業。同大學外科教室に於て研究。昭和二年樺太廳眞岡醫院外科勤務。同四年八月現住所に開業現在に至る。眞岡町南濱町一丁目十二番地

森本角右衛門 明治二十一年三月四日岐阜縣に生る。大正八年より泊岸に居住大正九年樺太木材株式會社創業とともに造材に従事。同十年組頭に拔擢され現在同社専屬職員として造材に従事

森山 芳夫 明治三十八年二月

四日岡山縣に生る

昭和六年三月東京高等師範學校卒業。同年四月任樺太廳中學校教諭。大正中學校勤務。同十一年四月生徒監會監を命ぜらる。大泊町

本谷彌太郎 明治二十二年五月二十日石川縣に生る。明治三十九年渡樺太眞岡町大野商店に勤務。大正二年榮濱に於て雜貨商並料理店兼營。同十年落合町に料理店風亭亭開店。昭和二年本店を現住所に移し今日に至る。大正十四年來造材製材土木建築請負業開始。昭和二年味噌醬油醸造業を開始す。主なる請負工事は第一校増築(昭和九年)商業補習學校新築(昭和十一年)等一ヶ年に四曲四百石。味噌九萬貫釀造。現消防頭組

元山 多一 内路郵便局長。明治七年八月二十九日廣島縣に生る。明治三十年十二月十五日廣島縣常務勸業局長兼島科卒業。廣島縣下に於て大正五年迄小學校訓導。大正五年五月一日渡樺補

ヤの部

官幣大社樺太神主典瑞宜。大正八年九月樺太廳屬に任ぜられ豊原支廳。同年十月豊原支廳事務局長。同十二年五月新路村収入役。泊岸村収入役を経て同十三年豊原村長に任命。昭和三年七月辭任内路郵便局長に任命。大正十四年四月より數寄神社之掌。昭和七年八月より内路神社之掌を拜命今日に至る。數寄郡内路村末廣町七丁目七番地

山内 幾馬 王子製紙會社常務取締役。明治十八年八月福島縣に生る。東京高等工業學校機械科卒業。大正二年富士製紙會社に入社。大正五年第六工場長。大正八年北海道池田工場兼金山工場長。大正十年樺太落合工場長。大正十二年知取工場建設に當り知取工場長として事業大いにあがり王子と合同後は樺太總務理事兼知取工場長として全島工場を總覽す。日本人協會社取締役。樺太鐵道常務取締役を始め樺電。南樺鐵道其他王子關係各會社重役として樺太の總帥たり

山形 豊吉 眞岡郵便局長。明治三十四年七月五日宮城縣に生る。大正十年七月無線電信講習所卒業。大正十年八月神戶商船會社喜美園

昭和十三年王子本社常務取締役に選任され樺太分社工務部理事兼擔任として樺太に在つて活動せり。豊原市

山浦 選 明治三十一年十月二十五日長野縣に生る。幼時父母に伴はれ靜岡縣志太郡藤枝町に移住。青年時代東京朝日新聞。東京日々新聞。讀賣新聞等の通信員を経て靜岡朝報記者となり。大正十三年沼津日日新聞社を創立。同十四年再び藤枝町に歸り志太より新報を創刊。十五年九月豊原取町に一家を擧げて移住。昭和三年樺太タイムスを買収し豊原取町最初の日刊新聞「豊原取毎日」を發行現在に至る。昭和七年春より十年冬迄豊原取青年團長を務めその他鶴城出張所。管内公私團體の役員委員。豊原取町町長調査委員その他多數の公共事業に關係現在都市計畫委員

山形 豊吉 眞岡郵便局長。明治三十四年七月五日宮城縣に生る。大正十年七月無線電信講習所卒業。大正十年八月神戶商船會社喜美園

山下四郎吉 關泊漁業協同組合理事。明治五年七月七日福井縣に生る。明治三十九年渡樺現住所に於て漁業經營今日に至る。大正十年組合總代就任。大正十三年組合監事就任六ヶ年勤務。昭和八年理事に就任今日に至る。眞岡郡關泊村大字深白帆

乗務 同十一年七月樺太廳通信書記補として大泊郵便局無線電信分室勤務。大正十四年四月通信書記に昇進昭和六年豊原郵便局主事同十年九月眞岡局長拜命今日に至る。眞岡町山手町一丁目官舎

山口榮太郎 明治十六年三月七日石川縣に生る。郷里にて漁業と農業を營む。明治四十年渡樺現住所に於て漁業造材業兼營。大正十一年漁業組合監事同十三年來理事。大正十一年以來村評議員。村會議員に重任現在に至る。氏は部落の重鎮たるのみならず關泊村に於ける重要人物の一人なり

關泊村字深白帆一〇
山口 孝一 明治四十一年七月六日埼玉縣に生る。東京慈惠醫院大學卒業。同大學外科教室に於て二ヶ年間研究後東京市芝區松山病院(慈惠醫院)大教授の經歷に依るものにて研究昭和十年一月渡樺須取町寶田病院に勤務。同十一年九月現住所に開業同十月公醫拜命今日に至る。豊原取町本町三丁目十七番地

山口 宗三 酒造業

明治四十一年九月二十六日生。明治三十九年十月先代基礎を大泊に据ゑ酒造業に著手。島の人口増加と共に逐年造石數及品質の優良性を加ふ。氏は大泊にて生れ成人して帝都に遊び法政大學を卒業後家業に従事。昭和七年先代逝去のあとをうけ銘酒「樺山」を醸造す。樺太大泊郡大泊町大字榮町字大通七番地

山口 龍契 樺太廳交通部通信課勤務樺太廳技師。明治十一年岡山縣に生る。岡山醫專卒業。岡山縣倉敷紡績會社病院院長代理。日本赤十字社職員。鐵道醫を應職す。此間自宅にて開業し兒島郡々會議員たりしこともあり。昭和十五年樺太廳技師として現職に就く。豊原市樺太廳官舎

山口 六榮 明治二十一年七月三日福井縣に生る。明治四十三年七月明治大學齒科卒業。卒業後家事に従事大正十年折銀入行。大正十三年同行本斗支店長

山崎金太郎 明治二十年一月十七日青森縣に生る。北大建築課に四年間勤務せる後大正十三年八月渡樺富士製紙落合工場勤務今日に至る。昭和四年町村制施行以來町會議員。豊原郡落合町王子社宅

山崎兵次郎 明治十一年十二月三日富山縣に生る。明治三十九年渡樺大泊に上陸。同四十年豊原に轉任造材に従ひ大正六年五月現住所に居住昭和三年製材工場を建設經營同時に土木建築請負業を兼ぬ。曾ては村評議員。村會議員其他の公職に就き村政上功勞多からず現林野火防組合長。部落元老として重きをなす。山火防止。私財寄附。自治功勞等により數々表彰或は感謝状を受く。樺太本斗郡内幌村大字氣主字越内四十三番地

十二年五月渡樺岡町三輪齒科醫院に勤務 同十三年一月樺太廳齒科醫師を免許され本斗町に於て開業 昭和九年九月より同十一年六月迄内幌嶺業所囑託 町會議員 本斗郡本斗町大字本斗字通四丁目二十番地

山田 克人 樺太廳殖産部鑛務課勤務樺太廳技師 明治三十二年七月一日長野縣に生る 秋田鑛山専門學校卒業 大正十一年樺太廳技師に任ぜられ鑛務課に勤務す 昭和十四年技師に進み以て今日に至る 豊原市樺太廳官舎

山田 幸兵衛 眞岡支所長樺太廳技師 明治三十年九月廿日青森縣に生る 大正六年三月三日樺太廳中學校卒業 大正六年八月二十七日臨時雇員を命ず(測候所) 大正八年十二月四日任樺太廳測測所技師 昭和十年五月一日測測所眞岡支所長を命ず 眞岡町測測所官舎

山田 準造 樺太廳郵便局長 明治二十九年五月一日北海道に生る 大正六年三月三日樺太廳中學校卒業 大正七年三月十四日拓殖局臨時雇員を命ず 大正十一年十一月五日雇員を命ず(樺太廳財務課) 大正十四年一月十日任樺太廳 昭和九年七月二十七日數香支廳財務係長を命ぜられ後現職に轉ず

る 明治四十五年三月三十一日樺太廳通信生養生所卒業 同年五月通信事務員を命ぜられ鶴城局勤務 大正六年入籍中旅順駐劄同八年ハルビンにて現地除隊 軍用通信事務囑託 同十一年九月解職 同十二年秋歸島通信課に勤務 同十三年十月榮濱郵便局事務整理に出張爾來同局勤務となり局長代理 昭和四年九月任樺太廳特定郵便局長(樺保) 現在に至る 曾て二ヶ年間元泊公設消防組組頭たりしも現在には元泊振興會評議員 村會議員 樺保信用購買販賣利用組合長 在郷軍人分會長を兼ね

元泊村大字元泊字樺保 山村 良策 惠須取支廳庶務課長 明治三十四年一月七日東京府に生る 大正七年三月東京正則中學校卒業 大正七年三月十四日拓殖局臨時雇員を命ず 大正十一年十一月五日雇員を命ず(樺太廳財務課) 大正十四年一月十日任樺太廳 昭和九年七月二十七日數香支廳財務係長を命ぜられ後現職に轉ず

惠須取町官舎 山條 省藏 王子製紙落合工場長 明治廿二年十月廿日靜岡縣に生る 明治三十六年一月富士製紙會社入社 大正十一年六月落合工場事務主任 昭和八年四月同工場長 落合町信用組合長 榮濱郡落合町王子工場社宅

柳橋 徳朗 曹洞宗福海寺住職 明治三十五年五月十二日北海道に生る 大正四年八月得度 大正十一年仙臺市曹洞宗第一中學校卒業 福井縣小濱町外發心寺專門道場及び東京市駒澤大學に學ぶ 昭和八年五月十六日北海道苫前郡天賣村海龍寺住職拜命 昭和十一年八月廿八日現在寺任職並に布教師拜命 本斗町南濱通り

柳田 小三郎 知取商工會議所理事 明治二十七年北海道函館市に生る 函館商業卒業後家業を繼ぐ 昭和十五年現職就任 柳本徳次郎 市會議員 明治十九年十月二十日和歌山縣に生る 海軍經理學校傳習生卒業後海軍書記となり二等書記に任

ぜらる 大正十二年五月渡樺太廳鐵道事務所勤務し辭職後樺太交通時報を創刊し業界新聞として重きをなして居たが廢刊後は職職の人夫供給業を營み町會議員として町政にも重きをなして居る 樺太豊原市西五條南十丁目五番地 柳本由治郎 明治十八年四月一日北海道に生る 明治三十年三月小樽公立實業高等小學校高等四年卒業 大正元年泊居町に於て藥種 荒物雜貨商經營 大正十一年より泊居町工會役員に就任今日に至る 昭和八年九月一日泊居町會議員當選 樺太泊居郡泊居町大字泊居字常盤町二丁目一番地

安江 秀一 久春内郵便局長 明治一年一月三日長野縣に生る 明治二十四年一月鹽尻郵便局雇員 三十年八月松本郵便局書記 三十八年三月日露戰役に際し野戰郵便局長(近衛)として當時「コルサコフ、ウラヂミロフカ」より「ガルギノウラスコエ」(榮濱)を管轄し上等兵 一等兵各一名宛を役し通信連絡の圓滿に努力し其苦

る 豊原市樺太廳官舎 湯淺 重吉 大泊料理屋組合長 明治十一年三月二十四日德島縣に生る 大正九年五月池田町より渡島大泊町に於て雜貨商並重子(櫻手製製造賣元)製造業 昭和三年五月料理店に轉業今日に至る 昭和十一年一月來料理屋組合副組合長就任 昭和十年六月統計調査委員 昭和六年來區長代理 昭和九年區長に選任せられ今日に至る 昭和九年方面委員 昭和十一年五月衛生區長 大泊郡大泊町大字大泊字旭町三條通四丁目五番地

吉江友之進 明治二十九年七月十四日福井縣に生る 明治四十年父母と共に渡樺現住所に於て米穀雜貨商經營 大正四年嚴父に代り店務を掌り町第一流の

心名狀す可らざるものあり 四十年四月凱旋歸郷 四十一年樺太廳郵便電信局書記として再渡樺 四十二年十一月久春内局長を命ぜられ今日に至る 氏は村の農業發展に力を盡し自ら農園を經營し久春内農會會員として活動す 久春内郡久春内村大字久春内 燒田喜一郎 明治三十七年八月二十七日富山縣に生る 大正八年渡樺泊居町に於て和洋紙事務用品販賣 活版石版印刷業を營み同十四年現住所に轉任從前の通り盛業中 商工會常議員 樺太惠須取町南濱通り

矢澤 龜吉 樺太廳中央試驗場林業部勤務技師 明治四十年四月十日北海道に生る 北海道帝大農學部を卒業 昭和七年樺太廳中央試驗場技師として奉職 同十三年技師に累進して今日に及ぶ 矢田部彦三郎 名寄郵便局長 明治廿五年一月一日秋田縣に生る 大正三年三月二十一日秋田縣師範學校本科第三部卒業 大正三年三月二十一日秋田縣師範學校本科第三部卒業

八卷 重朗 樺太廳交通部土木課勤務樺太廳技師 明治二十八年十月四日宮城縣に生る 大正五年東北帝大土木科卒業 大正五年古河合名會社同九年退社 後大龍川水電會社 仙臺市役所 秩父町役場 長濱町役場 松江市役所水道部長等歷勤す 昭和五年樺太廳囑託となつて渡樺す 同九年樺太廳技師に任官して今日に至る

吉川 平八 明治十年十二月一日

吉川 平八 明治十年十二月一日

紳商として今日に至る 町會議員 眞岡米穀組合長 樺太酒精株式會社常務取締役 樺太相互無帶株式會社 樺太郵船株式會社 眞岡自動車株式會社各取締役 眞岡郡眞岡町本町二丁目九番地 吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

吉岡 實道 明治三十二年一月二十八日北海道に生る 明治四十年五月渡樺島農學校卒業 大正五年日本化學紙料會社工場建設と共に先代長石衛門氏に従ひ落合町に移轉木材業 請買業を營み 昭和二年先代後其の後を襲ぎ今日に至る 先代長石衛門氏の代表的工事樺太廳 豊原支廳 榮濱郡落合町山通十九番地 吉岡 傳作 明治十三年十二月二十四日山口縣に生る 大正三年渡樺豊原町大津に居住同四年落合町に轉居爾來造材請買業を營み今日に至る 前町會議員 現信用組合理事 社會施設 町營遺物等に金品寄附の功により表彰せられたること數多あり 赤十字社特別社員 水難救濟會を要會員 樺太榮濱郡落合町大字落合字西通南二十四番地 吉川 平八 明治十年十二月一日

日福島縣に生る
 明治三十八年九月渡樺爾來大泊町に居住す 灣内に大なる石灰山を所有しその産出品は王子製紙各工及樺太廳に納入す 氏は淨財を備え公共各方面に散し感謝状表彰等を受くること枚擧に遑あらず 町會議員 酪農組合長 興農會會長 樺太合同運送株式會社取締役 兼て大泊町名譽町長を勤めしことあり

大泊町字本町南六丁目
 吉田 清 大泊飲食店組合長
 明治卅二年四月十日福島縣に生る
 明治四十五年八月渡樺千歲村役場に勤務 大正十四年現任所に於て飲食店を經營 昭和六年副組合長 同七年組合長に推され就任今日に至る 帝國在郷軍人會大泊分會評議員
 大泊郡大泊町大字大泊字本町西一條南五丁目四番地
 吉田常二郎 明治十五年三月十三日石川縣に生る
 明治三十六年より大正十三年まで二十三年間に涉り金澤稅務管理局京都大阪の各稅務監督局に在任し大正十五年渡樺 昭和十二年十月

豐北村收入役を命ぜられ今日に及ぶ 家庭に於ては養蠶業を營み成績良好なり
 樺太廳原郡豐北村大字小沼字小沼番外地
 吉村 時重 明治二十年五月十五日生
 大正三年渡樺泊居町に居住 同五年四月落合町に移轉金物商を營み昭和七年カフエーを兼營今日に至る 特種飲食店組合長
 泊居郡泊居町
 横山 賢市 樺太廳大泊女學校長兼教諭
 明治十五年一月三日生
 東京高等師範學校本科體育科卒業 大正八年三月福島縣師範學校教諭 福井縣師範學校 福井中學校各教諭 歷任 大正十四年七月高等官待遇 同十四年樺太廳視學として渡樺 同十五年十一月豊原高等女學校教諭兼任 高等官に任官昭和五年一月樺太廳視學官 同六年豊原高等女學校教諭同九年九月大泊高等女學校長兼教諭に轉じ今日に至る 大泊町本町官舎

米山 清治 明治十七年十月十四日 榮造 豐原市會議員 請

七日札幌市に生る
 網走町に於て成人家業たる土木請負業を營み明治四十四年渡樺大泊町に居住 大正元年樺太廳巡查拜命眞岡 本斗 大泊各署に勤務同十年辭職 本斗町に轉任木材業旅館を營業大正十五年來令息をして鮮魚海産物を經營せしめたるも其の死去により同商を經營今日に至る 昭和八年九月町會議員當選就任各種委員兼任 本斗町信用組合創立當時より引續き幹事の職にあり前組合長新目氏と共に其の發展に盡力し昭和十二年三月引退す 町會議員 商工會議員
 本斗郡本斗町
 米山雄次郎 樺太廳眞岡中學校教諭
 明治三十三年十一月二十二日眞岡縣に生る
 東京府立青山師範學校卒業 東京高等工業學校教員養成所機械科卒業
 昭和四年四月樺太廳眞岡中學校教諭に任じ今日に至る 昭和十一年十一月二十一日高等官に叙せらる 眞岡町眞岡町三丁目番外地

四日 榮造 豐原市會議員 請

頁業
 明治十四年七月五日石川縣に生 昭和三年より豊原消防組頭 大日本消防協會代議員 同樺太支部副部長等の要職につき豊原市會に於ても議長として重きをなす 尙本業たる請負工事中には大正九年中の軍用道路第一區(相・眞・眞・眞)及大正十三年の上敷香川架設のサスペンション式吊橋等あり
 豊原市西 樺北二丁目十二番地

リ の 部
 季 愿世 明治二十六年七月十三日京城府に生る
 二十三歳の時郷里を出て細利亞北樺太に於て毛皮商其他種々の商業に従事 大正十四年四月撤兵と同時に現任所に轉任毛皮商を經營 昭和六年來養蠶場兼營今日に至る 昭和四年來町會議員に重任 同愛會々長
 惠須取町南濱町二丁目一四番地
 渡邊 一郎 明治三十五年十一月五日北海道に生る
 大泊中學校第五回卒業

富士製紙會社に入社知取山林部に勤務中全島的大家業たる現王子製紙專賣賣入たる渡邊彦太郎氏の女婿として迎へられ爾來落合本店の總帥として渡邊組一切の采配を振ひたるも 昭和十二年七月中小討たりし氏は召集を受け旭川師團に入團中尉に昇進皇國の爲に活動す 落合町消防組頭 同在郷軍人分會長
 樺太落合旭町
 渡邊 國武 明治三十七年一月二十日新潟縣に生る
 大正十年三月大泊中學校卒業 同年同月王子製紙大泊工場入社 昭和三年一月樺太電氣株式會社轉勤 現在本社庶務係首席
 豊原市北 一瀬東八番地樺電社宅
 渡邊 伯藏 明治七年十二月四日新潟縣に生る
 明治三十九年眞岡に渡港し四十五年迄商業を營みたるも一度歸郷し大正十一年再び眞岡に渡港し商業に従事 現任所に於て漁場を經營す 昭和三年眞岡を引揚げ住所にて漁勞撈並海産加工工業を專業とし渡邊水産加工研究所を設け研究を積み

樺太廳本斗町の囑託を受けて加工講習をなし斯界の指導にも精進す 本斗町々會議員 本斗水産會評議員 本斗町北漁業組合理事 本斗郡本斗町大字阿幸字麻内番外地
 渡邊彦太郎 王子專賣請負業
 明治七年四月十日千葉縣に生る
 大正十一年渡樺落合町前富士製紙專賣請負業として現王子製紙に至る 支店知取及敷香人絹工場と一ヶ所に在り
 榮濱郡落合町山通
 渡邊 斧助 明治十四年四月十五日山形縣に生る
 明治四十一年六月渡樺富内村に居住 佐々木漁場勤務 大正元年獨立して漁業を營み大正十二年旅館千歲屋を兼營後農服雜貨商 富屋等を兼營
 富内郡富内村大字富内字恩洞一七八
 渡邊 福一 明治三十二年七月三日千葉縣に生る
 東京電氣學校卒業
 樺太請負業界の大御所たる父君彦太郎氏の家業に従ひ(王子製紙專

屬請負) 大家業地の一たる知取に居住その總帥として充分なる實績をしめして居る 最近北海道を須取大平山方面にも數十回にのぼる請負工事に着手し文字通り東奔西走の多忙振りである 會て知取消防組頭たりしことあり 現町會議員
 元泊郡知取町高代町三丁目
 渡邊道之助 明治十九年十一月十二日茨城縣に生る
 九州帝國大學醫學部卒業
 大正六年十二月二十八日渡樺現任所に於て開業公醫拜命現在に至る 樺太に於ける最初の大學生出身民間開業者
 泊居郡泊居町常盤町二丁目七番地
 渡邊六太郎 樺太廳鐵道事務所豊原工場長 鐵道講習所講師
 明治三十七年七月二十九日北海道に生る 北海道帝大工学部卒業 昭和四年樺太廳鐵道事務所へ奉職 車輛係長 豊原工場第二工作係主任等歴任 同十四年技師に進み現職に就く
 豊原市樺太廳鐵道官舎
 渡邊六之助 宗仁郵便局長

明治二十二年五月二日生
 明治三十九年一月七日札幌郵便局通信傳習生養成所卒業 同年一月九日臨時通信事務員を命ず(札幌局) 大正二年八月九日通信事務員を命ず(樺太廳眞岡) 大正十五年四月二十一日任樺太廳特定郵便局長(宗仁)
 本斗郡好仁村字宗仁
 渡部 孝一 大梁鑛業所長
 明治十六年六月二十四日福島縣に生る
 明治三十九年九州鑛山學校技手 入山探炭入社 退社後浪花炭礦經營 大正十四年七月元樺太工業鑛山部大梁出張所々長として入社現在に至る
 樺太泊居郡名寄村字大梁
 渡部 幸一 樺太木材株式會社泊岸作業所
 明治三十八年一月二十一日山形縣に生る
 大正八年四月米澤商業學校卒業 昭和三年四月渡島西海岸野田王子工場山林部へ 同四年一月樺太木材泊岸作業所へ轉勤今日に至る 敷香郡泊岸村

渡部 助治 元泊郵便局長

明治二十五年十一月十日山形縣に生る

明治四十年十一月四日通信傳習生養成規則に依り規定の課目を卒業同年同月十一日臨時通信事務員を命ず(札幌郵便局)大正三年十二月任通信書記補 大正五年十二月通信事務員を命ず(豊原郵便局)大正八年九月任權太廳通信書記補同十年十二月同書記大正十三年七月任權太廳特定郵便局長(元泊)元泊郡元泊村大字元泊

和田藤太郎 明治二十年七月十日福島縣に生る

大正十二年渡權藤原にて鐵道事務所に勤務したることあり 大正十四年權太工業株式會社入社須取山林部に勤務 昭和四年九月權太町村制改正の際須取町會議員に選挙せらる昭和六年八月須取町助役に就任 昭和十年八月任期満了後白糠村村長を拜命命現在に至る 權太廳濱部白糠村字白蒲 若泉小太郎 辯護士 明治二十五年十一月二十六日權濱市に生る

高等試験行政科及司法科合格 大阪府警部 内務屬 權太廳警備保安課長 警務課長 特別高等警察課長 昭和七年三月退官東京に於て辯護士開業 昭和十年八月權太へ事務所移轉現在に至る

北緯五十度の旅、消防總署等の著述あり 豐原市東三條南五丁目十四番地 鷲頭 信一 明治三十二年十月十五日新瀉縣に生る 大正三年三月岩田尋常高等學校卒業 大正十年十月權太電氣會社入社 昭和三年一月權太電氣會社買収にとり引續き入社 現在豐原營業所營業係主任 豐原市東五條南十丁目二十八番地

追補

遠藤 吉藏 明治三十年三月五日福島縣に生る 大正九年渡權濱村に居住し請負業を営み今日に至る 昭和九年四月公設消防組頭に任ぜられる 昭和八年九月村會議員に當選就任今日に至る

榮濱郡榮濱村大字榮濱字柏濱東四十一番地

柿崎 一精 眞駒郵便局長 明治十四年十一月二十九日青森縣に生る 大正元年渡權眞駒支廳屬員 權太廳屬兼稅務吏大泊 眞駒 泊岸支廳に勤務 自治制施行と共に退官留多加町収入役拜命 同十三年三月一日久春内村長就任 昭和九年十一月一日眞駒郵便局長拜命今日に至る 榮濱郡白糠村大字眞鑿字眞鑿西六番地

佐藤谷教太郎 明治十七年八月二十六日北海道に生る

實業補習學校卒業して明治四十四年北海道廳巡査拜命 大正四年辭職 同六年渡權權太廳巡査拜命 同十五年巡査部長に進み辭職 權太廳鐵道事務所に奉職して今日に至る 豐原市西八條南三丁目十六番地 佐久間孝太郎 中叻造材部主任 明治三十一年十一月二十八日北海道に生る 二十一歳の時より中叻木材店に入

大正十三年權太勤務 同十四年保事業地誌となり有松鐵三氏の片腕として事業地主任を命ぜられ今日に至る 振興會顧問 元泊郡元泊村大字元泊字極保

佐竹泰次郎 明治三十二年十一月四日山形縣に生る 大正十年三月二十六日山形縣師範學校本科第一部卒業 大正十四年八月八日渡島大泊尋常高等小學校勤務 昭和三年三月二十七日豐原第一尋常高等小學校勤務に轉じ現在に及ぶ 豐原市北豐原北一線東十四道祖尾りん 明治二十九年一月二十一日大阪府に生る 大正三年權田高女卒業 同四年大阪府女子師範學校本科第一部卒業 大正八年東京高等女子師範學校家事科第一部卒業 同年四月大阪府女子師範學校教諭に任ぜられ市立集英女學校 愛日女學校 私立天王寺女學校各教諭 歷任 昭和八年十一月權太廳屬高等女學校教諭に任ぜられ同十一年九月生徒監 命ぜられ今日に至る 豐原市

齋藤寅二郎 明治二十四年三月六日山形縣に生る

大正十五年六月北海道權内町より渡權現住所に於て日用品雜貨商經營今日に至る 昭和八年九月會議員當選就任 北邊古舟村野火防組合長 同山火消防隊長 元泊郡知取町北邊古舟三番地 權原 三藏 明治二十一年八月七日東京に生る 權濱傳記專修學校卒業 慶應義塾工學科卒業 大正五年十月日本化學紙料株式會社入社務台工場勤務 同十一年六月富士製紙會社に合併により富士社員となり同十五年八月社命により登載炭礦株式會社知取炭礦勤務(事務主任) 改組により權太營業株式會社員(大平炭礦所長代理)となり今日に及ぶ 名好郡惠須取町惠須取大平

作間 三男 齒科醫

明治十六年六月一日東京に生る 小學校修了後東京學館に簿記學を卒業更に東京市京橋區森及び伊澤ドクトルの門に入り齒科を修學しつゝ傍ら早稻田大學政治經濟學科

に入學第三學年修了後舊北海道市田銀行(現北海道銀行)に勤務

大正四年八月權太島内周歷し齒科醫業に従事す 現在豐原齒科醫師會長の任にある 昭和四年九月豐原町會議員に當選 昭和五年國勢調査員を命ぜらる 豐原市東三條南五ノ一九 櫻田 順學 日蓮宗大僧都 明治二十年一月二十日に秋田縣に生る 日蓮宗布教師 開教地布教師 大僧都に叙せらる 昭和三年渡權知取町を本據として布教に従ひ昭和八年寺號公稱して寶樹山立正寺住職として今日に至る 元泊郡知取町幸町四丁目二番地 笹原留之助 關泊郵便局長 明治十七年六月十日岩手縣に生る 明治四十一年任通信手(青森郵便局)大正七年九月任權太廳通信書記(豐原郵便局)大正十一年十月任權太廳鐵道技師(建設 改良 車輛)大正十四年三月任權太廳特定郵便局長(關泊)昭和八年來權太特定郵便局長第三部長に推され擔當區内局務の監督並獎勵の重任を擔ふ 曾て村會議員に當選し村

治に盡したるも現在表面より引き

村の重要人物として信望する 權太眞駒郡關泊村大字關泊字關泊 一三九番地 澤助右衛門 明治十九年十一月二十一日滋賀縣に生る 郷里に於て小學校卒業後家業たる農業及眞鑿製業に従ひ明治三十九年十月渡權大泊町北商會入店 明治四十二年六月退店豐原市に於て洋服本物商開店 大正十四年五月令弟に譲り知取町に轉住開業盛今日に至る(近江屋) 昭和五年四月商工會議所議員當選 常議員 區長 納稅組合長課稅委員 元泊郡知取町北一丁目二番地 清水 喜平 王子製紙權太分社 總務部業務係長 明治廿八年九月三日山梨縣に生る 大正五年日本化學紙料株式會社工場建設の際渡權入社爾來富士製紙の同工場買収と共に同社員となり昭和八年五月製紙合同により王子製紙會社員として今日に至る 元落合町評議員 現町會議員 昭和四年來落合青年團長として盡しつゝあり

豐原市王子社宅 新藤 甚藏 權太廳師範學校教諭

明治三十四年一月二十四日生 東京高等師範學校文科第三部本科卒業 大正十五年三月群馬縣師範學校教諭に任ぜられ昭和四年權太廳屬中學校教諭轉任今日に至る 昭和十一年九月來精神文化研究所に入り研究中 豐原市中學校公會 會根勘太郎 明治二十年十一月七日宮城縣に生る 北海道通信管理員に奉職(通信書記)明治四十二年渡權權太廳眞駒郵便局に奉職 同四十五年退職歸郷 大正五年再渡權權太廳眞駒郵便局長として赴任今日に至る 本斗町大通 西山 可爲 明治二十年五月二十日鳥取縣に生る 幼少の折父母と共に北海道夕張郡由仁に渡道農産物仲買に従事し 明治三十九年渡權眞駒町に於て

練馬製造業經營 大正九年本斗町に移轉西山木工場を經營 大正十一年來浴場營業今日に至る 木工場年産高約七千石 販路主として市内前所近部落
本斗郡本斗町大字本斗字大通十三丁目五番地

阿部 福仁 請負業
明治二十八年青森縣に生る 往年樺太知取町に於て機關新聞を發行 其後炭礦を經營す
現在所内村

山本 英一 泊船工會理事
新潟縣人 明治三十八年生 東都に渡學後新聞界に投じ昭和九年樺太日々新聞社編輯局長となる 同十四年退職現在に至る
官川 雅夫 大正七年生 立教大學卒業
父故業太郎氏の跡を繼いで農場石炭業木工業等を經營す 知取町高代町岡氏の邸宅は町の高臺にありオコクノ海を一層に收むる絶佳の風光地で廣大なる庭園には東伏見宮大妃陛下の御成記金屏かある 屏文は元樺太廳長官今村武志氏の題記せるものである

内地官廳

内閣

宮城内電話九四一五番
内閣總理大臣 公府 近衛 文麿
東京市杉並區西出町一ノ七四三 電四谷三五五
外務大臣 松岡 洋右
東京市澁谷區千駄ヶ谷二ノ三八五 電青山一五〇
内務大臣 平沼騏一郎
東京市淀橋區西大久保一ノ四二九 電四谷一一八一
大藏大臣 河田 烈
東京市四谷區東倉橋町二八 電四谷三二七〇
陸軍大臣 陸軍中將東條 英機
東京市世田ヶ谷區北澤二ノ二二五
海軍大臣 海軍大將及川古志郎
東京市淀橋區西大久保三ノ九一

電四谷一六二五
司法大臣 柳川 平助
東京市澁谷區千駄ヶ谷五ノ九 電四谷七〇八七
文部大臣 橋田 邦彦
東京市杉並區荻窪一ノ一五九 電荻窪三一七八
農林大臣 石黒 忠篤
東京市牛込區湯島町一七 電牛込四九一
商工大臣 小林 一三
東京市麹町區永田町一ノ二五 電銀座五〇八五
逓信大臣 村田 省藏
兵庫縣住吉村反高林一八七六 電御影一五五六
鐵道大臣 小川郷太郎
東京市中野區櫻山三二 電中野七五〇〇
拓務大臣 秋田 清
東京市麹町區内幸町丁百 電銀座三〇〇〇
厚生大臣 金光 庸夫
東京市澁谷區猿樂町三一 電澁谷二二三三
無任所大臣(兼) 星野 直樹

東京市淀橋區下落合 大橋 忠一
東京市中野區桃園町一ノ二 電中野三六〇七
内務次官 挾間 茂
東京市牛込區市ヶ谷臺生寺町四五 電牛込三三〇八
大藏次官 廣瀬 豊作
東京市澁谷區神山町二四 電澁谷二六一
陸軍次官 陸軍中將阿南 惟幾
東京市麹町區永田町一ノ二一
海軍次官 海軍中將豊田貞次郎
東京市淀橋區下落合一ノ四七三 電大塚六九
司法次官 三宅正太郎
東京市麻布區本村町四四
文部次官 菊池豊三郎
東京市中野區櫻山二 電中野七二二一
農林次官 井野 碩哉
東京市澁谷區青葉町三 電青山二一三六
商工次官 小島 新一
東京市澁谷區鉢山二四 電澁谷八二四

逓信次官 山田 龍雄
東京市赤坂區青山南町五ノ四五 電青山五五八〇
鐵道次官 鈴木 清秀
東京市在原區中延一〇七五 電在原三九四五
拓務次官 北島謙次郎
東京市澁谷區代々木上ノ原二二〇七 電澁谷二四〇
厚生次官 兒玉 政介
東京市淀橋區千駄ヶ谷三ノ三六七 電四谷七八八一
内閣書記官長 富田 健次
東京市麹町區永田町内閣書記官長官舎
企畫院總裁 星野 直樹
東京市淀橋區下落合
法制局長官 村瀬 直養
東京市本郷區駒込林一九六 電駒込〇二二五
内閣恩給局長 平木 弘
東京市杉並區水橋町四二二 電松澤三三一九
内閣統計局長 川島 孝彦
東京市豊島區椎名町一ノ一八七〇

電大屋三七〇

内閣印刷局長 三土屋耕二
東京市板橋區板橋三ノ二六一電
大塚七〇一

賞勳局總裁 下條 康麿
東京市豊島區六番町七ノ一 電九
段一八八〇

内閣東北局長 宇都宮孝平
東京市豊島區高田本町一ノ二三四
四 電牛込四七七

内閣情報部長 伊藤 述史
東京府武蔵野町吉祥寺中道南一八
三一 電吉祥寺一三〇二

拓務省
東京市豊島區豊島一ノ一ノ四
電話銀座五二六〇九番

秋田 清 拓務大臣 東京市
豊島區内幸町丁目 電話三三〇

北島謙次郎 拓務次官 東京市
豊島區代々木上ノ原二一〇七 電
三三〇

植場 鐵三 拓務省殖産局長
東京市豊島區豊島一ノ一ノ四
電話銀座五二六〇九番

可ヶ谷六ノ二八五

副島 勝 拓務省管理局長
東京市豊島區金王町三五 電青山
七六八

森部 隆 拓務省拓南局長
東京市豊島區大沼一ノ五二 電荻
窪五二八〇

今吉 敏雄 拓務省拓北局長
東京市豊島區谷島松原町二ノ七六
二 電荻窪三八四八

新居房太郎 拓務大臣秘書官
東京市豊島區谷島大原町一ノ三七
電荻窪三八一六

江口 親憲 拓務省大臣官房文
書課長 東京市豊島區中延町二〇
五 電荻窪五六二〇

中野 勝次 拓務省大臣官房會
計課長 東京市豊島區大沼三ノ八
六一 電荻窪四九五八

橋爪 恭一 拓務省管理局長
東京市豊島區牛込區市ヶ谷加賀町
二ノ一七 電牛込五七〇七

増本 甲吉 拓務省管理局長
東京市豊島區豊島一ノ一ノ四
電話銀座五二六〇九番

課長 東京市豊島區白四ノ四三
電大塚七〇八八

金井 温治 拓務省管理局長
東京市豊島區大町名越二二八九
電鎌倉八一

佐々木金太郎 拓務省殖産局長
東京市豊島區牛込區若松町一三
一 電鎌倉八一

中尾莊兵衛 拓務省殖産局長
東京市豊島區大森區調布橋ノ木五
七五 電田調布三八七一

眞室 亞夫 拓務省殖産局長
東京市豊島區上目黒五ノ二
四二九 電荻窪二一六

金子辰太郎 拓務省殖産局長
東京市豊島區四谷區南伊賀町一七
電四谷七二二〇

澁澤 信一 外務書記官兼拓務
書記官 東京市豊島區三田一六〇
電大塚一〇八〇

高濱 淳 拓務省拓北局長
東京市豊島區大森區開拓課長
東京市豊島區大森區下落合四ノ一五
七七 電小石川一〇三八

宮林 敏雄 拓務省拓北局長
東京市豊島區本郷區曙町一八
電鎌倉八一

鹽谷 末吉 拓務省拓北局長
東京市豊島區世田谷區經堂一四
一 電世田谷四六二二

高橋進太郎 拓務省拓南局長
東京市豊島區浦和岸町四ノ一八三 電
浦和一八九一

川本 邦雄 拓務省拓南局長
東京市豊島區谷島代々木山谷三
〇八 電四谷六〇二六

青木 能夫 拓務省拓南局長
東京市豊島區世田谷區經堂三六
六 電四谷六〇二六

上田昌之助 拓務理事官
東京市豊島區瀧野川區瀧野川五〇二
古閑 正之 拓務理事官
東京市豊島區上目黒一色九六二
黒部 潔 拓務理事官
東京市豊島區中野區相生町二二
野口 俊一 拓務理事官
東京市豊島區上目黒五ノ二四
五六 電上目黒五ノ二四

森 日出哉 拓務理事官
東京市豊島區澁谷區西大久保三ノ七
三 電澁谷三ノ七

森川 梅雄 拓務理事官
東京市豊島區澁谷區西大久保三ノ七
三 電澁谷三ノ七

鈴木 政勝 拓務理事官
東京市豊島區本郷區本郷一ノ九六
二 電本郷一ノ九六

小里 玲 拓務理事官
東京市豊島區世田谷區馬橋四ノ四
四四 電馬橋四ノ四

鮫島 清彦 拓務理事官
東京市豊島區世田谷區中延町八五七
二 電中延町八五七

砥上 坦 拓務理事官
東京市豊島區豊島區高田本町一
ノ三〇八 電高田本町一ノ三〇八

石井 喬 拓務理事官
東京市豊島區牛込區市ヶ谷甲良
二二 電市ヶ谷甲良二二

江越 信胤 拓務理事官
東京市豊島區大森區北千束町四四
三 電荻窪三三一一

加藤 義明 拓務理事官
東京市豊島區中區山手通 六〇
第三課 拓務理事官
東京市豊島區澁谷區戸塚四ノ五
七五 電戸塚四ノ五

山口 乾治 拓務理事官
滿洲拓植委員會事務局長 新京
大同大街康徳會館内

荒木 和成 拓務理事官
東京市豊島區本郷區駒込林町一四五
電駒込一九七七

飯島 稔 拓務理事官
東京市豊島區世田谷區谷六ノ一
三五 電谷六ノ一三五

大國 彰 拓務理事官
東京市豊島區浦和區常盤六ノ三四
電浦和常盤六ノ三四

奥貫 賢一 拓務理事官
東京市豊島區大森區山王一ノ一九三
三 電山王一九三

栢原 依郎 拓務理事官
東京市豊島區品川區大井浦王子四六
六〇 電大井浦王子四六六〇

丸山 信 拓務理事官
東京市豊島區大森區北洗足町六三二
一 電北洗足町六三二

浅川 其二 拓務理事官
東京市豊島區神奈川區栗田谷三三四
電栗田谷三三四

宇留野勝彌 拓務理事官
東京市豊島區本郷區森川町一四
一 電森川町一四

山田 武彦 拓務理事官
東京市豊島區中野區和田本町八五二
一 電和田本町八五二

溝越 禮敬 拓務理事官
東京市豊島區世田谷區世田谷一
ノ三三三 電世田谷一ノ三三三

久保 應 拓務理事官
東京市豊島區目黒區原町一三四一
一 電原町一三四一

堤 武雄 拓務理事官
東京市豊島區目黒區大岡山三〇
二八 電大岡山三〇二八

林 通雄 拓務理事官
東京市豊島區中野區本町通五ノ
三六 電本町通五ノ三六

仁瓶 平二 拓務理事官
東京市豊島區中野區沼袋一五六
一 電沼袋一五六

依田 友安 拓務理事官
東京市豊島區保土ヶ谷區星川六一
六 電星川六一

三浦 陽 拓務理事官
東京市豊島區荒川區日暮里町七
ノ三八九 電日暮里町七ノ三八九

山口 乾治 拓務理事官
滿洲拓植委員會事務局長 新京
大同大街康徳會館内

山口 乾治 拓務理事官
滿洲拓植委員會事務局長 新京
大同大街康徳會館内

山口 乾治 拓務理事官
滿洲拓植委員會事務局長 新京
大同大街康徳會館内

山口 乾治 拓務理事官
滿洲拓植委員會事務局長 新京
大同大街康徳會館内

和栗 博 拓務事務官(滿洲
拓植委員會事務局) 新京市大同大
街康慶會館內
大串 石藏 拓務技師(滿洲拓
植委員會事務局) 新京市大同大街
康慶會館內
宇野末次郎 拓務書記官 滿洲
開拓青年義勇隊訓練本部總務部長
新京市同本部內

朝鮮總督府

京城府光化門通
電話代表光化門五六〇一七〇
南 次郎 陸軍大將 總督
京城府光化門通官舍 電光化門三
四五六・四〇〇〇
大野綠一郎 政務總監 京城府
大和町官舍 電話本局六八
上瀧 基 內務局長 京城府
大和町官舍一九 電本局一五
水田 直昌 財務局長 京城府
旭町一官舍一〇 電本局五二八
穗積真六郎 殖產局長兼燃料選
礦研究所長事務取扱 京城府壽町
官舍一〇 電本局八〇一
湯村辰二郎 農林局長 京城府

西小門町官舍一 電光化門九三四
宮本 元 法務局長 京城府
西小門町官舍二五 電光化門一八
〇
鹽原時三郎 學務局長 京城府
西小門町官舍一四 電光化門八六
〇
三橋孝一郎 警務局長 京城府
倭城臺町官舍三二 電本局一〇六
五
諏訪 務 外務部長 京城府
旭町官舍一 電本局八六八
西岡芳次郎 企業部長兼企業部
第三課長 京城府大和町二官舍
三五 電本局二二九九
近藤 儀一 秘書官 京城府光
化門通官舍三五 電光化門二七一
〇
天谷 健二 秘書官 京城府大
和町一官舍一 電本局四〇八
碓井 忠平 總督官房兼議室首
席事務官 京城府光化門通官舍六
電光化門一九二
阿部 達一 總督官房兼議室事
務官 京城府光化門通總督府內
牧山 正彦 總督官房兼議室事

務官 京城府總督府內
田中德太郎 總督府通譯官 官
房秘書官室 京城府大和町一官舍
五 電本局二二六三
黒木 剛一 海軍大佐 總督官
房秘書官室 京城府南山町官舍四
電本局八二四
山之内二郎 陸軍中佐 總督官
房秘書官室 京城府光化門通總督
府內
伊藤 泰吉 總督官房人事課長
京城府倭城臺官舍二一 電本局一
〇一八
信原 聖 總督官房文書課長
兼國勢調查課長 京城府西小門町
官舍一四 電光化門九三一
叫下 太郎 總督官房會計課長
京城府倭城臺官舍一三 電本局六
一
筒井 竹雄 內務局地方課長
京城府壽町官舍
林 勝 壽 內務局社會課長
京城府西小門町官舍一〇 電光化
門二一五四
横井 増治 內務局土木課長
京城府大和町三官舍 電本局四一

伊倉 健治 學務局視學官 京
城府光化門通總督府內
八木 信雄 警務局警務課長
京城府大和町二官舍三一 電本局
一六七五
北村 輝雄 警務局防護課長
京城府倭城臺町官舍一九 電本局
七八一四
服部伊勢松 警務局經濟警察課
長 京城府光化門通總督府內
古川 兼秀 警務局保安課長
京城府倭城臺町官舍一〇 電本局
三四九一
本多 武夫 警務局圖書課長
京城府光化門通總督府內
西龜 三圭 警務局衛生課長
京城府西大門一官舍七 電光化門
九五七
白石光治郎 外事部勤務事務官
京城府大和町官舍三 電本局三四
七八
陣内 利夫 外事部勤務事務官
京城府光化門通總督府內
森 長文 外事部勤務事務官
京城府光化門通總督府內
田中保太郎 外事部外務課長

六六
山名酒喜男 財務局稅務課長
京城府本町五ノ八〇
山地 靖三 財務局理財課長
京城府旭町一官舍一 電本局七
三〇
奥村 重正 財務局會計課長
京城府旭町一官舍一七 電本局
七三三
岡村 峻 財務局管理課長
京城府旭町一官舍一八 電本局五
六三三
鹽田 正洪 殖產局鑛山課長
京城府西小門町官舍二八 電光化
門二四一〇
井坂圭十良 殖產局商工課長
京城府光化門通官舍三四 電光化
門一七七
安田 宗次 殖產局燃料課長
京城府大和町二官舍天 電本局
二二二六
岡信 俠助 殖產局水産課長
京城府光化門通總督府內
木野 藤雄 殖產局產金課長
京城府大和町三官舍一八 電本局
一三三二

立岩 巖 殖產局地質調査所
長 京城府大和町二官舍三四 電
本局二二四九
角永 清 殖產局物價調整課
長 京城府旭町一官舍一〇 電本
局一七六八
厚地 法人 農林局農務課長
京城府西大門町一官舍五五 電光
化門四四八
岸 勇一 農林局農村振興課
長 京城府大和町二官舍五五 電
本局三六三六
下飯坂 元 農林局織政課長
京城府光化門通官舍一〇 電光化
門五七九
山下 直一 農林局林政課長
京城府清雲町官舍一七 電光化門
二四二一
井芹 正 農林局林業課長
京城府西大門町一官舍三三 電光
化門一九五八
油井 岱治 農林局畜産課長
京城府光化門通官舍三三 電光化
門一三〇〇
乾 明 農林局土地改良課
長 京城府光化門通總督府內

吉池 四郎 農林局食糧調査課
長 京城府三坂通三五五 電龍山
一四四四
森浦 藤郎 檢事兼法務局刑事
課長 京城府西小門町官舍二二
電光化門八四六
大野 憲光 法務局行刑課長
京城府光化門通總督府內
岩島 肇 法務局民事課長
京城府西小門町官舍三二 電光化
門九三三
倉島 至 學務局學務課長
京城府光化門通總督府內
桂 洗 淳 學務局社會教育課
長 京城府壽松町四六 電光化門
四一六五
島田 牛雅 學務局編修課長
京城府竹添町一ノ六五 電光化門
三二一四
中島 信一 學務局教學官 京
城府旭町一官舍一六 電本局七九
七七
小出直三郎 學務局教學官 京
城府光化門通總督府內
安岡源太郎 學務局視學官 京
城府壽町官舍八 電本局一八一

京城府青雲町官舍六 電光化門五
七六
辻 桂五 外事部拓務課長
京城府青雲町八九 電光化門六八
美根 五郎 企業部第一課長
京城府光化門通官舍一四 電光化
門一九五一
渡邊 肆郎 企業部第二課長
京城府光化門通總督府內
川 口 盛 總督官房人事課理
事官 京城府大和町二官舍一七
電本局四
湯澤茂彌太 總督官房文書課事
務官 京城府崇仁町二七 電光化
門三二七〇
溝口好太郎 總督官房文書課事
務官 京城府光化門通總督府
佐藤 良治 總督官房會計課理
事官 京城府光化門通總督府內
齋藤 忠人 總督官房會計課技
師 京城府西大門町一官舍二 電
光化門一〇二九
萩原 孝一 總督官房會計課技
師 京城府大和町二官舍一七 電
本局六七〇六
寺師 通尙 總督官房會計課技

京城府青雲町官舍六 電光化門五
七六
辻 桂五 外事部拓務課長
京城府青雲町八九 電光化門六八
美根 五郎 企業部第一課長
京城府光化門通官舍一四 電光化
門一九五一
渡邊 肆郎 企業部第二課長
京城府光化門通總督府內
川 口 盛 總督官房人事課理
事官 京城府大和町二官舍一七
電本局四
湯澤茂彌太 總督官房文書課事
務官 京城府崇仁町二七 電光化
門三二七〇
溝口好太郎 總督官房文書課事
務官 京城府光化門通總督府
佐藤 良治 總督官房會計課理
事官 京城府光化門通總督府內
齋藤 忠人 總督官房會計課技
師 京城府西大門町一官舍二 電
光化門一〇二九
萩原 孝一 總督官房會計課技
師 京城府大和町二官舍一七 電
本局六七〇六
寺師 通尙 總督官房會計課技

京城府青雲町官舍六 電光化門五
七六
辻 桂五 外事部拓務課長
京城府青雲町八九 電光化門六八
美根 五郎 企業部第一課長
京城府光化門通官舍一四 電光化
門一九五一
渡邊 肆郎 企業部第二課長
京城府光化門通總督府內
川 口 盛 總督官房人事課理
事官 京城府大和町二官舍一七
電本局四
湯澤茂彌太 總督官房文書課事
務官 京城府崇仁町二七 電光化
門三二七〇
溝口好太郎 總督官房文書課事
務官 京城府光化門通總督府
佐藤 良治 總督官房會計課理
事官 京城府光化門通總督府內
齋藤 忠人 總督官房會計課技
師 京城府西大門町一官舍二 電
光化門一〇二九
萩原 孝一 總督官房會計課技
師 京城府大和町二官舍一七 電
本局六七〇六
寺師 通尙 總督官房會計課技

京城府青雲町官舍六 電光化門五
七六
辻 桂五 外事部拓務課長
京城府青雲町八九 電光化門六八
美根 五郎 企業部第一課長
京城府光化門通官舍一四 電光化
門一九五一
渡邊 肆郎 企業部第二課長
京城府光化門通總督府內
川 口 盛 總督官房人事課理
事官 京城府大和町二官舍一七
電本局四
湯澤茂彌太 總督官房文書課事
務官 京城府崇仁町二七 電光化
門三二七〇
溝口好太郎 總督官房文書課事
務官 京城府光化門通總督府
佐藤 良治 總督官房會計課理
事官 京城府光化門通總督府內
齋藤 忠人 總督官房會計課技
師 京城府西大門町一官舍二 電
光化門一〇二九
萩原 孝一 總督官房會計課技
師 京城府大和町二官舍一七 電
本局六七〇六
寺師 通尙 總督官房會計課技

官 京城府光化門通總督府其局内

倉田 昇 殖産局燃料課技師

京城府光化門通總督府其局内

山本彌之助 殖産局商工課事務

官 京城府太平通一官舎九 電本局〇八六〇

日笠 博雄 殖産局商工課事務

官 京城府光化門通總督府其局内

吉本 強 殖産局商工課理事

官 京城府光化門通總督府其局内

石井市重郎 殖産局商工課技師

京城府大和町二官舎七 電本局〇八六一

丸茂 一平 殖産局商工課技師

京城府光化門通總督府其局内

鄭 用 信 殖産局物價調整課

事務官 京城府光化門通總督府其局内

信原 明 殖産局物價調整課

事務官 京城府光化門通總督府其局内

坂寄守之助 殖産局物價調整課

理事官 京城府西小門町官舎四

電光化門二三九〇

瀬戸 恭雄 殖産局物價調整課

技師 京城府光化門通總督府其局内

官 京城府天然町官舎八 電光化門八七三

武内 晴好 農林局農務課技師

京城府光化門通總督府殖産局同所

岩永 達夫 農林局農務課技師

京城府光化門通總督府其局内

内山 修男 農林局農務課技師

京城府光化門通總督府其局内

内 伊藤 俊一 殖産局物價調整課

技師 京城府光化門通總督府其局内

船越 順治 殖産局物價調整課

技師 京城府光化門通總督府其局内

内 豐川 文夫 殖産局産産課事務

官 京城府光化門通總督府其局内

大賀 賀市 殖産局産産課技師

京城府三坂通二二三 電龍山一八七

多田 吉郷 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

茂木 勝村 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

山本 銳二 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

齋藤 秀郎 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

大塚 清彦 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

加納 弓弦 殖産局産産課技師

京城府光化門通總督府其局内

倉田 春水 殖産局産産課事務

官 京城府大和町二官舎一八 電本局七九〇二

小野 文質 農林局林政課事務

官 京城府天然町官舎八 電光化門八七三

浅川 清喜 農林局林政課事務

官 京城府光化門通總督府其局内

川島 秀男 農林局林政課事務

官 京城府光化門通總督府其局内

牟田 亮平 農林局林政課理事

官 京城府大和町三官舎二五 電本局〇〇九六

北野 退蔵 殖産局水産課技師

京城府養菜町三ノ三五 電本局六四六七

近藤道之助 殖産局水産課技師

京城府光化門通總督府其局内

仲 賤夫 殖産局水産課技師

京城府光化門通總督府其局内

木野崎吉郎 殖産局地質調査所

技師 京城府光化門通總督府其局内

波多江信廣 殖産局地質調査所

所技師 京城府光化門通總督府其局内

山口 定 殖産局地質調査技師

京城府光化門通總督府其局内

津田 秀市 殖産局地質調査所

技師 京城府光化門通總督府其局内

中村慶二郎 殖産局地質調査所

技師 京城府光化門通總督府其局内

官 京城府大和町二官舎一八 電本局七九〇二

立山 軍蔵 農林局畜産課技師

京城府西小門町官舎七 電光化門一九四一

坂卷海三郎 農林局畜産課技師

京城府光化門通總督府其局内

遊佐 肇雄 農林局畜産課技師

京城府光化門通總督府其局内

楠木 徳二 農林局林業課技師

京城府太平通一ノ一一 電光化門一一四九

柴山 榮 農林局林業課技師

京城府新堂町四〇四 電本局四六八七

若宮敬次郎 農林局林業課技師

官 京城府大和町二官舎一八 電本局七九〇二

秋元 侑次 農林局林業課技師

京城府光化門通總督府其局内

的野 彰 農林局土地改良課

理事官 京城府光化門通總督府其局内

上浦 喬 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

内 小熊 正虎 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

鹿毛 京造 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

河越 太郎 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

大谷信太郎 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

内 東郷 成藏 農林局土地改良課

技師 京城府光化門通總督府其局内

足立 正秋 農林局食糧調査課

事務官 京城府光化門通總督府其局内

官 京城府天然町官舎八 電光化門八七三

尾崎 治 農林局糧政課技師

京城府光化門通總督府其局内

黒岩 潔 農林局糧政課技師

京城府光化門通總督府其局内

官 京城府天然町官舎八 電光化門八七三

伊東 廣 農林局糧政課技師

京城府大和町一官舎一六 電本局六三三四

得能 繁雄 農林局糧政課技師

京城府永樂町一官舎四 電本局三六四九

小野寺二郎 農林局食糧調査課技師 京城府光化門通總督府其局内
西 卓 農林局食糧調査課技師 京城府光化門通總督府其局内
山本 尋己 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所長 京城府光化門通官舎五 電光化門一〇八二
村本 眞一 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所群山支所長 全羅北道群山府同支所長官舎
久米佐一郎 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所木浦支所長 全羅南道木浦府同支所長官舎
今村 新 朝鮮總督府技師 穀物検査所釜山支所長 慶尚南道農林局釜山府同支所長官舎
進藤今朝六 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所釜山支所 慶尚南道釜山府同支所官舎
永見啓五郎 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所元山支所長 咸鏡南道元山府同支所長官舎
小林 東三 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所羅南浦支所長
平安南道羅南浦府同支所長官舎
妹尾 與録 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所仁川支所長 京畿道仁川府同支所長官舎
若田 稔 朝鮮總督府技師 農林局穀物検査所仁川支所 京畿道仁川府同支所官舎
黒瀬正三郎 法務局刑事課事務官 京城府和泉町官舎二二 電光化門三三六五
坂本 一郎 檢察兼法務局刑事課事務官 京城府西小門町高等法院内
内山 隆治 法務局刑事課事務官兼刑務官吏練習所教授 京城府西小門町官舎一 電光化門二七七
寺川 有三 法務局民事課事務官 京城府光化門通總督府法務局内
柏木 宏二 學務局學務課事務官 京城府旭町一ノ一〇〇 電本局七八七
谷口 文夫 學務局學務課理事官 京城府光化門通官舎一六 電光化門三〇九七
井上 智 學務局編輯課編修官 京城府光化門通總督府學務局内
録塚 扶 學務局編輯課編修官 京城府東榮町一 電光化門四五七
中村 榮孝 學務局編輯課編修官 京城府大和町三官舎六 電本局五三二七
金子 昌鈞 學務局編輯課編修官 京城府光化門通總督府學務局内
森田 梧郎 學務局編輯課編修官 京城府光化門通總督府學務局内
川野 昌美 朝鮮總督府技師 觀測所長 仁川府山根町觀測所内
内野 浩 朝鮮總督府技師 觀測所 仁川府山根町觀測所内
武石 武 朝鮮總督府技師 觀測所 仁川府山根町觀測所内
窪田次郎治 朝鮮總督府技師 京城觀測所長 京城府松月町一 電光化門二六一五
船山 源作 朝鮮總督府技師
清津觀測所長 咸鏡北道清津府觀測所長官舎
澁谷 三郎 朝鮮總督府技師 海州觀測所長 黃海道海州府觀測所長官舎
前田千代吉 朝鮮總督府技師 新義州觀測所長 平安北道新義州府觀測所長官舎
阿部 泉 警務局警務課事務官 京城府西四軒町官舎一 電本局六五四
星出 壽雄 警務局警務課事務官 京城府古市町一九 電本局七〇一
安藤 源次 警務局警務課技師 京城府内需町官舎一 電光化門一〇一六
鳥井 捨藏 警務局警務課技師 京城府東榮町二〇一 電光化門三二二二
一戸 實 警務局警務課技師 京城府光化門通總督府警務局内
須藤 秀治 警務局警務課技師 京城府光化門通總督府警務局内
川崎 延壽 警務局保安課事務官 京城府大和町二官舎一九 電

本局六七三四
赤田 正雄 警務局保安課事務官 京城府東榮町三官舎三 電本局七八八〇
原田 一郎 警務局保安課事務官 京城府光化門通總督府警務局内
川尻 忠 警務局保安課通譯官 京城府光化門通總督府警務局内
林 利治 警務局保安課通譯官 京城府光化門通總督府警務局内
寺門 建 警務局防護課事務官 京城府光化門通總督府警務局内
元吉勇太郎 警務局防護課技師 京城府光化門通總督府警務局内
伊佐山伊三郎 警務局衛生課技師 京城府和泉町官舎三 電光化門一四九八
横山 俊久 警務局衛生課技師 京城府竹添町二ノ九九 電光化門二二一六
川口 利一 警務局衛生課技師 京城府西大門町一官舎四〇 電光
化門二九九四
田島 清 警務局衛生課技師 京城府竹添町一ノ九九 電光化門三八七〇
一丁田健一 警務局衛生課技師 京城府光化門通總督府警務局内
富山 修 外事部外事課事務官 京城府光化門通總督府外事部内
小田 安馬 外事部外事課通譯官 京城府壽町官舎六 電本局〇二八六
尹 和 曦 外事部拓務課事務官 京城府光化門通外事部内
松永 幹 企畫部第一課事務官 京城府光化門通官舎一九 電光化門二九五六
豐島 隆 企畫部第一課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
小泉 弘 企畫部第一課事務官 京城府大和町三官舎三〇 電本局四四九七
井上 良 企畫部第一課理事官 京城府倭城臺町官舎一 電本局七八八六
網谷 力雄 企畫部第一課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
土井 信義 企畫部第一課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
村田 涉 企畫部第一課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
田所 榮 企畫部第二課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
武内 慎一 企畫部第二課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
矢代 道夫 企畫部第二課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
戸田 重治 企畫部第二課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
中島 武平 企畫部第二課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
佐藤 徳松 企畫部第二課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
淺井 美治 企畫部第二課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
鈴木高麗雄 企畫部第三課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
中里 千春 企畫部第三課事務官 京城府光化門通總督府企畫部内
池尾 勝巳 企畫部第三課事務官 京城府永樂町二ノ八四 電本局五八二八
林部 浩 企畫部第三課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
福王寺七郎 企畫部第三課技師 京城府光化門通總督府企畫部内
朝鮮總督府鐵道局
京城府漢江通一五
電話龍山二一〇〇一〇番
山田新十郎 局長 京城府漢江通一五其局内
大和田福徳 鐵道局參事營業課長 古市町官舎三 電本局〇六五二
田邊 多聞 鐵道局參事調査課長 龍町鐵道官舎一〇一 電龍山一六九一
小林 利一 鐵道局參事經理課長 京城府漢江通二五官舎 電龍山四七五
大島 寅治 鐵道局參事臨務課

長 京城府漢江通一五其局 電龍
山八〇三
神谷 小一 鐵道局參事監督課
長 京城府西小門町官舎五 電光
化門七四八
壽 謙次郎 鐵道局技師保線課
長 京城府漢江通一五其局 電龍
清水 幸次 鐵道局技師改良課
長 京城府漢江通一五其局 電龍
山八五〇
永井 研三 鐵道局技師電氣課
長 京城府漢江通一五其局 電龍
江崎 義人 鐵道局技師建設課
長 京城府漢江通一六其局 電龍
山二二三
前原 肇 鐵道局技師運輸課
長 京城府漢江通一三其局 電龍
山九〇〇
崎山 參一郎 鐵道局技師工作課
長 京城府漢江通一五其局 電龍
山一四五
中隈 勝 鐵道局參事 京城
湯澤 茂 鐵道局參事 京城
附町鐵道官舎一〇六 電龍山一

七八一
稻川 正一 鐵道局參事 京城
府漢江通官舎 電龍山五〇九
石塚 久司 鐵道局參事 京城
府漢江通一六其局 電龍山一四六
金 在 河 鐵道局參事 京城
府漢江通官舎内
加藤 豪 鐵道局參事 京城
府漢江通一五其局 電龍山一三二
六
藤繁 清 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局 電龍山一七
五九
猪田 直惠 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局 電龍山一〇
六四
川島 安治 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
茂木 重夫 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
吉岡 増三 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
湯澤 茂彌太 鐵道局副參事 京
城府漢江通一七其局 電光化門三七
〇
大原 嘉三 鐵道局副參事 京

城府漢江通一五其局内
永尾 福藏 鐵道局副參事 京
城府漢江通一官舎五 電本局三三
三四
三根 佐平 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
林 靖一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
加來 祐一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
高橋 春雄 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
宮川 寅彦 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
大谷 留五郎 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
若木 元生 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
中田 新平 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
津田 久万 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
永井 保周 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
田中 勝平 鐵道局副參事 京

城府漢江通一五其局内
武内 慎一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
西山 鐵藏 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
笹川 桃太郎 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
宮原 寛算 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
兼行 惠雄 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
飯田 孝一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
笠山 光凱 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
竹内 知一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
三澤 子郎 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
中村 信夫 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
稻角 美穂 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
市毛 健 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内

二宮 又 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
金 教 聖 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
飯塚 律 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
生田 國生 鐵道局副參事 京
城府漢江通一六其局 電龍山一六
九一
金 龍 根 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
松島 松雄 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
奥屋 又一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
中島 貞一 鐵道局副參事 京
城府漢江通一五其局内
小倉 辰造 鐵道局技師 京城
府和泉町鐵道官舎内
寺師 英敏 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
宮原 秀輔 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
三宅 春市 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内

今井 修二 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
菅 肇 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
福西 正雄 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
相原 方吉 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
田中 義一 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
口升 主計 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
小田 彌之亮 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
上野 豊次郎 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
戸田 重治 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
上原 二郎 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
田部 正利 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
島田 昇二 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
杉本 正信 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内

府漢江通一五其局内
時任 義昌 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
土崎 一郎 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
高橋 健三 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
荒木 道俊 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
瀧本 文彌 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
野上 強四郎 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
前田 東水 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
岡田 透平 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
長岡 清一郎 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
西山 重道 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
網谷 力雄 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
古賀 義人 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内

村上 正雄 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
松山 茂樹 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
和田 隆 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
渡邊 武夫 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
藤繩 郁三 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
藤井 徹 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
証谷 正雄 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
小林 庄治 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
横田 諒 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
本郷 鶴藏 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
三島 修藏 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
金 允 基 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内
古屋 改藏 鐵道局技師 京城
府漢江通一五其局内

佐藤 信一 鐵道局技師 清津

工場長 威靈北道清津府鐵道局清津

津工場長官舎

渡 變龍 鐵道醫 京城鐵道

病院長 京城府蓬萊町三ノ七九

電本局四五四九

木村 誠一 鐵道醫 京城鐵道

病院副院長 產婦人科醫長 京城

府大島町八 電龍山一三二〇

郷 熙 惠 鐵道醫 京城鐵道

病院眼科醫長 京城府禮洞六九

佐野梅太郎 鐵道醫 京城鐵道

病院小兒科醫長 京城府榮町七

平田 和夫 鐵道醫 京城鐵道

病院耳鼻喉科醫長 京城府大島

町一ノ一八

小田切 允 鐵道醫 京城鐵道

病院皮膚泌尿科醫長 京城府漢江通

一六鐵道病院內

宮田 實 鐵道醫 京城鐵道

病院 京城府漢江通一六鐵道病院

石原 露 鐵道醫 京城鐵道

病院 京城府漢江通一六鐵道病院

伊東 競 鐵道藥劑師 京城

府漢江通一六鐵道病院內

朝鮮總督府逓信局

京城府光化門通八一

電話光化門五〇一七番

山田 忠次 逓信局長 京城府

大和町三官舎 電本局六五〇

小川 要次 逓信局保險監理課

長 京城府大和町三官舎一〇 電

本局三八三〇

福田 敬之 逓信局監理課長

京城府大和町三官舎五 電本局〇

〇五六

深川 俊夫 逓信局監理課長

京城府太平通一ノ六〇 電本局〇

五〇〇

麻生 憲治 逓信局保健運用課

長京城府大和町三官舎六 電本局

〇五三〇

吉田日出男 逓信局庶務課長

京城府大和町三官舎一三 電本局

〇四五

下城義三郎 逓信局航空課長

京城府大和町三官舎一七 電本局

〇八三五

佐々木 仁 逓信局工務課長

京城府大和町三ノ二八 電本局〇

四五〇

黑田 吉夫 逓信局海事課長

京城府大和町三官舎九 電本局五

五〇〇

西田 重朗 逓信局電氣第一課

長 京城府光化門通八一 逓信局內

田中 重朗 逓信局電氣第二課

長 京城府大和町三官舎一〇 電本

局二〇九

中村 敬太 逓信局逓信官吏養

成所長 京城府大和町三官舎一四

電本局一三五〇

加藤 察平 逓信局海員養成所

長 京城府光化門通八一 逓信局內

富岡 正光 逓信局逓信事務官

京城府大和町三官舎一六 電本局

八〇八〇

須々木貞雄 逓信局逓信事務官

京城府光化門通八一 逓信局內

今井政次郎 逓信局逓信副事務

官 京城府光化門通八一 逓信局內

三浦 一郎 逓信局逓信副事務

官 京城府明倫町四ノ五二 電光

化門二二四四

江口 養夫 逓信局逓信副事務

二

官 京城府旭町一ノ二〇〇 電本

局〇一四八

渡邊 金記 逓信局逓信副事務

官 京城府光化門通八一 逓信局內

長谷川吉之助 逓信局逓信副事

務官 京城府大和町三官舎八 電

本局四八七六

兵庫 隆一 逓信局逓信副事務

官 京城府大和町三官舎

神田 順一 逓信局逓信副事務

官 京城府大和町三官舎一九 電

本局四六五〇

安藤彦太郎 逓信局逓信副事務

官 京城府大和町三ノ七八 電本

局四八二二

三津田松吉 逓信局逓信副事務

官 京城府大和町一官舎 電本局

〇一九四

宮本 末松 逓信局逓信副事務

官 京城府竹添町一官舎一三 電

光化門三七〇〇

赤木 鈴雄 航空中佐 逓信局

航空官兼京城飛行場長 京城府大

和町三官舎一五 電本局〇〇七一

市川 清實 逓信局航空官 京

城府大和町三ノ六九 電本局六〇

八〇

寺山 進一 逓信局逓信技師

京城府大和町三官舎一 電本局

〇四一七

得能 正憲 逓信局逓信技師兼

地方海員審判所理事官 京城府大

和町一官舎 電本局五五七七

坂井 洋一 逓信局逓信技師

京城府大和町三ノ二六 電本局一

六四八

安藤 途 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

大泉 製明 逓信局逓信技師

京城府大和町一官舎 電本局〇〇

四九

村林 堪作 逓信局逓信技師

京城府大和町一官舎四 電本局三

五九〇

神谷 憲行 逓信局逓信技師兼

地方海員審判官 京城府大和町一

官舎七 電本局四八八三

平尾 一郎 逓信局逓信技師

京城府大和町一官舎四 電本局五

中村長一郎 逓信局逓信技師

西島 祥六 逓信局逓信技師

京城府大和町三ノ四四 電本局二

二二八

高橋洋次郎 逓信局逓信技師

京城府宮井町五五 電光化門一六

一八

七二

油井 義郎 逓信局逓信技師

京城府榮町一 電龍山一四二四

田邊 光雄 逓信局逓信技師

京城府林町二二 電本局〇九〇八

李 宗 日 逓信局逓信技師

京城府嘉會町一一 電光化門一〇

七三

齋藤 隆一 逓信局逓信技師

京城府新橋町一 電光化門三三四

大塚 一馬 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

山田 清 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

木村 三郎 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

奧田 正男 逓信局逓信技師

京城府大和町三官舎三三 電本局

七八〇八

東 忠夫 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

當林 武男 逓信局逓信技師

京城府光化門通八一 逓信局內

吉村 藏

逓信局保健技師

京城府孝徳町一九 電光化門二六

一〇

伊藤 祐 逓信局保健技師

京城府光化門通八一 逓信局內

金 重 華 逓信局保健技師

京城府東崇町二〇一 電光化門二

六〇〇

豐田 吟夫 逓信局保健技師

京城府光化門通八一 逓信局內

古河 致人 逓信局保健技師

京城府光化門通八一 逓信局內

石黒 悌吉 逓信局技師 逓信

局仁川海軍出張所長 京城道仁川

府逓信局仁川海軍出張所內

松尾太平衛 逓信局技師 逓信

局釜山海軍出張所長 慶尙南道釜

山府釜山海軍出張所內

松本 一守 逓信局技師 逓信

局新義州海軍出張所長 平安北道

新義州府新義州海軍出張所內

德永 元之 逓信局技師 逓信

局元山海事出張所長 威靈南道元

山府元山海事出張所內

竹末 靖彦 逓信局技師 逓信

局大浦海軍出張所長 全羅南道木

二

免

浦府本浦海事出張所内
小川 好一 選信副事務官 選
信局長兼京城貯蓄管理所長 京城府光
化門通入一同所内
末永 虎熊 選信副事務官 選
信局長兼山貯蓄管理所長 慶尚南道
釜山府釜山貯蓄管理所内
熊田 稻 選信副事務官 選
信局長兼貯蓄管理所長 平安南道
平壤府平壤貯蓄管理所内
濱名 増雄 選信局長兼官 新
義州飛行所長 平安北道新義州府
旭町 電新義州一五〇
森 榮吉 選信局長兼官 大
邱飛行場長 慶尚北道大邱府飛行
場内
宮原猪一郎 選信局長兼京城選信分
署局長兼京城郵便局長 京城府南
山町一官舎 電本局〇〇〇三
吉村 元一 選信事務官 選信
局長兼京城選信分署局長兼監督課長
京城府本町同局内
津 久康 選信局長兼官 選信
局長兼選信分署局長 京城府本町同
局内
金子 研彌 選信局長兼官 選信

局京城選信分署局長 京城府本町同
局内
山口 政一 選信局長仁川郵便局
長 京畿道仁川府仁川郵便局長官
舎
中島 謙治 選信局長兼京畿鐵道郵
便局長 京城府大和町一官舎 電
本局〇二四八
水元 重文 選信局長兼官 選信
局長兼中央電話局長 京城府大和
町一官舎三 電本局〇〇〇八
吉本 一男 選信局長兼官 選信
局長兼中央電話局長 京城府大和
町一官舎二 電本局一八九
〇〇
岡 文一 選信局長兼官 選信
局長兼山選信分署局長 釜山郵便
局長 慶尚南道釜山府同局長官舎
中村 常治 選信局長兼官 選
信局長兼山選信分署局長兼監督課長 慶
尚南道釜山府釜山選信分署局内
北條 春義 選信局長兼官 選
信局長兼山選信分署局長兼監督課長
慶尚南道釜山府釜山選信分署局内
吉永 信良 選信局長兼官 選信
局長兼山選信分署局長兼工課課長 慶尚

南道釜山府釜山選信分署局内
小林 柚夫 選信局長兼官 選信
局長兼山選信分署局長 慶尚南道釜山
府釜山選信分署局内
桐山 政勝 選信局長兼官 選
信局長兼大邱郵便局長 慶尚北道大邱
府大邱郵便局長官舎
只松 鐵雄 選信局長兼官 選
信局長兼木浦郵便局長 全羅南道木浦
府木浦郵便局長官舎
綿野 秀雄 選信局長兼官 選
信局長兼元山選信分署局長兼元山郵便
局長 咸鏡南道元山府元山同局長
官舎
須貝 政光 選信局長兼官 選
信局長兼元山選信分署局長兼監督課長 咸
鏡南道元山府元山選信分署局内
田崎 勇造 選信局長兼官 選
信局長兼元山選信分署局長兼監督課長
咸鏡南道元山府元山選信分局内
山本 久富 選信局長兼官 選
信局長兼元山選信分署局長兼監督課長
咸鏡南道元山府元山選信分局内
中島 貞雄 選信局長兼官 選
信局長兼咸興郵便局長 咸鏡南道咸興
府咸興郵便局長官舎

崎山 信 選信局長兼官 選
信局長兼清津郵便局長兼清津選信工務
分署局長 咸鏡北道清津府清津同
局長官舎
見野 穂藏 選信局長兼官 選
信局長兼平壤選信分署局長兼平壤郵便
局長 平安南道平壤府選信分署局
長官舎
篠澤 武夫 選信局長兼官 選
信局長兼平壤選信分署局長兼監督課長
平安南道平壤府平壤分署局内
衛藤 克巳 選信局長兼官 選
信局長兼平壤選信分署局長兼監督課長 平
安南道平壤府平壤選信分署局内
熊田 稻 選信局長兼官 選
信局長兼平壤選信分署局長 平安南道平
壤府平壤選信分署局内
足立 賦 選信局長兼官 選
信局長兼平壤選信分署局長兼監督課長 平安南
道平壤府平壤選信分署局内
浦 登 選信局長兼官 選
信局長兼新義州郵便局長 平安北道新
義州府新義州郵便局長官舎
大槻 眞 選信局長兼官 選
信局長兼清津選信工務分署局長兼監督課長 咸
鏡北道清津府清津工務分署局内

朝鮮總督府專賣局

京城府永業町一
電話本局四一七一—一五番
松澤 龍雄 局長 京城府旭町
官舎二一 電本局〇八六八
一松 藤平 專賣局事務官 選
信局長 京城府永業町朝鮮總督府
專賣局氣付
堂本 敏雄 專賣局事務官 製
造課長 京城府光化門通官舎二七
電光化門二〇〇
楢原 一弘 專賣局事務官 事
業課長 京城府西大門町一官舎
三五 電一八二二
木下麟太郎 專賣局事務官 庶
務課長 京城府西大門町一官舎三
六 電光化門三三九八
田中桂太郎 專賣局事務官 經
理課長 京城府西大門町一官舎
電光化門八二二二
吉田 眞次 專賣局副事務官
京城府西大門町一官舎三七 電光
化門八二七
内海留三郎 專賣局副事務官
京城府西大門町一官舎七 電光化

門八六五
藤本 貞之 專賣局副事務官
京城府西大門町一官舎六三 電光
化門一〇二二
韓 正 甲 專賣局副事務官
京城府永業町朝鮮總督府專賣局氣
付
岡 正直 專賣局副事務官
京城府西大門町一官舎四八 電光
化門一〇〇六
川村勘 郎 專賣局副事務官
京城府西大門町一官舎五七 電光
化門四〇七五
武田 武平 專賣局副事務官
京城府永業町朝鮮總督府專賣局氣
付
浦瀨 勝一 專賣局副事務官
京城府永業町朝鮮總督府專賣局氣
付
成田 豊勝 專賣局技師 京城
府永業町朝鮮總督府專賣局氣付
瀨波 光雄 專賣局技師 京城
府西大門町一官舎 電光化門九九
七
藤田 壽一 專賣局技師 京城
府西大門町一官舎五 電光化門一

〇〇七
佐藤 與市 專賣局技師 京城
府西大門町一官舎三七 電光化門
二四七〇
林 玉 也 專賣局技師 京城
府西大門町一官舎五一 電光化門
一〇〇九
山内 耕助 專賣局技師 京城
府永業町朝鮮總督府專賣局氣付
福島 正男 專賣局技師 京城
府永業町朝鮮總督府專賣局氣付
守屋 秋助 專賣局技師 京城
府永業町朝鮮總督府專賣局氣付
立川 吳郎 專賣局技師 京城
府永業町朝鮮總督府專賣局氣付
幡鎌芳三郎 專賣局技師 專賣
局長兼支所長 京城府西大門町二
官舎三五 電光化門三三九六
川本 義雄 專賣局技師 專賣
局長兼支所長 京畿道富川郡素砂
面同支所内
羽島 久雄 專賣局技師 專賣
局長兼支所 京畿道富川郡素砂面
同支所内
田野中吉藏 專賣局副事務官
專賣局開城出張所長 開城府同出

張所内
鈴木 球雄 專賣局技師 專賣
局長兼開城出張所長 平安南道龍岡
郡金谷面同出張所内
柳田 万吉 專賣局技師 專賣
局長兼南出出張所長 平安北道龍川郡
外上面同出張所内
京城地方專賣局
京城府仁義町一一二
電話光化門二二〇—五番
佐々木高治 專賣局事務官 京
城地方專賣局長 京城府仁義町京
城地方專賣局内
茂木 四郎 專賣局副事務官
京城地方專賣局庶務課長 京城府
東崇町官舎一〇 電光化門三八三
七
正村 英吉 專賣局副事務官
京城地方專賣局販賣課長 京城府
仁義町京城地方專賣局内
橋本 廣 專賣局技師 京城
地方專賣局製造課長 京城府南
町官舎一 電光化門九九六
伊澤作之助 專賣局京城地方專
賣局 京城府西大門町一官舎 電

全州地方專賣局

全羅北道全州府

景山 宜景 專賣局事務官 全州地方專賣局長 全羅南道全州府

地方專賣局內

岩下 斌 專賣局副事務官 全州地方專賣局販賣課長 全羅南道全州府地方專賣局內

鹽谷 松一 專賣局副事務官 全州地方專賣局庶務課長 全羅南道全州府地方專賣局內

宮崎 開吉 專賣局技師 全州地方專賣局製造課長 全羅南道全州府地方專賣局內

立石 貞助 專賣局技師 全州地方專賣局收納課長 全羅南道全州府地方專賣局內

大邱地方專賣局 慶尙北道大邱府

岩城彌太郎 專賣局事務官 大邱地方專賣局長 慶尙北道大邱府地方專賣局內

松井 二郎 專賣局副事務官

大邱地方專賣局販賣課長 慶尙北道大邱府地方專賣局內

澤 正治 專賣局技師 大邱地方專賣局收納課長 慶尙北道大邱府地方專賣局內

岩崎 弘次 專賣局技師 大邱地方專賣局製造課長 慶尙北道大邱府地方專賣局內

內田理一郎 專賣局技師 大邱地方專賣局 慶尙北道大邱府地方專賣局內

物江 弘一 專賣醫 大邱地方專賣局 慶尙北道大邱府地方專賣局內

平壤地方專賣局 平安南道平壤府

小田島嘉吉 專賣局事務官 平壤地方專賣局長 平安南道平壤府地方專賣局內

松下 谷三 專賣局事務官 平壤地方專賣局庶務課長 平安南道平壤府地方專賣局內

浦瀨 勝一 專賣局事務官 平壤地方專賣局販賣課長 平安南道平壤府地方專賣局內

桑田 誠之 專賣局技師 平壤地方專賣局收納課長 平安南道平壤府地方專賣局內

原田 晋作 專賣局技師 平壤地方專賣局製造課長 平安南道平壤府地方專賣局內

朝鮮總督府各稅關

仁川稅關 仁川府港町

武田鍊太郎 稅關長 京畿道仁川府港町仁川稅關內

坂井 松雄 監査官 檢查課長 京畿道仁川府港町仁川稅關內

三島 正夫 關稅官 京畿道仁川府港町仁川稅關內

古田 高輝 關稅官 京城支署 京城府蓬萊町二同署內

釜山稅關

釜山府大倉町四丁目

山村 正輔 稅關長 慶尙南道釜山府大倉町四丁目釜山稅關內

田崎 隆 監査官 檢查課長 慶尙南道釜山府大倉町四丁目釜山稅關內

稅關內 山本金太郎 專賣局技師 釜山稅關 慶尙南道釜山府大倉町四丁目釜山稅關內

新義州稅關 新義州鴨川町

池 清 稅關長 平安北道新義州鴨川町新義州稅關內

飯田 直貫 關稅官 稅務課長 平安北道新義州鴨川町新義州稅關內

渡邊 德治 監査官 檢查課長 平安北道新義州鴨川町新義州稅關內

羅津稅關 咸鏡北道羅津府

坂本 官藏 稅關長 咸鏡北道羅津府羅津稅關內

佐藤純二郎 關稅官 庶務課長 兼課長 咸鏡北道羅津府羅津稅關內

西尾 巽 監査官 檢查課長 咸鏡北道羅津府羅津稅關內

中村 時雄 關稅官 元山支署

長 咸鏡南道元山府元山稅關支署

竹村喜久司 關稅官 清津支署

梅澤 成一 關稅官 雄基支署

長 咸鏡北道慶興郡雄基支署

朝鮮總督府稅務官署

京城稅務監督局

京城府太平通一ノ一八

電話本局五一七二一六番

藤本 修三 局長 京城府西大門町一ノ一 電光化門一五二〇

高橋 英夫 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

鈴木沙奈夫 事務官 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

津田宗太郎 副事務官 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

佐々木 東 技師 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

督局鑑定課長 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

四一 電龍山二一〇

高久 榮 司稅官 京城府西大門町一ノ一 電光化門一五二〇

佐野 賀一 司稅官 京城府西大門町一ノ一 電光化門一七六〇

平石 謙吉 司稅官 仁川稅務署

洪 允 南 司稅官 開城稅務署

朴 登 均 司稅官 清州稅務署

池田袈裟六 司稅官 太田稅務署

李 萬 植 司稅官 春川稅務署

吳 鐘 洙 司稅官 江景稅務署

平壤稅務監督局 平安南道平壤府

阿部明治太郎 局長 平安南道平壤府平壤稅務監督局長官舎

馬場 政義 事務官 平壤稅務監督局長兼經理部長 平安南道平壤府平壤稅務監督局長官舎

增子 善重 司稅官 平壤稅務署

佐藤 弘 司稅官 新義州稅務署

古川 建六 司稅官 鎮南浦稅務署

河津 亨 司稅官 海州稅務署

林 常吉 司稅官 沙里院稅務署

吉岡 三浦 局長 咸鏡南道咸興府咸興稅務監督局長官舎

田中 清次 事務官 咸興府咸興府咸興稅務監督局長官舎

咸興稅務監督局 咸興府日出町

高平 峻 事務官 咸興稅務監督局長兼經理部長 咸鏡南道咸鏡府咸興稅務監督局長官舎

磯貝金一郎 司稅官 咸興稅務署

石井 正 司稅官 元山稅務署

橋本 勝 司稅官 清津稅務署

藤田清五郎 司稅官 雄基稅務署

大邱稅務監督局 慶尙北道大邱府

兵頭 備 局長 慶尙北道大邱府大邱稅務監督局長官舎

張 潤 植 事務官 大邱稅務監督局長官舎

尾崎 文夫 事務官 大邱稅務監督局長官舎

大邱稅務監督局長官舎

院檢事局元山檢事分局在勤 威鏡
南道元山府城洞威鏡地方法院檢事
局元山檢事分局內
檀崎 喜作 判事 威鏡地方
院江陵支廳 江原道江陵郡江陵面
龍岡町威鏡地方法院江陵支廳內
藤川 雅敏 檢事 威鏡地方
院檢事局江陵檢事局在勤 江原道
江陵郡江陵面龍岡町威鏡地方法院
檢事局江陵檢事局內
田中 英寬 判事 威鏡地方
院惠山支廳在勤 威鏡南道甲山郡
惠山邑威鏡地方法院惠山支廳
內田 義隆 檢事 威鏡地方
院檢事局惠山檢事分局在勤 威鏡
南道甲山郡惠山邑威鏡地方法院檢
事局惠山檢事分局內

清津地方法院

清津府巴町
堀部 廣 判事 法院院長 威鏡
北道清津府巴町清津地方法院內
津田 猛哉 判事部長 威鏡北
道清津府巴町清津地方法院內
鹽田宇三郎 判事 威鏡北道清
津府巴町清津地方法院內

立澤 貞義 判事 威鏡北道清
津府巴町清津地方法院內
水原 鶴人 判事 威鏡北道清
津府巴町清津地方法院內
——檢事局——
岩城義三郎 檢事正 威鏡北道
清津府巴町清津地方法院檢事局內
相良 春雄 檢事 威鏡北道清
津府巴町清津地方法院檢事局內
田上 輝彦 檢事 威鏡北道清
津府巴町清津地方法院檢事局內
高橋 正重 判事 清津地方法
院會黨支廳在勤 威鏡北道會黨郡
會黨邑三洞清津地方法院會黨支
廳內
三浦 節三 檢事 清津地方法
院檢事局會黨檢事分局在勤 威鏡
北道會黨郡會黨邑三洞清津地方法
院檢事局會黨檢事分局內
門川 判事 清津地方法
院會黨支廳在勤 威鏡北道會黨郡
會黨邑三洞清津地方法院會黨支
廳內
寺田 克巳 檢事 清津地方法
院檢事局會黨檢事分局在勤 威鏡
北道會黨郡會黨邑三洞清津地方法

法院檢事局雄基檢事分局內
松田 傳治 檢事 清津地方法
院城津支廳在勤 威鏡北道城津郡
城津邑清津地方法院城津支廳內
前田多智馬 檢事 清津地方法
院檢事局城津檢事分局在勤 威鏡
北道城津郡城津邑清津地方法院檢
事局城津檢事分局內

平壤覆審法院

平壤府南町
野村調太郎 判事 法院院長 平壤
府南町法院官舎
御園生忠男 判事部長 京城府
西小門町官舎 三電光化門九二八
津村 浩司 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內
秋田章三郎 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內
田中 壽夫 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內
辻 宇一 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內
李 忠 榮 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內
山本 嘉盛 判事 平安南道平
壤府南町平壤覆審院內

平壤地方法院

平壤府南町
原田 等 判事 法院院長 平安
南道平壤府南町平壤地方法院內
佐々木日出男 判事部長 平安
南道平壤府南町平壤地方法院內
高 幸悅郎 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
三好 昇 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內

法廷定州法院在勤 平安南道定州
郡定州邑新義州地方法院定州法院
內
松岡 益人 檢事 新義州地方
法院檢事局定州檢事分局在勤 平
安北道定州郡定州邑新義州地方法
院檢事局定州法院檢事分局內
有仁 政行 判事 新義州地方
法院邊支廳在勤 平安北道邊支
廳邊面新義州地方法院邊支廳
內
松原 新一 檢事 新義州地方
法院檢事局邊支廳檢事分局在勤 平
安北道邊支廳邊面新義州地方法
院檢事局邊支廳檢事分局內
岩山德兵衛 判事 新義州地方
法院江界支廳在勤 平安北道江界
郡江界面新義州地方法院江界支廳
內

平壤府南町平壤地方法院內
大塚久一郎 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
筒井 英昌 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
松野 祥一 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
館野 清 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
金宮 允 判事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院內
——檢事局——
千綿 榮六 檢事正 平安南道
平壤府南町平壤地方法院檢事局內
森 寅吉 檢事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院檢事局內
金 一 龍 檢事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院檢事局內
小磯 省吾 檢事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院檢事局內
林 良明 檢事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院檢事局內
黑河 衛 檢事 平安南道平
壤府南町平壤地方法院檢事局內
大西三津治 判事 平壤地方法

院嶺南浦支廳在勤 平安南道嶺南
浦龍井町平壤地方法院嶺南浦支廳
內
井上 義明 檢事 平壤地方法
院檢事局嶺南浦檢事分局在勤 平
安南道嶺南浦龍井町平壤地方法
院檢事局嶺南浦檢事分局內
依田 六郎 判事 平壤地方法
院安州支廳在勤 平安南道安州郡
安州邑平壤地方法院安州支廳內
久保田順市郎 檢事 平壤地方
法院檢事局安州檢事分局在勤 平
安南道安州郡安州邑平壤地方法
院檢事局安州檢事分局內
甲斐 渡 判事 平壤地方法
院德川支廳在勤 平安南道德川郡
德川面平壤地方法院德川支廳內

新義州地方法院

新義州府榮町三丁目
小松 博美 判事 法院院長 平安
北道新義州府榮町新義州地方法院
內
渡邊 鶴衛 判事部長 平安北
道新義州府榮町新義州地方法院內
中川 宗孝 判事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院內
徐 廷 國 判事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院內
幸田 輝治 判事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院內
藤田 馨 判事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院內
飯島幾太郎 判事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院內
——檢事局——
下村三四郎 檢事正 平安北道
新義州府榮町新義州地方法院檢事
局內
長崎 祐三 檢事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院檢事局
內
岩佐 百千 檢事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院檢事局
內
石倉彌太郎 檢事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院檢事局
內
奧田 繁 檢事 平安北道新
義州府榮町新義州地方法院檢事局
內
山中 忠太 判事 新義州地方

大場正次郎 檢事 新義州地方
法院檢事局江界檢事分局在勤 平
安北道江界郡江界面新義州地方法
院檢事局江界檢事分局內
小野澤龍雄 判事 新義州地方
法院楚山支廳在勤 平安北道楚山
郡楚山面新義州地方法院楚山支廳
內

橋田 政雄 檢察 新義州地方
法院檢察局楚山檢察分局在勤 平
安北道楚山郡楚山而新義州地方
院檢察局楚山檢察分局內

海州地方法院

黃海道海州郡海州區

山根 吉三 判事 法院院長西黃海
道海州郡海州區海州地方法院內
廣川 莊 郎 判事部長 黃海道
海州郡海州區海州地方法院內
柴田 五郎 判事 黃海道海州
郡海州區海州地方法院內

檢事局

五井 節藏 檢察正 黃海道海
州郡海州區海州地方法院檢察局內
齋藤 五郎 檢察 黃海道海州
郡海州區海州地方法院檢察局內
名嘉 眞武 判事 海州地方法
院瑞興支廳在勤 黃海道瑞興郡瑞
興面海州地方法院瑞興支廳內
木原津與志 檢察 海州地方法
院檢察局瑞興檢察分局在勤 黃海
道瑞興郡瑞興面海州地方法院檢察
局瑞興檢察分局內

北條新次郎 判事 海州地方法
院沙里院支廳在勤 黃海道鳳山郡
沙里院宮海州地方法院沙里院支廳
內

邪 德 基 判事 海州地方法
院沙里院支廳在勤 黃海道鳳山郡
沙里院宮海州地方法院支廳內

平石 林 檢察 海州地方法
院檢察局沙里院檢察分局在勤 黃
海道鳳山郡沙里院宮海州地方法院
檢察局沙里院檢察分局

雲 林 保 判事 海州地方法
院松木支廳在勤 黃海道松木面海
州地方法院松木支廳內

大邱覆審法院

大邱府南龍岡町

森田 秀治 判事 法院院長 慶尙
北道大邱府南龍岡町大邱覆審法院
內 電三、〇一〇
米田 太市 判事部長 慶尙北
道大邱府南龍岡町大邱覆審法院內
電三、〇一〇
江藤 逸夫 判事部長 慶尙北
道大邱府南龍岡町大邱覆審法院內

宮元 庄藏 判事部長 慶尙北
道大邱府南龍岡町大邱覆審法院內

吳 完 洙 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

渡邊 誠美 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內 電

金 詠 漁 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

塚本富士男 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

黑川 和直 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

稗田 秀雄 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

高木 滿 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

下在 成 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

二六〇

邱府南龍岡町大邱覆審法院內

增田 一二一 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

有吉 正躬 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

二宮 丘一 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

片山宗三郎 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院內

河村 靜水 檢察長 慶尙北道
大邱府南龍岡町大邱覆審法院檢察
局內

酒見 綴次 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院檢察局
內

靜永 無策 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱覆審法院檢察局
內

佐原 英生 書記長 慶尙北道
大邱府南龍岡町大邱覆審法院檢察
局內

局內

大邱地方法院

大邱府南龍岡町

鏡 一 以 判事 法院院長 慶尙
北道大邱府南龍岡町大邱地方法院
內
安田 重雄 判事部長 慶尙北
道大邱府南龍岡町大邱地方法院內
趙 鎮 滿 判事部長 慶尙北
道大邱府南龍岡町大邱地方法院內
鹽見 平藏 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
稻光 一夫 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
橋本 深 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
降 矢 良 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
軸原 壽雄 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
西村 文次 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
平岡 省平 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內

局內

野村常次郎 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內
安東 勝 判事 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院內

福田甚二郎 檢察正 慶尙北道
大邱府南龍岡町大邱地方法院檢察
局內

閔 丙 晨 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院檢察局
內

大町和佐吉 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院檢察局
內

辻内 良隆 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院檢察局
內

坪谷 雄平 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院檢察局
內

竹内 至 檢察 慶尙北道大
邱府南龍岡町大邱地方法院檢察局
內

此經 春隆 判事 大邱地方法
院釜泉支廳在勤 慶尙北道大邱地
方法院檢察局釜泉檢察分局內

局內

西村實太郎 檢察 大邱地方法
院檢察局釜泉檢察分局在勤 慶尙
北道大邱地方法院檢察局釜泉檢察
分局內

鈴木 義衛 判事 大邱地方法
院向州支廳在勤 慶尙北道向州郡
向州區大邱地方法院向州支廳內

洪 仁 錫 判事 大邱地方法
院向州支廳在勤 慶尙北道向州郡
向州區大邱地方法院向州支廳內

花岡 學 檢察 大邱地方法
院檢察局向州檢察分局在勤 慶尙
北道大邱地方法院檢察局向州檢察
分局內

河合 初彌 判事 大邱地方法
院安東支廳在勤 慶尙北道安東郡
安東區大邱地方法院安東支廳內

李 守 鉉 判事 大邱地方法
院安東支廳在勤 慶尙北道安東郡
安東區大邱地方法院安東支廳內

服部 良 檢察 大邱地方法
院檢察局安東檢察分局在勤 慶尙
北道安東郡安東區大邱地方法院檢
察局安東檢察分局內

木崎 末藏 判事 大邱地方法
院慶州支廳在勤 慶尙北道慶州郡

慶州區大邱地方法院慶州支廳內

陳 泰 龜 判事 大邱地方法
院慶州支廳在勤 慶尙北道慶州郡
慶州區大邱地方法院慶州支廳內

米倉 榮一 檢察 大邱地方法
院檢察局慶州檢察分局在勤 慶尙
北道慶州郡慶州區大邱地方法院檢
察局慶州檢察分局內

青木 順一 判事 大邱地方法
院盈德支廳在勤 慶尙北道盈德郡
盈德區石洞大邱地方法院盈德支
廳內

上田 實 檢察 大邱地方法
院檢察局盈德檢察分局在勤 慶尙
北道盈德郡盈德區石洞大邱地方法
院盈德檢察分局內

釜山地方法院

釜山府官民町

本多 公男 判事 法院院長 慶尙
南道釜山府南宮民町釜山地方法院
內
福浦喜代治 判事部長 慶尙南
道釜山府南宮民町釜山地方法院內
赤司 友輔 判事 慶尙南道釜

二六一

井邑全州地方法院井邑支廳內

臺灣總督府

文武町臺灣總督府內

西村 高兄

大越 隆三

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

（東京出張所） 臺北市文武町
電話座一〇六〇番四二五七番
四二五八番七二七〇番

西村 高兄 總督官房企畫部長
臺北市文武町臺灣總督府官房企畫部
內

中村 寬

森田 俊介

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

小川 清造 總督 臺北市文武
町三丁目官舎 電話北八

中村 寬 總督秘書官 臺北
市文武町三丁目總督官邸內 電
北四〇六三

立川 義男

文教局社會課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

齋藤 樹 總務長官 臺北市
文武町二丁目官舎 電話北七

清水 七郎 總督秘書官兼官房
文書課長 臺北市文武町二丁目
一 電話北八〇一

加藤 春城

文教局編修課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

石井 龍猪 內務局長 臺北市
文武町二丁目官舎 電話北七〇

須田 一二三 總督官房人事課長
兼審議室事務官 臺北市千歲町二
丁目官舎 電話北一五八六

高橋 衛

財務局主計課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

梁井 淳二 文政局長 臺北市
千歲町二ノ三八官舎 電話北三六
〇八

安達 左京 總督官房會計課長
臺北市文武町臺灣總督府官房內

中平 昌

財務局稅務課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

中嶋 一郎 財務局長 臺北市
文武町官舎 電話北一四

大倉 三郎 總督官房警備課長
臺北市大正町二丁目官舎 電話北
一八八〇

鹽見 俊二

財務局金融課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

荒木 義夫 警務局長 臺北市
南町丁目官舎 電話北八〇

豐澤 勇治 內務局地理課長
臺北市文武町臺灣總督府內務局地
理課內

玉手 亮一

殖産局特産課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

南町丁目官舎 電話北八〇

西村 德一 內務局土木課長
臺北市兒生町四ノ二 電話北一五

佐々木金太郎

殖産局農務課長

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

中村八十一 法務局長 臺北市
文武町臺灣總督府內

岸田 實 總督官房審議室事
務官兼殖産局商工課事務官 臺北
市文武町臺灣總督府總督官房內

八坂志賀助

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

河合與市郎 總督官房審議室理
事官 臺北市文武町臺灣總督府總
督官房內

草間市太郎

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

松岡 一衛 殖産局長 臺北市
南町丁目官舎 電話北二一〇

齋藤 茂 總督官房企畫部事
務官 臺北市文武町臺灣總督府總
督官房內

安田 勇吉

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

山本 眞平 米穀局長 臺北市
文武町臺灣總督府內

小澤 太郎 總督官房企畫部事
務官 臺北市文武町臺灣總督府總
督官房內

神谷厚次郎

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

文武町臺灣總督府內

河多野靜夫 總督官房企畫部事
務官兼交通局副參事 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

中谷富美夫

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

佐野 治夫 總督官房企畫部事
務官兼專賣局副參事 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

大野 庫二

總督官房警備課技
師

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

院井邑支廳在勤 全羅北道井邑郡

千葉 泰一 外事部長 臺北市
文武町臺灣總督府內

大塚 正 總督官房事務官兼
外事部第一課事務官 臺北市文武
町臺灣總督府總督官房內

坂口 主稅

內務局地方課事務
官

局內

佐藤 武 內務局地方課理事

官 臺北市文武町臺灣總督府內務局內

成岡 喜壽 內務局土木課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府內務局內

熊谷 芳彦 內務局土木課土木

事務官 臺北市文武町臺灣總督府內務局內

八田 與一 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

荒木 安宅 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

濱田 正彦 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

白木原民治 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

森 志計理 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

早川 透 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

松下 寬 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

中村 綱 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

水尻倉太郎 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

川上鎌太郎 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

平澤龜一郎 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

青柳 晴一 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

牧野 八郎 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

出口 一重 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

宮池 末彦 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

向井 治吉 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

小林 敏夫 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

芝田 三男 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

鹽 隆義 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

佐々木泰三 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

上出 貞一 內務局土木課技師

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

臺北市文武町臺灣總督府內務局內

大山 綱隆 文教局學務課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

大田 利雄 文教局社會課教育

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

下川 履信 文教局視學官

臺北市文武町臺灣總督府文教局內

石井 權三 文教局視學官

臺北市文武町臺灣總督府文教局內

林 猪太郎 文教局視學官

臺北市文武町臺灣總督府文教局內

小川 義明 文教局視學官

臺北市文武町臺灣總督府文教局內

伊藤三男作 文教局編修課編修

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

中美 春治 文教局編修課編修

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

丸山 茂登 文教局體育官

臺北市文武町臺灣總督府文教局內

中西 旭 文教局國民精神研

修所指導官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

二六

武知 幸文 文教局總務課庶務

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

竹中 久雄 文教局總務課庶務

官 臺北市文武町臺灣總督府文教局內

林 吉一 財務局主計課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

天岩 旭 財務局主計課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

南出 隆 財務局主計課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

大田 修吉 財務局稅務課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

土居 五男 財務局稅務課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

林 益謙 財務局金庫課事務

官 臺北市文武町臺灣總督府財務局內

高橋 四郎 財務局稅務官

臺北市文武町臺灣總督府財務局內

松原翁之助 財務局理事官

臺北市文武町臺灣總督府財務局內

檜崎 重威 殖產局庶務課理事

官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內

川添 修平 殖產局特產課事務

臺北市文武町臺灣總督府殖產局內

官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
高橋 尚秀 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
豐岡 茂雲 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
狩野 正好 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
山分 一郎 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
山口 一夫 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
玉眞 鎮夫 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
武町總督府殖產局內
數山 英一 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
岸田 實 總督官房欄參照
直江丙午郎 殖產局農務課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
花澤 亮一 殖產局物價調整事務
官 臺北市文武町臺灣總督府殖產局內
黑澤平八郎 殖產局物價調整課
事務官 臺北市文武町臺灣總督府殖產
局內
田中 國一 殖產局事務官 臺

北市文武町臺灣總督府殖產局內
高澤 壽 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
高橋 春吉 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
鈴木進一郎 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
入鹿山成梅 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
中塚 佑一 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
齋藤 齋 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
大江 二郎 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
梶 豐 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
加藤 晴治 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
石崎 正義 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
藤井 隆 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
金村 正巳 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內

松本 政一 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
東海林 稔 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
牧山 鶴彦 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
飯島 巖 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
小笠原美津雄 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
金澤吉次郎 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
伊勢田 實 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
松川 忠吉 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
田代 豐 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
片山 滋 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
佳谷 自省 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
宇佐美 衛 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
武田 義夫 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內

市文武町臺灣總督府殖產局內
平田武次郎 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
木村 正 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
松尾 義秀 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
富岡 文雄 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
梶井 篤 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
富田 四郎 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
松 正宏 殖產局技師 臺北
市文武町臺灣總督府殖產局內
宇坪善太郎 殖產局技師 度重
衡所勤務 臺北市文武町臺灣總督府殖
產局內
三坂 和英 殖產局技師 植物
檢查所勤務 臺北市文武町臺灣總督
府殖產局殖產物檢查所內
吉良 義文 殖產局技師 大南
庄庶務養成所長 養後里庄庶務養成
所長 養東部庶務養成所長
臺中州東勢郡新社庄殖產局大南庄
庶務養成所

臺中州豐原郡內埔庄殖產局後里庄
鹿苗養成所內
花蓮港鳳林支廳林田村殖產局東
部鹿苗養成所內
高野 秀三 殖產局技師 大南
庄鹿苗養成所技師兼鹿業試驗所技
師
臺中州東勢郡新社庄殖產局大南庄
鹿苗養成所內
臺中州豐原郡內埔庄殖產局後里庄
鹿苗養成所
桐生 次郎 殖產局技師 大南
庄鹿苗養成所技師兼鹿業試驗所技
師
臺中州東勢郡新社庄殖產局大南庄
鹿苗養成所內
鹿原 通好 殖產局技師 萬丹
鳳梨苗養成所大樹鳳梨苗養成所
兼農產物產檢査所長
高麗州東港郡萬丹庄殖產局萬丹鳳
梨苗養成所內
高麗州鳳山郡大樹庄大樹鳳梨苗
養成所內
鈴木進一郎 殖產局技師 茶業
傳習所茶檢査所兼鹿所長
臺北州新莊郡林口庄殖產局茶業傳
習所內

臺北市港町殖產局茶檢査所內
臺北市宮田町殖產局養成所內
久米井義任 殖產局技師 養成
所臺北市宮田町養成所內
下斗米政行 殖產局技師 肥料
研究所長 臺北市東門町一五八
電臺北三六〇七
大飼 圓碩 殖產局技師 比麻
種子育成所長
小川 薰 殖產局技師 花蓮
港種馬所長
三浦 博亮 殖產局技師 東部
棉作指導所長兼西部棉花指導所長
大飼 圓碩 殖產局技師 東部
棉作指導所
加藤 晴次 殖產局技師 帽子
檢査所兼商品陳列館
中谷 哲三 殖產局技師 水產
試驗場長兼水產講習所長 臺北市
文武町臺灣總督府殖產局水產試驗
所內
關口壽之助 殖產局水產試驗所
技師 臺北市文武町臺灣總督府殖
產局水產試驗所內
安原 良男 殖產局水產試驗所
技師 臺北市文武町臺灣總督府殖

產局水產試驗所內
田中 敏夫 殖產局水產試驗場
高雄支場技師 高雄市哨船町水產
試驗場高雄支場內
小川 享 殖產局天然瓦斯研
究所技師
松井 明夫 殖產局天然瓦斯研
究所技師
絹卷 丞 殖產局天然瓦斯研
究所技師
小倉豐二郎 殖產局天然瓦斯研
究所技師
永井 弘之 殖產局天然瓦斯研
究所技師
大內 一三 殖產局天然瓦斯研
究所技師
川竹 直作 殖產局天然瓦斯研
究所技師
佐々木舜一 殖產局技師 熱帶
特用樹種栽培場事務所長
倉田武比古 殖產局技師 淡水
河森林流水事務所長
西海枝滿壽夫 殖產局技師 湖
水森林流水事務所長
武元 忠男 殖產局技師 曾文
溪森林流水事務所

岡本 登 營林所庶務課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府營林
所內
荻原 英夫 營林所技師 臺北
市文武町臺灣總督府營林所內
三井 四郎 營林所技師 嘉義
出張所長 臺南州嘉義市北門外官
舎 電臺南二一〇
山田彦四郎 營林所技師 羅東
出張所長 臺北州羅東街竹林一〇
〇官舎 電臺北三
宮竹 透 營林所技師 臺中
出張所長 臺中州豐原郡豐原街下
南坑五六九官舎 電臺中一一〇
神原 一喜 營林所技師 新竹
出張所長 新竹州新竹市營林所新
竹出張所內
八張正次郎 米穀局總務課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府米穀
局內
千葉 元江 米穀局米政課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府米穀
局內
高江富二郎 米穀局業務課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府米穀
局內

任本 實 米穀局業務課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府米穀
局內
川口 洋 米穀局理事官 臺
北市文武町臺灣總督府米穀局內
鳥居 武男 米穀局技師 臺北
市文武町臺灣總督府米穀局內
元山 春雄 米穀局技師 臺北
市文武町臺灣總督府米穀局內
財津 亮藏 米穀局技師 臺北
市文武町臺灣總督府米穀局內
安藤 泰夫 米穀局技師 臺北
市文武町臺灣總督府米穀局內
衛 藤 大 米穀局臺中米穀事
務所長 臺中市米穀局臺中米穀事
務所內 電臺中一一二七
平野 茂 米穀局高雄米穀事
務所長 高雄市米穀局高雄米穀事
務所內 電高雄二五五四
岡田 保三 米穀局嘉義米穀事
務所長 嘉義市米穀局嘉義米穀事
務所內 電嘉義八一六
大山 勝 米穀局新竹米穀事
務所長 新竹市米穀局新竹米穀事
務所內 電新竹二二七
大田 政作 警務局警務事務官

臺北市文武町臺灣總督府警務局
內
濱崎 良三 警務課事務官 臺
北市文武町臺灣總督府警務局
菊川 寅雄 警務局警務課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府警務
局
箕山 晴二 警務局經濟警察課
事務官 臺北市文武町臺灣總督府
警務局
松岡 清 警務局保安課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府警務
局
秋本 清 警務局保安課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府警務
局
松田 光治 警務局衛生課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府警務
局
堀 克夫 警務局理番課警視
官 臺北市文武町臺灣總督府警務局
坂田 寅吉 警務局理番課警視
官 臺北市文武町臺灣總督府警務局
横尾 廣輔 警務局視學官 臺
北市文武町臺灣總督府警務局
下條久馬一 警務局技師 臺北

市文武町臺灣總督府警務局
小林 義雄 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
黃 松 官 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
浮野 竹市 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
酒井 菊雄 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
岩城 龜彦 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
山中 覺 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
松木 次郎 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
横井 憲一 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
淺尾 葵 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
津々見仙甫 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
森川 廣吉 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
鎌倉 正雄 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局

河田幸一郎 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
井 範 弘 警務局技師 臺北
市文武町臺灣總督府警務局
種村保三郎 警務局警務官 臺
北市文武町臺灣總督府警務局
酒井 正衛 外事部第二課事務
官 臺北市文武町臺灣總督府外事
部
片寄 軍兒 外事部第二課理事
官 臺北市文武町臺灣總督府外事
部
臺灣總督府交通局
臺北市文武町一丁目臺灣
總督府內
電話臺北一七一八番一七二
一番三七三九番三
八六三番三八六四
番
副見 喬男 交通局總長 臺北
市泉町一丁目官舎 電臺北二〇〇
〇
松本 虎太 交通局長 道路
港局長 臺北市兒玉町三丁目官
舎 電臺北一〇九
小布施 齊 交通局長港局長
二六

副參事 臺北市北門町二二 電臺
北三四八四
天岩 旭 交通部道路港灣課
副參事 臺北市千歲町二丁目一七
電臺北四二二二

北川幸三郎 交通部道路港灣課
技師 臺北市文武町二丁目臺灣總
督府交通局內

篠原 憲 交通部道路港灣課
技師 臺北市文武町二丁目臺灣總
督府交通局內

山田 北雄 交通部道路港灣課
技師 臺北市文武町二丁目臺灣總
督府交通局內

諸岡 明七 交通部道路港灣課
技師 臺北市文武町二丁目臺灣總
督府交通局內

森 元一 交通部道路港灣課
技師 臺北市文武町二丁目臺灣總
督府交通局內

臺灣總督府交通局

臺北市泉町二丁目
電話臺北二〇七番二一〇
八番二〇九番一
二二〇番二二二
番二二二番

石川 定俊 交通部理事 鐵道
部長 臺北市泉町二丁目交通部鐵
道部內

市來 吉至 交通部參事 鐵道
部庶務課長兼交通部總務課長 臺
北市泉町二〇五 電臺北二一〇

辻畑 泰輔 交通部參事 鐵道
部經理課長 臺北市泉町二丁目官
舍 電臺北三八九四

丸岡 道夫 交通部參事 鐵道
部運輸課長 臺北市泉町二丁目官
舍 電臺北五六〇

鶴 爲彦 交通部參事兼鐵道
部自動車課長 臺北市泉町二丁目
交通部鐵道部內

二宮 力 交通部參事兼鐵道
部監督課長 臺北市泉町二丁目交
通局鐵道部內

中村 俊二 交通部鐵道部庶務
課副參事 臺北市泉町二丁目交通
局鐵道部內

木原 四郎 交通部鐵道部庶務
課副參事 臺北市泉町二丁目交通
局鐵道部內

田中儀一郎 交通部鐵道部經理
課副參事 臺北市泉町二丁目交
通局鐵道部內

藏元左兵衛 交通部鐵道部運輸
課副參事 臺北市泉町二丁目交通
局鐵道部內

錦本 一夫 交通部鐵道部運輸
課副參事 臺北市泉町二丁目交通
局鐵道部內

恒吉 傳 交通部鐵道部運輸
課副參事 臺北市泉町二丁目交通
局鐵道部內

改良課副參事 臺北市泉町二丁目
交通部鐵道部內

宇敷 趙夫 交通部鐵道部技師
臺北市泉町二丁目交通部鐵道部內

丸田 登 交通部鐵道部技師
臺北市泉町二丁目交通部鐵道部內

坂本 敏一 交通部鐵道部技師
臺北市泉町二丁目交通部鐵道部內

濱崎 優二 交通部鐵道部技師
臺北市泉町二丁目交通部鐵道部內

神村孝太郎 交通部鐵道部技師
臺北市泉町二丁目交通部鐵道部內

臺灣總督府交通局 運信部

佐々波外七 交通部理事兼運信
部長 臺北市千歲町二丁目官舍
電臺北二一〇〇

富田 嘉明 交通部參事兼運信
部庶務課長 臺北市書院町二丁目
官舍 電臺北三五九五

稻田 穰 交通部參事兼運信
部庶務課長 臺北市書院町二丁目官
舍 電臺北七〇〇

福田 看 交通部參事兼運信
部內

保險兼善貯並課長 臺北市東門
町一三三 電臺北一四七〇
日高 正巳 交通部參事兼運信部
航空課長兼海軍課長 臺北市書院
町二丁目一交通部鐵道部內

大崎 雄次 交通部技師 運信
部工務課長 臺北市東門町一五八
佐々木英一 交通部技師 運信
部電氣課長 臺北市福住町一九
電臺北三七四一

臺北市書院町二丁目一交通部鐵信
部內
寺畑松太郎 交通部運信部技師
臺北市書院町二丁目一交通部鐵信
部內

上田 一郎 交通部運信部技師
臺北市書院町二丁目一交通部鐵信
部內

軍大尉 臺北市書院町二丁目一交
通局運信部內
濱田 藏治 交通部副參事 運
信部臺北郵便局長 臺北市佐久間
町三ノ一 電臺北一〇〇〇

野村 鎮 交通部副參事 運
信部臺北電話局長 臺北市京町四
丁目八番地運信部臺北電話局內

北市文武町二丁目臺灣總督府交通
局內
土谷 精二 交通部副參事 臺
北市文武町二丁目臺灣總督府交通
局內

長谷川 榮 交通部副參事 臺
北市文武町二丁目臺灣總督府交通
局內

院檢察局內
跡部 慎藏 高等法院檢察局書記官主事 臺北市書院町三丁目高等法院檢察局內

臺灣總督府

臺北地方法院

臺北市書院町三丁目
電話臺北五六四番

池內 善雄 臺北地方法院判官
兼法院長 臺北市文武町六丁目官舍 電話臺北二六〇
波多野行藏 臺北地方法院判官
兼台議部長 臺北市書院町三丁目官舍 電話臺北四一五六
豐川 博雄 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內
宮原 增博 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內
竹內 吉平 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內
小山內 續 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
福田 重雄 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
小松 辰郎 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
岡 長二郎 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
堀田 繁藏 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
西川 金矢 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
佐山 恭彦 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
井上 正弘 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
吉田 彰 臺北地方法院判官
臺北市書院町三丁目臺北地方法院內

內
伊藤 兼吉 臺北地方法院檢察

局檢察官兼檢察官長 臺北市文武町六丁目官舍 電話臺北二四〇

松村 勝俊 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

松岡 良俊 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

山本 彦助 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

長島三四次 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

小幡勇二郎 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

高田 正美 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

栗本 義親 臺北地方法院檢察局檢察官 臺北市書院町三丁目臺北地方法院檢察局內

田口 治國 臺北地方法院宜蘭支部判官 臺北州宜蘭郡宜蘭街臺北地方法院宜蘭支部內

坂本 義文 臺北地方法院檢察局宜蘭支部檢察官兼檢察官 臺北州宜蘭郡宜蘭街法院官舍內

和田 一郎 臺北地方法院花蓮港支部判官 花蓮港廳花蓮港街法院官舍內

岩切 辰雄 臺北地方法院檢察局花蓮港支部檢察官兼檢察官 花蓮港廳花蓮港街法院官舍內

高嶺 方美 臺北地方法院新竹地方支部判官 新竹市新竹支部官舍內 電話新竹二五九

志邨 守義 臺北地方法院新竹地方支部判官 新竹市臺北地方法院新竹地方支部內

蓮見 重治 臺北地方法院新竹支部判官 新竹市臺北地方法院新竹地方支部內

丸尾 美義 臺北地方法院新竹支部判官 新竹市臺北地方法院新竹地方支部內

鉦鹿 義明 臺北地方法院新竹支部判官 新竹市臺北地方法院新竹地方支部內

米 光 哲 臺北地方法院新竹支部判官 新竹市臺北地方法院新竹地方支部內

竹支部內
千々和政敏 臺北地方法院新竹支部判官 新竹市臺北地方法院新竹支部內

眞田 俊雄 臺北地方法院檢察局新竹支部判官 新竹市法院支部官舍內 電話新竹三三八

小西壽賀一 臺北地方法院檢察局新竹支部判官 新竹市法院支部官舍內

石橋內藏之助 臺北地方法院檢察局新竹支部判官 新竹市法院支部官舍內

海老澤廣江 臺北地方法院檢察局新竹支部判官 新竹市法院支部官舍內

臺灣總督府
臺中地方法院
臺中市明治町五丁目
電話臺中二二番七四六番

犬飼吉備雄 臺中地方法院判官兼法院長 臺中市明治町五丁目官舍 電話臺中五二二

小田村元彦 臺中地方法院判官 臺中市村上町三丁目六 電話臺中大

一六

松浦 嘉七 臺中地方法院合議部兼單獨判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

越智嘉平太 臺中地方法院判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

瀧澤 正 臺中地方法院單獨部兼合議判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

饒 維 岳 臺中地方法院判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

東谷 義人 臺中地方法院判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

笹原 元 臺中地方法院判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

安部 覺 臺中地方法院判官 臺中市明治町五丁目臺中地方法院內

石橋 省吾 臺中地方法院檢察局檢察官兼檢察官長 臺中地方法院內官舍 電話臺中三三一

鳥飼 虎雄 臺中地方法院檢察

臺灣總督府 臺南地方法院

臺南市南門町二丁目
電話臺南二二番六五二番

緒方 清繼 臺南地方法院判官兼法院長 臺南市南門町三丁目官舍 電話臺南一五五

二反田信一 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

內海 靜雄 臺南地方法院單獨部判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

岩淵 止 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

內

樺島 益生 臺南地方法院合議部兼單獨判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

川名 春治 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

黃 演 瀝 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

森口 靜一 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

石田 憲次 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

中濱 辰男 臺南地方法院合議部兼單獨判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

猪狩 良彦 臺南地方法院判官 臺南市南門町二丁目臺南地方法院內

上瀧 汎 臺南地方法院檢察局檢察官 檢察官長 臺南市竹園町二丁目官舍 電話臺南四

佐々木道雄 臺南地方法院檢察

局長官 臺南市南門町臺南地方
局檢察官 內
古賀 岩藏 臺南地方法院高雄
支部判官 高雄市八船町臺南地方
法院高雄支部內
平田 牛 臺南地方法院高雄
支部判官 高雄市八船町臺南地方
法院高雄支部內
鍛冶 四郎 臺南地方法院高雄
支部判官 高雄市八船町臺南地方
法院高雄支部內
國政 實雄 臺南地方法院高雄
支部判官 高雄市八船町臺南地方
法院高雄支部內
林 藤香 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察

義市宮前町五丁目官舎 電話義六
〇八
橋爪 八郎 臺南地方法院義
支部判官 嘉義市北門町二丁目官
舎
坂本 義雄 臺南地方法院義
支部判官 嘉義市東門町六丁目五
〇
志熊 三郎 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察
局長官 臺南地方法院檢察

中村 應祐 拓殖部長 パラオ
諸島コロール島官舎
常吉 春彦 南洋廳事務官長
官舎 房調査課長 南洋群島ペ
ラオ諸島コロール島官舎
光安 國男 南洋廳事務官長
官舎 房文書課長兼同秘書課長 南
洋群島ペラオ諸島コロール島官舎
中村 涉 南洋廳事務官 內
務部財務課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
麻原 三子雄 南洋廳事務官 內
務部地方課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
鈴木 邦恭 南洋廳事務官 內
務部財務課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
藤本 重一 南洋廳事務官 內
務部財務課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
田吹 行雄 南洋廳事務官 內
務部土木課長兼臨時サイベン土木出
張所長 南洋群島ペラオ諸島コ
ロール島官舎
河野 毅 南洋廳事務官 拓
殖部交通課長兼ペラオ飛行場長

南洋群島ペラオ諸島コロール島官
舎
荒木 勤 南洋廳事務官 拓
殖部通信課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
神田 幸太郎 南洋廳事務官 拓
殖部商工課長兼物産陳列所長 南
洋群島ペラオ諸島コロール島官舎
塚原 兼人 南洋廳事務官 拓
殖部水産課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
杉浦 庸一 南洋廳事務官 拓殖
部農林課長 南洋群島ペラオ諸島
コロール島官舎
安田 政雄 南洋廳事務官 內務
部土木課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
山下 彌三郎 南洋廳事務官 內務
部土木課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
福川 祐正 南洋廳事務官 拓
殖部商工課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
櫻井 一雄 南洋廳事務官 拓殖
部農林課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
田村 立義 南洋廳事務官 拓殖

部農林課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
上田 建洋 南洋廳事務官 拓殖
部商工課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
丹澤 龍男 南洋廳事務官 拓殖
部商工課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
伊原 肇興 南洋廳事務官 拓殖
部通信課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
高坂 喜一 南洋廳事務官 拓殖
部通信課長 南洋群島ペラオ諸
島コロール島官舎
小林喜代一 南洋廳事務官 ヤ
ツブ支局 西カロリン群島ヤツブ
島官舎
山口勇三郎 南洋廳事務官 サ
イベン支局長兼サイベン飛行場長
マリアナ群島サイベン島官舎
依光 重親 南洋廳事務官 ト
ラック支局長 東カロリン群島ト
ラック諸島支局長
羽山 吉藏 南洋廳事務官 ボ
ナベ支局長 東カロリン群島ボナ
ベ島官舎

金井 新吉 南洋廳事務官 ヤ
ルト支局長 マーシャル群島ヤ
ルト島ジャボール官舎
川崎 英男 南洋廳事務官 氣象
臺長 西カロリン群島ペラオ諸島
コロール島官舎
岩崎 龍男 南洋廳事務官 氣象
臺長 西カロリン群島ペラオ諸
島コロール島官舎
上井 兼文 南洋廳事務官 氣象
臺長 西カロリン群島ペラオ諸
島コロール島官舎
石川 晋次 判事 高等法院長
西カロリン群島ペラオ諸島コロ
ール島官舎
江崎 敏行 判事 高等法院檢
事官 西カロリン群島ペラオ諸島
コロール島官舎
柳田 太郎 判事 サイベン地
方法院院長 マリアナ群島サイベン
島官舎
吉永 廣衛 判事 サイベン地
方法院檢察官 マリアナ群島サイ
ベン島官舎
奥野彦六郎 判事 ボナベ地方
法院院長 東カロリン群島ボナベ島
官舎

藤井 保 西
カロリン群島ペラオ諸島コロール
島官舎
岡谷 昇 ヤツブ醫院長 西
カロリン群島ヤツブ島官舎
藤井 秀旭 サイベン醫院長
マリアナ群島サイベン島官舎
長崎 協三 ボナベ醫院長 東
カロリン群島ボナベ島官舎
西川 嘉久登 トラック醫院長
東カロリン群島トラック諸島夏島
官舎
村田 帶雲 ヤルト醫院長
マーシャル群島ヤルト島ジャホ
ール島官舎
桑原 惣榮 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
島田 一也 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
島田 一也 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
吉田 昇平 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
吉田 昇平 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
若澤 安平 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 西カロリン群島ペ
ラオ諸島コロール島官舎
星野守太郎 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 東カロ

リン群島ボナベ島官舎
相澤 保 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
田山利三郎 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
馬成 順一 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
中山 一郎 南洋廳事務官 熱帶
産業研究所長 西カロリン
群島ペラオ諸島コロール島官舎
岡島 清 南洋廳事務官 水産
試験場長 西カロリン群島ペラオ
諸島コロール島官舎
伴 善居 南洋廳事務官 水産
試験場長 西カロリン群島ペラオ
諸島コロール島官舎
中根 貞次 南洋廳事務官
サイベン郵便局長 マリアナ群島
サイベン島官舎
田村 有年 教諭 サイベン
農業學校長 マリアナ群島サイベン
島官舎
二宮三千百 教諭 サイベン高
等女學校長 マリアナ群島サイバ
ン島官舎

樺太關係諸會社

秋田木材(株)

秋田縣山本郡能代港町
 【東京事務所】東京市京橋區銀座三
 大倉別館
 電話東京六六一五二一九番
 【資】八二五萬圓
 【創立】明治四十三年三月
 【支店】大阪、深川、名古屋、樺太
 出張所
 相澤治一郎 取締役社長 東京
 市蕨谷區千駄ヶ谷三ノ四九六 電
 青山五五五三
 木場 貞二 常務取締役 東京
 市蕨谷區葉栗町一〇 電話谷三三
 九七
 式村 儀市 常務取締役兼大阪
 支店長 兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾
 字八松一 電一宮一六五九
 向井 兵庫 常務取締役兼營業部
 長 東京市蕨谷區千駄ヶ谷一ノ三
 三八四

五六 電青山二五二一
 大倉喜七郎 取締役 東京市赤
 坂區榮町三 電赤坂一〇八
 井坂 健男 取締役 東京市世
 田ヶ谷區代田二ノ九五 電松澤一
 五二四
 大岩 岬 常任監査役 東京
 市蕨谷區千駄ヶ谷一ノ三八五 電
 青山七四二五
 安岡長四郎 監査役 秋田縣山
 本郡能代港町上町一六 電能代港
 二
 泉 太助 監査役 秋田縣能
 代港町昌町九八 電能代港二一九
 門野重九郎 相談役 東京市赤
 坂區新坂町五一 電青山五四一〇
 竹原 角次 山林部長 東京市
 蕨橋區下谷合一ノ七三六
 菊地 泰助 會計部長 東京市
 大森區調布道町一ノ四七九
 小澤 秀治 能代製材所長 秋
 田縣能代港町御指南町三二 電能
 代港一四四
 檜森 謙藏 深川支店長 東京
 市深川區木場三ノ一五 電本所一
 三八四

村田 武治 名古屋支店長 名
 古屋市中區止木町三五 電南九〇
 四
 村井廣治郎 青森製材部長 青
 森市沖館字柳川一 電青森二一五
 六
 笈川千代治 津別製材所長 北
 海道網走郡津別村 電津別四七
 笈川彌三郎 函館製材所長 函
 館市時任町三七 電函館一〇一四
 戸島 武治 樺太出張所長 樺
 太敷香町山手通南一ノ五
 松木 菊雄 稚内電氣所長 北
 海道空谷郡稚内町

安東造紙(株)

滿洲國安東市東茨子鎮安路
 一一八
 (東京出張所) 豊町區有樂町三信七
 九
 【資】三〇〇萬圓
 【創立】昭和十一年九月
 【工場】安東市本社
 井上 憲一 董事長 住所王子
 製紙株式會社參照
 村田吉之助 專務理事 新義州
 府廳洞三八五
 大津 峻 董事 安東市江月
 臺電安東九二五
 矢野 茂成 董事工場長 安東
 市東茨子鎮安路同工場氣付
 藤平 泰一 監査人 安東市五
 番通八ノ二 電安東二二七
 伊藤 勘三 監査人 安東市驛
 前七番通一ノ二 電安東二五六七
 河原 三郎 監査人 東京市世
 田ヶ谷區成城町七八四
 高島菊次郎 相談役 王子製紙
 株式會社參照
 若林 五郎 工場長代理 安東
 市東茨子鎮安路同工場氣付
 齋藤常一郎 工務係抄紙主任
 安東市東茨子鎮安路同工場
 今岡 重正 事務係主任 安東
 市東茨子鎮安路同工場氣付
 源内 事務係倉庫主任
 安東市東茨子鎮安路同工場氣付

雨龍電力(株)

東京市豊町區有樂町一ノ五
 電九ノ内六二〇〇、二七九三
 【資】一〇〇〇萬圓
 【創立】昭和三年八月
 【事業地】北海道雨龍郡晚加内村字
 朝内
 高島菊次郎 取締役社長(王子
 製紙會社參照)
 田中 治朗 取締役副社長(王
 子製紙會社參照)
 濱田 東稻 專務取締役 東京
 市蕨橋區百人町三ノ二七二 電四
 谷一〇三
 溝口 潔夫 常務取締役 東京
 市杉並區阿佐ヶ谷一ノ八七一 電
 荻窪一九一七
 井上 憲一 取締役(王子製紙
 會社參照)
 足立 正 取締役(王子製紙
 會社參照)
 松本 弘造 取締役(王子製紙
 會社參照)
 天野 慎一 取締役兼電氣課長

(北海水力電氣會社參照)
 寺田 省歸 監査役(北海水力
 電氣會社參照)
 加藤藤太郎 監査役(王子製紙
 會社參照)
 後藤 國明 監査役(北海水力
 電氣會社參照)
 名井 九介 顧問 東京市蕨谷
 區代々木上原一七三 電蕨谷三
 一四一
 松野 辰治 建設部長兼土木課
 長 北海道雨龍郡晚加内村同社建
 設事務所氣付
 中村 茂樹 事務課長 北海道
 雨龍郡晚加内村同社建設事務所氣
 付
 森下 文作 建設部土木課工事
 主任 北海道雨龍郡晚加内村同社
 建設事務所氣付
 畑野定太郎 建設部土木課工務
 係主任 北海道雨龍郡晚加内村同
 社建設事務所氣付
 三村 通精 建設部土木課第一
 工區主任 北海道雨龍郡晚加内村
 同社建設事務所氣付
 佐川喜久治 同第二工區主任

北海道雨龍郡晚加内村同社建設事
 務所氣付
 竹田 賢秀 同第三工區主任
 北海道雨龍郡晚加内村同社建設事
 務所氣付
 松岡 貞雄 同第四工區主任
 北海道雨龍郡晚加内村同社建設事
 務所氣付
 桑野 重勝 同第五工區主任
 北海道雨龍郡晚加内村同社建設事
 務所氣付
 藤樫 博曉 同調査係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 森本兵次郎 同送電係主任
 北海道雨龍郡晚加内村同社建設事
 務所氣付
 岩本 清作 同建築係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 久保 憲一 建設部電氣課長代
 理兼工事主任 北海道雨龍郡晚加
 内村同社建設事務所氣付
 永田銓六郎 建設部電氣課工事
 主任代理兼線路係主任 北海道雨
 龍郡晚加内村同社建設事務所氣付

井上 正 同送電係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 川村 武夫 同機械係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 渡邊 兵司 同電氣係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 遠藤 和一 建設部事業課會計
 係主任 北海道雨龍郡晚加内村同
 社建設事務所氣付
 井尻 芳治 同倉庫係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
 仲野 義見 同庶務係主任 北
 海道雨龍郡晚加内村同社建設事務
 所氣付
英殖鑛業(株)
 京城府南山町三ノ二〇
 電話本局六、六九五番
 (東京事務所) 豊町區有樂町一ノ一
 〇三〇七
 電話銀座七七二一番
 【資】五〇萬圓
 【創立】昭和十年八月

鈴木 半藏 常務取締役 王子製紙
 足立 正 取締役 王子製紙
 山内 幾馬 取締役 王子製紙
 中島 慶次 取締役 王子製紙
 伊藤 憲助 取締役 王子製紙
 加藤藤太郎 監査役 王子製紙
 藤原 喜藏 監査役 北鮮製紙
 高島菊次郎 相談役 王子製紙

王子造林(株)

東京市豊島区有楽町東日別館
 電話 丸ノ内 二七九三
 〔創立〕昭和十二年八月
 〔出張所〕北海道出張所 札幌市南
 〔支店〕北九州市 京城市長谷川町七
 〔営業種目〕木材業

高島菊次郎 社長 東京市豊島
 區六番町五番地四電九段一六一
 井上 憲一 専務取締役部長
 東京市豊島區原宿一ノ三三二ノ一
 足立 正 専務兼經理部長
 東京市麻布區櫻田町三八 電赤坂
 三七三二
 松本 弘造 専務 東京市澁谷
 區北谷町二七 電澁谷一四〇八
 富田治郎右衛門 常務兼工務部
 總務課長 東京市澁谷區櫻田三ノ
 七九 電青山六七三三
 山内 幾馬 常務取締役 樺太
 分社工務部理事 樺太豐原市

王子製紙(株)

〔樺太分社〕樺太樺太
 本社 東京市王子區王子一ノ二
 〔東京出張所〕東京市豊島區有楽町
 三信ビルディング内
 電話銀座 番號五五〇一 番
 五七七四 番
 〔創立〕明治五年十一月
 〔事業地〕内地 朝鮮 樺太 滿洲
 〔營業種目〕各種洋紙原料パルプ人
 絹用パルプ

川區北品川三ノ三三五 電大崎五
 四八
 田中榮太郎 取締役 東京市本
 郷區根津宮永町三六 電下谷七七
 八
 井上 周 取締役 大阪市住
 吉區帝塚山中二ノ三三二 電住吉一
 〇一八
 朝吹 常吉 取締役 東京市芝
 區高輪町五七 電高輪一四四
 大川 鐵雄 取締役兼理事 東
 京市豊島區中里町三七二 電駒
 込七三三
 石上林二郎 取締役 東京市大
 森區馬込町東三ノ七三六 電大森
 七三六
 光澤 義男 取締役 東京市澁
 谷區若水町一九 電青山四三三四
 井坂 孝 監査役 東京市芝
 區高輪町五三 電高輪一四〇
 益田 信世 監査役 神奈川縣
 足柄下郡小田原町綠四ノ六七〇
 電小田原一〇二
 小池厚之助 監査役 東京市牛
 込區市ヶ谷仲之町五電牛込七九三
 小西喜兵衛 監査役 東京市京

橋區明石町六一 電京橋二二八
 山口竹治郎 監査役 兵庫縣武
 庫郡住吉村 電御五四八〇
 濱田 束稻 監査役 東京市澁
 谷區百人町三ノ二七二 電四谷一
 一〇三
 高村 政雄 工務部總務課長代
 理 住所本社寄附
 武藤 憲三 工務部企業課長
 東京市澁谷區十二社二六一 電澁
 谷五九二
 西 濟 工務部調査課長
 東京市王子區王子五ノ一 電二
 七三
 長澤 隆三 工務部調査課長代
 理 東京市澁谷區諏訪町二二八
 早房 長徳 工務部調査課長
 東京市澁谷區西大久保一ノ二二〇
 電四谷一九九四
 堀 義信 工務部調査課長代
 理 東京市豊島區池袋四ノ三六六
 青山 與一 工務部保全課長
 東京市品川區大井王子町四五〇
 電大森三三九〇
 湧井 力 工務部動力課長
 東京市豊島區難波司ヶ谷町一ノ三〇

田藤 高輔 庶務課長 東京市
 杉並區高圓寺四ノ五七七 電中野
 一四九五
 武藤 忠義 庶務課長代理 東
 京市小石川區大塚仲町四一 電大
 塚二二二九
 市川 一二二 庶務課長代理 東
 京市杉並區久我山一ノ一八 電萩
 窪三六三八
 佐上 富造 庶務課長代理 東
 京市世田谷區玉川與澤町三ノ二
 九三 電田園調布三三四七
 岡崎 和一 秘書課長代理 東
 京市神田區三河壺三ノ四
 藤田 珪介 社長付課長代理
 東京市目黒區鷹匠町一五五
 横井半三郎 參事 東京市芝區
 翠平町二七 電芝八九六
 鈴木 實 參事 東京市中野
 區小瀧町三八 電中野七五一一
 福喜多晴之助 參事 東京市麻
 布區本村町四八 電三田一〇一六
 長谷川源六 參事 東京市龜ヶ
 谷區龜ヶ谷本町一ノ一 電四谷七
 一六三三
 金子 裕 參事 東京市中野
 區昭和通三ノ三三 電中野四三九
 三
 末廣 耕三 參事 神岡縣伊東
 町岩田別荘
 山田 健 參事 東京市品川
 區大井瀧王子町四四九〇
 小松 留吉 參事 東京市杉並
 區大沼三ノ六〇二 電萩窪一九五
 六
 舘 信止 參事 東京市世田
 谷區等々力町一ノ二二二 電
 田園調布三六三九
 岡部 長二 參事 東京市龜町
 區三年町一 電銀座六六三三
 山形 武夫 參事 東京市目黒
 區上目黒五ノ二五五九 電渋谷二
 三九一
 金子 三三 參事 工務部勤務
 住所本社氣付
 細田 条雄 參事 住所本社氣
 付
 牛山喜代太 參事 神岡縣富士
 郡富士根村
 宇宿 勇輔 參事 東京市中野
 區上高田一ノ四三 電中野五七〇
 九
 福田善之助 工務部勤務課長
 東京市目黒區下目黒四ノ九六一
 川尻 利夫 工務部企業課設計
 係長 東京市大森區新井宿四ノ九
 九二
 鹽崎 秀男 工務部調査課作業
 係長 東京市品川區五反田五ノ六
 八
 瀧口 隆平 工務部調査課調査
 係長 東京市中野區水川町八 電
 中野四六三二
 新家 正一 工務部調査課第一
 係長 東京市豊島區椎名町二ノ一
 八四七
 鷹山 昂 工務部調査課第二
 係長 住所本社氣付
 神戶 章 技術員養成所主事
 東京市中野區野方町一ノ一五二〇
 廣瀬 祝二 販賣部販賣課第二
 係長代理 東京市品川區大井元芝
 町七八四 電高輪一六四
 稻葉 淺吉 販賣部販賣課第三
 係長 東京市大森區久々原町七一
 〇 電池上二二五
 岩下 欽彌 販賣部販賣課輸出
 係長 神奈川縣大船町田園都市
 電呼出九茂方大橋二三三
 桃井 繁藏 販賣部販賣課管理
 係長 東京市大森區桐里町四
 金子佐一郎 經理部會計課計算
 係長 神奈川縣逗子町築地七五三
 湯淺 莊吉 經理部會計課製品
 勘定係長 東京市澁谷區學通一ノ
 二四 電渋谷一三三〇
 木崎 與 經理部會計課證券
 係長 東京市大森區雪ヶ谷町四四
 九
 鈴木 耕一 調度課第二係長
 住所本社氣付
 市川 義次 調度課第四係長
 東京市目黒區目黒自由ヶ丘三三〇
 木村健次郎 調度課第五係長
 東京市杉並區成宗一ノ二六八
 仁木庄左衛門 調度課海陸保險
 係長 東京市龜町區龜町一ノ三
 細井千三雄 調度課受渡係長
 住所本社氣付
 山本 茂郎 山林第一課第一係
 長 東京市澁谷區代々木深町一六
 五一
 秋山 四郎 山林第一課東京出
 張所長 東京市杉並區調布ヶ谷三

ノ四九五電萩窪三四二二
 阿部 留吉 山林第一課草土出
 張所長 神岡縣富士郡富士町王子
 社宅
 豊平 金助 山林第一課中津出
 張所長 岐阜縣郡中津町中津
 川王子社宅
 平尾 創 山林第一課伏木出
 張所長 富山縣射水郡伏木町矢田
 一九〇王子製紙社宅
 横山 隆秀 山林第一課八代出
 張所長 熊本縣八代市太田郷町王
 子社宅
 平井 國英 統計課統計係長
 東京市神岡區中里町一八七
 岡崎 正夫 文書課文書係長
 住所本社氣付
 栢木 泰 文書課株式係長
 東京市大森區雪ヶ谷町一九
 小林 茂彌 人事課人事係長
 東京市淀橋區田木三ノ三九六
 黒坂 五也 庶務課通信係長
 東京市赤坂區青山高樹町二二
 荒木 正紀 王子工場長 東京
 市王子區王子町一 電駒込一〇四
 稻永鐵次郎 王子工場長代理
 玉置 一郎 王子工場長代理
 濱田 四郎 王子工場倉庫係長
 岡田 徳吉 王子工場庶務係長
 片山 篤 十條工場長
 佐藤 義雄 十條工場長代理
 河内 金藏 十條工場第二工務
 係長
 新庄 憲 十條工場倉庫係長
 近藤 資 十條工場庶務係長
 岡野喜兵衛 龜戸工場長
 關岡 豊治 千住工場長 東京
 市荒川區千住町七ノ一二三王子製
 紙社宅
 藤崎 勝 千住工場長代理
 福島 皓 千住工場工務係主
 任
 北村 末吉 江戸川工場長 東
 京市江戸川區東篠崎町五一四一
 長井 弘六 江戸川工場長代理
 山村 正熊 富士第一工場長
 神岡縣富士郡鹿岡町
 鈴木 謙次 富士第二工場工務
 係主任
 田中右馬之允 富士第二工場電
 氣係主任
 植松梅太郎 富士第一工場事務
 係主任
 加藤清一郎 富士第二工場長代
 理 神岡縣富士郡富士根村同工場
 社宅
 田村 健郎 富士第二工場事務
 係主任
 齋木義次郎 富士第三工場長
 神岡縣富士郡富士町平垣
 福原 千二 富士第三工場長代
 理
 藤井 裕三 富士第三工場工務
 係主任
 矢野 忠志 芝川工場長 神岡
 縣富士郡芝川町羽野
 多和田精一 岩淵工場長 神岡
 縣藤原郡富士川町中ノ郷
 向井 梅市 名古屋工場長
 瀬古太一郎 中津工場長 岐阜
 縣中津町中津川
 土平 一郎 中津工場長代理
 藤原 義文 中津工場工務係主
 任
 木下静一郎 伏木工場長
 倉八 正忠 伏木工場工務係長
 青木 貞治 伏木工場工務係長
 代理
 戸風 保三 京都工場長 京都
 市石京區梅津大瀧町〇同工場
 氣付
 阪部 作市 京都工場工務係主
 任
 寺井 義昌 京都工場事務係主
 任
 的場 良介 郡島工場長 大阪
 市北區善導寺町二一九 電堀川一
 三八九
 熊澤 貞夫 淀川工場長
 庄司 元吾 淀川工場工務係長
 隈 忠彦 淀川工場會計係長
 前島 房吉 神岡工場長 兵庫
 縣川邊郡小田村常光寺
 飯塚 繁雄 神岡工場工務係主
 任
 箕浦 脩一 神岡工場倉庫係長
 谷崎 茂樹 神岡工場事務係主
 任
 今岡 重正 神岡工場會計係長
 佐藤 良 神岡工場長 和歌
 縣

山縣新宮市新宮同工場氣付
若林 五郎 熊野工場長代理
齋藤 清 熊野工場工務係主
任
山内 聰 小倉工場長
中村 巖 小倉工場長代理
井澤 新 小倉工場庶務係長
高橋 森藏 八代工場長 熊本
縣八代市太田郡同工場氣付
早見 捨雄 八代工場長代理
加藤 量平 坂本工場長 熊本
縣八代郡上松求麻村
佐藤秀太郎 坂本工場長代理
高田 良作 苫小牧工場長 北
海道勇拂郡苫小牧町
高木鎌五郎 苫小牧工場長代理
丸 武之助 苫小牧工場長代理
兼第一電氣係長
黒住 正憲 苫小牧工場工務部
抄紙係長代理
宮原安次郎 苫小牧工場工務部
抄紙係長代理
高野 直司 苫小牧工場工務部
抄紙係長代理

近藤 太郎 苫小牧工場工務部
第三抄紙主任
藤野喜久松 苫小牧工場工務部
第四抄紙主任
澤野 信 苫小牧工場工務部
仕上荷造主任
高柳 武夫 苫小牧工場原質係
長
中島繁太郎 苫小牧工場原質係
長代理
尾田 源彦 苫小牧工場調木室
主任
田窪 助市 苫小牧工場抄取調
成室主任
野中 豊作 苫小牧工場設計工
作係長
杉 政敏 苫小牧工場設計工
作係長代理
渡部 慶治 苫小牧工場鐵工室
主任
貴旨萬次郎 苫小牧工場機械設
計主任
富山 徳治 苫小牧工場建築設
計主任
清水千代治 苫小牧工場土木設
計主任

計主任
佐藤 修治 苫小牧工場試驗係
長
吉田 峯藏 苫小牧工場電氣部
第一電氣係長代理兼子機發電所主
任
鈴木五十治 苫小牧工場電氣部
別別發電所主任
齋藤 昇平 苫小牧工場電氣部
第二電氣係長
杉本 寛一 苫小牧工場事務部
會計係長
川添 繭 苫小牧工場事務部
倉庫係長
山崎 憲三 苫小牧工場王子病
院之長
太田 武雄 江別工場長
鹽野菊太郎 江別工場工務係主
任
野田壽惠雄 江別工場事務係主
任
富野 清 釧路工場長 北海
道釧路郡島取村
深尾 直養 釧路工場長代理
牟田吉之助 朝鮮工場長 朝鮮

新義州府麻田洞同工場社宅
古川 優 朝鮮工場長代理
朝鮮新義州府麻田洞同工場社宅
原田 潔 朝鮮工場工務係長
朝鮮新義州府麻田洞工場社宅
細谷達太郎 朝鮮工場倉庫係長
朝鮮新義州府麻田洞同工場社宅
大塚 良敦 北海道山林部部長
北海道苫小牧町王子製紙會社之宅
小宮 長吉 北海道山林部部長代
理兼總務係長 北海道苫小牧町王
子製紙會社之宅
星 直太郎 北海道山林部作業
係長 北海道苫小牧町王子製紙會
社之宅
渡邊 保次 北海道山林部商材
係長 北海道苫小牧町王子製紙會
社之宅
中道 徳藏 北海道山林部會計
係長 北海道苫小牧町王子製紙會
社之宅
林 吉次 北海道山林部苫小
牧出張所長 北海道苫小牧町王子
製紙會社之宅
榮口 正輝 北海道山林部江別
出張所長 北海道札幌郡江別町王

子製紙會社之宅
松下善太郎 北海道山林部訓路
出張所長 北海道訓路郡島取村王
子製紙會社之宅
海藤 雅夫 朝鮮山林部部長 朝
鮮新義州府麻田洞王子製紙會社之
宅
根本 弘之 朝鮮山林部作業係
長 朝鮮新義州府麻田洞王子製紙
會社之宅

小石川三三〇〇
足立 正 専務取締役 東京
市麻布區櫻田町三八 電番三三七
一一一
牟田吉之助 常務取締役 朝鮮
新義州府麻田洞三八
河原 三郎 常務取締役 東京
市世田ヶ谷區成城町七八四
速水篤次郎 取締役 東京市芝
區白金三光町四五 電番高輪五四
五六
井上 憲一 取締役 東京市澁
谷區原宿一ノ三三二ノ一 電番青山
二三四六
高島菊次郎 監査役 東京市豊
町區六番町五ノ四 電九段二一六
一
藤田好三郎 監査役 東京市中
野區桃園町六 電中野二二一九
大倉 桑馬 監査役 東京市豊
町區平河町二ノ六 電九段一七八
門野重九郎 相談役 東京市赤
坂區新坂町三〇 電赤坂三八〇六
藤原銀次郎 相談役 東京市芝
區白金三光町二二 電高輪一五
三八

田中榮八郎 相談役 東京市本
郷區根津宮永町三六電下谷七五八
黒川 末喜 工場長 瀧洲國安
東市桃源 電安東二六一八
今川 忠勝 工場長代理兼事務
長 瀧洲國安東市桃源 電安東三
二六六
堀 徳明 工場長代理兼林務
係長 瀧洲國安東市桃源 電安東
三〇八一
木下又次郎 同工場抄紙係長
瀧洲國安東市桃源
柴山 龍三 同工場原質係長
瀧洲國安東市桃源

川島庄之助 専務取締役 東京
市日本橋區小傳馬町一ノ四ノ二
電茅場町五一八三 五一八四
小倉 清助 常務取締役 東京
市淀橋區下落合四ノ一六八九 電
落合長崎二六八四
國貞 善市 常務取締役 東京
市目黒區下目黒三ノ五八一 電大
崎四六一六
井上 憲一 監査役(王子製紙
會社ノ欄参照)
足立 正 監査役(王子製紙
會社ノ欄参照)
高島菊次郎 相談役(王子製紙
會社ノ欄参照)

鴨綠江製紙(株)

瀧洲國安東市中興桃源
電話二二六三
【東京出張所】豊町區有楽町一ノ一
〇三信ビル内
電話銀座七七一一一〇
【資】五〇〇萬圓
【創立】大正八年六月
【營業項目】洋紙及製紙用ペルプ

大倉喜七郎 取締役會長 東京
市豊町區一番町七 電九段二二五
長谷川太郎吉 取締役副會長
東京市小石川區江戸川町一八 電

角丸商店(株)

東京市日本橋區通丁目一
電話日本橋三〇七三三四番
【資】五萬圓
【創立】大正十三年六月

奥村 潤一 取締役 東京市品
川區上大崎四ノ二八 電大崎三
九三
幸田 末三 取締役 東京市深
川區清澄町二ノ五電本所二四三〇
大槻 信夫 取締役 東京市牛

川島洋紙店(株)

瀧洲國安東市桃源
電話茅場町 四一八一七番
【資】一〇〇萬圓
【創立】昭和六年三月

川島庄之助 専務取締役 東京
市日本橋區小傳馬町一ノ四ノ二
電茅場町五一八三 五一八四
小倉 清助 常務取締役 東京
市淀橋區下落合四ノ一六八九 電
落合長崎二六八四
國貞 善市 常務取締役 東京
市目黒區下目黒三ノ五八一 電大
崎四六一六
井上 憲一 監査役(王子製紙
會社ノ欄参照)
足立 正 監査役(王子製紙
會社ノ欄参照)
高島菊次郎 相談役(王子製紙
會社ノ欄参照)

北樺太鑛業(株)

東京市豊町區丸ノ内丸ビル
電九ノ内一八二五・二〇九六
【資】一、〇〇〇萬圓
【創立】大正十五年八月
【事業地】露南北樺太土威坑、浦地
坑マナチ坑

三井 米松 取締役會長 東京
市淀橋區下落合一ノ八二六 電大
塚一八三〇

西原 民平 常務取締役 東京
市中野區小窪町三一 電中野四〇
一四

橋本圭三郎 取締役 東京市淀
橋區西大久保一ノ三五三

河手 捨二 取締役 東京市澁
谷區長谷町五二電澁谷二八六一
松本健次郎 取締役 福岡縣戶
畑市大字中原一〇七一 電戶畑一
村上鹿之助 取締役 鑛業所長
東京市澁谷區青葉町入 電青山一
一二二

藤岡 淨吉 監査役 東京市豊
島區駒込一ノ二八電大塚四六九八
矢島 富造 監査役 東京市牛

北樺太石油(株)

東京市豊町區丸ノ内三ノ四
電話九ノ内一八九〇・一八九一
【資】二、〇〇〇萬圓
【設立】大正十五年六月
【事業地】ソ聯領サガン 北樺太
石油株式會社北樺太鑛業所

小泉 武三 常務取締役業務部
長 東京市在原區中延一〇三二
電在原一三〇〇

松村松次郎 常務取締役企業部
長 東京市世田ヶ谷區成城町北四
五七 電話五〇六

小川重太郎 取締役 北樺太鑛
業所長 東京市世田ヶ谷區經堂町
三八二

新谷 壽三 企業部次長 東京
市本郷區西片町一〇・二五 電小
石川六二九三
櫻井 孝 業務部次長 東京
市大森區馬込町東一ノ一〇八四
電大森四三六〇
小宅 光久 北樺太鑛業所副長
神奈川県鎌倉市長谷原ノ壘一八八

武安 丈夫 秘書課長 秘書役

東京市目黒區駒場町七七六 電澁
谷一八八六
仲田 治 企業總務部課長兼
考査係長 東京市豊島區難司ヶ谷
町一ノ三三三

松浦 政男 企業部技術課長
東京市杉並區東田町二ノ一七九
電荻窪五二二八

根本 英三 企業部財務課長
東京市澁谷區羽澤町三四
荒谷 孝助 業務部鑛業課長
東京市澁谷區鴨ヶ谷笹塚町一四
九

佐藤 二郎 業務部外務課長
東京市大森區馬込町東四ノ三三
電大森八五四三

山根 明 業務部會計課長
買銀係長 東京市目黒區宮ヶ丘一
八六
石田 旭勝 業務部調度課長
受渡係長 東京市杉並區西荻窪一
ノ二〇四

北日本汽船(株)

東京市豊町區内幸町一ノ一ノ三
電話銀座六一四六番
【資】一、〇〇〇萬圓
【創立】大正三年三月
【支店】小樽市南濱町四ノ一
樺太大泊町榮町通二

野村治一良 取締役會長 西宮
市松原町三七電西ノ宮一八八
(東京市淀橋區下落合一ノ四七三
電落合長崎三六四四)

森 信太郎 常務取締役兼船舶
課長 東京市澁谷區代々木上原町
一ノ九一 電澁谷一三三三

森田初三郎 常務取締役 小樽
市東雲町五六 電小樽一九八四
嶋谷 武次 取締役 神戸市須
磨區櫻木町一ノ一〇 電須磨二七
二

山本 厚三 取締役小樽市富岡
町一ノ三八 電小樽二六〇八
栗林 徳一 監査役 室蘭市常
盤町一三五 電室蘭五
田邊 貞造 監査役 小樽市東
雲町一三 電小樽一八一七

香春 敏夫 監査役 東京市豊
町區六番町七ノ二

江河 勝郎 庶務課長兼海員課
長 小樽市富岡町一ノ二七 電小
樽一七三六

坂爪 善造 營業課長 小樽市
緑町一ノ二七 電小樽一八三二

野崎善太郎 經理部長 小樽市
緑町一ノ二二 電小樽一七九〇

山内 榮礎 本社支配人 東京
市世田ヶ谷區代田二丁目三八二

瀬川 舟平 大泊支店長 樺太
大泊町榮町通二大泊一六六

木原商船鑛業(株)
東京市豊町區丸ノ内一ノ六
電話九ノ内 三三七・一三二
【資】八〇〇萬圓
【創立】昭和十年四月
【事業地】樺太立岩鑛業所

木原豊治郎 取締役社長 東京
市生込區市ヶ谷砂土原町一ノ二
電生込一五六七
中村 勝郎 取締役 盛岡市新
庄第八地割字由中一八ノ一

木原 ヨシ 取締役 東京市牛
込區市ヶ谷砂土原二ノ二 電牛込
一五六七

石川初之助 取締役 樺太數香
町大字數香宮通北三丁目三

佐藤 岩松 取締役 函館市大
森町一〇六

東宮 太郎 監査役 樺太大泊
町大泊本町西二條南一ノ八

早瀬 一郎 監査役 小樽市花
岡町西一ノ二 電小樽六一六

共榮起業(株)
瀨州國吉林市天壇後胡同
(東京出張所) 豊町區有樂町一ノ一
〇 三信ビル
電話銀座七七二
【資】國幣一〇〇萬圓
【創立】大正十二年六月

門野重九郎 取締役會長 東京
市赤坂區新坂町五一 電赤坂三九
四〇

高島菊次郎 取締役社長 東京
市豊町區六番町五ノ四 電九段一
一六一
足立 正 事務取締役 東京

市麻布區櫻田町三八 電赤坂三七
一一一

石田健一郎 常務取締役 東京
市世田ヶ谷區北澤四ノ四一三

田代名兵衛 常務取締役 東京
市杉並區荻窪一ノ一六七

小林準一郎 取締役 東京市澁
谷區代々木本町八〇八 電四谷三
三三〇

肥田 耕三 取締役 奉天市大
和區竹園町三

中村 紫明 取締役 奉天市大
和區協和街四段五號

横井半三郎 監査役 東京市芝
區琴平町三 電芝八九六

速水篤治郎 監査役 東京市芝
區白金三光町四五
錦洲バルブ(株)
瀨州國福華市福華區浪速街
五番地
電話瀨州縣一四四九番
(東京出張所) 豊町區有樂町一ノ一
〇 三信ビル内 電話七七二一 番
【資】國幣三〇〇萬圓
【創立】昭和六年六月一日

高島菊次郎 取締役社長 東京
市豊町區六番町五ノ四 電九段一
一

足立 正 事務取締役 東京
市麻布區櫻田町三八 電赤坂三七
一一一

溝口 新平 事務取締役 東京
市大森區馬込町四ノ三一〇 電
大森三〇六五

下津 謙藏 常務取締役 三重
縣一身田町大字一身田六三一 電
一身田一八

井坂 孝 取締役 芝區高輪
南町五三 電高輪二二〇

井上 憲一 取締役 東京市澁
谷區原宿一ノ一三三ノ一 電青山
一三四六

牟田吉之助 取締役 朝鮮平安
南道新義州府麻田洞三八五

相馬 末吉 取締役兼瀨州工場
建設部長 東京市澁谷區鴨ヶ谷本
町一ノ六一
安宅 彌吉 監査役 大阪市東
區今橋五ノ四
田中 治朗 監査役 東京市淀
橋區戸塚町三ノ一五六 電生込一
六七

七五六

松本 弘造 監査役 東京市遊

谷島北谷町一七 電話谷一四〇八

佐々木金次郎 錦州工場建設部副

部長兼土木建築課長 滿洲國錦州

省錦州市錦華區浪速街五同工場建

設部兼付

野口 龜吉 錦州工場建設部副

部長兼事務課長 住所右同

岡村 威雄 錦州工場建設部工

務課長代理 住所右同

森田 龜雄 錦州工場建設部事

務課長代理

木原 清 東京出張所長 魏

町區有業町一ノ一〇 三信ビル内

同所兼付

山陽バルブ工業(株)

【資】一〇〇〇萬圓

【創立】昭和十二年四月

【工場】山口縣玖波郡麻里布町麻里

布工場

高島菊次郎 取締役社長(王子

製紙會社欄參照)

井上 憲一 事務取締役(王子

製紙會社欄參照)

西 齊 常務取締役(王子

製紙會社欄參照)

溝口 新平 常務取締役 東京

市大森區馬込町西四ノ三二一〇

電大森三〇六五

濱田 東稻 取締役 北海水力

電氣會社欄參照)

富田治朗右衛門 取締役(王子

製紙會社欄參照)

小林準一郎 取締役(王子製紙

會社欄參照)

早房 長徳 取締役(王子製紙

會社欄參照)

青山 與一 取締役(王子製紙

會社欄參照)

足立 正 監査役(王子製紙

會社欄參照)

松本 弘造 監査役(王子製紙

會社欄參照)

石上林二郎 監査役(王子製紙

會社欄參照)

藤原銀次郎 相談役 東京市芝

區白金里町二二 電話論一五

三八

前田 秀雄 事務課係長 東京

市豊島區有業町一ノ一〇 三信ビ

ル同會社兼付

三輪 次武 麻里布工場建設部

部長兼事務課長 山口縣玖波郡麻

里布町同工場兼付

中村 篤二 麻里布工場事務部

長兼事務課長 山口縣玖波郡麻里

布町同工場兼付

吉見 敏夫 麻里布工場事務部

山林課長 山口縣玖波郡麻里布町

同工場兼付

白井 四方 麻里布工場事務部

山林課長代理 山口縣玖波郡麻里

布町同工場兼付

安場 保國 麻里布工場事務部

事務課會計係長 山口縣玖波郡麻

里布町同工場兼付

伊藤 潔 代表取締役 北海

道土川郡土別町西 藤七丁目 電

土別二二六

日戸 政章 取締役 名古屋市

東區徳川町一ノ四四ノ一

津田傳四郎 取締役 北海道

川郡土別町西 條六丁目

録田 幸雄 取締役 東京市世

田ヶ谷區綠ヶ丘三〇七三

三好 哲男 監査役 東京市世

田ヶ谷區玉川與澤町一ノ六六五

鈴木 新吉 監査役 北海道

川郡土別町字奥土別三線

新宮商行(株)

小樽市邑内町七ノ五六

電話五六五、二二四二

【資】一五〇萬圓

【創立】大正八年二月

【工場】釧出工場美幌工場中野別工

場

利光小三郎 取締役社長 東京

市豊島區目白町三ノ三六一四

坂口茂次郎 事務取締役 小樽

市松ヶ枝町一

西 圭三郎 取締役 小樽市色

内町七ノ五六

坂口 建吉 取締役 創設市幸

町五

山本 新 取締役 北海道小

樽郡鏡出村

平野久三郎 監査役 小樽市富

岡町三ノ一八

石田 屯 監査役 小樽市綠

町四ノ八

山崎 正忠 監査役 高岡市御

旗屋町一〇

太平洋協會

東京市豊島區内幸町一ノ三

幸ビル

電話銀座六五〇八

【創立】昭和十三年五月

【支部】大阪、神戸

【事業】東西兩半球ニ跨ル太平洋ノ

諸問題ヲ調査研究シ、太平洋政

策ニ關スル國民ノ認識ヲ深メテ

國論ノ基礎ヲ固メ具體的政策ノ

確立ニ依リ之ヲ國策ノ上ニ實現

スルヲ以テ目的トスル

永田秀次郎 副會長 東京市小

石川區藤岡ヶ谷八三電牛込一〇七

松岡 洋右 副會長 東京市遊

谷島千駄合一ノ三八五 電青山一

一五〇

芳澤 謙吉 理事 東京市麻布

區露町二四 電赤坂四四八八

阿部 信行 陸軍大將 理事

東京市淀橋區西久保一ノ三六一

電四谷一九七

櫻内 幸雄 理事 東京市芝區

三田松坂町三四 電高輪一〇六五

野村吉三郎 海軍大將 理事

東京市遊谷區南平臺町四〇

中村 良三 海軍大將 理事

橫濱市鶴見區東寺尾町一五五九

電鶴見三〇六七

小磯 國昭 陸軍大將 理事

東京市麻布區森元町一ノ二七 電

赤坂二二〇

八田 嘉明 理事 東京市本郷

區駒込富士前町七三 電大塚五四

五〇

明石 昭男 理事 東京市小石

川區茗荷谷町六六電大塚五六七〇

松江 春次 理事 東京市本郷

區上宮土前町一一電大塚八〇六

中野金次郎 理事 東京市豊島

區中六番九 電九段一七二一

村田 省藏 理事兼大阪支部長

東京市大森區上池上九八八ノ一

電在原一三三三九

藤山愛一郎 理事 東京市芝區

白今里町一四 電高輪一五四五

栗林 徳一 理事 室蘭市常盤

町一三五

庄司 乙吉 理事 兵庫縣御影

町藤原一三六一 電御影一五五六

島田 俊雄 理事 東京市麻布

區辨町一五八 電赤坂一五四

大谷 登 理事 東京市品川

區大崎長者丸一七五 電大崎一五

八三

鶴見 祐輔 常務理事 東京市

麻布區櫻田町三八電赤坂一五二五

笠間 果雄 常務理事兼總務部

長東京市目黒區駒場八六一 電濠

谷一八九七

山地土佐太郎 監事 東京市豊

島區四番町一一ノ七 電九段四四

五〇

清水揚之助 監事 東京市豊島

區三番町八 電九段一六二三

澤田 謙 企業部長 東京市

赤坂區青山南町六ノ八三 電青山

六二〇八

金井 清 國際部長 東京市

世田ヶ谷區太子堂三五七 電世田

ヶ谷四二五七

山田 文雄 調查部長 神奈川

縣厚子町

平野義太郎 弘報部長 東京市

芝區白金三光町四五

帝國燃料興業(株)

東京市京橋區銀座西六

朝日ビル

電話銀座七六五一

【資】一億圓

【創立】昭和十一年一月

【營業種目】人造石油及同業會社へ

ノ投資

牧田 環 總裁 東京市麻布

區北日ヶ窪町四三電赤坂一六二六

大淵 三樹 副總裁 東京市豊

島區一番町一五 電九段三八一八

弘岡 好忠 理事 東京市杉並

區馬橋四ノ四四九電中野七五八二

山中 政之 理事 東京市淀橋

區百人町一ノ四七 電四谷八五一

後藤 保清 理事 東京市四谷

三

天

道土川郡土別町西 藤七丁目 電

土別二二六

日戸 政章 取締役 名古屋市

東區徳川町一ノ四四ノ一

津田傳四郎 取締役 北海道

川郡土別町西 條六丁目

録田 幸雄 取締役 東京市世

田ヶ谷區綠ヶ丘三〇七三

三好 哲男 監査役 東京市世

田ヶ谷區玉川與澤町一ノ六六五

鈴木 新吉 監査役 北海道

川郡土別町字奥土別三線

新宮商行(株)

小樽市邑内町七ノ五六

島大番町七七 電四谷六四〇七

阿部 泰一 理事 東京市麻布

區新網町二ノ一六 電赤坂二八四

渡邊 四郎 理事 東京市麹町

區三番町二一 電九段三三四一

大島 義清 理事 東京市澁谷

區代々木山谷町二一 電四谷一

六三九

元居 光輝 監事 横濱市中區

宮前町六六 電長者町三八五二

古田 慶三 監事 東京市大森

區田園調布二ノ五五五 電田園調

布二〇三三

角出 正則 秘書主任兼調査

係主任 東京市澁谷區代々木本町

八〇八

笹部 登 庶務係主任 東京

市中野區野方町二ノ一四一三

木村幾三郎 株式係主任兼用度

係主任 東京市北多摩郡三鷹下連

電三三〇

三澤 秀雄 會計係主任 横濱

市鶴見區馬場町一五九

勝田 實 資金係主任 東京

市目黒區上目黒三ノ一七〇一

酒井 龜喜 企業係主任 東京

市下谷區上野櫻木町一七

坂本 猛 技術課第一係主任

東京市牛込區喜久井町三四

常岡 俊三 技術課第二係主任

横濱市鶴見區東寺尾町一七三四

製紙會社(株)

東京市麹町區有樂町一ノ一

〇 三信ビルディング内

電話銀座七七七一番

【資】五〇〇萬圓

【創立】昭和十三年一月

【事業地】秋田縣河邊郡新屋町秋田

工場建設部

宮城縣石巻市石巻工場建設部

【營業種目】パルプ製造

高島菊次郎 取締役社長(王子

製紙會社(株)參照)

金 森太郎 取締役副社長 東

京市澁谷區代々木大山町一〇四九

電四谷一三五〇

光澤 義雄 常務取締役 東京

市澁谷區若木町一九 電青山四三

三四

石上林二郎 常務取締役(王子

製紙會社(株)參照)

山中 鍊吉 常務取締役 東京

市淀橋區百人町三ノ三〇一 電四

谷五〇二五

富田治郎右衛門 取締役(王子

製紙會社(株)參照)

田坂 一郎 取締役 東京市赤

坂區豐南坂町 電赤坂一四五二

村上 正彦 取締役兼山林課長

東京市杉並區上高井戸四ノ一八二

八 電松澤四〇二六

山下 太郎 取締役 東京市芝

區高輪北町四八 電高輪四九六二

小林準一郎 取締役 東京市澁

谷區代々木本町八〇八 電四谷三

三三〇

椎野 與七 取締役 東京市杉

並區馬橋三ノ三八〇 電中野五一

九二一

平手助次郎 取締役 東京市世

田ヶ谷區大原町一三二二 電松澤

三八二四

藤澤 進 常任監査役 仙臺

市中區丁十三 電仙臺三一一九

早川 退藏 監査役 仙臺市南

小泉字殿前屋敷一七 電仙臺三三

三六

加藤藤太郎 監査役(王子製紙

會社(株)參照)

安藤 信昭 監査役 東京市杉

並區高圓寺四ノ五四三 電中野二

〇一九

八木 榮 經理課長 住所本

社氣付

長谷川 靜 庶務課長兼石巻工

場建設部長代理兼事務課長 東京

市杉並區高圓寺三ノ二五四ノ三

電中野二三四八

小田 稔 庶務課長 住所本

社氣付

石井 亮二 山林課長代理 東

京市麹町區有樂町 三信ビル同會

社氣付

谷村 進 山林課長代理兼石

巻山林所長 石巻市立町一七同會

社石巻詰所氣付

片山 知又 秋田工場建設部長

兼石巻工場建設部長 宮城縣石巻

市後町

塚本覺太郎 石巻工場長

小林 廣斥 秋田工場建設部工

務課長 秋田縣河邊郡新屋町同工

堀建設部氣付

仁木 虎一 石巻工場建設部工

務課長 宮城縣石巻市同工場建設

部氣付

秦 順七 石巻工場建設部事

務課長代理兼庶務係長 宮城縣石

巻市同工場建設部氣付

東洋拓殖(株)

(本社)東京市麹町區内幸町一ノ二

電話銀座五五六〇一六

【資】五〇〇萬圓

【創立】明治四十一年十二月

【支社】京城府

【營業種目】資金貸付、證券引受、

土地建物業、農場林業、殖民業

業ノ經營

佐々木駒之助 總裁 東京市芝

區白金臺町一ノ五電高輪三三六〇

池邊 龍一 副總裁 東京市澁

谷區原宿二ノ一七〇ノ二〇 電青

山四三一九

齋藤 力 理事 東京市牛込

區市ヶ谷區加賀町二ノ二 電牛込四

四七六

上内 彦策 理事 京城府東四

軒町一〇 電本局五四二二

中澤 正治 理事 瀧洲國新京

特別市北安路三〇五號 電(一)

六九〇四

江口 順一 理事 東京市世田

ヶ谷區代田町一ノ六七六 電松澤

二二五一

吉川 清七 理事 東京市澁谷

區原宿一ノ九六電青山四八九二

松本健次郎 參事 東京市

麻布區本村町三三三 電三田三三

六五

八代 則彦 參事 東京市

四谷區三光町四五 電四谷五六六

六

明石 照男 參事 東京市

小石川區芝荷谷町六六 電大塚五

六七〇

堀 啓次郎 監事 大阪市北區

堂島上三丁目一電大塚北五一五

李 鍾 股 監事 京城府錦路

六丁目二番地ノ七

米澤喜久松 常任監事 東京府

武藏野町吉野寺野田北一三三四

電吉野寺五九

鈴木梅太郎 顧問 東京市澁谷

區王子町三三八 電青山一三九八

千葉 郁治 顧問 東京市世田

ヶ谷區北澤五ノ八二八 電松澤二

三四二

久保田久晴 顧問 東京市世田

ヶ谷區成城町二二六 電五五四七

香椎源太郎 常務顧問 釜山府

大廳町一ノ五 電釜山一〇一〇

井上 雅二 常務顧問 東京市

豐島區目白町三ノ三五三ノ一

電大塚三六一七

安原米四郎 總裁秘書 東

京市杉並區阿佐ヶ谷三ノ三〇九

電荻窪四四九八

多田 義正 總裁秘書

藤原 高 總裁秘書

(北京駐在)

柳田 健 總裁秘書

門川 盛夫 總裁秘書

松原 啓一 總裁秘書 調査

課長 東京市大森區新井宿四ノ九

一五 電大森二八二〇

松浦 諒助 總裁秘書 東京

市麹町區一番町六ノ二 電九段四

七六二

秋山 三夫 總裁秘書(瀧洲

駐在)

佐藤 實 總裁秘書(朝鮮

駐在)

金谷 正治 總裁秘書(瀧洲

駐在)

大場 義雄 總裁秘書(朝鮮

駐在)

津山 尙道 總裁秘書(瀧洲

駐在)

佐藤 忠敬 總裁秘書(瀧洲

駐在)

香川 正一 參事

古閑 一夫 參事

弘田 義助 參事

失島 慧 參事

佐藤 明 總裁書記

渡邊 政吉 總裁書記補

天羽篤五郎 人事課長 參事

東京市品川區大井庚塚町四八六六

電大森八二〇六

湯淺 一郎 人事課參事 東京

市澁橋區上落合一ノ二二〇 電落

合長崎一三六二

武内 紀壽 庶務課長 支配人

三九

麻生 次郎 應務課副參事
玉井 忠雄 應務課副參事
望月 伸 經理課長參事
東京市小石川區小日向町二ノ三
五 電大塚六九三二
土井 良一 經理課副參事
小田 武夫 資金課長參事
永沼 新吉 資金課副參事
佐藤良治郎 資金課副參事
笠井 淳 貸付課長參事
猪又 正一 農林課長參事
東京市大森區入新井四ノ二五
電大森二六三四
若井 浩 農林課技師
齋藤 信介 農林課技師
高宮 正憲 農林課參事
上田 金作 農林課副參事
木村 英一 農林課副參事
種野 文雄 第一事業課長參事
東京市大森區田圃調布三ノ九
一 電田圃調布二六二八
鎌田 政郎 第二事業課技師
高橋 清藏 第二事業課技師
和泉 泰 第二事業課長

藤澤田沼町久々田一六九〇 電
新津田沼六一
石原 義男 第一事業課技師
吉田 一氏 第一事業課技師
矢野 四郎 第一事業課技師
玉川 信 第一事業課副參事
中井商店(株)
東京市日本橋區室町三ノ四ノ三
電話日本橋二〇〇〇九番
【資】三〇〇萬圓
【創立】大正五年十一月
【支店】大阪、京都、名古屋、門司
【營業種目】洋紙販賣
中井三之助 取締役社長 東京
市下谷區下根岸町六六 電根岸四
七八
島田林太郎 專務取締役 大阪
市住吉區天王寺町三ノ七八 電天
王寺六八一
岡本 經紀 常務取締役 東京
市牛込區年來町二三 電牛込二九
三二
安達祐四郎 取締役 兵庫縣武
庫郡東村段上字町田五
關根國之助 取締役 京都市右

京島岡崎北御所町田五 電上京六
八七二
松本 良吉 取締役 東京市豊
町區九段四丁目五ノ五 電九段一
六五五
山田惣一郎 取締役 名古屋
昭和區山崎町四丁目八七 電瑞穂
三七八
棚橋 昌雄 取締役 兵庫縣西
宮市殿山町一四 電西宮七三三
鹽山 豊藏 取締役 東京市澁
谷區千駄ヶ谷二丁目五六二 電青
山四〇二八
海本嘉十郎 取締役 門司市本
村町一丁目三三三 電門司九六四
赤松 市雄 常任監査役 東京
市豊島區六番町二ノ九 電九段一
八一五
井上 憲一 監査役(王子製紙
會社關照)
相良 周吉 監査役(王子製紙
會社關照)

日曹鑛業(株)
東京市豊町區大手町二ノ八
電話丸ノ内二二七一一五番
【資】五、〇〇〇萬圓
【創立】昭和十二年三月
【營業種目】石炭採掘ヲ中心トシテ
金銀銅ニツケル鑛ノ採掘製鍊
中野 友禮 取締役社長 東京
市本郷區駒込上宮土前町一〇一
電大塚五八七二
小川 榮一 常務取締役 東京
市牛込區市ヶ谷區町五 電四谷一
五八五
川村 倅二 常務取締役 福島
縣若松市徒之町五二 電會津若松
八一二
小長谷新太郎 取締役 東京市
杉並區中通町九五電狹路一八六八
辰澤 茂乙 取締役 東京市京
橋區越前堀一ノ二六 電京橋
〇二
竹中 治 取締役 大阪市東
區淡路町二ノ四九電北濱三三七八
岸本吉左衛門 取締役 大阪
區東瓦町一ノ三二電北濱四一九二

安川 隆治 取締役 東京市中
野區城山町二七 電中野二二二五
遠山 元一 監査役 東京市日
本橋區兜町一ノ一 電茅場町二二
三三
神尾 友修 監査役 東京市小
石川區龜籠町一五三電大塚六八八
武 鶴次郎 監査役 東京市本
郷區森川町二二三電小石川四三五
金井 滋直 監査役 東京市淀
橋區百人町三ノ二八五 電四谷一
七七三
増田 義一 相談役 東京市小
石川區原町二二 電大塚八九
鈴木 寅彦 相談役 東京市牛
込區中町三四 電牛込二〇四八
横山 春吉 支那人 東京市世
田ヶ谷區世田ヶ谷四ノ四〇九 電
世田ヶ谷四五五

日本曹達(株)
東京市豊町區大手町二ノ八
電話丸ノ内二二七一一五
【資】一〇、四〇〇萬圓
【創立】大正九年一月
【營業種目】包裏系銅金屬製鍊特殊
製鋼、銅管、合金、鐵、醫藥、
電機、油脂、曹達
中野 友禮 取締役社長 總務
部長兼工務部長 東京市本郷區駒
込上宮土前町一〇一 電大塚五八
七二
野澤 正周 專務取締役統制部
長 東京市牛込區河田町一九 電
牛込四〇四九
富永 能雄 專務取締役 東京
市澁谷區鉢山町二四 電青山二五
三五
小長谷新太郎 常務取締役兼販賣
部長 東京市杉並區中通町九五
電狹路一八六八
末廣幸次郎 常務取締役兼購買
部長 東京市大森區馬込西町一ノ
一六七三 電大森四九二一
神尾 友修 取締役 東京市小
石川區龜籠町一五三 電大塚六六
九
辰澤 茂乙 取締役 東京市京
橋區越前堀一ノ二六ノ一 電京橋
二八〇二
竹中 治 取締役 大阪市東
區淡路町二ノ四九ノ一 電北濱一
三七八
岩本吉右衛門 取締役 大阪市東

區瓦町一ノ三二 電本局四一九一
木村 忠實 取締役 二本木工
場長 高田市大手町四八 電高田
二二二
齋藤虎五郎 取締役 橫濱市中
區彌上二五〇 電本局二二三三
入江芳之助 取締役 經理部長
東京市杉並區阿佐ヶ谷一ノ五九九
小川 榮二 取締役 東京市牛
込區市ヶ谷町五
高橋 眞男 取締役 東京市豊
島區目目町四ノ四一 電大塚二二
六〇
武 鶴次郎 監査役 東京市本
郷區森川町二二三 電小石川四三
五
遠山 元一 監査役 東京市日
本橋區兜町一ノ一四 電茅場町五
七五
金井 滋直 監査役 東京市淀
橋區百人町三ノ二八五 電四谷一
七七三
今井 文平 監査役 東京市麻
布區新龍土町六 電赤坂一六八九
増田 義一 相談役 東京市小
石川區原町二二五 電大塚八九

鈴木 寅彦 相談役 東京市牛
込區中町三四 電牛込二〇四八
前田 吉景 理事 東京市淀橋
區堤橋六九三 電四谷七二四一
岩田 著雄 理事兼經理課長
東京市四谷區南寺町三九 電四谷
三五九九
稻葉 好造 會計課長 東京市
杉並區阿佐ヶ谷二ノ六四四
中野幸四郎 化學購買課長 東
京市杉並區井荻町三ノ三四
小林 三郎 化學販賣課長 東
京市大森區雪ヶ谷町六一八
篠原 豊吉 製鋼販賣課長兼製
鋼購買課長 東京市澁谷區松壽町
四 電澁谷一四五六
柴垣 一志 秘書課長兼監理課
長 東京市目黒區宮土見町一五五
九 電住原四一〇四
後藤 捨夫 應務課長兼調查課
長 東京市小石川區白山御殿町一
二四 電小石川四六六一
長澤隆三郎 株式課長 東京市
淀橋區柏木一ノ一四一
川村 倅二 會社工場長 若松
市徒之町五二 電會津若松八一二

庄山 清一 東京工場長兼埼玉

工場長 東京市豊島區長崎町二

大野方次郎 横濱工場長 横濱

市鶴見區生麥町一六九五 電鶴見

上野代收造 江名工場長 福島

縣石城郡小名濱町電小名濱一四七

服部 誠造 高岡工場長 高岡

市大野町二 電二二六〇

大西 周一 富山工場主任 富

山石室町同工場社宅 電富山三

大岩 進 岩瀬工場長 富山

直津津製鋼所長 富山市曙町一七

今岡 春雄 大島製鋼所長 東

京市目黒區下目黒四ノ九一八 電

大立 兼 米子製鋼所長 鳥

取縣泊郡成電村

掛田小太郎 尼崎工場長 尼崎

市北竹谷町三ノ一四〇 電高崎九

武富 良三 大阪營業所長 兵

庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾 電西宮一

大野 忠雄 柏崎製油所長 新

潟縣柏崎町西受町一ノ二〇五五

馬上一誠司 新潟製油所長 新

潟市西蒲田四番町入二四 電新潟

岡 米太郎 秋田製油所長 秋

田縣南秋田郡土橋港町旭町字琴平

木村 乾 鶴見製油所長 横

濱市鶴見區東寺尾町三三五一 電

西川 亮一 關西製油所長 兵

庫縣武庫郡大庄村字木田社宅 電

中守 洞吉 下松製油所長 山

口縣都濃郡下松町西市 電下松一

佐藤 信輝 臺灣製油所長 新

竹州苗栗街社寮岡 電苗栗一三

吉村 佛治 試驗所長 新潟縣

刈羽郡柏崎町本町六ノ三三三三 電

高橋權五郎 日石内機試験機業

所主任 樺太本斗郡内幌村大字氣

主字河津同業所氣行

伊藤 音吉 名古屋出張所主任

名古屋市中川區富川町一ノ一同出

張所氣行 電南一七五〇

世良鹿之助 小倉出張所長 小

倉市至町四ノ一三〇

日本石油(株)

東京市豊島區丸ノ内三ノ四

電話丸ノ内三三三三〇九

【資】八、〇〇〇萬圓

【創立】明治二十一年五月

【營業項目】原油ノ採掘輸入並ニ製

油、副産物製造販賣

【支店】大阪市西區江戸堀通三ノ

一八

【營業所】新潟縣柏崎町秋田縣土橋

港町北海道勇拂郡厚真村、臺灣

新竹州苗栗街樺太本斗郡内幌村

橋本圭三郎 取締役社長 東京

市淀橋區西大久保二ノ三五四 電

中野 鉄平 專務取締役 東京

市淀橋區西大久保一ノ四一六 電

水田 政吉 專務取締役 東京

市大森區桐里町五一九ノ二 電池

川久保修吉 專務取締役 東京

市澁谷區若木一八 電青山九五〇

山口誠太郎 取締役 東京市麴

町區五番町一四 電九段一五

西脇清三郎 取締役 東京市小

石川區關口臺町一 電牛込二〇四

鶴見左吉雄 取締役 東京市赤

坂區青山高樹町二ノ四 電青山

渡邊 讓吉 取締役 東京市大

森區山王一ノ二七三二 電大森二

渡邊 介 常任監査役 東京

市大森區久ヶ原町八〇九 電池上

山本 留次 監査役 東京市神

田區河原臺三ノ一 電神田一八

大村 一藏 地質課長 東京市

芝區一木復町三二 電高輪三四八

上野 幸作 營業課長 東京市

本郷區駒込千駄木町五一ノ三 電

平澤 嘉正 製油課長 東京市

中野區沼袋町三三 電中野四六一

南野 次郎 販賣課長 東京市

大森區田園調布三ノ六一 電田園

中田 謙一 考查課長 東京市

杉並區堀之内一ノ二三〇 電中野

奧山 雲藏 庶務課長 東京市

澁谷區千駄ヶ谷三ノ五〇一 電澁

榊原 椒 會計課長 鎌倉市

扇谷八〇 電鎌倉一三一六

栗山 淳一 秘書課長 東京市

澁谷區上落台一ノ五六九 電大塚

植村 武治 柏崎製業所長 新

潟縣刈羽郡柏崎町中濱四九 電柏

小池 清澄 秋田製業所長 秋

田市臺所町六 電九二七

谷口 二郎 北海道製業所長

札幌市南十二條四ノ一二五三

山田 尚吉 臺灣製業所長 新

竹州苗栗街社寮岡電苗栗三五

日本拓殖協會(財)

東京市小石川區春日町一ノ一

電小石川三八九一 四四七七

【創立】昭和十二年十二月

【事業】海外拓殖問題研究調査

永田秀次郎 會長 東京市小石

川區難波三ノ谷八三 電牛込二〇七

北島謙次郎 副會長 東京市澁

谷區代々木上ノ原二二〇七

今村 武志 理事長 東京市牛

込區中町一九 電牛込四一一〇

郡山 智 理事 東京市世田

ヶ谷區世田ヶ谷一ノ一九九 電

有賀 光豐 理事 東京市世田

ヶ谷區北澤町三ノ八八五 電四谷

植場 鐵三 理事 (拓務省ノ

櫻參照)

大藏 公望 男爵 理事 東京

市澁谷區代々木宮ヶ谷町一五〇川

合方 電澁谷一〇三二

大野綠一郎 理事 京城府大札

町政務總官之會

小河 正儀 理事 樺太豊原市

中野區沼袋町三三 電中野四六一

南野 次郎 販賣課長 東京市

大森區田園調布三ノ六一 電田園

中田 謙一 考查課長 東京市

杉並區堀之内一ノ二三〇 電中野

奧山 雲藏 庶務課長 東京市

澁谷區千駄ヶ谷三ノ五〇一 電澁

榊原 椒 會計課長 鎌倉市

扇谷八〇 電鎌倉一三一六

栗山 淳一 秘書課長 東京市

澁谷區上落台一ノ五六九 電大塚

植村 武治 柏崎製業所長 新

潟縣刈羽郡柏崎町中濱四九 電柏

小池 清澄 秋田製業所長 秋

田市臺所町六 電九二七

谷口 二郎 北海道製業所長

札幌市南十二條四ノ一二五三

山田 尚吉 臺灣製業所長 新

竹州苗栗街社寮岡電苗栗三五

松江 春次 監事 東京市本郷

區上富土前町一一 電大塚八〇

藤田 剛雄 文化部長 東京市

澁谷區百人町一ノ三〇 電澁橋六

佐々木 喬 科學部長 東京市

板橋區小竹町一七九 電練馬四

杉本 良 事業部長 東京市

世田ヶ谷區羽根木町一六五〇 電

松澤二八四二

日本パルプ工業(株)

東京市京橋區銀座四ノ三

富士ビル 電話京橋九、三九七番

【資】二、〇〇〇萬圓

【創立】昭和十二年六月

【工場】宮崎縣南那珂郡吾田村

高島菊次郎 取締役社長(王子

製紙會社櫻參照)

井上 憲一 專務取締役(王子

製紙會社櫻參照)

早房 長徳 常務取締役(王子

製紙會社櫻參照)

二五五

伊東 祐啓 常務取締役(王子製紙)
 製紙會社(株)參照)
 菊本直次郎 取締役 東京市赤坂區青山南町六ノ一六 電青山二二〇一
 常田健次郎 取締役 京都市東山區大河原町四五八 電祇園一〇〇七
 富田治郎右衛門 取締役 東京市澁谷區澁谷三ノ七九 電青山六七三
 小林準一郎 取締役 東京市澁谷區代々木本町八〇八 電四谷三三三〇
 田村駒治郎 取締役 大阪市東區安土町四ノ五五 電本町一三三三
 森 平藏 取締役 大阪市西區新町南邊四ノ三四 電新町一〇一一
 藤田好三郎 取締役 東京市中區馬橋町二天 電中野一〇九九
 兒玉 清助 取締役 東京市杉並區高根町四八 電荻窪三八四一
 加藤藤太郎 常任監査役(王子製紙會社(株)參照)

足立 正 監査役(王子製紙會社(株)參照)
 松本 弘造 監査役(王子製紙會社(株)參照)
 岩切早太郎 監査役 宮崎市中村町三ノ三 電宮崎二二三
 下郷 豊彦 監査役 東京市澁谷區伊達町八三 電高輪三三六七
 瀨尾喜一郎 監査役 大阪市南區豐町三ノ三九 電船場三三九四
 福永 友諒 支配人 浦和市高砂町四ノ一七一
 名和見 幾 山林課長 東京市荏原區中延町一〇六三
 金延 秀松 工場長 宮崎縣津町
 山本 忠一 工場次長 宮崎縣飯肥町後町

池尾 芳藏 總裁 東京市澁谷區下通五ノ一六 電四谷二〇四八
 小野 猛 副總裁 東京市品川區上大崎中丸三三八二 電大崎一〇二
 宮田 竹馬 理事 營業部長 東京市澁谷區下落合一ノ三六七 電大塚三八六八
 新井 榮吉 理事 建設部長 東京市澁谷區代々木初臺町四七二 電四谷九七三
 牧野 實一 理事 大阪支店長 兵庫縣武庫郡禮道村禮屋字西新田 電禮屋三六〇〇
 藤波 收 理事 工務部長 兵庫縣武庫郡禮道村禮屋字寺田六 電禮屋二五七二
 岸田 幸雄 理事 總務部長 大阪市住吉區松崎町二ノ一九 電天王寺四一〇
 永松 利熊 理事 經理部長 東京市目黒區南ノ木坂八二 電在野二四五六
 寶來 市松 參事 東京市澁谷區代々木初臺四六七 電四谷四一〇一

池尾 芳藏 參事 東京市澁谷區下通五ノ一六 電澁谷二四〇八
 松永芳左衛門 參事 東京市澁谷區下落合一ノ三六七 電大塚一九一
 林 安繁 參事 兵庫縣武庫郡本山村岡本二二四 電御影三三六七
 藤岡 芳藏 參事 東京市中野區千光町二一 電中野三八二五
 竹内賀久治 常任監事 東京市四谷區北伊賀町三八 電四谷五〇八
 磯村豊太郎 監事 東京市世田谷區上馬町三ノ九〇六 電世田ヶ谷二一八〇
 小倉 正恒 監事 大阪市住吉區相生通一ノ二四 電戎一三〇五
 木村平右衛門 監事 福岡市小島馬場二六 電西一七二二
 鈴木 忠治 監事 東京市麩町區三番町九 電九段一
 出弟 二郎 監事 東京市中野區宮前通一ノ一

日本發送電(株)

東京市小石川區小石川町一 電話小石川一五一一六〇
 【資】七三九、三一五、三百圓
 【創立】昭和十四年四月
 【支店】大阪市北區宗室町一 大阪支店 電土佐堀八三七〇

電中野五〇〇八
 穴澤 精一 監査課長 東京市世田ヶ谷區代田二ノ九五八 電松澤三三三五
 飯尾 盤 總務課長 橫濱市神奈川區二本樓四二 電神奈川一三六六
 小林 宇一 文書課長 東京市澁谷區下落合四ノ二二五二 電落合長崎一〇四四
 櫻井國太郎 學生課長 東京市荏原區小山町一七六
 石川 淳平 警財課長 千葉市登戸町三ノ一八四
 清水 元壽 事業課長 東京市大森區池上洗足町一六一 電荏原五二九六
 落合 高次 經理部次長 東京市澁谷區下落合一ノ三六七 電落合長崎一〇三四
 水岡平一郎 經理部會計課長 東京市世田ヶ谷區世田ヶ谷一ノ一四三八
 田畑 瑾一 經理部財務課長 東京市澁谷區柏木四ノ九七五 電淀橋一五一三

坂本 豊吉 經理部購買課長 東京市浦田區女塚町三ノ二二 電浦田四〇二二
 篠原 正雄 經理部配給課長 東京市澁谷區宇田川町五三野口方平 逸平 經理部石炭課長 東京市神田區鑿河臺三ノ三五、明關 龍二 營業部營業課長 東京市目黒區洗足一四七五ノ一 電荏原七二四〇
 山本 善次 營業部料金課長 東京市中野區沼袋町五九九
 菅 琴二 營業部業務課長 東京市芝區高輪南町五三 電高輪五二七三
 工藤 正平 工務部次長 東京市本郷區元町一ノ一三九文化ア、1ト内 電小石川一九三二
 吉安 秋夫 工務部工務課長 東京市杉並區大宮前五ノ二三四
 森 壽五郎 工務部給電課長 東京市杉並區荻窪一ノ一三七 電荻窪四九七五
 中村富士太郎 工務部水力發電課長 東京市四谷區舟町三五 電四

谷 九六
 福谷 貞逸 工務部發電課長 東京市浦田區浦田町六五〇
 内ヶ崎賢五郎 工務部送電課長 東京市杉並區馬橋三ノ三七六 電中野三三四〇
 關本 賢一 工務部發電課長 東京市本郷區西片町一〇ノ四一七 電號
 田邊文之助 建設部次長 東京市市川區大井出石町五〇八一 電大森一八二五
 赤澤政五郎 建設部次長兼機械設計課長 東京市本郷區駒込西片町一〇ノホノ三〇號 電小石川五八五八
 野口寅之助 建設部次長 東京市市川區原町一〇 電大塚五五五六
 淺倉 丈夫 建設部庶務課長 東京市澁谷區戸塚町二ノ一四〇 電牛込三六〇二
 米山正太郎 建設部電氣課長 東京市世田ヶ谷區玉川奧澤町一ノ七六 電田園調布一九八七
 淺野 楢龍 建設部線路課長

東京市中野區櫻山町一 安藤 新六 建設部調整課長 東京市杉並區阿佐ヶ谷六ノ二二六
 松田 文治 建設部土木設計課長 東京市小石川區關口臺町二 電牛込四一七三
 加藤 貢 建設部土木課長 東京市芝區白金台里町八九
 小田島精作 建設部機械工事課長 東京市大森區田園調布三ノ六六四
 高草 立夫 大阪支店次長 西宮市江上町一八
 住田 一郎 大阪支店庶務課長 兵庫縣川邊郡伊丹町綠ヶ丘
 近野 万壽 大阪支店經理課長 大阪市住吉區南町西四ノ二二
 鍋島 卯八 大阪支店業務課長 大阪市宗室町一同支店氣付
 高岡 幾造 大阪支店發電課長 西宮市川東町九〇
 本間銀四郎 大阪支店送電課長 長 大阪市住吉區明通一ノ七八 電天下茶屋二〇三一
 高橋榮四郎 大阪支店給電課長 豐中市鶴野田町二五

小林 靜雄 經理部長 東京市
世田ヶ谷區玉川東澤町三ノ一五四
電田園市二四八一
住宮 三七 大阪出張所長 西
宮市津田西口町二六 電西宮三
七八七
川野通之助 名古屋出張所長
名古屋市東區新出町三ノ一

北越製紙(株)

長岡市蔵王町八〇〇
電長岡二二〇一
東京出張所 日本橋區本石町三ノ
一
電日本橋五三三一一五
(大阪出張所) 東區瓦町三丁目一
【資】一三二五萬圓
【創立】明治四十年五月
【工場】長岡、沼垂、新潟、府船、
市川

田村 文吉 事務取締役營業部
長兼長岡工場長 長岡市長町一ノ
一六七ノ甲 電長岡八七五
覺張 義平 取締役 長岡市表
町三ノ九〇〇 電長岡七五
田村文之助 取締役 長岡市神

田町一ノ五〇〇 電長岡二二二
大橋 武雄 取締役 東京市澁
谷區平臺町五一 電澁谷二八二〇
小川清一郎 取締役 長岡市表
町四ノ七九九 電長岡二二三
中村 恒 取締役 市川工場
長 東京市豊島區白町三ノ三五
七〇 電大塚六二二五
小林 宗作 取締役 新潟沼垂
附船工場長 新潟市沼垂町鏡ノ岡
八ノ一 電新潟三三五五
山本 留次 監査役 東京市神
田區駿河臺三ノ二ノ一 電神田一
八
山口誠太郎 監査役 東京市豊
町區五番町一四 電九段四一五
山口 健造 監査役 長岡市東
千手町四二ノ甲 電長岡三七〇
大橋新太郎 相談役 東京市豊
町區三番町三ノ一五 電九段四
一
山口 政治 相談役 神奈川縣
足柄下郡小田原町綠町四ノ七三
八 電小田原七七二
星野 量平 經理部長 長岡市
種古町一六二六 電長岡四一三

鈴木 七資 林業部長 三條市
二ノ町九六 電三條一〇三三
坪井 芳郎 庶務課長 長岡市
神田町二三三
鈴木 新資 會計課長 長岡市
長町一ノ二九九
山崎 吉雄 課長 長岡市
四郎丸本町一ノ〇四八
福原 孝 勞務課長 長岡東
櫻木町三
野本 松平 購買課長兼販賣課
長 長岡市表町三ノ四二七
矢島 專介 業務課長 長
岡市表町一六〇二
近藤 龍吉 東京出張所主任
東京市杉並區高圓寺三ノ二六
野中 久藏 大阪出張所主任
大阪府市小坂町中六〇〇
竹内 直助 樺太事業主任 樺
太名好郡名好村澤内
川越仁三郎 長岡工場次長 長
岡市坂ノ上町一ノ六一 電長岡一
二六四
田村 文治 新潟工場次長 新
潟市西大畑町五二〇ノ七
覺張 彦一 市川工場次長 市

北海電力電氣(株)

川市市川五ノ九七一 電市川五
六
石田 了三 ファイバー工場主
任 長岡市種古町一四六
田村 貫一 沼垂附船工場長代
理 新潟市本町通八番町 電新潟
二四七
荒川滿壽夫 同上工場次長 新潟
縣中浦原郡石山村馬越六七六
札幌市大通東一ノ二二
電札幌二六四〇
(東京出張所) 麹町區有樂町東日會
館内
【資】三二二五萬圓
【創立】大正十五年十月
【支店】小樽支店

高島菊次郎 取締役社長(王子
製紙會社參照)
田中 治朗 取締役副社長(王
子製紙會社參照)
濱田 束稻 事務取締役 札幌
市大通西六丁目 電札幌二〇〇三
後藤 國明 常務取締役 工務

會社欄參照)

臨時建設部長 札幌市南七條西
十七丁目 電札幌一七二五
大橋新太郎 取締役(王子製紙
會社參照)
寺田 省歸 取締役 小樽市富
岡町一電小樽二〇五
板谷 宮吉 取締役 小樽市色
内町六 電小樽一一八
岡崎久次郎 取締役 東京市芝
區白金今里町 電高輪一四一〇
村田不二三 取締役 札幌市北
條西二丁目 電札幌二二八
櫻井久我治 取締役 東京市赤
坂區青山南町二 電青山五三三
菅野 修藏 取締役兼小樽支店
長 小樽市綠町四 電小樽二四三
七
水島 左造 取締役兼札幌營業
部長 札幌市北二條東一丁目札幌
一一七六
遠藤石太郎 監査役 東京市澁
橋區下落台一 電澁谷長崎一三三二
一
足立 正 監査役(王子製紙
會社參照)
一柳 貞吉 監査役(王子製紙

會社欄參照)
高田 良作 監査役 北海道勇
拂郡古小牧町王子町
天野 慎一 技師工務部長代理
兼臨時建設部部長 札幌市南十
條西十六ノ一四七四 電札幌三七
二八
寺田 兵治 經理部長兼會計課
長 札幌北三條西十六 電札幌一
二一九
湯澤 喜重 工務課長 札幌市
大通東四 電札幌一一九九
佐藤 滿 營業課長 札幌市
南十六條西八 電札幌二二八四
峰田 忠義 庶務課長 札幌市
大通東七 電札幌二七四六
横尾 清 小樽支店工務課長
小樽市綠町一ノ二二 電小樽一九
六一
高橋常三郎 小樽支店營業課長
小樽市綠町四ノ四 電小樽三二七
六
松田勘治郎 小樽支店庶務課長
小樽市綠町四ノ一 電小樽三六
二九
松本 佐市 小樽支店會計課長

北海道拓殖銀行(株)

小樽市松ヶ枝町一 電三一九九
藤井 靖夫 東京出張所主事
東京市芝區白金三光町三三六 電
高輪三四六五
石川 巽 東京出張所主事補
東京市豊町區有樂町 三信ビル出
張所兼付
札幌市大通西三ノ七七
電一〇三〇
(東京支店) 麹町區丸ノ内九ビル
電話丸ノ内四二二一五
【資】二、〇〇〇萬圓
【創立】明治三十六年四月
【支店出張所】五十一ヶ所

永田 昌緯 頭取 札幌市南八
條西四ノ二八八 電札幌一一四
柳澤 直衛 取締役 札幌市北
一條西五ノ一 電札幌一八〇
五十嵐與三 取締役 札幌市大
通西一〇ノ四 電札幌一一五
宮口 眞 常務監査役 札幌
市南三條西一〇〇三 電札幌

一七九
門野重九郎 監査役 東京市赤
坂區新坂町五一 電赤坂三九四〇
西森猷太郎 監査役 東京市杉並
區松原北町一〇〇
齋藤富一郎 秘書 札幌市北
條一西一三ノ一 電札幌八九五
高橋 太郎 經理課長兼人事課
長 札幌市南十七條西八ノ五八七
電札幌市南十七條八ノ五八七 電
札幌三三一九
松下 利男 検査課長 札幌市
南十三條西十三 電札幌五二六
岩間 重吉 検査役 札幌市南
十六條西八
高垣辨治郎 検査役 札幌市南
十四條西十三
井上外幾雄 鑑定課長 札幌市
北四條西十八ノ二 電札幌二九二
九
勝藤 孝一 鑑定役 札幌市北
四條西十七ノ一 電札幌一九〇七
大澤 一 鑑定役 札幌市北
四條西十一ノ一
木村 武彦 業務課長 札幌市
南十一條西一ノ二六〇 電札幌

三三八八 小玉 金作 調査役 札幌市南
 大橋西六 山内 英尙 調査役 札幌市南
 十五條西七ノ一〇六〇 電札幌一
 一〇五 渡邊 精一 管理課長 札幌市
 外圍山町字園山大通八ノ一八三
 電札幌五四八九 井上 貞夫 調査役 札幌市外
 圍山町北四條一 藤村 忠 調査課長 札幌市
 南八條西十六ノ一三七七 電札幌
 三三三 岡村 昌則 調査役 札幌市南
 八條西十七 村上 勝三 頭取席 札幌市南
 十四條西六 電札幌三七八 安積 一郎 營業部支配人 札
 幌市南十一條西十 電札幌五五〇
 佐々木武四郎 營業部副支配人兼
 貸付主任 札幌市南十三條西八
 電札幌一三八二 小林 清 營業部副支配人
 札幌市南七條西十八 黒川 吉雄 營業部副支配人兼
 副主任 札幌市南二二條西九
 電札幌三二八六 藤田 金一 營業部出納主任
 札幌市大通西十五ノ三 電札幌四
 一七三 桒村 金松 營業部爲替主任
 札幌市北六條西二十 高橋 源三 營業部預金主任
 札幌市北三條西十五 上村宇多彌 東京支店支配人
 東京市麻布區龍土町七四 電赤坂
 二四二二 宮本賢吉郎 秘書役兼副支配人
 東京市豊島區池袋四ノ四四三 電
 大塚五三六 大政菊太郎 副館支店支配人
 函館市杉並町七六 電函館七六二
 帖佐 猛 函館支店支配人 函館市時任町
 中島 久吉 森支店支配人 北
 海道茅部郡森町字上三三一 電森
 一四六 田村 博吉 岩内支店支配人
 北海道岩内郡岩内町御嶽内町六四
 電岩内一六六 道家 齊次 小樽支店支配人
 小樽市宮岡町三ノ三〇 電小樽一
 〇六〇 録島 潔巳 伊達支店支配人
 北海道有珠郡伊達町字綱代町二二
 電伊達一四六 江連 定一 室蘭支店支配人
 室蘭市清水町四電室蘭四五六
 齋藤 亞倫 苫小牧支店支配人
 北海道勇拂郡苫小牧町幸町一 電
 六四 木村 兵一 浦河支店支配人
 北海道浦河郡浦河町大通二ノ三二
 電浦河二二二 小田 昌 岩見澤支店支配人
 北海道空知郡岩見澤町三條東三
 電岩見澤二六五 白野甲峰松 浦川支店支配人
 北海道空知郡浦川町字藤前通北二
 電浦川一〇五 岡村 二郎 深川支店支配人
 北海道雨龍郡深川町花園七 電深
 川七四 石津 重政 留萌支店支配人
 北海道留萌郡留萌町清通 電一
 六三 中川 義彦 羽幌支店支配人
 北海道苫前郡羽幌町大通一ノ二〇
 電羽幌五九 田中 正恭 旭川支店支配人
 旭川市六條通 〇右七 電旭川一
 七三〇 中野善太郎 土別支店支配人
 北海道土川郡土別町字十期七二一
 電土別二九 西 佐久一 名寄支店支配人
 北海道土川郡名寄町西二條南一〇
 電名寄一四五 大原 弘 富良野支店支配人
 北海道空知郡富良野町東三條南四
 電富良野七八 井出 光宅 帯広支店支配人
 帯広市東一條南七ノ二 電帯広三
 〇二 阿部 峻 釧路支店支配人
 北海道釧路市浦見町六ノ一〇 電
 釧路四四八 野村 英一 根室支店支配人
 北海道根室郡根室町字清隆町一ノ
 三〇 電根室三三 佐藤 健二 野付牛支店支配人
 北海道常呂郡野付牛町一條通東三
 電野付牛一五四

高橋 英雄 網走支店支配人
 北海道網走郡網走町南七條東五
 電網走一五五 梅本 郁哉 斜里支店支配人
 北海道斜里郡斜里村一 電斜里六
 山崎軍一郎 遠軽支店支配人
 北海道紋別郡遠軽町神通 電遠
 軽一六九 鷗目 克己 紋別支店支配人
 北海道紋別郡紋別町新市街一七七
 電紋別一六六 清野 新一 稚内支店支配人
 北海道宗谷郡稚内町山下通五 電
 稚内六六 飯田 實 豊原支店支配人
 豊原市東一條南四ノ一九 電豊原
 一〇四八 山田 園武 大泊支店支配人
 樺太大泊町本町西一條南六 電大
 泊一 村岡 貞三 真岡支店支配人
 樺太真岡町谷町五 電真岡二六
 町野 角市 本斗支店支配人
 樺太本斗町大通一ノ一 電本斗一
 一五 田中 義幸 野田支店支配人
 網走主任 札幌市南二二條西九
 電札幌三二八六 藤田 金一 營業部出納主任
 札幌市大通西十五ノ三 電札幌四
 一七三 桒村 金松 營業部爲替主任
 札幌市北六條西二十 高橋 源三 營業部預金主任
 札幌市北三條西十五 上村宇多彌 東京支店支配人
 東京市麻布區龍土町七四 電赤坂
 二四二二 宮本賢吉郎 秘書役兼副支配人
 東京市豊島區池袋四ノ四四三 電
 大塚五三六 大政菊太郎 副館支店支配人
 函館市杉並町七六 電函館七六二
 帖佐 猛 函館支店支配人 函館市時任町
 中島 久吉 森支店支配人 北
 海道茅部郡森町字上三三一 電森
 一四六 田村 博吉 岩内支店支配人
 北海道岩内郡岩内町御嶽内町六四
 電岩内一六六 道家 齊次 小樽支店支配人
 小樽市宮岡町三ノ三〇 電小樽一
 〇六〇 録島 潔巳 伊達支店支配人
 北海道有珠郡伊達町字綱代町二二
 電伊達一四六 江連 定一 室蘭支店支配人
 室蘭市清水町四電室蘭四五六
 齋藤 亞倫 苫小牧支店支配人
 北海道勇拂郡苫小牧町幸町一 電
 六四 木村 兵一 浦河支店支配人
 北海道浦河郡浦河町大通二ノ三二
 電浦河二二二 小田 昌 岩見澤支店支配人
 北海道空知郡岩見澤町三條東三
 電岩見澤二六五 白野甲峰松 浦川支店支配人
 北海道空知郡浦川町字藤前通北二
 電浦川一〇五 岡村 二郎 深川支店支配人
 北海道雨龍郡深川町花園七 電深
 川七四 石津 重政 留萌支店支配人
 北海道留萌郡留萌町清通 電一
 六三 中川 義彦 羽幌支店支配人
 北海道苫前郡羽幌町大通一ノ二〇
 電羽幌五九 田中 正恭 旭川支店支配人
 旭川市六條通 〇右七 電旭川一
 七三〇 中野善太郎 土別支店支配人
 北海道土川郡土別町字十期七二一
 電土別二九 西 佐久一 名寄支店支配人
 北海道土川郡名寄町西二條南一〇
 電名寄一四五 大原 弘 富良野支店支配人
 北海道空知郡富良野町東三條南四
 電富良野七八 井出 光宅 帯広支店支配人
 帯広市東一條南七ノ二 電帯広三
 〇二 阿部 峻 釧路支店支配人
 北海道釧路市浦見町六ノ一〇 電
 釧路四四八 野村 英一 根室支店支配人
 北海道根室郡根室町字清隆町一ノ
 三〇 電根室三三 佐藤 健二 野付牛支店支配人
 北海道常呂郡野付牛町一條通東三
 電野付牛一五四

樺太野田町王子一 電野田五
 吉村 榮一 泊居支店支配人
 樺太泊居町山下町一ノ五 電泊居
 四一 山口 六榮 惠須取支店支配人
 樺太惠須取町惠須取字南濱町一ノ
 九 電惠須取一六 丸山 愛司 留多加支店支配人
 樺太留多加町大字一五 電留多加
 二二二 村山 元吉 落合支店支配人
 樺太落合町字中通北一ノ四 電落
 合一〇六 近藤 次郎 知取支店支配人
 樺太知取町壽町一ノ一 電知取二
 一六 近藤 周治 敷香支店支配人
 樺太敷香町大通北六ノ二二 電敷
 香二二二

増田商事(株)
 東京市豊岡區豊岡一ノ七
 電話 九段 三四五番
 【資】一八〇萬圓
 【創立】昭和十年一月
 【支店】小樽、東京深川、大泊、大
 連、青島
 【營業種目】木材、山林

増田 久五郎 代表社員 小樽市
 山ノ上町一ノ三二 電小樽一三三
 増田 龜吉 代表社員 東京市
 麹町區麹町一ノ七電九段三四五八

増田 (合名)
 北海道小樽市山ノ上町二二
 【資】一五〇萬圓
 【創立】大正十二年
 【支店】東京、大泊、名好
 【營業種目】船舶、鑛業

佐々木時造 取締役社長 東京
 市品川區長者九二七八 電大崎二
 〇二七 奥 秀次郎 専務取締役 本店
 支配人 神奈川県茅ヶ崎町下高砂
 下 電茅ヶ崎一四 北 武治 常務取締役 豊原
 支店長 樺太豊原市南一條東一〇
 電豊原一〇六九 松村市太郎 取締役 支店會計
 主任 豊原市東一條南一丁目十三
 笠松 豊雄 取締役 支店營業

丸茶佐々木商店(株)
 東京市日本橋區京橋一ノ五ノ一
 電話日本橋一九六〇・一九五八番
 【資】五〇萬圓
 【創立】昭和六年十一月
 【支店】樺太豊原市大通南二丁目豊
 原支店、樺太大泊町榮町大泊出
 張所、樺太惠須取町南濱町惠須
 取出張所
 【營業種目】機關車、客車、貨車、
 タクマボイラー、日立モートル
 火藥、石炭、セメント、ジーエ
 ス電池

主任 豊原市大通南一ノ九
佐々木榮一郎 監査役 東京市
品川區上大崎長者九二七八 電大
崎〇二七
太田富次郎 本店營業主任 東
京市日本橋區吳服橋三ノ五
小原 章平 大泊出張所長 榎
本大泊町榮町大通十三電大泊五五
三上 眞弘 惠須取出張所長
榎本大須取町南濱町 電惠須取一
二〇

市世田ヶ谷區松原町四ノ四八
莊原 和作 常務取締役 東京
市赤坂區青山高樹町一六
辻 俣一郎 常務取締役 東京
市豊島區西巢鴨二ノ九五五 電大
塚六三〇七
三井 高修 取締役 東京市小
石川區水道町二 電小石川三七五
三井 高陽 取締役 東京市小
石川區龜岡ヶ谷町二二四 電牛込
三六四一
高島、基江 取締役 東京市豊
島區巢鴨六ノ一五三八 電大塚一
七七〇
向井 忠晴 取締役 東京市品
川區北品川六ノ三四二ノ二 電大
崎三〇四三
松田 範房 取締役 東京市品
川區金王町四六 電青山四一八六
有田靖太郎 取締役 東京市品
川區戸塚町二四〇ノ九 電在原
七〇六六
今永徹次郎 取締役 岐阜縣吉
城郡船津町三井神岡鐵業所内
稻荷田稻助 取締役 大牟田市
山上町五七

林 俊香 取締役 東京市杉
並區馬橋二ノ二〇 電中野三四
八六
森本光太郎 取締役 東京市世
田ヶ谷區上馬町三ノ九一八
河合 賢三 常任監査役 東京
市世田ヶ谷區赤堤町一ノ五〇三
電松澤三三六三
橋本 幸造 常任監査役 東京
市小石川區原町一六 電大塚四四
九六
三井 高大 監査役 東京市豊
島區一番町一六ノ一 電九段三五
八二
加藤要一郎 川上工業所長兼西
桐丹鐵業所長 榎本豊原郡川上村
三井川上鐵業所内

池田龜三郎 常務取締役 東京
市世田ヶ谷區原宿三ノ三三一 電青山
二二一
山下 元美 常務取締役 製鐵
部長 東京市淀橋區下落合一ノ四
五六 電大塚三八五一
小村千太郎 常務取締役 東京
市世田ヶ谷區三宿町一七一 電世
田ヶ谷三七六〇
岩崎小彌太 取締役 東京市麻
布區高尾坂町二 電赤坂八八〇
岩崎彦彌太 取締役 東京市本
郷區龍岡町七 電小石川七一三七
永原 伸雄 取締役 東京市世
田ヶ谷區玉川田圃調布二ノ七〇三
電田圃調布三〇四七
松田貞治郎 取締役 東京市麻
布區本村町二五電三田四五〇
横尾 帝力 取締役 保安部長
東京市豊島區代々木富ヶ谷町一三
九〇 電渡谷 六八八
勝保 英 取締役 技術部技
師長 東京市目黒區中目黒一ノ五
八〇 電大崎 二七〇
佐々木高之助 取締役 茂山鐵
山長兼清津製鐵所長 東京市小石

三井鑛山(株)

東京市日本橋區室町二ノ一ノ一
電話日本橋 三三三三番
【資】一億圓
【創立】明治四十四年十一月
【營業項目】石炭、コークス、鍊、
金屬製品、染料工業及化學用藥
品機械其他

川島 三郎 取締役會長 常務
取締役 東京市四谷區大番町一八
電大塚四六七二
林 新作 常務取締役 東京
市麻布區富土見町一八 電三田三
五四四
淡輪 雅信 常務取締役 東京

三菱鑛業(株)
東京市豊島區丸ノ内一ノ四
電話丸ノ内 二二三一九番
【創立】大正七年四月
【營業項目】金、銀、電氣鋼、石炭
河手 拾二 取締役會長 東京
市世田ヶ谷區長谷町五二 電渡谷一
八六一

市世田ヶ谷區松原町四ノ四八
莊原 和作 常務取締役 東京
市赤坂區青山高樹町一六
辻 俣一郎 常務取締役 東京
市豊島區西巢鴨二ノ九五五 電大
塚六三〇七
三井 高修 取締役 東京市小
石川區水道町二 電小石川三七五
三井 高陽 取締役 東京市小
石川區龜岡ヶ谷町二二四 電牛込
三六四一
高島、基江 取締役 東京市豊
島區巢鴨六ノ一五三八 電大塚一
七七〇
向井 忠晴 取締役 東京市品
川區北品川六ノ三四二ノ二 電大
崎三〇四三
松田 範房 取締役 東京市品
川區金王町四六 電青山四一八六
有田靖太郎 取締役 東京市品
川區戸塚町二四〇ノ九 電在原
七〇六六
今永徹次郎 取締役 岐阜縣吉
城郡船津町三井神岡鐵業所内
稻荷田稻助 取締役 大牟田市
山上町五七

廣川 政吉 尾平鐵山長 大分
縣大野郡長谷川村尾平社宅
大坪 輝雄 細倉鐵山長 宮城
縣栗原郡鷹巣村南郷野秋法社宅
谷崎 明 手稻鐵山長 北海
道札幌市手稻村大字手稻屋置社宅
電札幌 二五
關口 健造 朝鮮鐵業所長 京
城府元町三ノ二五一 電龍山一〇
五九
長崎團次郎 高島鐵業所長 長
崎縣西彼杵郡高島村中山社宅 電
高島 一
杉浦久三郎 須豐鐵業所長 直
方市御館山社宅
川浪守三郎 美明鐵業所長 北
海道空知郡美明町美明社宅 電我
路四
城 文司 大夕張鐵業所長
北海道夕張町社宅 電大夕張六
三田村貞雄 飯塚鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字平垣一九五
社宅
是松 了 勝田鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字炭焼六〇

廣川 政吉 尾平鐵山長 大分
縣大野郡長谷川村尾平社宅
大坪 輝雄 細倉鐵山長 宮城
縣栗原郡鷹巣村南郷野秋法社宅
谷崎 明 手稻鐵山長 北海
道札幌市手稻村大字手稻屋置社宅
電札幌 二五
關口 健造 朝鮮鐵業所長 京
城府元町三ノ二五一 電龍山一〇
五九
長崎團次郎 高島鐵業所長 長
崎縣西彼杵郡高島村中山社宅 電
高島 一
杉浦久三郎 須豐鐵業所長 直
方市御館山社宅
川浪守三郎 美明鐵業所長 北
海道空知郡美明町美明社宅 電我
路四
城 文司 大夕張鐵業所長
北海道夕張町社宅 電大夕張六
三田村貞雄 飯塚鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字平垣一九五
社宅
是松 了 勝田鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字炭焼六〇

廣川 政吉 尾平鐵山長 大分
縣大野郡長谷川村尾平社宅
大坪 輝雄 細倉鐵山長 宮城
縣栗原郡鷹巣村南郷野秋法社宅
谷崎 明 手稻鐵山長 北海
道札幌市手稻村大字手稻屋置社宅
電札幌 二五
關口 健造 朝鮮鐵業所長 京
城府元町三ノ二五一 電龍山一〇
五九
長崎團次郎 高島鐵業所長 長
崎縣西彼杵郡高島村中山社宅 電
高島 一
杉浦久三郎 須豐鐵業所長 直
方市御館山社宅
川浪守三郎 美明鐵業所長 北
海道空知郡美明町美明社宅 電我
路四
城 文司 大夕張鐵業所長
北海道夕張町社宅 電大夕張六
三田村貞雄 飯塚鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字平垣一九五
社宅
是松 了 勝田鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字炭焼六〇

廣川 政吉 尾平鐵山長 大分
縣大野郡長谷川村尾平社宅
大坪 輝雄 細倉鐵山長 宮城
縣栗原郡鷹巣村南郷野秋法社宅
谷崎 明 手稻鐵山長 北海
道札幌市手稻村大字手稻屋置社宅
電札幌 二五
關口 健造 朝鮮鐵業所長 京
城府元町三ノ二五一 電龍山一〇
五九
長崎團次郎 高島鐵業所長 長
崎縣西彼杵郡高島村中山社宅 電
高島 一
杉浦久三郎 須豐鐵業所長 直
方市御館山社宅
川浪守三郎 美明鐵業所長 北
海道空知郡美明町美明社宅 電我
路四
城 文司 大夕張鐵業所長
北海道夕張町社宅 電大夕張六
三田村貞雄 飯塚鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字平垣一九五
社宅
是松 了 勝田鐵業所長 福
岡縣嘉穂郡嘉穂村大字炭焼六〇

田中 藤雄 塔路礦業所副長
樺太名好郡塔路町字塔路
大草 大 塔路礦業所副長
樺太名好郡塔路町字塔路

室蘭埠頭(株)

室蘭市本論西町
電話室蘭一番

栗林 徳一 取締役社長 室蘭
市常盤町三三五 電話室蘭五

足立 正 取締役(王子製紙
會社(株)參照)
濱田 束稻 取締役 東京市淀
橋區百人町三ノ二七 電話四谷二
〇三

栗林 友二 取締役 東京市澁
谷區大山町二 電話谷一八七二

吉田 利和 取締役 室蘭市榮
町二 電話室蘭七

加藤藤太郎 監査役(王子製紙
會社(株)參照)
山田宇一郎 監査役 室蘭市常
盤町二二二 電話室蘭二六〇

明治製菓(株)

東京市京橋區京橋一ノ八
電話京橋四二四一三〇番

相馬 半治 取締役會長 東京
市芝區伊皿子五二 電話高輪四八七

有馬 健助 取締役社長 東京
市中野區千代田町四六 電中野二
四四〇

植垣彌一郎 專務取締役 東京
市中野區桃園町六電中野三三三七

福島四一郎 常務取締役兼製菓
部長 東京市大森區調布千鳥町六
三五 電話調布二六六三

字塚 善治 常務取締役 營業
部長 東京市杉並區永福町一八
電杉並二四二七

小出 義男 常務取締役兼製乳
部長 東京市浦田區原町五二
電話浦田三二〇一

藤野 幹 取締役 東京市麻
布區尾町一七ノ一〇 電話三田二
六八八

崎市堤根三七 電川崎二四五七

石崎 芳吉 取締役 東京市澁
谷區原宿二ノ一七〇ノ八 電青山
八五一

山本 留次 監査役 東京市神
田區駿河臺三ノ一ノ一 電神田一八

古谷辰四郎 監査役 札幌市南
一條西一ノ二

山成 喬六 監査役 東京市目
黒區柿木坂四六八電在原四六八一

森永製菓(株)
東京市芝區田町一ノ二二
電話三田 二二一九番

松崎半三郎 取締役社長 東京
市麻布區本村町二五 電三田四六
三八

大串 松次 常務取締役 東京
市芝區高輪南町三〇 電話高輪五〇
八一

大森三一五

白川 順一 常務取締役 東京
市大井庚塚町四九四六 電大森二
六八七

益田 太郎 取締役 東京市麴
町區平河町一ノ二五 電九段一六
一八

中村 芳三 取締役 東京市世
田ヶ谷區上馬町三ノ一〇五〇 電
世田ヶ谷二八七八

渡邊 安雄 取締役 東京市赤
坂區新坂町一六 電赤坂二七六一

武智 直道 監査役 東京市麻
布區市兵衛町一ノ二三 電赤坂九
八〇

櫻井 小一 監査役 東京市小
石川區西江戸川町四 電小石川五
二二八

高田龜太郎 研究所長兼上務課
長 東京市大森區田調調布三ノ九
七 電田調調布二八七八

眞田 武 庶務課長 橫濱市
鶴見區下末吉町一四三 電鶴見一
七八八

落合多賀一 中央輸出部長 東
京市在原區小山町五〇六 電在原

一六九五
森永 太平 中央仕入部長 東
京市大森區田調調布三三三 電田
調調布二九〇〇

上田 光 監理課長 東京市
浦田區志茂田町五

山崎 宗晴 營業部長兼廣告課
長 東京市麻布區本村町一〇〇
電話高輪一六三四

土屋持次郎 株式課長 東京市
牛込區橋本町一四

萬田 一治 ベルトライン課長
東京市大森區久ヶ原町二七二

齋藤 武 ビスケツト課長兼
營業部長代理 東京市大森區南千
束二六八 電在原四七二四

森脇圭一郎 キヤラメル課長
促進課長兼營業部長代理 東京市
大森區上池上町八四六 電在原四
四六七

澤井巳喜造 チョコレート課長
東京市世田ヶ谷區東玉川一〇四

八木 敬雄 百貨店課長 ミゼ
ツト課長 東京市目黒區中根町一
七七九

小西 榮藏 ドロツプ課長 東

京市浦田區道塚町八
永田 猶作 キャンデー課長
東京市大森區新井宿四ノ一〇〇六

中島猪太郎 運輸課長 東京市
大森區馬込町西四ノ二九八五

瀨戶口龍治 會計課長 東京市
大森區上池上町一〇二七

稻生 庄八 廣告課長代理 東
京市麻布區宮村町一〇

齋藤 芳朗 企業課長 東京市
芝區田町一ノ二二同社氣付

森田圓太郎 大阪出張所長 兵
庫縣武庫郡船道村打出西長川

石丸 與市 鶴見工場長 橫濱
市鶴見區上末吉町八八七 電鶴見
三〇一八

伊藤 次郎 塚口工場長 兵庫
縣川邊郡花村東宮松一〇一六

大場半五郎 大連工場長 大連
市高橋町一六 廣田ビル内

日下部治郎 福岡工場長 福岡
縣筑紫郡日佐村井尻三五

山下汽船(株)

神戸市神戶區榮町通三ノ六
電話三宮 五三四〇一八番

東京支店 龜町區丸ノ内入東洲ビル
電話丸ノ内 一五六一番

【支店】名古屋、大阪、橫濱、門司
大連、上海、紐育、ロンドン、
シドニー、シヤトル

山下龜三郎 取締役社長 東京
市芝區高輪南町四七電高輪三三七

山下 太郎 專務取締役 兵庫
縣武庫郡住吉村坊ヶ塚四六四 電
御影三八〇五、東京市品川區五反
田五丁目六八 電大塚一五〇

磯村 正之 常務取締役 神戸
市夙合區夙合通電合四二八

納賀 雅友 常務取締役 兵庫
縣武庫郡住吉村雨ノ神 電御影一
四九〇

金井 久昌 常務取締役 神戸
市神戶區北野町一ノ三 電高輪一

野坂喜代志 常務取締役 東京
市目黒區三田三七電大崎三三五〇

川嶋玄二郎 取締役 神戸市神
戶區山手通七ノ九九 電元町二二
八一

小島 五郎 取締役 兵庫縣武
庫郡御影三五四七

澤田 文治 取締役 ヤマシタ
ライン一七 バイタリー プレリ
ス ニュヨーク シイテイ

高橋 勇 取締役 東京市牛
込區納戸町二六 電牛込二五六

坪井 俊三 監査役 神戸市查
合區上高井通六ノ五電合三三三三

堀井勇三郎 監査役 東京市在
原區中延町一〇一 電三三三六七

六合成造紙廠(株)
滿洲國安東市中興鎮
電話三〇九三・四六〇四
一八六四

【資】國幣一五〇萬圓
【創立】昭和二年七月
【工場】滿洲國安東市
【營業項目】製紙業

【資】國幣一五〇萬圓
【創立】昭和二年七月
【工場】滿洲國安東市
【營業項目】製紙業

足立 正 専務取締役 東京市
市麻布區藤田町三八 電番三三七
二二二
井上 憲一 取締役 東京市並
谷區原宿一ノ二三一 電番山三
四六
藤原 喜藏 取締役 京城府漢
江通二一
富山治郎右衛門 取締役 東京
市並谷區藤田三ノ七九 電番山六
七三三
河原 三郎 取締役 東京市並
田ヶ谷區成城町七八四
横井半三郎 監査役 東京市並
谷區平町一七 電番八九六
牟田吉之助 監査役 朝鮮新羅
州府麻田洞三八五
小林 茂 經理 瀨州國安東
市大和橋二ノ三
植栗 栗二 事務長 瀨州國安
東市大番町四ノ四

樺太關係名士錄

安久津庄右衛門 明入 宮城
京大英法科 北千島大同漁業取締
役 小樽市南町一四
安藤 一太 元樺太總事務官林
務局長 東京市世田ヶ谷區太子堂
町三三四
東 舜 英 明一九 石川 早
大政治科 元拓殖相秘書官 東京
市會議員 東京市世田ヶ谷區大原
町一〇九 電世田ヶ谷七〇二〇
足立 正 明治十六年一月生
る 同三十八年東京高商卒業 北
海道鐵道株式會社社長 北鮮製紙
化學工業株式會社副社長 王子製
紙 鴨綠江製紙 王子證券 樺太
鐵道各株式會社事務 東洋製紙
日滿パルプ製造 北海水電 雨龍
電力 室蘭埠頭倉庫 南樺鐵道
日本フエルト各株式會社取締役
山陽パルプ 日本金網 川島洋紙
店 共榮起業各株式會社監査役

東京市麻布區藤田町三八 電番坂
三七二
荒木田莊助 北盛商會主 元樺
太總務取締役 現任樺太機械製作
所常務取締役 技師長たり 東京市
下谷區西町二二 北盛商會
淺山 正儀 元樺太總支局長
東京市浦田區新宿四〇三
赤木 親之 明三五 廣島 京
大政治科 内務事務官 拓務省書
記官兼任 上海工部局副總監
縣 忍 明一四 靜岡 東
大獨法科 警視廳警務部長 千葉
縣馬各縣知事 樺太總長官 大阪
府知事 職 名古屋市長 東京市
杉並區高圓寺六ノ六六三 電中野
五五九四
井上 豊 靜岡 東大農學科
元拓務技師 東京市大森區馬込町
東一ノ一〇九〇
井上 憲一 王子製紙 共同洋
紙各株式會社事務 丸王商店 樺
太鑛業 六合造紙公司 雨龍電
力 北鮮製紙 化學工業 日本加
工紙 富士川製紙 日滿パルプ製
造 東洋製紙各株式會社取締役
樺太鐵道 入代製紙 大同洋紙店

中井商店 富士洋紙店 川島洋紙
店各株式會社監査役 東京市小石
川區小日向臺町二ノ二五 電大塚
四七一
福岡縣誠造長男 明治十四年一月
十八日生る 同三十三年下關商業
卒業 三井物産に入り同四十四年
王子製紙に轉じ取締役たり 日本
工業俱樂部會員なり
伊藤 憲助 樺太鑛業株式會社
東京出張所長 英殖鑛業株式會社
取締役 東京市中野區江古田町一
ノ二二八 明治二十三年七月十
四日仙臺市に生れ伊藤安右衛門の
養子となる 専大經濟科に學び宮
城商業銀行 大川平三郎事務所
樺太工業 王子製紙に歷勤 昭和
十年現社に轉ず
伊藤 正策 財團法人 日本拓
殖獎勵館主事 東京市小石川區春
日町一同館内
伊藤 肇 明二天 沖繩 京
大獨法科 沖繩新聞理事 元拓務
參與官 衆議院議員 東京市品川
區大井山中町四三三八 電高輪五
五〇五
石上林二郎 王子製紙 日露木

材 樺太木材各株式會社取締 土
別軌道株式會社代表 樺太鑛業株
式會社監査 王子製紙株式會社
山林第一課長 東京市大森區馬込
町東三ノ七三六 電大森五〇七八
兵庫縣誠造長男 明治十年六月生
る 同三十八年東京高商卒業 三
井物産に入り大阪支店員天津を経て
各支店歷勤 大正四年富士製紙に
轉じ秘書役合併現職に就く
石坂 豊一 明七 富山 同志
大 樺太總事務官 文部參與官兼
任 衆議院議員 東京市在原區小
山町四九二 電在原四八五七
石原正太郎 明一一 富山 東
京高商 北陸氣船 樺太林業各社
長外會社電役 富山縣職員郡百塚
村
今見 昇 明治二十二年一月
福岡縣に生る 東北帝大林學科卒
業 朝鮮總督府警務課長 南洋
廳產業試驗所技師 樺太總務課林
業課長兼任 昭和十二年退官して
南洋興發へ入社後日比興業常務と
して轉出して今日に至る 東京市
英谷區北谷町八

協理理事長 宮城縣 堂貞長男
明治十三年十一月生 同四十一
年東大法律科卒業 高文合格 朝鮮
總督府事務官 同進事務官 慶尚
南道 京畿道各第一部長 同支部
專賣局事務官 庶務事業各課長
黃海道知事 殖産局長内務局長兼
中樞院書記官長歴任 昭和七年樺
太廳長官就任 十三年退官して悠
々自適せる甲昭和十五年現職就任
す
稲田 昌植 明三 徳島 東
北大農科 東大法律 男爵 貴族
院議員 元拓務政務次官 東京市
渋谷區青葉町二五 電青山七〇七
一
岩瀬 亮 衆議院議員 千葉
縣第三區選出 樺太災業 日本加
里十業 昭和火業 昭和製粉 大
江山ニツケル鑛業 福宜鑛業各株
式會社取締役 昭和鑛業 森興業
日本電氣工業 實業興業各株式會
社監査役 東京市王子區船付町二
四一三 電大塚四一八 赤羽三
千葉縣森森の弟 明治三十一年
十一月十九日生 昭和 年定吉
の養子となる 大正八年新嘉坡に

渡航し便民製造に従事す 昭和七
年以來代議士當選三回
上野金太郎 増田合名會社東京
出張所主任 東京市深川區冬木町
増田合名會社内
鶴澤 宇八 辯護士 元衆議院
議員 東京市芝區新橋芝口ビル
電銀座三九〇〇
江藤源九郎 明二二 東京 陸
軍少將 帝國海軍軍人會々長 衆
議院議員 東京市外式藏野町吉祥
寺一八七五
尾崎勇次郎 明六 兵庫 東大
法科 樺太廳事務官 同廳内務部
長 北海道廳内務部長 青森縣知
事 臺灣總督府警務局長 愛媛新
潟 愛知各縣知事歴任 東京運河
土地株式會社社長 東京市芝區白
金今里町八四 電高輪五三六
尾崎 重直 樺太旭新聞社長
東京市渋谷區上野五三 壽莊
大島 忠康 東京市世田ヶ谷區
北澤町一ノ四三 壽山縣 明治
十八年一月二十八日生 大正二
年東大法律科卒業 高文合格 鐵
道省に奉職 札幌東鐵各線各務
課長 東鐵政務課長 室蘭運輸事

務所長 鐵道事務官 樺太廳鐵道
事務所長歴任 昭和十二年退職し
て辯護士を東京市に開業して今日
に及ぶ
大井上義近 樺太炭業株式會社
顧問 東京市豊島區池袋二ノ一〇
二五 電大塚一七九五
新瀨縣 明治九年十二月生れ 同
三十七年先代種前の養子となる
同年東大地質學科卒業 鑛山監督
署技師 東北大農科農科教授職務
技師 農商務技師 商工技師 鑛
山局地質調査係等歴任 昭和七年
退官後に岩石學地質學研究の爲め
渡米又歐米へ出張萬國會議に列席
す
岡田 信 陸軍主計少尉 滿
洲興業銀行頭取 東京市豊島區池
袋四ノ四四 電大塚五三六
滋賀縣 明治十八年二月十日同縣
野洲郡守山町に生る 同四十二年
東大政治科卒業 高文合格 大藏
省專賣局書記 同主事補 名古屋
支局兼任 專賣局副參事 福岡支
局 熊本專賣局 大藏事務官 鑛
山局勤務 浦津派派軍政務部附
大藏書記官 特別銀行課長 臺灣
總督府事務官 東拓理事 臺灣總

督府財務局長 北海拓殖銀行頭取
等歴職昭和十一年一月退官 日本
俱樂部 日本工業俱樂部各會員な
り
岡本 保三 元樺太廳農林部長
横須賀市役所助役 神奈川縣横須
賀市公稱町一九二二
沖島 録三 明一八 島根 日
大法科 農林大臣秘書官 樺太日
日新聞社長 樺太運輸 樺太製
藥等取締役歴職 衆議院議員 東
京市赤坂區臺町五八 電赤坂六七
八
小野 盛儀 共同鐵道會社重役
青森市濱松町二二
奥 秀次郎 大正八年大泊中學
卒業 丸茶佐々木商店取締役支配
人 東京市日本橋區泉原橋一ノ五
佐々木商店内
加藤藤太郎 王子製紙株式會社
常務取締役 會計課長 室蘭埠頭
北海道鐵道 樺太木材 南樺鐵道
樺太電氣 旭鐵工所 札幌送電各
株式會社監査役
東京市淀橋區柏木三ノ三五七 電
四谷二四五三 香川縣 龜尾長男
明治二十年十月生る 同四十三年

東京高商卒業
勝俣 英 三菱鑛業株式會社
取締役兼技術部技師長 留萌鐵道
株式會社取締役 東京市目黒區中
目黒二ノ五八〇 電大塚二六七〇
靜岡縣に明治十九年四月生る 同
四十四年東大探礦科卒業
川口順次郎 元樺太廳事務官
林務課長 東京市本郷區駒込上宮
土前町一三六
金光 庸夫 厚生大臣 明一〇
衆議院副議長 拓務大臣歴任 近
衛第一次内閣に厚生大臣に親任せ
らる 東京市渋谷區櫻葉町三一
電青山二一
河田 烈 明一六 徳島 東
大政治科 大藏省主計局長 大藏
次官 拓務次官 内閣書記官長
東亞海運株式會社社長歴任 大藏
大臣 貴族院議員 東京市四谷區
東信濃町二八 電四谷三一七〇
笠井 重治 明一九 山梨 シ
カゴ大學政治經濟科 東京市會議
員 同參事會員 拓務參事官たり
衆議院議員 國際出版印刷社長
東京市麴町區三ノ八 電九段三一
五四

本原豊治郎 明三 北海道
本原西船鑛山株式會社 本原商店
各取締役社長 材木商 東京市牛
込區砂十原町ア二 電牛込二五
六七
木村小左衛門 明三二 島根
早大修學 内務大藏總理各大臣
書記官 拓務參事官 代議士當選五
回歴任 島根縣多額納稅者 東京
市本郷區駒込上宮土前町七三 電
大塚五〇五三 本宅島根縣大原郡
大東町
木村 条三 元樺太廳事務官
林務課長 拓務省囑託歴任 東京
市電氣局總務課長を経て同經濟局
庶務課長 東京市浦田區古市町三
八
岸本 正雄 元樺太廳長官 東
京市大森區南千束二二三
北澤 登 大東産金株式會社
取締役社長 東京市牛込區市ヶ谷
河田町八
北島謙次郎 明六 佐賀 東
大政治科 内閣拓殖局書記官 拓
務書記官 殖産局長 南洋廳長官
歴任 拓務次官に就任 東京市澁
谷區代々木上ノ原二〇七 電四
谷一七四〇

衛 東京市麻布區宮村
町四一
崎玉縣 正三長男 明治十八年八
月浦和市に生る 同三十九年東京
外語英學科卒業 伯林パラストホ
テル副支配人 倫敦ホテル 巴里
アジエスチックホテル 熱海ホテ
ル 帝國ホテル各支配人を歴職
第一回當選以來代議士當選三回
國民同盟所屬 昭和四年拓務大臣
秘書官 同六年之を辭す 露に熱
海町長 靜岡縣會訓議長 同縣參
事會員 英文雜誌ニッポン社長
彩葉代表 日本觀光事務たり 同
年國立公園視察の爲米國に出張す
竹史と號す
栗林 友二 栗林商船株式會社
常務 室蘭埠頭 芝浦運輸各株式
會社取締 特別温泉鐵道 昭和鐵
道各株式會社監査 東京市渋谷區
大山町二二 電青山一八七二
明治三十一年一月生る 大正十年
東大農學部卒業 劍橋大學經濟科
に學ぶ
栗原 源藏 崎玉縣 磯五郎長
男 明治五年五月廿五日東京市本
郷區に生る 多額納稅者 秋田電
車株式會社社長 秋田信託株式會

社取締 栗原組 土木建築業
秋田市鶴ノ丁東上手町一九 電一
二三 一三四(東京電 淺草區柳
橋一ノ二五 栗原組)
小林準一郎 王子製紙 樺太木
材株式會社常務 山陽パルプ工
業各株式會社取締 東京市渋谷區
代々木上原一八八九 電四谷三八
五八
群馬縣 省三長男 明治十九年十
二月四日生る 同四十三年東大林
學科卒業 王子製紙古小牧工場山
林部長を経て昭和七年山林第一課
長就任 大正九年歐米各國を察視
す
小磯 國昭 明一三 栃木 陸
軍大將 陸軍省整備局長 軍務局
長 第五師團長 朝鮮司令官 拓
務大臣歴任 東京市麻布區森元町
一ノ二七 電赤坂二二二〇
小坂 順造 明一四 長野 東
京高商 代議士當選六回 農商務
大臣秘書官 同參事官 拓務政務
次官 信濃銀行常務 信濃毎日新
聞 長野瓦斯各社長 安田銀行取
締役歴職 長野縣多額納稅者 貴
族院議員に勅選さる 東信電氣會

社重役外調社重役 交詢社常議員
東京市渋谷區金山町一八 電青山
一四五三

小西善次郎 明一八 栃木 東
大獨法科卒業 大醫院に學ぶ 樺
太監内務部長 富山縣内務部長歴
任 富山市電氣局長 札幌市電氣
局長歴勤 東京市渋谷區南平臺町
八

小山 三郎 元樺太廳警察部長
同會中央融和會事務理事 東京
市豊町區内幸町二 同事務所内
兒玉 秀雄 明九 山口 伯爵
東大政治科 朝鮮總督府總務局長
兼鐵道局長 内閣書記官長 實
業總務局長 關東廳長官 朝鮮總督
府政務總監 拓務大臣 選信大臣
内務大臣歴任 貴族院議員 東京
市牛込區樂王寺町三〇 電牛込一
五五

三東忠之介 多年樺太廳財務課
長を勤め樺太人遺石油株式會社創
立に際し退官して入社し東京支店
總務部長となる 東京市小石川區
久堅町七四
眞田外茂雄 日本工業俱樂部參
事 東京市渋谷區原宿三ノ三〇七

商店 樺太製糖株式會社監査
服部 富士 川島各洋紙店 中井
商店各株式會社相談役 東京市豊
町區下八番町一四 電九段一六
一

福岡縣 菊蔵長男 明治八年五月
生る 東京高商卒業 實業界に入
る 農に兩館水電 北海電力電氣
富士製紙 共同バルブ各取締 樺
太電氣 南樺鐵道 日露木材各相
談役たり

高梨 耕幣 神奈川縣高座郡藤
澤町鶴沼川袋二三七五 電一一一
靜岡縣 直吉六男 明治十五年五
月一月生る 同四十年東大土木科
卒業 神戸鐵道監理局勤務 大正
六年樺太工業に轉じ理事取締を経
て昭和八年王子製紙株式會社參事
に就き後辭す

田口管次郎 元拓務理事官 海
外移住組合聯合會に勤務 東京市
世田ヶ谷區世田ヶ谷二ノ二〇五六
田中 武雄 東京市杉並區井荻
町一ノ九六 電荻窪四〇〇二

三重縣隆の長男明治二十四年一月
生る同四十五年明大法科卒業 長
野縣下野銀行顧問同警部同警視を

電青山四四三六
佐々木時造 丸茶佐々木商店
惠須取自動車株式會社社長 樺太
製糖 豊北木下各株式會社取締
東京市品川區上大崎長者丸一七八
電大崎二〇二七 (營業所) 日本
橋區泉原橋二ノ五 電日本橋一五
五八 一九六〇

京都府 正平三男 明治十二年三
月廿三日 同府宇治郡宇治町に生
る 同府立一中卒業 同卅八年樺
太に佐々木商店創立 鐵道礦山用
品の製造販賣業に従事 汽車製造
日立製作 フォード自動車 帝國
火柴 三井礦山各代理店たり 樺
太拓殖功勞者として今上陛下に拜
謁を賜りし事一回 御大典に際し
銀盃を賜ひ同十一年樺太廳より銀
盃を贈らる 農に大泊商業會議所
會頭たり

下出 繁雄 東洋拓殖株式會社
參事業務課長兼總務課長たり 淀
橋區百人町一ノ一五四 電四谷五
一九一 北海道人 大泊中學を卒
業して大正十三年東大經濟科卒業
篠原啓太郎 辯護士 元樺太地
方裁判所長 東京市杉並區荻窪一
ノ一七一

經て大正八年朝鮮總督府事務官同
道事務官總督府警務局長歴任昭和
十一年九月退官十四年拓務次官就
任十五年退官す 農に歐米に出張
す

竹下 正雄 明二七 鹿兒島
文部省專門學務局農商務省農務局
歴勤大正十年辯護士試驗合格辯護
士を樺太大泊町に開業後荒川區尾
久町五ノ二八二二に移る電下谷五
三七八

津雲 國利 明二六 府中二
中 安田銀行古川銀行宇都宮支店
長歴勤衆議院議員下野新報副社長
下野銀行顧問元拓務政務次官 東
京府西多摩郡青梅町新宿七四電青
梅二四三 (別宅毛町區富士見町三
ノ一ノ八電九段一六一〇)

堤 康次郎 明二二 滋賀 早
大政治科 衆議院議員元拓務政務
次官 農に民政黨總務部長土地專
務たり 東京市品川區上大崎中丸
四〇五電大崎一〇〇四

寺田 市正 明九 鹿兒島 明
大法科 時事新報社記者自由通信
社主幹副社長歴勤代議士當選六回
現在に及ぶ元拓務政務次官 東京

渋谷 勉次 元樺太落合町長
東京市渋谷區常盤町六四
鈴木 紀二 元樺太總務課長
現名古屋市長秘書 東京市淀橋區
戸塚三ノ九〇
杉浦謙次郎 樺太鐵道株式會社
取締役東京出張所長 東京市豊町
區有樂町三信ビル樺太鐵道會社内
杉本 建 眞岡中學を卒業し
て東大政治科を卒業す 東京朝日
新聞社入りて政経部記者たり
東京市豊町區有樂町朝日新聞社内
關 信正 日露木材株式會社
王子製紙株式會社參事 東京市澁
谷區代々木宮ヶ谷町一三三三 電
四谷四五五
神奈川縣に明治十八年二月廿四日
生る 同卅九年早大政治科卒業
三井物産小樽支店 王子製紙小
牧工場倉庫係長を経て同參事とな
り昭和二年日露木材事務に就任す
永業俱樂部會員たり
相馬 半治 明治製菓株式會社
取締役會長 スマトラ興業 明治
製糖株式會社社長 南米土地株
株式會社取締 明治商店 明治ゴム
工業 極東煉乳各株式會社相談役

市赤坂區青山町一ノ六三電青山
三七一一
手代木隆吉 明一七 北海道師
範學校士 室蘭小學校長を経て大
正七年中大卒業同九年司法官試驗
拜命東京地方裁判所勤務翌年辯護
士開業昭和九年拓務參事官同年辭
す衆議院當選現在に及ぶ 東京市
中野區江古田一ノ二〇九七電中野
五四四〇

富田治郎右衛門 王子製紙株式
會社常務取締役 相鐵工所 山陽
バルブ工業各株式會社取締役 東
京市渋谷區藤田三ノ七九 電青山
六七三三
福井縣治郎右衛門長男明治十九年
一月二十一日生れ前名治郎三郎を
改め慶名す同四十二年東大機械科
卒業王子製紙入社小牧工場設計
工係長本社工務課臨時建築部主任
工務部長代理工務部第一課長等歴
勤す

永井柳太郎 明一四 石川 早
大政經科 早大教授外務參事官政
務次官拓務大臣選信大臣歴任農に
民政黨幹事長たり衆議院議員大政
翼實會常任總務 東京市渋谷區三
ノ五〇七電青山五七五一

藏前工業會理事長 藤原侯爵 德
川男爵各家相談役 鶴見興持寺檀
家總代 東京市芝區伊皿子町五一
電高輪四八七
尾張國舊大山藩士田中奄の三男
明治二年七月生れ 相馬精三の養
子となる 同十八年陸軍教導團に
入り軍隊生活五年 同廿九年東京
高工應用化學科卒業 同校助教授
拜命 同卅三年文部省海外留學生
として石油及製糖業研究の爲獨米
に留學 伯林高工及フランクフル
トに留學 伯林高工に學び同卅四年渡米ミ
シガン大學院砂糖科に入り同卅六
年スマスターオブサイエンスの稱
號を受け東京高工教授 臺灣糖務
局技師歴勤 同卅九年明治製糖の
創立に際し専務に就任す 昭和三
年紺綬褒章及藍綬褒章を賜ふ

高島菊次郎 王子製紙株式會社
東洋製紙 日露木材 日本人絹パ
ルプ 山陽バルブ工業各株式會社
社長 日本金網 日本フエルト
南樺鐵道 日本加工製紙 雨龍電
力 樺太木材 共同洋紙 日露パ
ルプ製造 王子製糖 樺太鐵道
共榮起業 北鮮製紙 化學工業各
株式會社取締 鴨綠江製紙 高橋

永丘智太郎 改遣社編輯長 拓
務省嘱托等歴勤財團法人日本拓殖
協會主事 東京市小石川區春日町
一同協會内
永田秀次郎 明九 兵庫 日本
拓殖協會長
三高在學中高文合格海東中學校長
大分縣視學官大分石川熊本岩手各
縣事務官内務書記官福岡縣内務部
長京都府警察部長三重縣知事内務
省警保局長 東京市長拓務大臣鐵
道大臣等歴任貴族院議員拓大學長
東京市小石川區難波ヶ谷町八三電
牛込二〇七

中川小十郎 貴族院議員 京都
商工會議所顧問 立命館總長 立
命館大學長 南洋航路株式會社社
長 帝都電氣株式會社取締役 華
南銀行顧問 仁壽生命評議員 東
京市淀橋區諏訪町一九電牛込二二
七七 (京都宅) 上京區塔ノ段櫻木
町一五 電上二三〇

西園寺家々臣放從六位左衛門長
男慶應二年一月四日生れ先代武平
太の養子となる明治二十六年東大
政治科卒業京都帝大書記官首相祕
書官内閣書記官文相祕書官樺太廳

三三三

事務官歴任加島銀行理事大日本生
命副頭取臺灣銀行頭取等歴職す
中村 勝郎 元樺太廳技師 林
務課長 木原商船取締役 盛岡市
加賀町新小路一八(東京市豊町區
九段九重館方)

西岡 實太 滿洲中央銀行理事
新京城後路五〇一 電本局三九二
六

岡山縣 六三郎長男明治十七年五
月生る選信局内閣拓殖局樺太廳
理事官同職事務官鐵道事務官東京
市主事函館市長東洋拓殖總務部長
東亞勸業東商實業各取締役勸業庶
務調査各課長等歴職康徳三年現職
に就任

原 邦造 東武鐵道 東京貯
蓄銀行頭取 愛國生命 日本航空
輸送各株式會社社長 明治製糖
東京興産 日本アルミニウム 第
百銀行 海外興業 日興證券 熱
帯産業 三井生命 日本土地山林
高島屋 藤澤ゴルフ 横濱倉庫
昭和火災 東京瓦斯 三井銀行
王子製紙 復興建築助成各株式會
社取締役 富國徴兵相互取締役
共同火災 昭和銀行 關東瓦斯
共同ビルディング各株式會社監査役

滿鐵 朝鮮殖産銀行各株式會社監
事 勸銀 臺灣拓殖各參與理事
國際觀光委員會委員 東京市品川
區北品川三ノ三三五電大崎五四八
大阪府田中町造の弟明治十六年六
月十九日生れ原六郎の養子となる
同四十年京大經濟科卒業滿鐵入社
同四十二年高文合格廳に歐米各國
を視察す

平岡定太郎 文三 兵庫 東大
法學部 廣島宮城大阪各縣書記官
福島縣知事樺太廳長官歴任 東京
市四谷區西信濃町一六電四谷四〇
七五

平塚常太郎 商工會議所顧問
日魯漁業 樺太共同漁業 太平洋
漁業 大湊冷蔵 北日本油脂工業
樺太漁業諸各株式會社社長 兩
館重油タンク株式會社代表 佐々
木倉庫株式會社事務 兩館冷蔵
兩館製糖船具各株式會社取締役 兩
館船渠 北海道製糖倉庫各株式會
社監査 兩館倉庫鐵道株式會社相
談 北海道通田郡湯川村 電兩館
三七一(東京宅) 蕨谷區榎栗町二
八 電青山六四一六 北海道 本
道善治 男明治十四年十一月生る
菱沼 右一 明一六 茨城 早

大文科 報知記者 國民新聞地方
部長 社會部長理事 樺太日日新
開主筆歴職 露に國民新聞記者と
してシベリヤに従軍歐米各國視察
す 昭和七年十一月中央情報社を
創設して社長となり昭和十五年十
二月同社を中央日報社と變更し今
日に及ぶ 東京市豊島區駒込一ノ
一五七

福島 末治 明一五 東京 中
央大學 樺太廳會計課長長野青森
各郵便局長札幌選信局庶務課長兼
選信講習所所長選信局書記官兼保險
院研究保險事務官廣島縣選信局保
險課長を経て廣島選信局經理部長
に就任 廣島市臺町廣島選信局經
理部氣付

藤井 尙二 富山 樺太日日新
開主筆 日本新聞編輯局顧問歴職
中橋徳五郎傳記編輯事務所 東京
市豊町區内幸町大阪ビル(自宅東
京市青山區青山北町六ノ四七)
松岡 俊三 明一三 東京 宗
教大學日本法律學校 元拓務政務
次官兼選信局選信部新聞社監査役
東京市蕨谷區原宿一ノ一七〇電青
山八二八〇

三四

松本 弘造 王子製紙株式會社
事務 樺太鐵道 共同洋紙 日本
金網 雨龍電力 大川田中事務所
各株式會社取締役 王子證券 大同
洋紙店 山陽バルブ 日浦バルブ
製造 日本フェルト 南樺鐵道
東洋製紙 樺太鐵業 八代製紙
多額島鐵道 北鮮製紙化學工業各
株式會社監査 東京市蕨谷區北谷
町二七 電青山一四〇

八大阪府豐次郎長男明治十五年八
月三日同府泉北郡重岡郡村に生る
同四十一年同大獨法科卒校高文合
格大蔵省勤務興銀に轉じ紐育北京
駐在同理事を経て樺太工業事務に
就任す

増田 龜吉 明一八 北海道
増田合名會社代表社員 木材輸出
並海運業 小樽市山ノ上町三一
電小樽一三三八

牧田 環 工博 發明獎勵委
員會委員 帝國燃料興業 昭和飛
行機各株式會社社長 日本製鋼所
日本アルミニウム各株式會社取
締 樺太人造石油 東洋高壓工業
理化學興業 松島炭礦 九州共同
水力發電 論西礦山 基隆炭礦

電氣化學工業 日本製糖興業 合
成工業 臺灣電化各株式會社相談
東京市蕨谷區北日ヶ窪町四三 電
赤坂一六一六

大阪府土庫虎之壺 男明治四年七
月二十四日生る同二十八年東大探
險科卒業歐米に遊學三井に入
り三井合名理事參與たり大正二年
學位を受く

溝口 新平 日本人絹バルブ株
式會社常務 日本人造羊毛株式會
社取締役 東京市蕨谷區代々木初臺
町五八九 電四谷六三三三
長崎縣格二一男明治二十年一月生
る同四十二年長崎高商卒業日本生
命鈴木商店に歷勤太陽曹達取締を
經て昭和元年日露木材創立常務に
就任同八年現職に就く

光澤 義男 樺太電氣株式會社
專務 南樺鐵道 日本人絹バルブ
各株式會社常務 王子製紙 樺太
鐵道 樺太木材各株式會社取締
東京市蕨谷區若木町一九 電青山
四三三四
長野縣菅次郎三男明治十五年八月
二十七日飯田市に生る同三十六年
東京高工機械科卒業同三十九年王
子製紙入社大泊工場工務係長豊原

工場心得樺太産業豐原工場長樺太
分社豐原工場長同總務部理事等歴
職昭和八年日本人絹バルブ入社
に歐米視察す昭和十五年十二月王
子製紙再び入社す

宮澤友次郎 明一九 山梨 大
洞商工會議所副會頭大洞町消防組
頭同青年團長歴職山一官澤本店株
式會社社長官澤タイプライター商
會顧問 東京市牛込區戸山町三五
ノ一〇 電牛込三五五一

棟居 俊一 明二天 山口 東
大法科政治科 拓務書記官殖産局
第二課長同第一課長朝鮮總督府專
賣局長拓務省官理局長樺太長官を
歴任 東京市芝區白金今里八九
電高輪六七〇八

森田 達 森田商會 丸和森
田商會各株式會社社長 兩館運送
惠須取運輪各株式會社取締役 都
汽船株式會社監査 東京市豊町區
平河町一ノ一三電九段一三二五
山口縣松野野四男明治廿九年一月
廿五日生れ森田昌司の養子となる
大正七年神戸高商卒業三井物産神
戶支店勤務を経て森田商會を創立
す

森本 節躬 明三一 愛媛 東
大法科政治科 樺太廳事務官同地
方課長兼度重衡所長内務部財務課
長拓殖課長等歴任大阪株式取引所
財務課長に轉じ縣名古屋市長に
就任に際し名古屋市財務部長に
就任し現在に及ぶ

八角 三郎 明一三 岩手 警
手金剛各艦長第一第二水雷戰艦司
令官海軍水雷學校校長大湊港部司
令官副任衆議院議員元拓務政務次
官海軍中將 東京市芝區高輪北町
四八 電高輪五九八四

山際 競 東海運輸株式會社
社長 諸津興業株式會社副社長
東京市目黒區洗足一四三九 電在
原三九七三
新潟縣に明治十七年九月三日生れ
山際戒三の養子となる新潟縣越南
義塾卒業同四十二年普文合格任樺
太廳屬兼警部大正二年山際運送店
を興業同十二年現社創立に樺太
名譽部總代理消防組頭たり

山田 容義 元樺太廳秘書課長
現樺濱市中區務所庶務課長
山中 政之 海中將 樺太人造
石油會社常務取締役 東京市淀橋

區百人町二ノ四七 電四谷五〇二
五

神奈川土族政治長男明治十九年一
月生る同卅九年機關學校卒業昭和
十年十一月中將に累進其間海軍大
學校卒業大井陸軍第一水雷戰艦各
機關長海軍大學教育佐世保海軍々
需部長技術研究所學部長本省軍需
局第一課長技術研究所理學研究部
長燃料廠製油部長兼研究部長同廠
長等歴職同十一年十二月軍人部出
仕となり後退官す昭和十四年樺太
人造石油株式會社創立に際し入社
す

横尾惣三郎 元樺太廳農林部長
皇民護道館長(埼玉縣反野町)東
京市蕨谷區鶯谷町三五 電青山七
六一

渡邊 忍 明一六 新潟 東
大法科獨法科 福井縣理事官神奈
川縣事務官朝鮮總督府事務官忠清
北道黃海道平安南道各内務部長全
羅北道京畿道各知事朝鮮總督府殖
産局長兼山林部長同農林局長を經
東洋拓殖會社理事南洋興業海外興
業會社日日魯漁業會社重役たり
東京府北多摩郡武蔵野町吉野寺一
五七二 電吉野寺二二一六

三五